

令和5年度まちづくり市民アンケート

調査結果報告書

令和6年3月

廿 日 市 市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 集計方法・分析方法・報告書の見方・標本誤差.....	1
II. 調査結果	3
1. 基本的属性.....	3
2. お住まいの地域などについて	8
・地域の住みやすさ（問1）	8
・地域に住み続けたいか（問2）	13
・自分のまちとしての愛着（問3）	17
・地域の行事への参加（問4-1）	18
・地域の支え手としての活動（問4-2）	20
・市民センター（問4-3）	22
・地域の課題（問5-1）	23
・地域課題の主体的な解決（問5-2）	25
・地域の助け合い（問6-1）	26
・困った時に助け合うような近所付き合い（問6-2）	28
・困ったときに助けてくれる人（問6-3）	30
・地域課題解決等の取組への参加（問7）	33
・福祉・介護に関するサービス（問8）	34
・男女の役割分担意識（問9）	35
3. 保健・医療について.....	36
・健康感（問10）	36
・健康のため実行している事柄（問11）	37
・かかりつけ医の有無（問12）	39
・人生会議の認知度（問13）	40
・適切な医療機関の利用（問14）	41

4. 生活環境について.....	43
・ 市内公共交通機関による移動（問 15）	43
・ 都市間の移動（問 16）	46
・ 地域間の移動（問 17）	49
・ J R 廿日市駅から J A 広島総合病院周辺（問 18）	52
・ 支所周辺（問 19）	55
・ J R 駅周辺（問 20）	58
・ 宮島口地区の景観（問 21）	61
・ 生活道路の歩行・通行（問 22）	62
・ 地震・風水害などの対策（問 23）	65
・ 避難場所や避難経路の確認（問 24）	68
・ 災害時の危険性の確認（問 25）	69
・ 非常持ち出し品の準備（問 26）	70
・ 災害時の情報収集手段（問 27）	71
・ 犯罪に遭う不安（問 28）	73
・ 自然環境の保全（問 29）	74
・ 環境保護活動（問 30）	77
・ 家庭での省エネ・省資源（問 31）	78
5. 産業について.....	81
・ 廿日市産の農産物の購入（問 32）	81
・ 地域産業資源の認知状況（問 33）	82
6. 教育・文化について.....	85
・ 歴史探訪・文化鑑賞（問 34）	85
・ スポーツや運動（問 35）	86
・ 文化芸術活動（問 36）	87
・ 図書館の利用（問 37）	88
7. 行政サービス・まちづくり全般について	89
・ 行政サービスの納得性（問 38）	89
・ 行政サービスの効果・効率（問 39）	90
・ 市役所窓口や地域での職員の対応（問 40）	91
・ 市政・まちづくりの重要な情報源（問 41）	92
8. 廿日市市のまちづくりについて	94
・ 施策の満足度と重要度（問 42）	94

I. 調査の概要

1. 調査の目的

廿日市市の施策に対する満足度や重要度などについて、幅広く市民の意見等を調査し、本市施策の目標管理を行うことで、より市民のニーズに合った効果の高い施策への改善に役立てることを目的とする。

2. 調査の方法

(1) 調査対象者

調査対象者は、令和6年1月1日現在廿日市市に在住する満18歳以上の市民3,000人である（住民基本台帳から無作為抽出）。

(2) 調査方法

配布は郵送法で行い、回収は郵送法およびインターネットで行った。

(3) 調査期間

令和6年1月10日～1月31日

3. 回収結果

配布数3,000票のうち、有効回収票は1,089票（郵送による回収：867票、インターネットによる回収：222票 有効回収率36.3%）であった。

地域別有効回収率は、高い順に、廿日市地域41.2%、大野地域39.1%、吉和地域32.0%、佐伯地域29.0%、宮島地域25.0%であった。

区分	配布数（票）	有効回答数（票）	有効回答率（%）
廿日市地域	1,000	412	41.2
佐伯地域	900	261	29.0
吉和地域	100	32	32.0
大野地域	900	352	39.1
宮島地域	100	25	25.0
不明	—	7	—
全市	3,000	1,089	36.3

4. 集計方法・分析方法・報告書の見方・標本誤差

(1) 集計方法

○本報告で使用する百分率は、小数点第二位を四捨五入した値で表示した。

このため、比率の合計が100%を上下することがある。

○複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出した。

(2) 分析方法

質問項目ごとに、全体・地域別・年代別に分析した。

(3) 報告書の見方

- 図表中に示すNは、回答数総数のことである。
- 本報告で使用する百分率は、小数点第二位を四捨五入した値で表示した。このため、比率の合計が100.0%を上下することがある。
- 複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出しており、比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- 統計学上50サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低いが、クロス集計については、50サンプル未満も記述(コメント)の対象としている。
- ※限定質問で全体のサンプル数が10未満の場合は、コメントの対象としない。

(4) 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団（廿日市市に住民登録がある満 18 歳以上の市民）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は、次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

(注) $\frac{N-n}{N-1} \div 1$

N = 母集団数 97,870 人
 ※令和 6 年 1 月 1 日現在の 18 歳以上の住民基本台帳人口
 n = 比率算出の基数（有効回答数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は、次表のようになる。

回答比率 (p) 基数(n)	回 答 比 率				
	90%又は10%	80%又は20%	70%又は30%	60%又は40%	50%
1,089票	±1.77	±2.36	±2.70	±2.89	±2.95
1,000票	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
500票	±2.62	±3.50	±4.01	±4.28	±4.37
300票	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
100票	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

(この表の計算式の信頼度は95%である。)

※本調査の実際の設定問に当てはめてみると、問1の「あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。」の設定問に関して、基数が1,089人で、そのうち、「住みやすい」の回答比率が35.4%であったことから、標本誤差は、±2.82%となり、この設定問の「住みやすい」に対する回答比率は、32.58%～38.22%の範囲内にあると考えられる。

Ⅱ. 調査結果

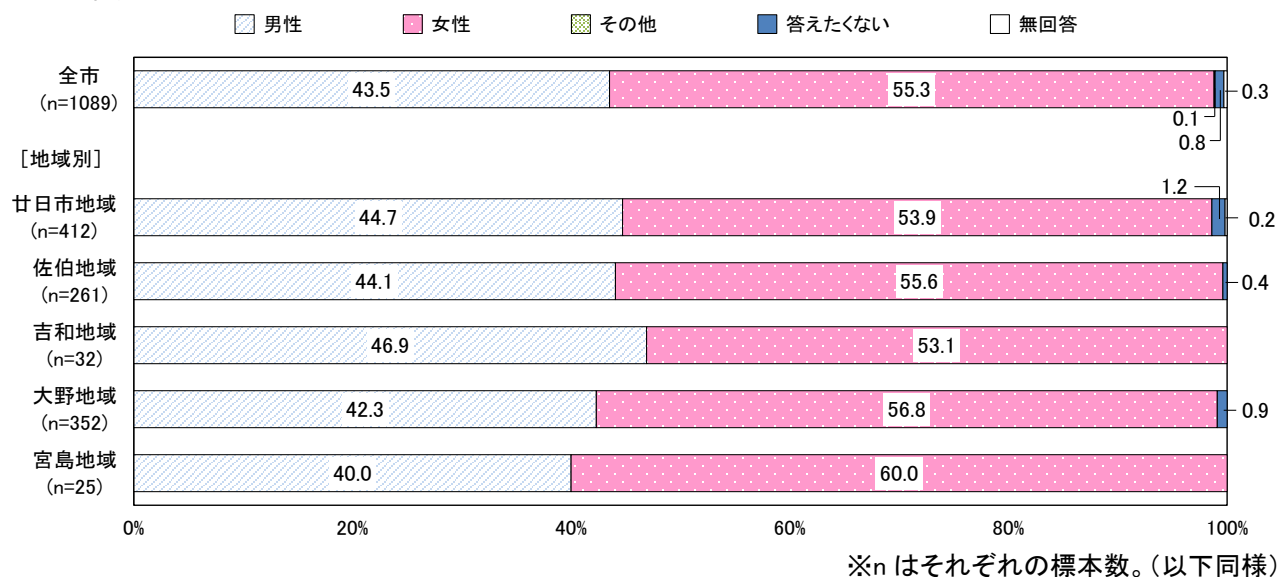
1. 基本的属性

(1) 性別

【全体】 性別については、「女性」(55.3%)が「男性」(43.5%)を11.8ポイント上回っている。

【地域別】 全ての地域で「女性」が「男性」を上回っている。

図1 性別

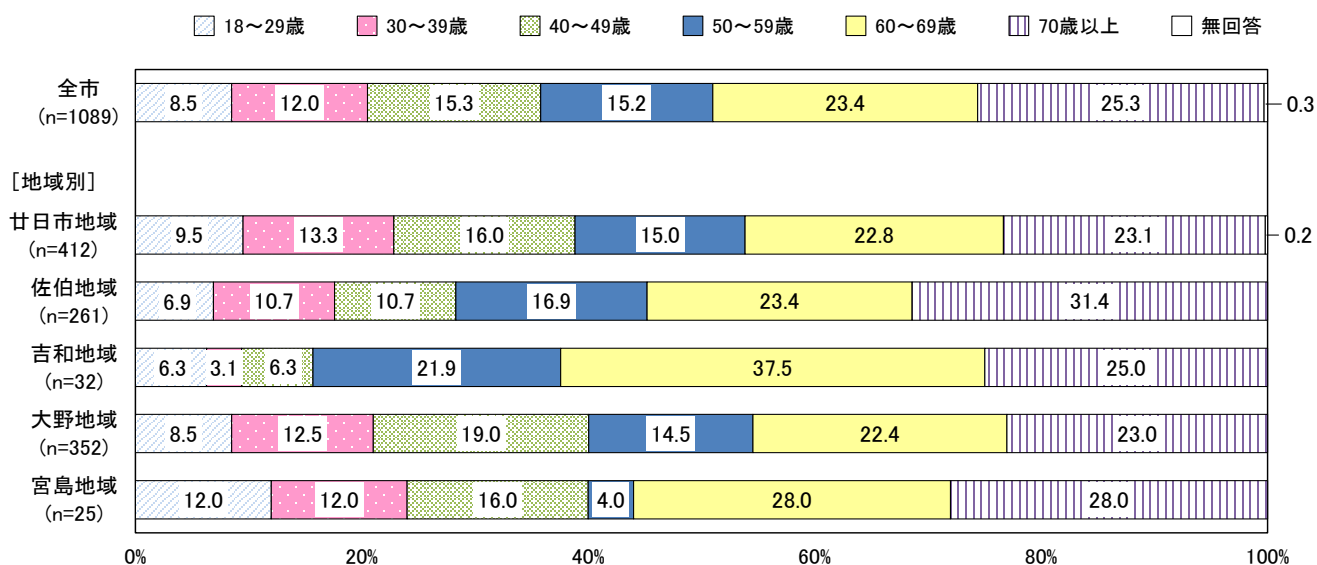


(2) 年齢

【全体】 「18～29 歳」(8.5%)が最も少なく、「70 歳以上」(25.3%)が最も多い。年齢が上がるほど割合が高くなる傾向が見られ、60 歳以上が全体の約 5 割(48.7%)を占める。

【地域別】 「60 歳以上」が最も多いのは「吉和地域」(62.5%)、「60 歳未満」が最も多いのは「大野地域」(54.5%)となっている。

図2 年齢

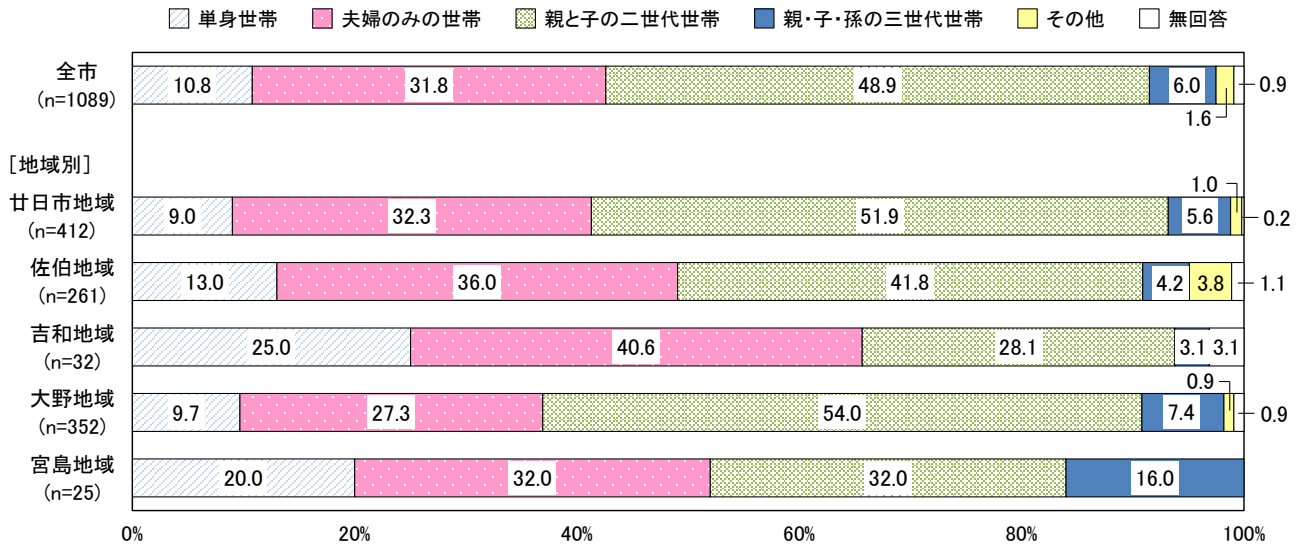


(3) 家族構成

【全体】 家族構成については、「親と子の二世帯世帯」(48.9%)が最も多く、「夫婦のみの世帯」(31.8%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「吉和地域」は「単身世帯」(25.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図3 家族構成

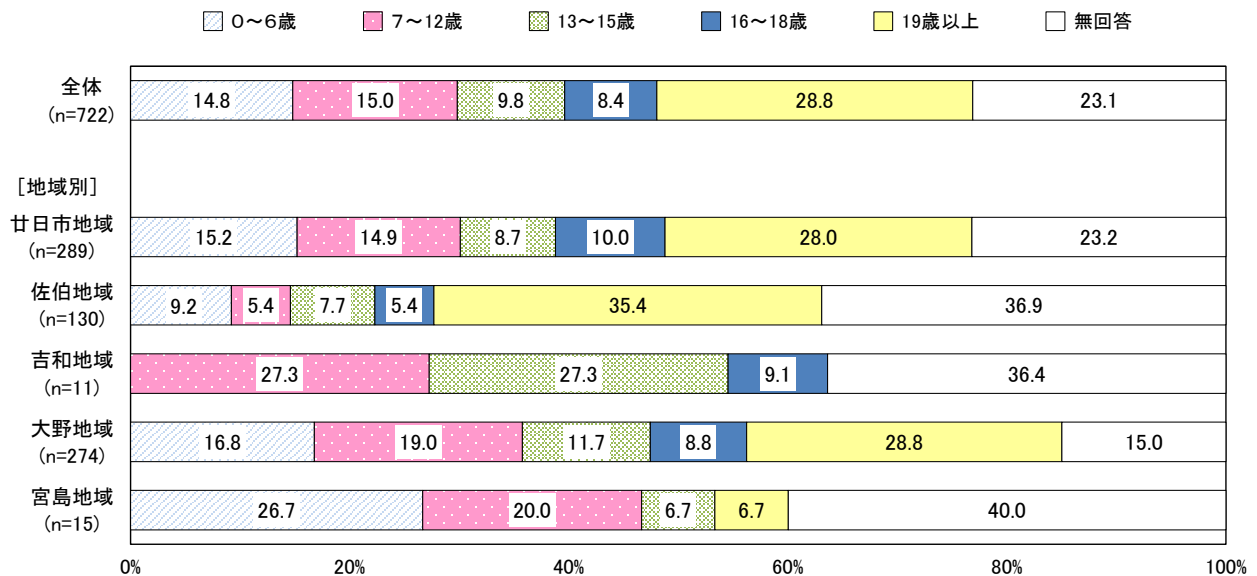


(4) 同居の子または孫の年齢[複数回答]

【全体】 同居の子または孫の年齢については、「19歳以上」(28.8%)が最も多い。

【地域別】 18歳以下が最も多いのは「吉和地域」(63.7%)で、以下、「大野地域」(56.3%)、「宮島地域」(53.4%)、「廿日市地域」(48.8%)、「佐伯地域」(27.7%)と続く。

図4 同居の子または孫の年齢



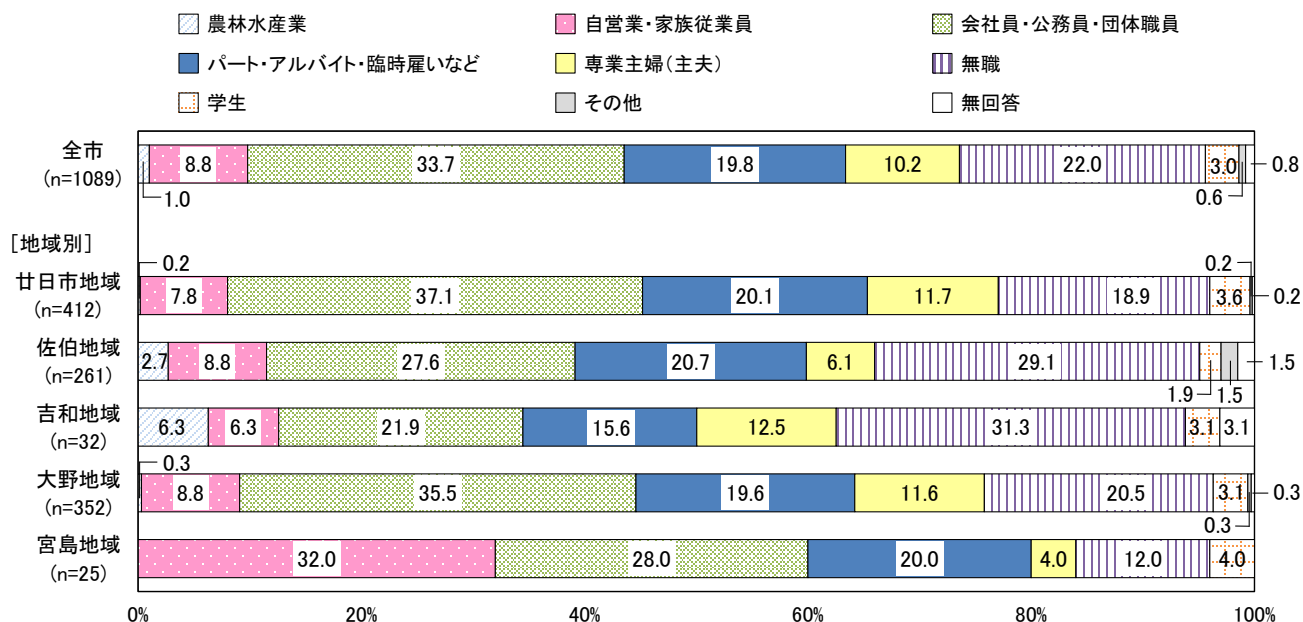
※n(標本数)は同居の子または孫の数

(5) 職業

【全体】 職業については、「会社員・公務員・団体職員」(33.7%)が最も多く、以下、「無職」(22.0%)、「パート・アルバイト・臨時雇いなど」(19.8%)、「専業主婦(主夫)」(10.2%)、と続く。

【地域別】 「全市」と比較して、「宮島地域」は「自営業・家族従業員」(32.0%)が20ポイント以上高い。「佐伯地域」は「無職」(29.1%)が、「吉和地域」は「農林水産業」(6.3%)と「無職」(31.3%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図5 職業

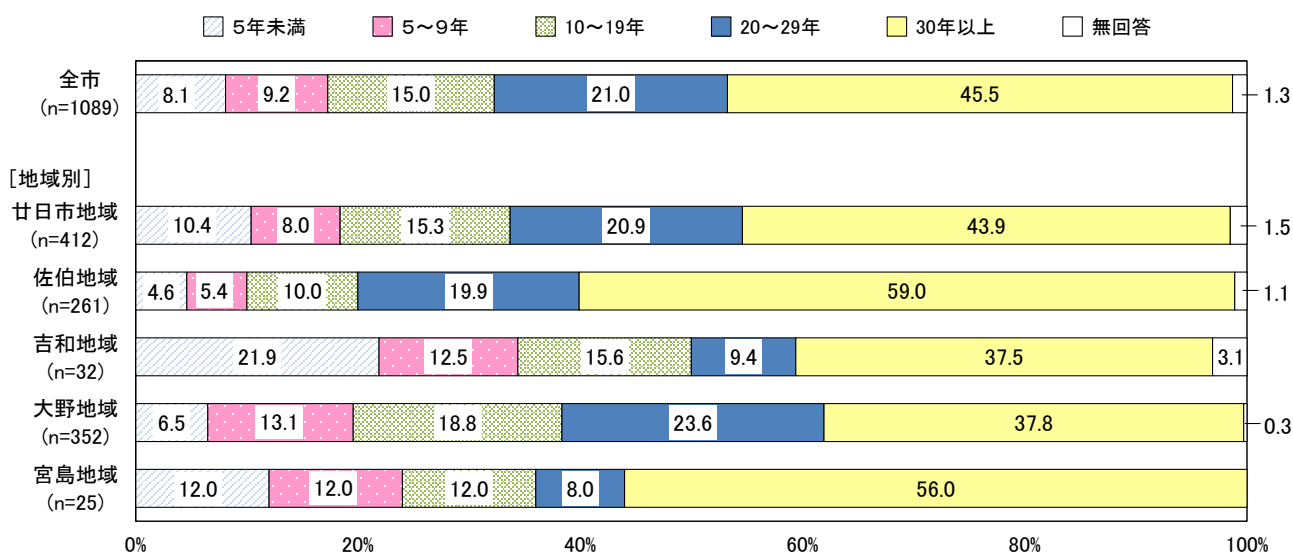


(6) 居住年数

【全体】 居住年数については、「30 年以上」(45.5%)が最も多く、「20～29 年」(21.0%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「吉和地域」は「5 年未満」(21.9%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図6 居住年数

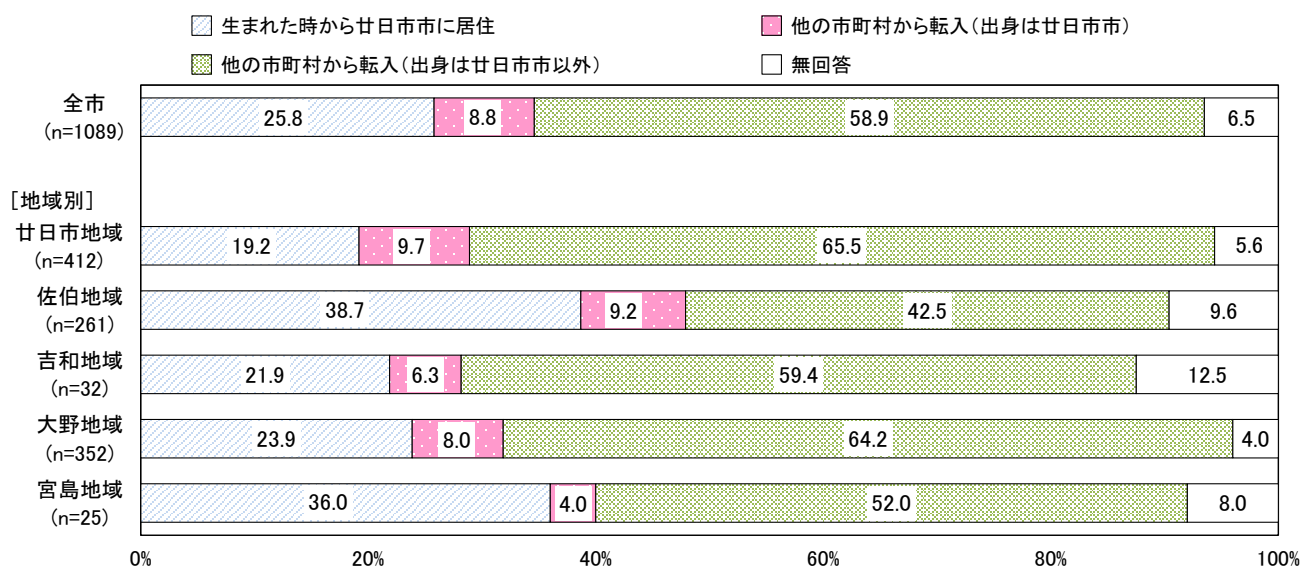


(7) 廿日市市の居住状況

【全体】 旧市町村を含む廿日市市の居住状況については、「他の市町村から転入（出身は廿日市市以外）」（58.9%）が5割台を占める。

【地域別】 「佐伯地域」は全市と比較して、「生まれた時から廿日市市に居住」（38.7%）が10ポイント以上高い。

図7 居住状況



【他の市町村から転入してきた方について】

(8) 転入前の居住地

【全体】 他の市町村からの転入者がどこから転入してきたかについては、「広島県」（67.8%）が6割台を占める。転入前自治体が未記入のサンプル159を除いた341人についてみると、「広島県」からの転入の7割台が「広島市」（73.3%）からの転入である。

「広島県以外」からの転入については、転入前自治体が未記入のサンプル7を除いた203人についてみると、「山口県」（32.0%）が最も多く、以下、「島根県」（7.9%）、「大阪府」（7.4%）、「東京都」（6.9%）と続く。

図8 転入前自治体

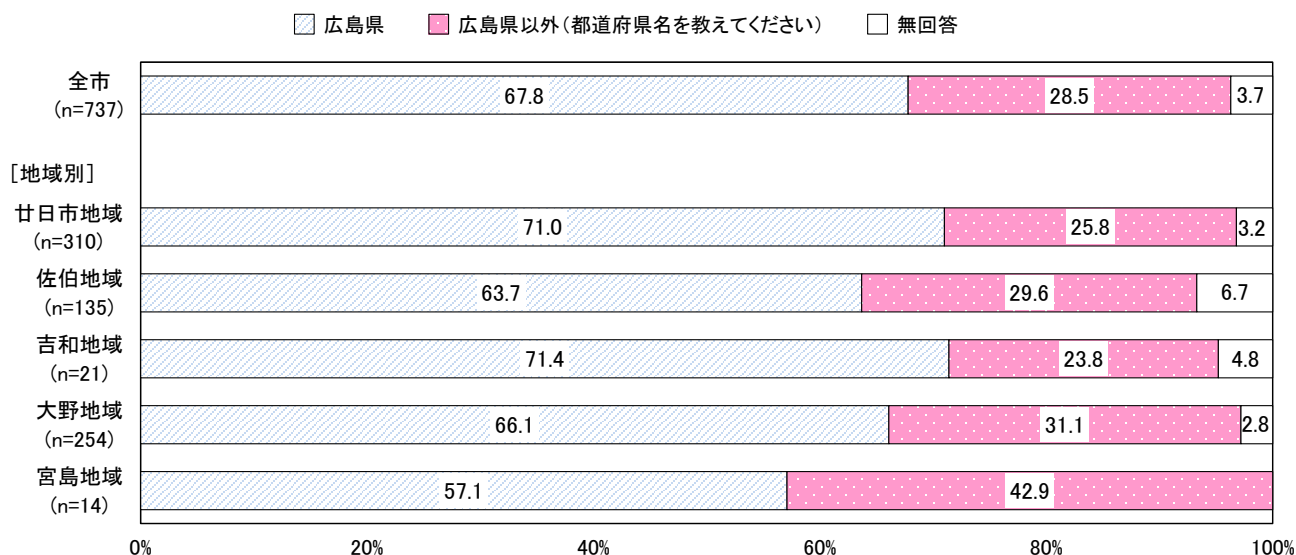


表1 広島県

転入前自治体	件数	構成比 (%)
広島市	250	73.3
大竹市	37	10.9
東広島市	9	2.6
福山市	8	2.3
呉市	7	2.1
府中町	7	2.1
江田島市	4	1.2
海田町	4	1.2
尾道市	3	0.9
三次市	2	0.6
三原市	2	0.6
安芸太田町	2	0.6
庄原市	1	0.3
竹原市	1	0.3
北広島町	1	0.3
府中市	1	0.3
熊野町	1	0.3
安芸郡	1	0.3
合計	341	100.0

表2 広島県以外

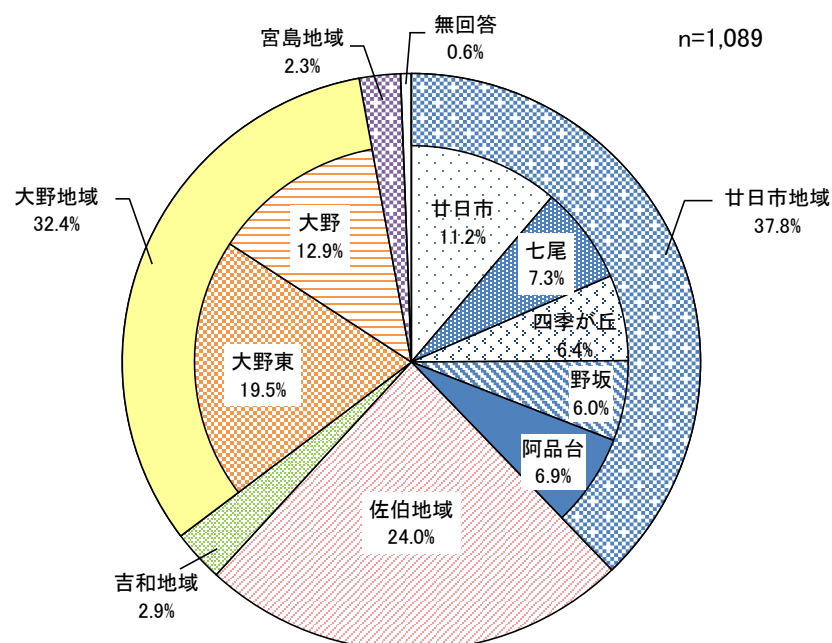
転入前自治体	件数	構成比 (%)	転入前自治体	件数	構成比 (%)
山口県	65	32.0	愛知県	3	1.5
島根県	16	7.9	京都府	3	1.5
大阪府	15	7.4	奈良県	3	1.5
東京都	14	6.9	徳島県	3	1.5
岡山県	11	5.4	茨城県	2	1.0
神奈川県	11	5.4	静岡県	2	1.0
愛媛県	10	4.9	滋賀県	2	1.0
福岡県	9	4.4	高知県	2	1.0
兵庫県	7	3.4	北海道	1	0.5
千葉県	6	3.0	福井県	1	0.5
長崎県	5	2.5	岐阜県	1	0.5
埼玉県	4	2.0	三重県	1	0.5
			鳥取県	1	0.5
			香川県	1	0.5
			熊本県	1	0.5
			大分県	1	0.5
			宮崎県	1	0.5
			鹿児島県	1	0.5
			合計	203	100.0

(9) 居住地（中学校区別）

【全体】 居住地については、「廿日市地域」(37.8%)が最も多く3割台を占め、以下、「大野地域」(32.4%)、「佐伯地域」(24.0%)、「吉和地域」(2.9%)、「宮島地域」(2.3%)と続く。

【中学校区別】 「廿日市地域」は、多い方から「廿日市」(11.2%)、「七尾」(7.3%)、「阿品台」(6.9%)、「四季が丘」(6.4%)、「野坂」(6.0%)の順で、「大野地域」は、「大野東」(19.5%)、「大野」(12.9%)の順である。

図9 居住地



2. お住まいの地域などについて

問1 あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。

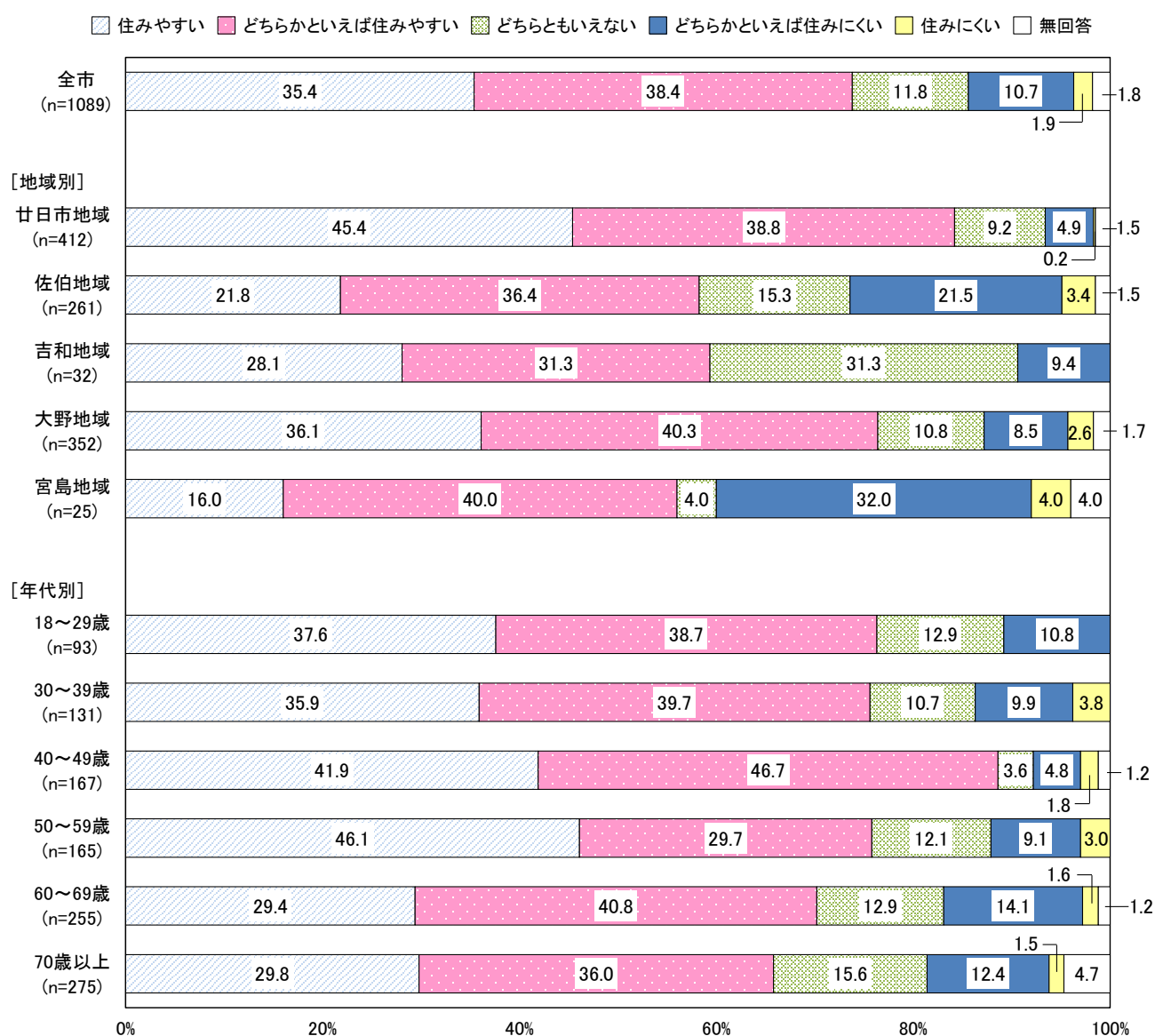
[○は1つ]

[全体] 現在の居住地域の住みやすさについては、「住みやすい」(35.4%)と「どちらかといえば住みやすい」(38.4%)を合わせると7割台(73.8%)を占める。

[地域別] 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「廿日市地域」(84.2%)が最も高く、以下、「大野地域」(76.4%)、「吉和地域」(59.4%)、「佐伯地域」(58.2%)、「宮島地域」(56.0%)と続く。

[年代別] 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「40～49歳」(88.6%)が最も高く、以下、「18～29歳」(76.3%)、「50～59歳」(75.8%)、「30～39歳」(75.6%)、「60～69歳以上」(70.2%)、「70歳以上」(65.8%)と続く。

図10 住みやすさ

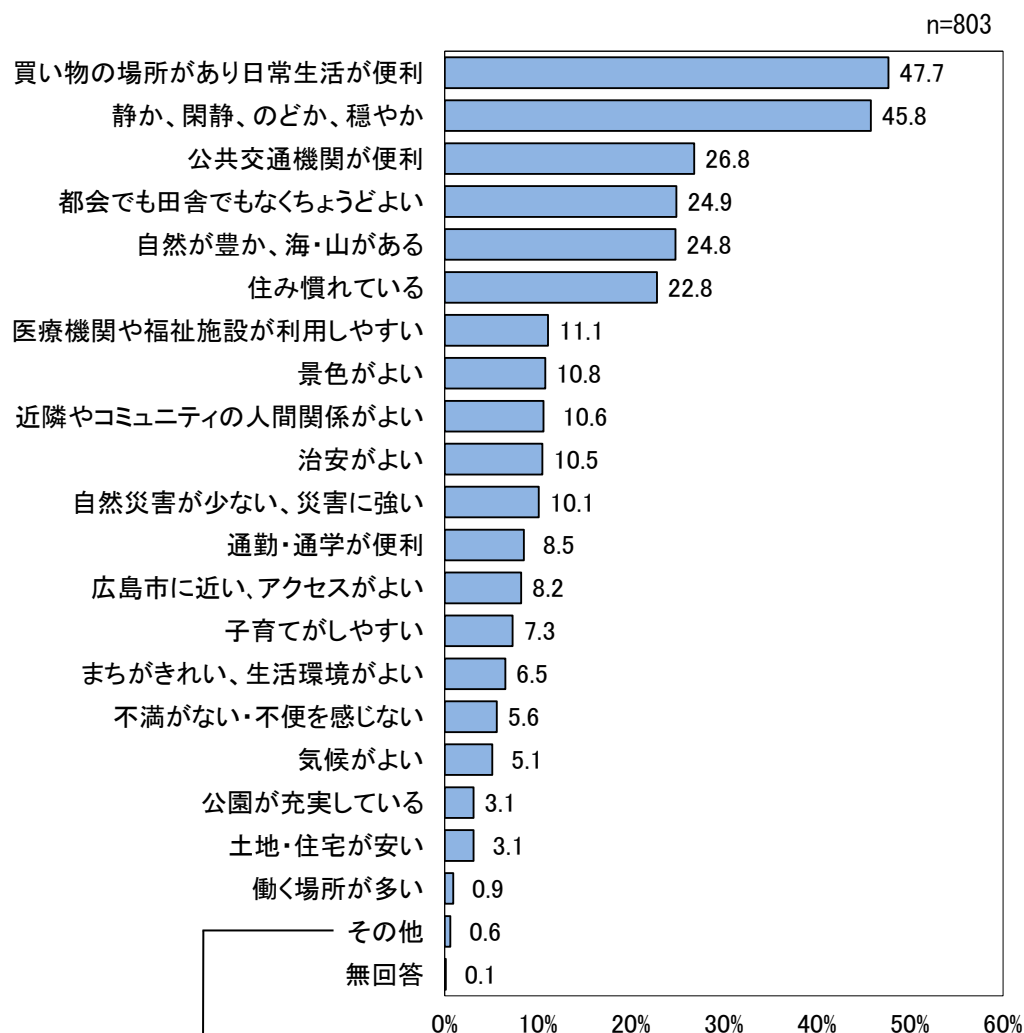


【「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方】

■「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選んだ理由（住みやすい理由）については、「買い物の場所があり日常生活が便利」（47.7%）が最も多く、以下、「静か、閑静、のどか、穏やか」（45.8%）、「公共交通機関が便利」（26.8%）と続く。

図 11 住みやすい理由



＜その他＞

- ・下水処理が浄化槽ではなく、下水道だととても住みやすいです
- ・自分で運転できるので良い。JR もバスもほぼ使わない
- ・平地である など

【地域別】 「吉和地域」は「静か、閑静、のどか、穏やか」(84.2%)、「自然が豊か、海・山がある」(68.4%)、「景色がよい」(47.4%)、「宮島地域」は「自然が豊か、海・山がある」(64.3%)が「全市」より30ポイント以上高い。

【年代別】 「30～49歳」は「子育てがしやすい」(30～39歳：23.2%、40～49歳：18.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表3 住みやすい理由

(単位:%)

項目	便利 あり 日常 生活 所が	静か、 閑静、 のどか、 穏やか	公共 交通 機関が	都会 でも 田舎 どで	自然 が豊 か、 海・山 がある	住み 慣れ てい る	施設 利用 し福 祉	医 療 機 関	景 色 が よ い	近 隣 の 人 間 関 係 が よ い	治 安 が よ い	自然 災害 が少 ない	通 勤・ 通 学 が 便 利	広 島 市 に 近 い、 ア ク セ ス が よ い	子 育 て が し や す い
全市 (n=803)	47.7	45.8	26.8	24.9	24.8	22.8	11.1	10.8	10.6	10.5	10.1	8.5	8.2	7.3	
地域別 廿日市地域 (n=347)	66.6	37.2	38.3	30.0	13.5	16.4	17.3	6.9	4.6	6.3	9.2	9.2	12.1	7.5	
佐伯地域 (n=152)	21.7	69.1	2.0	13.8	36.8	46.1	5.9	7.9	19.1	18.4	11.2	3.9	3.3	3.3	
吉和地域 (n=19)	-	84.2	-	10.5	68.4	10.5	5.3	47.4	21.1	-	21.1	-	5.3	-	
大野地域 (n=269)	43.5	40.9	29.0	26.8	27.5	17.8	7.1	13.4	11.9	11.2	10.4	11.2	6.7	9.3	
宮島地域 (n=14)	7.1	50.0	7.1	7.1	64.3	35.7	-	35.7	28.6	28.6	-	-	-	21.4	
年代別 18～29歳 (n=71)	47.9	40.8	31.0	26.8	29.6	25.4	4.2	5.6	5.6	11.3	4.2	11.3	16.9	2.8	
30～39歳 (n=99)	55.6	41.4	22.2	28.3	24.2	21.2	13.1	5.1	11.1	10.1	4.0	10.1	6.1	23.2	
40～49歳 (n=148)	48.0	41.9	27.0	22.3	25.0	20.3	5.4	10.1	12.8	11.5	6.1	13.5	8.1	18.2	
50～59歳 (n=125)	47.2	48.0	26.4	27.2	27.2	20.0	8.8	17.6	9.6	9.6	7.2	12.0	6.4	2.4	
60～69歳 (n=179)	48.6	50.8	28.5	22.9	25.1	22.9	10.6	11.2	8.4	10.6	11.7	6.7	8.4	1.7	
70歳以上 (n=181)	42.5	47.0	26.0	24.9	21.0	26.5	19.3	11.6	13.3	9.9	19.3	1.7	7.2	0.6	

項目	生活 環境 がよ い	不 満を 感じ ない・ 不	気 候 がよ い	公園 が充 実し て	土 地・ 住 宅 が 安	働 く 場 所 が 多 い	そ の 他	無 回 答
全市 (n=803)	6.5	5.6	5.1	3.1	3.1	0.9	0.6	0.1
地域別 廿日市地域 (n=347)	7.5	5.2	4.0	4.6	1.2	0.9	0.9	-
佐伯地域 (n=152)	7.9	4.6	3.9	1.3	7.2	1.3	-	-
吉和地域 (n=19)	-	-	-	-	5.3	5.3	-	-
大野地域 (n=269)	5.2	7.1	7.4	2.6	3.3	0.4	0.7	0.4
宮島地域 (n=14)	-	7.1	-	-	-	-	-	-
年代別 18～29歳 (n=71)	9.9	11.3	2.8	4.2	4.2	1.4	1.4	-
30～39歳 (n=99)	9.1	2.0	4.0	6.1	3.0	1.0	-	-
40～49歳 (n=148)	2.7	6.1	3.4	4.1	6.1	0.7	1.4	-
50～59歳 (n=125)	6.4	7.2	3.2	1.6	2.4	1.6	-	-
60～69歳 (n=179)	7.3	5.0	6.1	1.1	2.2	1.1	1.1	0.6
70歳以上 (n=181)	6.1	4.4	8.3	3.3	1.7	-	-	-

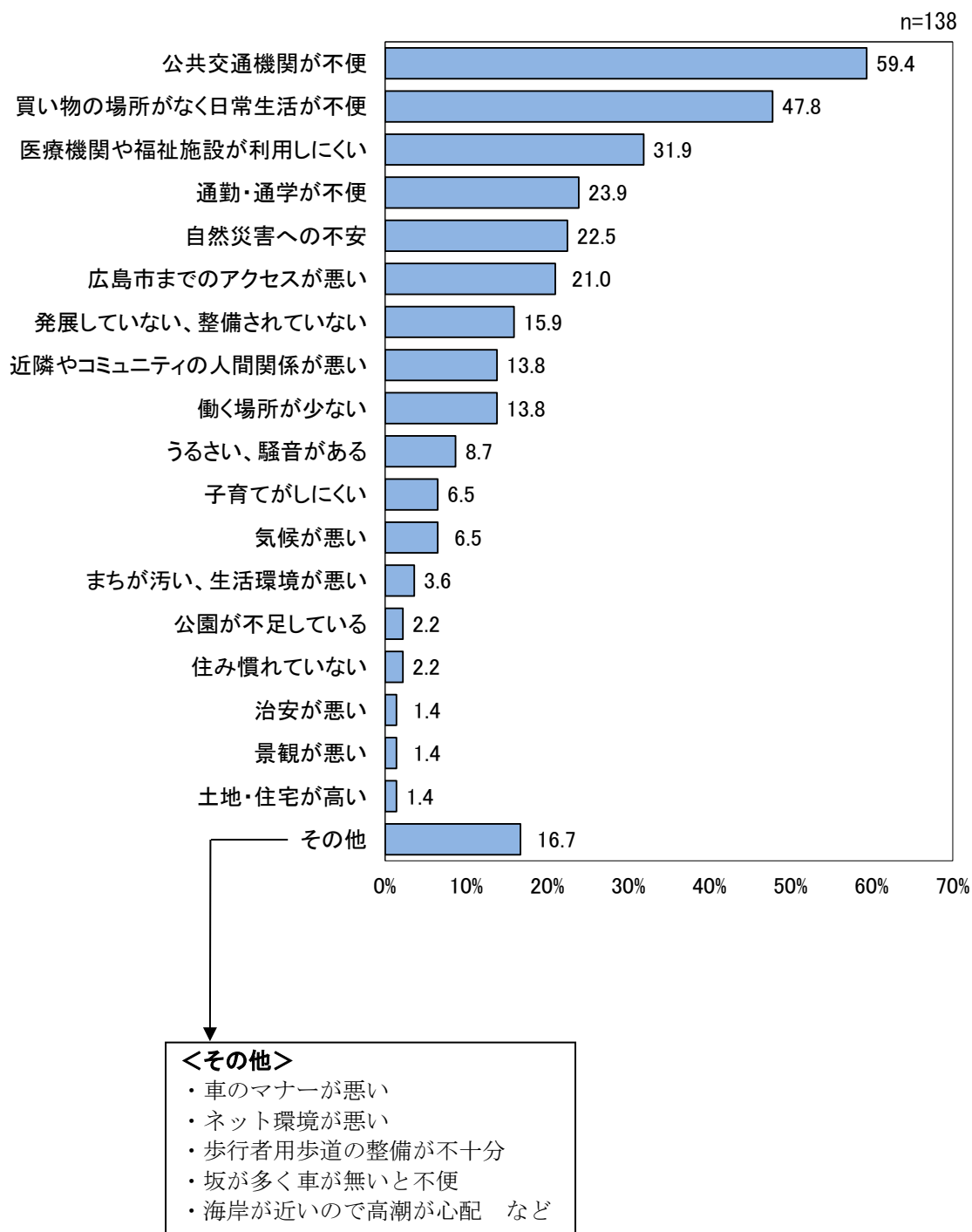
※全市+10ポイント以上に網掛け

【「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選んだ方】

■「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選んだ理由については、「公共交通機関が不便」（59.4％）が最も多く、以下、「買い物の場所がなく日常生活が不便」（47.8％）、「医療機関や福祉施設が利用しにくい」（31.9％）、「通勤・通学が不便」（23.9％）と続く。

図 12 住みにくい理由



【地域別】 「大野地域」は「買い物の場所がなく日常生活が不便」(59.0%)と「うるさい、騒音がある」(23.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～39歳」は「通勤・通学が不便」(18歳～29歳：50.0%、30～39歳：55.6%)、「広島市までのアクセスが悪い」(18歳～29歳：50.0%、30～39歳：50.0%)、「40～49歳」は「通勤・通学が不便」(72.7%)が「全市」より20ポイント以上高い。

表4 住みにくい理由

(単位：%)

項目	公共交通機関が不便	買い物の場所がない	医療機関や福祉施設が利用しにくい	通勤・通学が不便	自然災害への不安	広島市までのアクセスが悪い	発展していない、整備されていない	近隣の人間関係が悪い	働く場所が少ない	うるさい、騒音がある	子育てがしにくい	気候が悪い	まちが汚い、環境が悪い	公園が不足している
全市 (n=138)	59.4	47.8	31.9	23.9	22.5	21.0	15.9	13.8	13.8	8.7	6.5	6.5	3.6	2.2
地域別														
廿日市地域 (n=21)	52.4	52.4	9.5	28.6	23.8	14.3	14.3	14.3	4.8	4.8	4.8	-	9.5	-
佐伯地域 (n=65)	66.2	36.9	33.8	32.3	29.2	30.8	23.1	15.4	18.5	3.1	9.2	12.3	3.1	3.1
吉和地域 (n=3)	66.7	100.0	-	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3	33.3	-	-
大野地域 (n=39)	56.4	59.0	38.5	12.8	15.4	12.8	10.3	15.4	10.3	23.1	2.6	-	2.6	2.6
宮島地域 (n=9)	44.4	44.4	55.6	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別														
18～29歳 (n=10)	60.0	20.0	20.0	50.0	10.0	50.0	-	-	20.0	10.0	-	-	-	10.0
30～39歳 (n=18)	44.4	33.3	38.9	55.6	27.8	50.0	22.2	5.6	22.2	-	11.1	5.6	11.1	-
40～49歳 (n=11)	81.8	36.4	18.2	72.7	-	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	18.2	-	-	-
50～59歳 (n=20)	50.0	50.0	40.0	15.0	10.0	5.0	30.0	20.0	20.0	10.0	-	5.0	-	-
60～69歳 (n=40)	70.0	55.0	27.5	7.5	35.0	22.5	17.5	15.0	15.0	10.0	12.5	10.0	-	5.0
70歳以上 (n=38)	52.6	55.3	36.8	10.5	23.7	7.9	7.9	15.8	5.3	10.5	-	7.9	7.9	-

項目	住み慣れていない	治安が悪い	景観が悪い	土地・住宅が高い	その他	無回答
全市 (n=201)	2.2	1.4	1.4	1.4	16.7	0.7
地域別						
廿日市地域 (n=61)	9.5	-	-	4.8	23.8	-
佐伯地域 (n=76)	-	-	3.1	-	10.8	-
吉和地域 (n=9)	-	-	-	-	-	-
大野地域 (n=47)	2.6	5.1	-	2.6	25.6	-
宮島地域 (n=7)	-	-	-	-	11.1	11.1
年代別						
18～29歳 (n=21)	-	-	-	-	10.0	-
30～39歳 (n=19)	5.6	-	-	-	16.7	-
40～49歳 (n=18)	-	-	-	-	18.2	-
50～59歳 (n=33)	5.0	-	-	10.0	15.0	-
60～69歳 (n=56)	2.5	5.0	2.5	-	20.0	-
70歳以上 (n=53)	-	-	2.6	-	15.8	2.6

※全市+10ポイント以上に網掛け

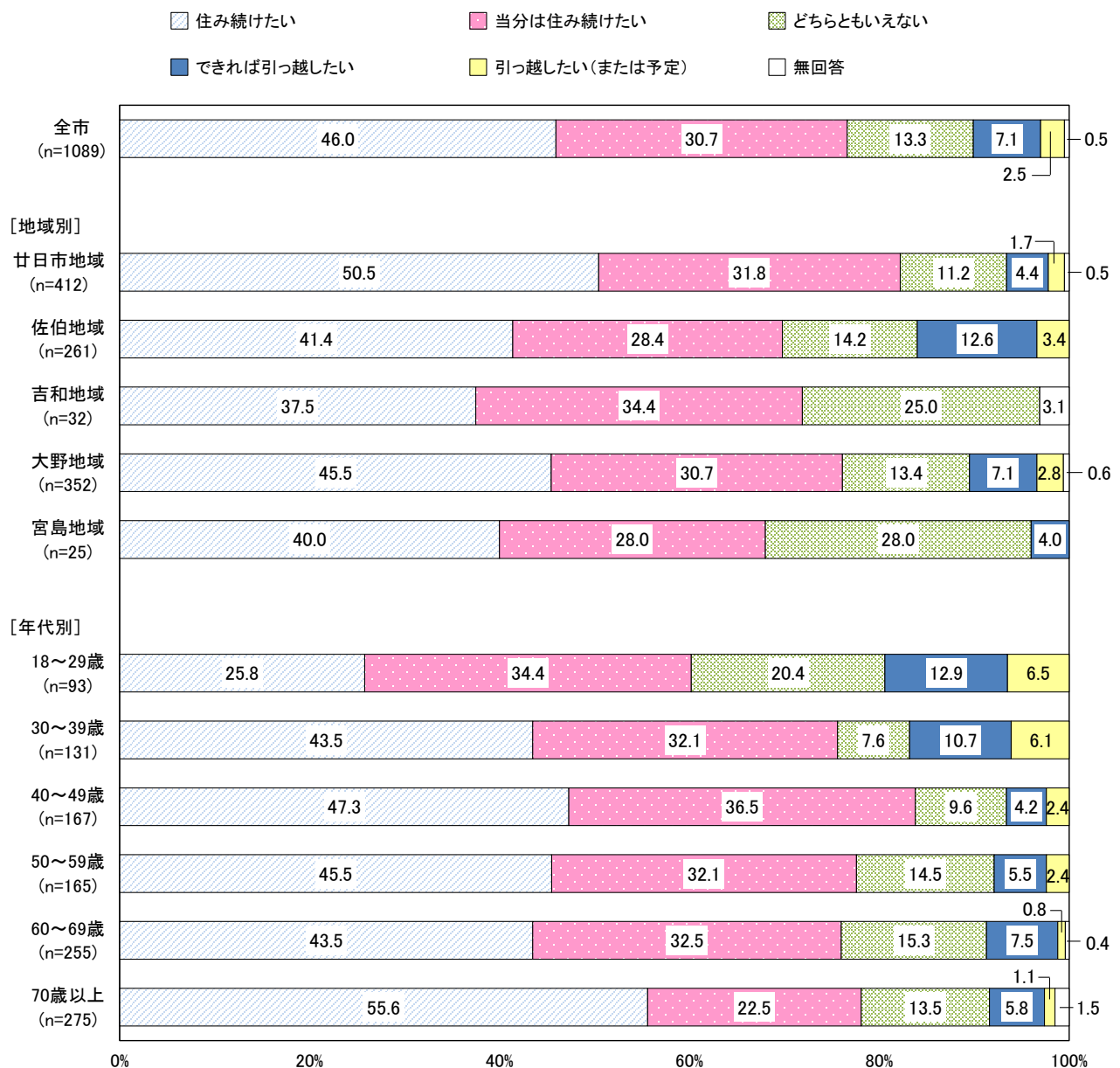
問 2 (1) あなたは、将来も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] 将来も現在の居住地域に住み続けたいかどうかについては、「住み続けたい」(46.0%)と「当分は住み続けたい」(30.7%)を合わせると7割台(76.7%)を占める。

[地域別] 「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた割合は、「廿日市地域」(82.3%)が最も高く、以下、「大野地域」(76.2%)、「吉和地域」(71.9%)、「佐伯地域」(69.8%)、「宮島地域」(68.0%)と続く。

[年代別] 「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた割合は、「40～49 歳以上」(83.8%)が最も高く、以下、「70 歳以上」(78.1%)、「50～59 歳」(77.6%)、「60～69 歳」(76.0%)、「30～39 歳」(75.6%)、「18～29 歳」(60.2%)と続く。

図 13 居住意向



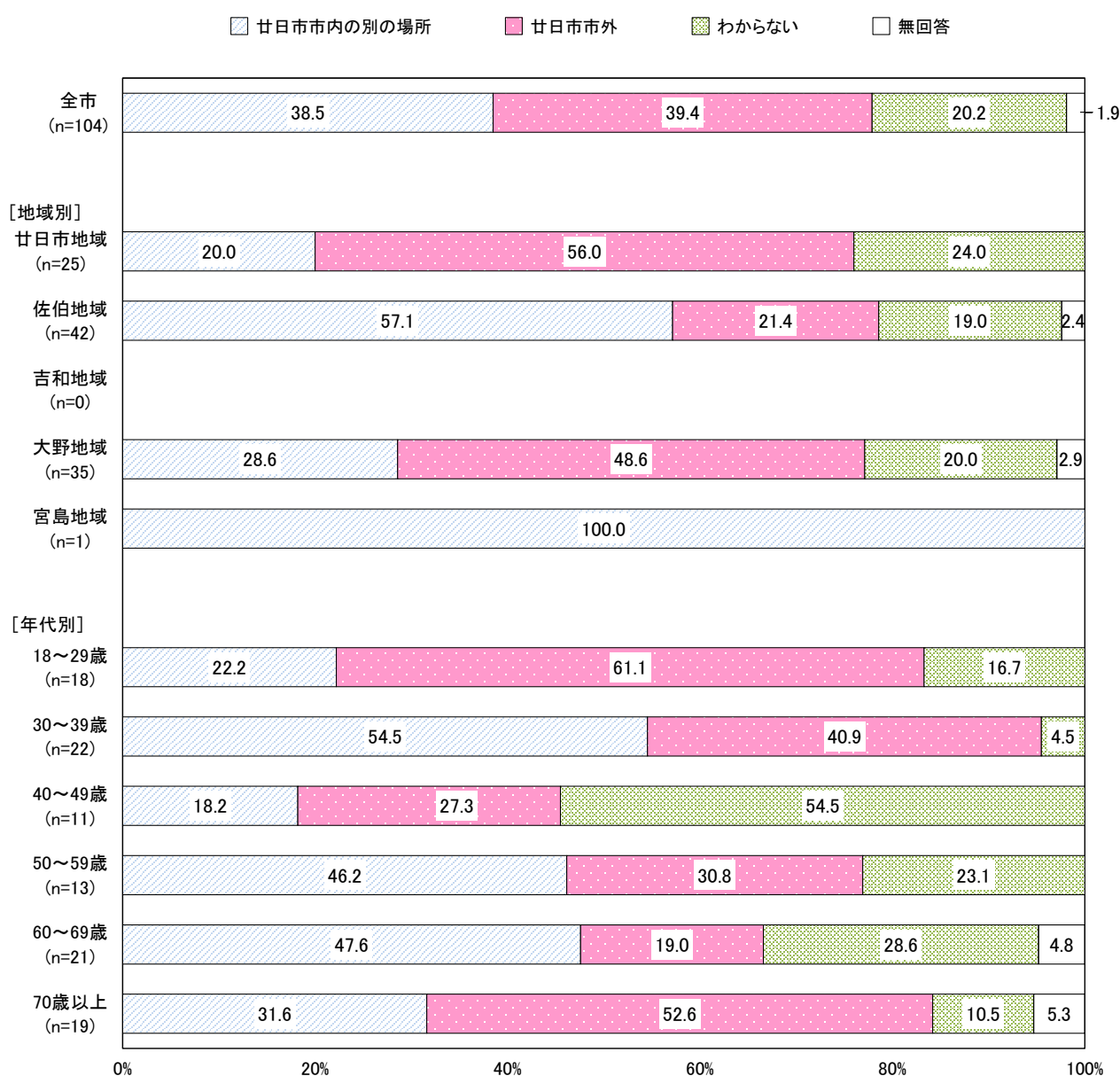
問 2 (2) 問 2 (1) で「できれば引っ越したい」または「引っ越したい（または予定）」を選んだ方にお聞きします。引っ越すことになった場合、どこに住みたいですか。[○は1つ]

[全体] 「できれば引っ越したい」または「引っ越したい（または予定）」を選んだ人が、引っ越すことになった場合、どこに住みたいかについては、「廿日市市外」(39.4%)が約4割を占める。

[地域別] 「廿日市地域」は「廿日市市外」(56.0%)が、「佐伯地域」は「廿日市市内の別の場所」(57.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」と「70歳以上」は「廿日市市外」(18～29歳：61.1%、70歳以上：52.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

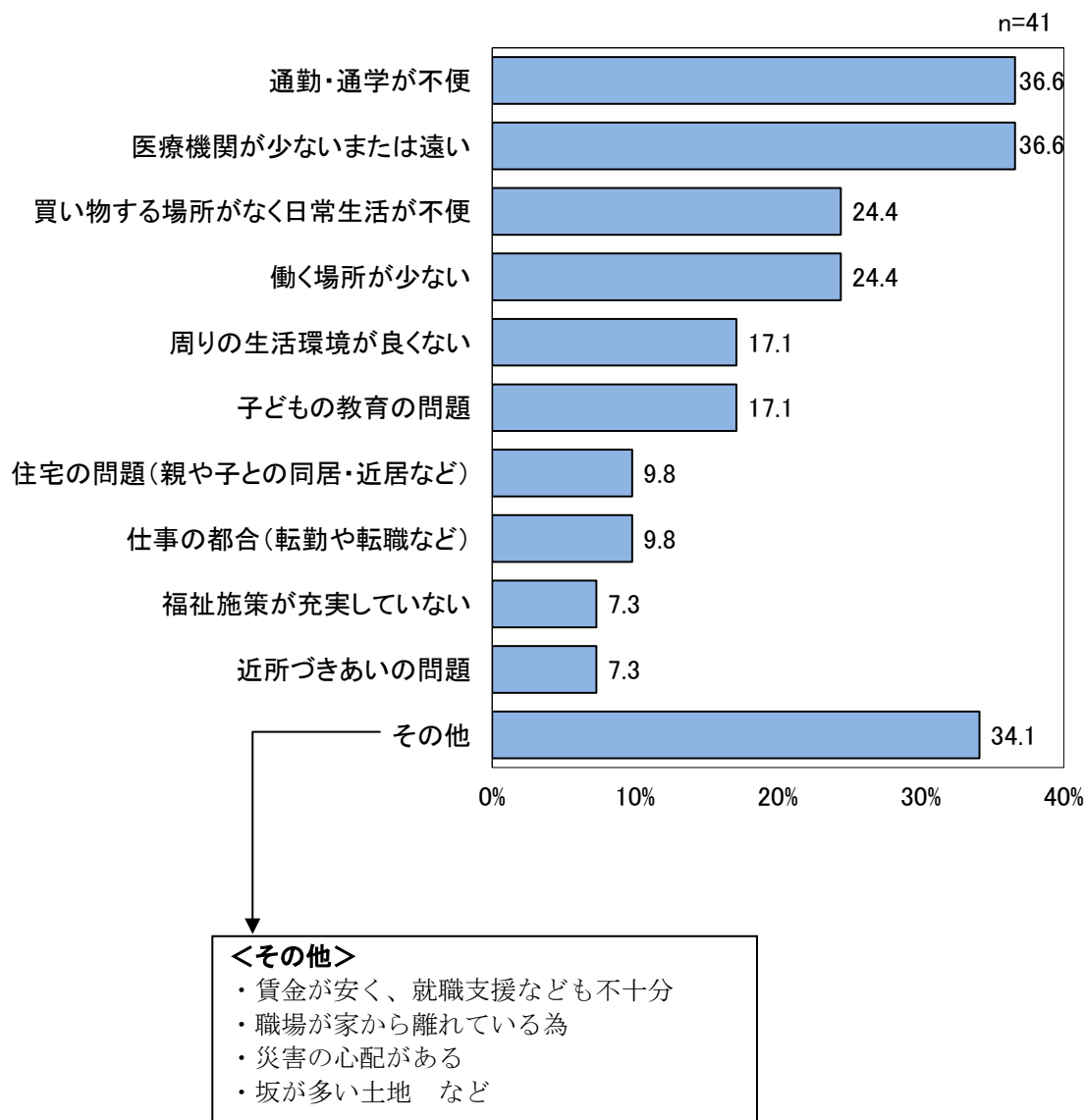
図 14 住みたい場所



**問 2 (3) 問 2 (2) で「廿日市市外」を選んだ方にお聞きします。廿日市市外に住みたい理由は
何ですか。〔〇は 3 つ〕**

〔全体〕 住みたい場所として「廿日市市外」を選んだ人の、廿日市市外に住みたい理由については、「通勤・通学が不便」(36.6%)および「医療機関が少ないまたは遠い」(36.6%)が最も多く、以下、「買い物する場所がなく日常生活が不便」(24.4%)および「働く場所が少ない」(24.4%)と続く。

図 15 廿日市市外に住みたい理由



【地域別】 「廿日市地域」は「子どもの教育の問題」(28.6%)が、「大野地域」は「近所づきあい
の問題」(17.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29 歳」は「通勤・通学が不便」(54.5%)、「働く場所が少ない」(36.4%)、
「仕事の都合(転勤や転職など)」(27.3%)が、「70 歳以上」は「住宅の問題(親や子との同
居・近居など)」(20.0%)、「福祉施設が充実していない」(20.0%)、「近所づきあいの問題」
(20.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表5 廿日市市外に住みたい理由

(単位: %)

項目		通勤・ 通学が不便	遠い医 療機 関が少 ないま たは	常買生 活が不 便場所 がなく 日	働く場 所が少 ない	周りの 生活環 境が良 くなく	子ども の教育 の問題	住宅の 問題(親 や子との 同居・近 居など)	仕事の 都合(転 勤や転 職など)	福祉施 設が充 実してい ない	近所づ きあいの 問題	その他
全市 (n=41)		36.6	36.6	24.4	24.4	17.1	17.1	9.8	9.8	7.3	7.3	34.1
地域別	廿日市地域 (n=14)	35.7	21.4	21.4	21.4	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	50.0
	佐伯地域 (n=9)	44.4	66.7	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	-	-
	吉和地域 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大野地域 (n=17)	35.3	35.3	29.4	23.5	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	17.6	35.3
	宮島地域 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18～29歳 (n=11)	54.5	18.2	9.1	36.4	-	9.1	-	27.3	-	9.1	18.2
	30～39歳 (n=9)	55.6	33.3	22.2	55.6	22.2	44.4	-	11.1	-	-	22.2
	40～49歳 (n=3)	33.3	33.3	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	66.7
	50～59歳 (n=4)	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0
	60～69歳 (n=4)	-	50.0	50.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0
	70歳以上 (n=10)	20.0	40.0	30.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0	50.0

※全市+10ポイント以上に網掛け

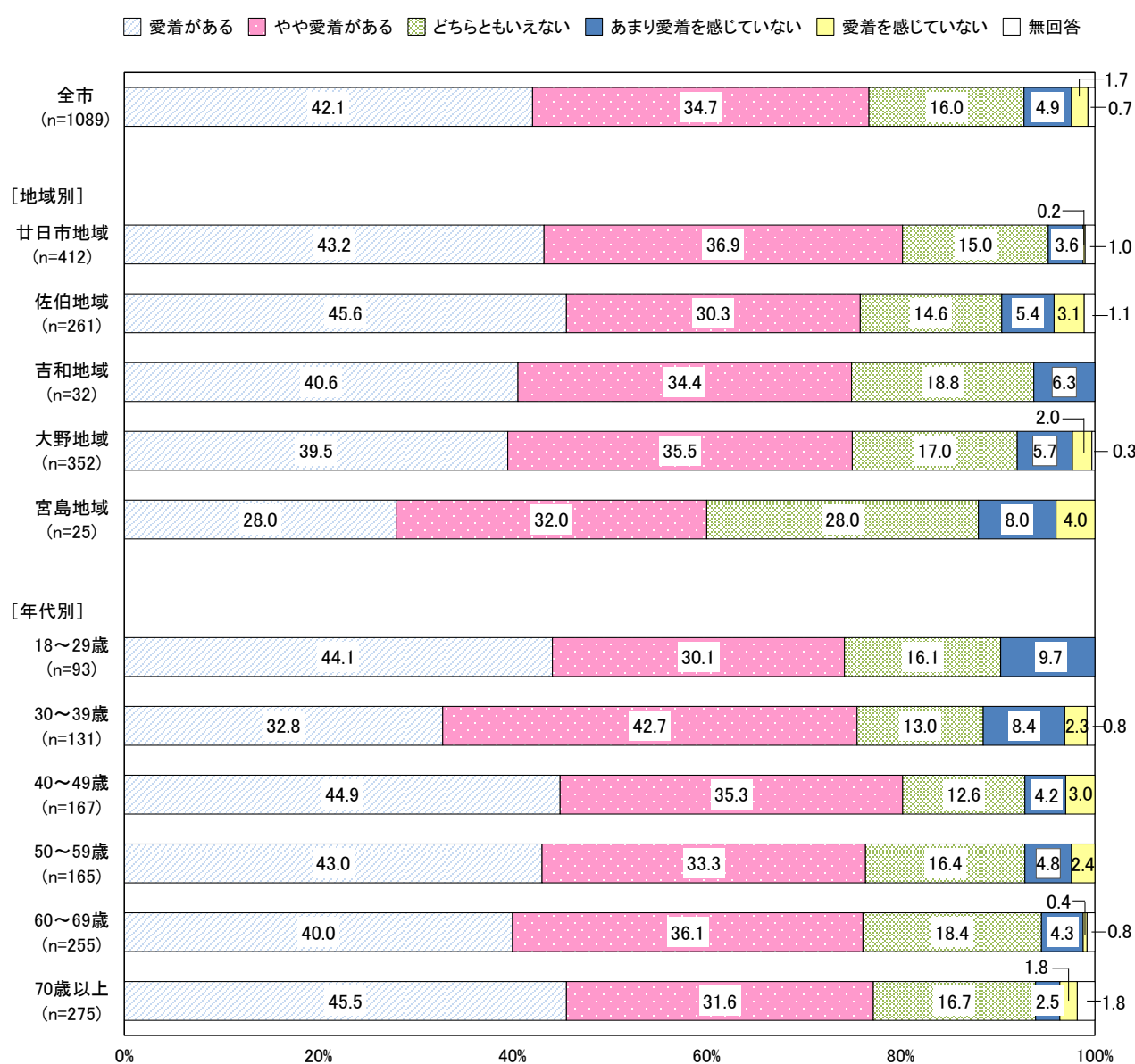
問3 あなたは、「廿日市市」に自分のまちとしての愛着がありますか。[〇は1つ]

【全体】 「廿日市市」に自分のまちとしての愛着を持っているかどうかについては、「愛着がある」(42.1%)と「やや愛着がある」(34.7%)を合わせると7割台(76.8%)を占める。

【地域別】 「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた割合は、「廿日市地域」(80.1%)が最も高く、以下、「佐伯地域」(75.9%)、「吉和地域」(75.0%)、「大野地域」(75.0%)、「宮島地域」(60.0%)と続く。

【年代別】 「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた割合は、「40～49歳」(80.2%)が最も高く、以下、「70歳以上」(77.1%)、「50～59歳」(76.3%)、「60～69歳」(76.1%)、「30～39歳」(75.5%)、「18～29歳」(74.2%)と続く。

図16 「廿日市市」への愛着



問 4 (1) あなたは、地域の運動会やとんど、秋祭りなどの行事に参加していますか。

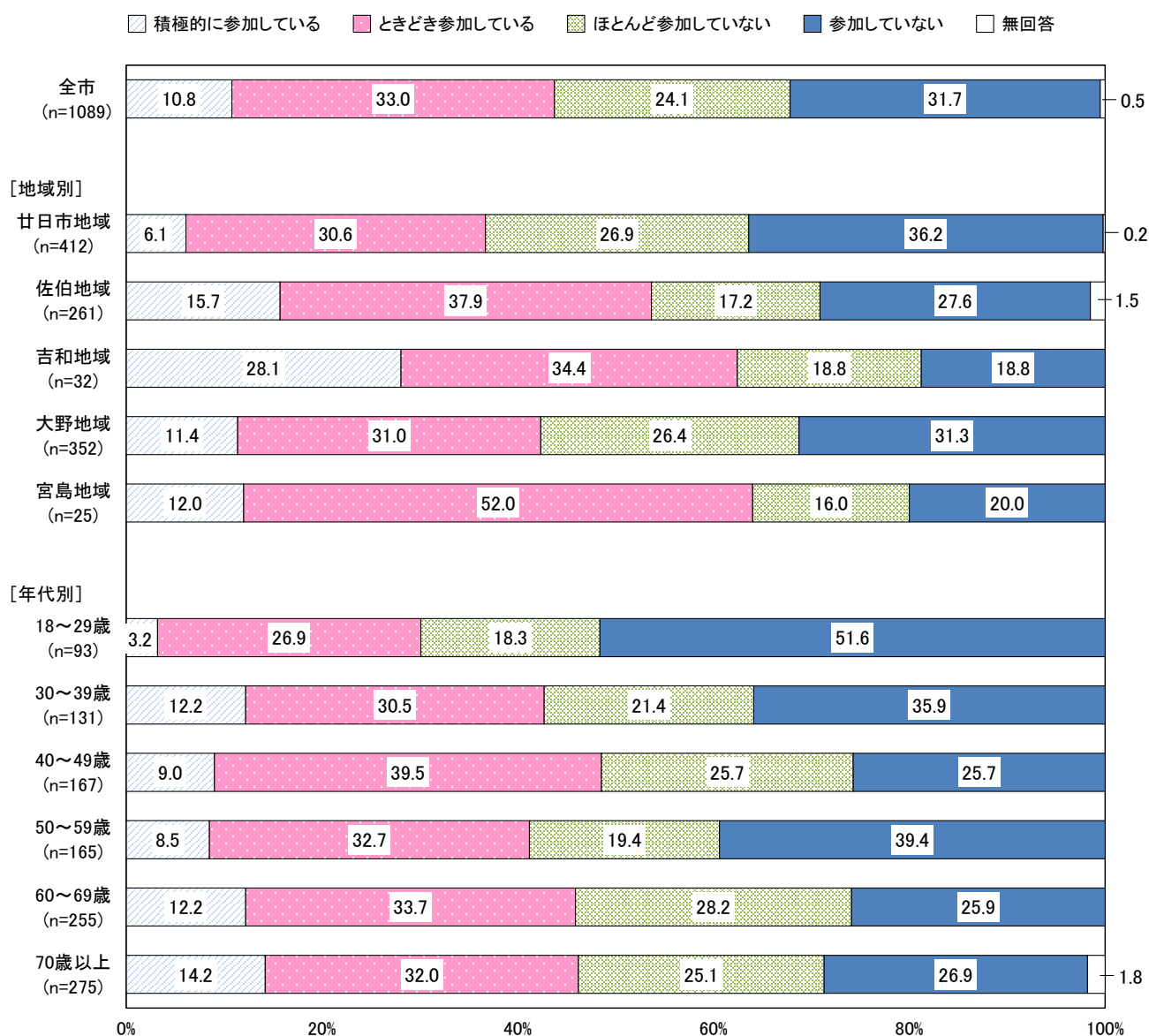
〔〇は1つ〕

〔全体〕 地域の行事に参加しているかどうかについては、「積極的に参加している」(10.8%)と「ときどき参加している」(33.0%)を合わせると4割台(43.8%)を占める。

〔地域別〕 「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「宮島地域」(64.0%)が最も高く、以下、「吉和地域」(62.5%)、「佐伯地域」(53.6%)、「大野地域」(42.4%)、「廿日市地域」(36.7%)と続く。

〔年代別〕 「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「40～49歳」(48.5%)が最も高く、以下、「70歳以上」(46.2%)、「60～69歳」(45.9%)、「30～39歳」(42.7%)、「50～59歳」(41.2%)、「18～29歳」(30.1%)と続く。

図 17 地域行事への参加



【「ほとんど参加していない」または「参加していない」を選んだ方】

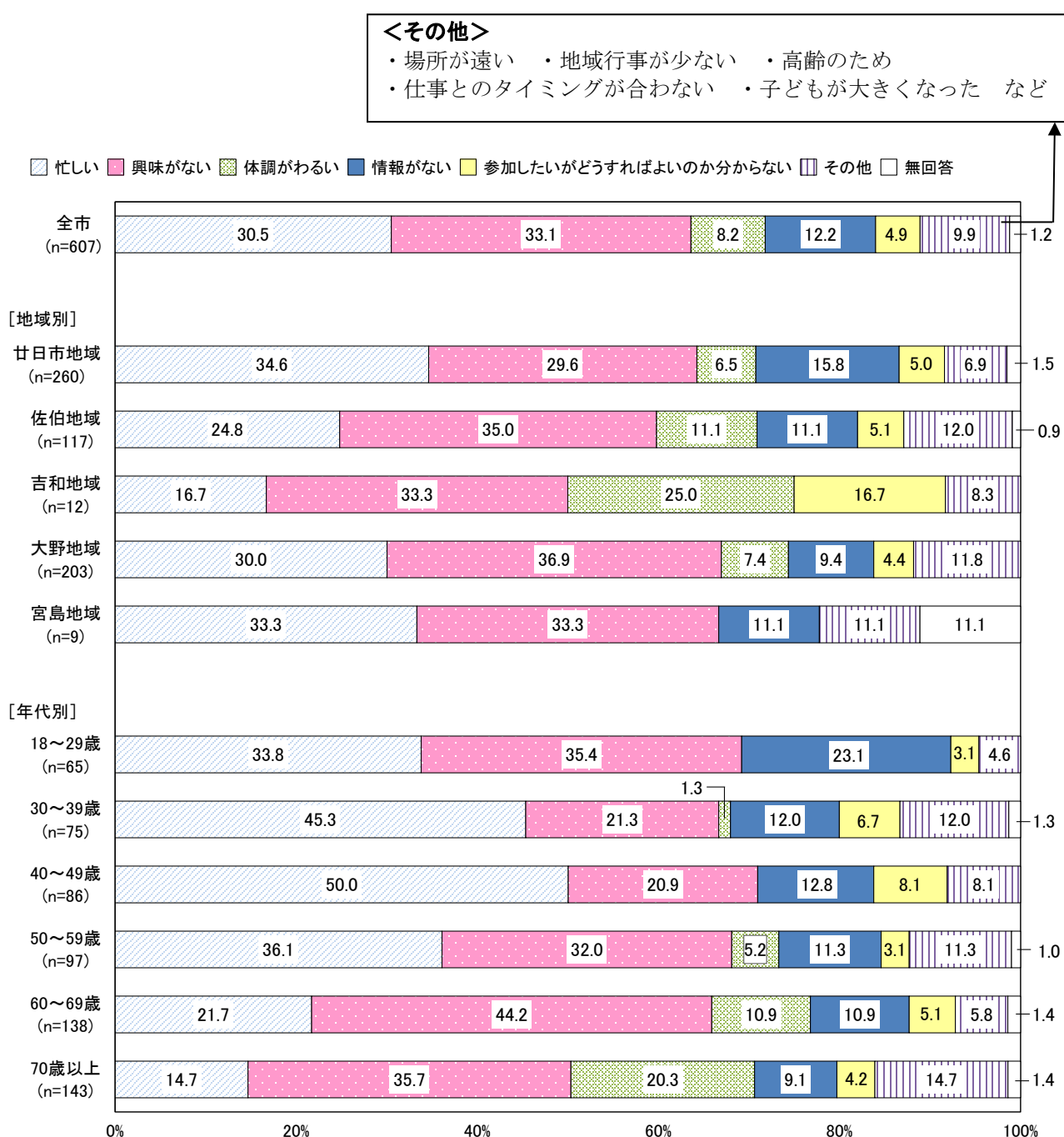
■「ほとんど参加していない」または「参加していない」を選んだ理由【〇は1つ】

【全体】 「ほとんど参加していない」または「参加していない」を選んだ理由については、「興味がない」(33.1%)が最も多く、「忙しい」(30.5%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「吉和地域」は「体調がわるい」(25.0%)が「全市」より10ポイント以上高く、「忙しい」(16.7%)が「全市」より10ポイント以上低い。

【年代別】 「18～29歳」は「情報がない」(23.1%)が、「30～49歳」は「忙しい」(30～39歳：45.3%、40～49歳：50.0%)が、「60～69歳」は「興味がない」(44.2%)が、「70歳以上」は「体調が悪い」(20.3%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 18 地域行事に参加しない理由



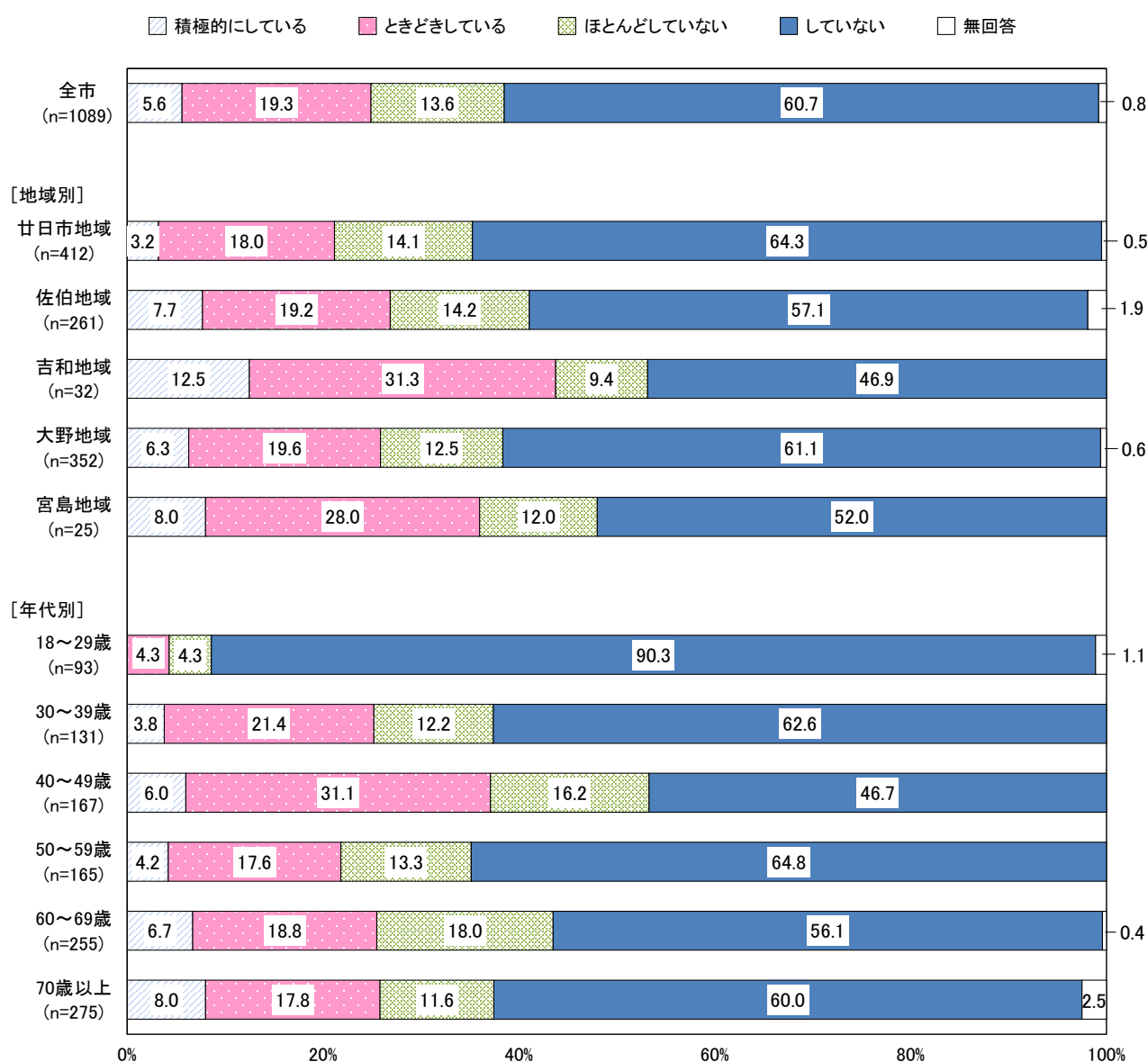
問 4 (2) あなたは、地域の高齢者のサロン、子どもや高齢者の見守り、地域・PTA・子ども会などの役員など、地域の支え手としての活動をしていますか。[○は1つ]

[全体] 地域の支え手として活動しているかどうかについては、「積極的にしている」(5.6%)と「ときどきしている」(19.3%)を合わせると2割台(24.9%)を占める。

[地域別] 「積極的にしている」と「ときどきしている」を合わせた割合は、「吉和地域」(43.8%)が最も高く、以下、「宮島地域」(36.0%)、「佐伯地域」(26.9%)、「大野地域」(25.9%)、「廿日市地域」(21.2%)と続く。

[年代別] 「積極的にしている」と「ときどきしている」を合わせた割合は、「40～49 歳」(37.1%)が最も高く、以下、「70 歳以上」(25.8%)、「60～69 歳」(25.5%)、「30～39 歳」(25.2%)、「50～59 歳」(21.8%)、「18～29 歳」(4.3%)と続く。

図 19 地域の支え手としての活動



【「ほとんどしていない」または「していない」を選んだ方】

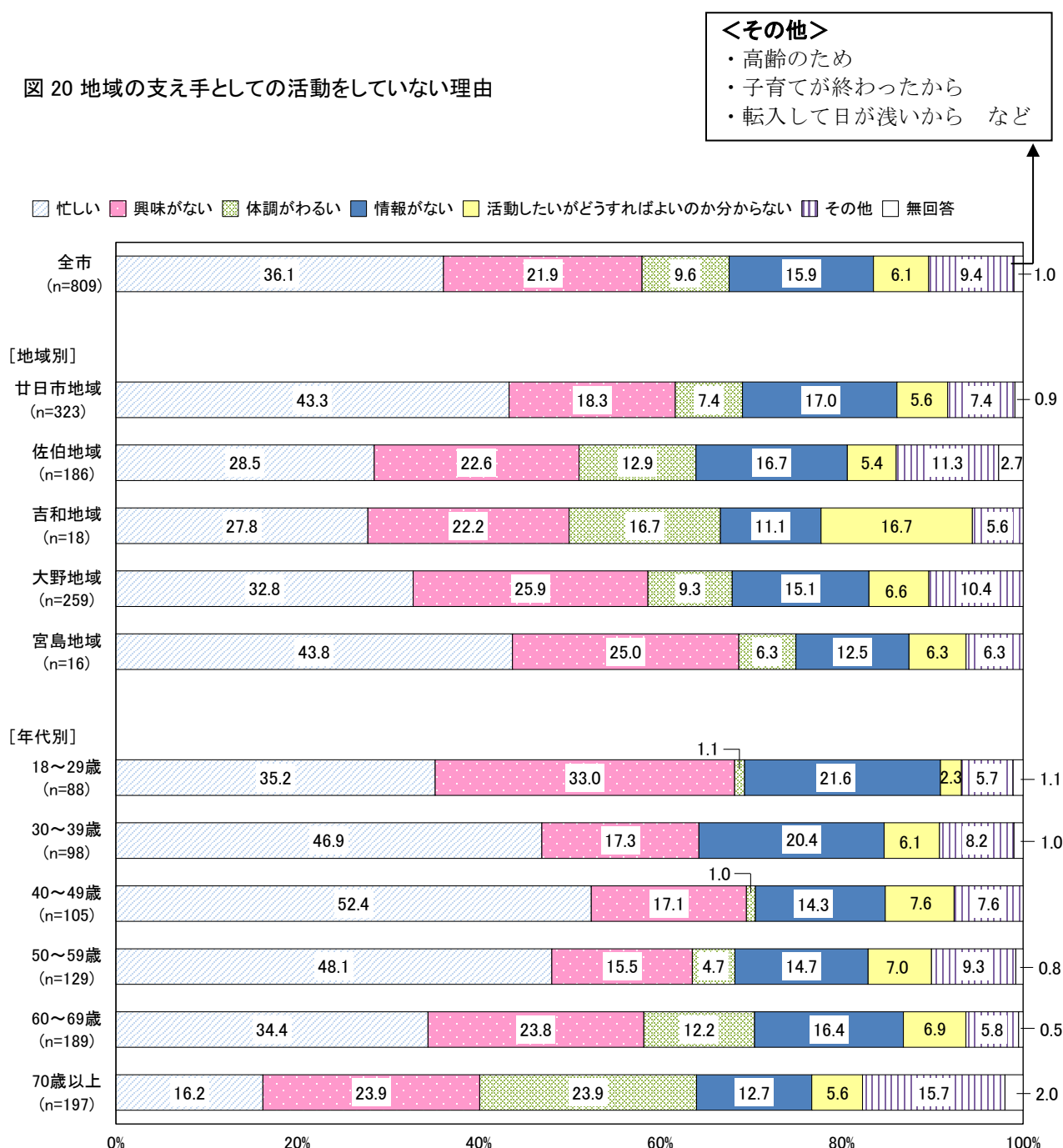
■「ほとんどしていない」または「していない」を選んだ理由【〇は1つ】

【全体】 「ほとんどしていない」または「していない」を選んだ理由については、「忙しい」(36.1%)が最も多く、「興味がない」(21.9%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「吉和地域」は「活動したいがどうすればよいのか分からない」(16.7%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29 歳」は「興味がない」(33.0%)が、「30～49 歳」は「忙しい」(30 歳～39 歳：46.9%、40 歳～49 歳：52.4%)が、「70 歳以上」は「体調が悪い」(23.9%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 20 地域の支え手としての活動をしていない理由



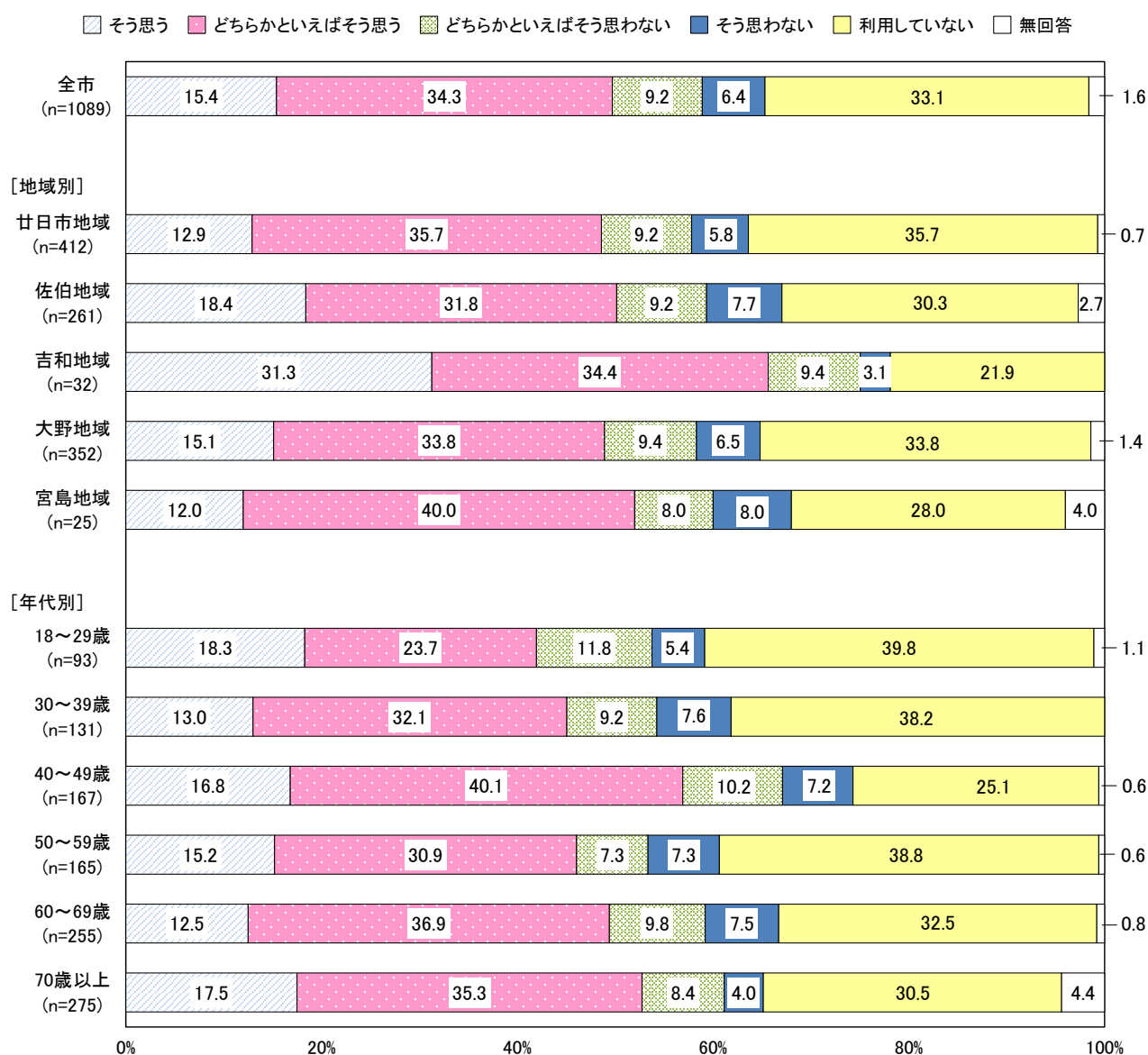
問 4 (3) あなたは、まちづくり活動の拠点として、地域の市民センターが利用しやすいと思いますか。[〇は1つ]

[全体] まちづくり活動の拠点として地域の市民センターが利用しやすいと思うかどうかについては、「そう思う」(15.4%)と「どちらかといえばそう思う」(34.3%)を合わせると4割台(49.7%)を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(65.7%)が最も高く、以下、「宮島地域」(52.0%)、「佐伯地域」(50.2%)、「大野地域」(48.9%)、「廿日市地域」(48.6%)と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「40～49 歳」(56.9%)が最も高く、以下、「70 歳以上」(52.8%)、「60～69 歳」(49.4%)、「50～59 歳」(46.1%)、「30～39 歳」(45.1%)、「18～29 歳」(42.0%)と続く。

図 21 市民センターの利用しやすさ

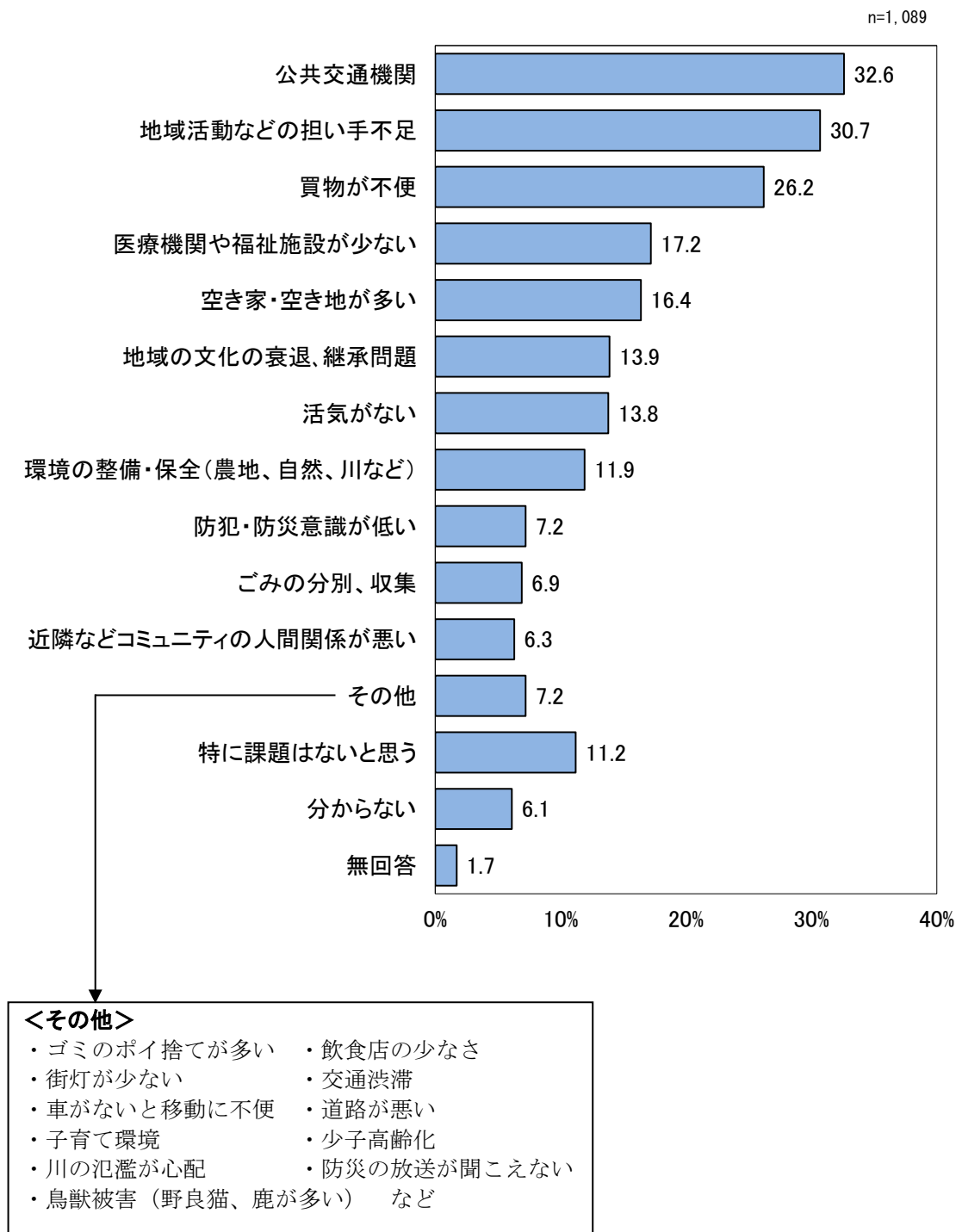


問5(1) あなたは、自分が住んでいる地域にどのような課題があると思いますか。

〔〇は3つまで〕

〔全体〕 自分が住んでいる地域にどのような課題があるかについては、「公共交通機関」(32.6%)が最も多く、以下、「地域活動などの担い手不足」(30.7%)、「買物が不便」(26.2%)と続く。

図 22 どのような地域課題があると思うか



【地域別】 「吉和地域」は「買物が不便」(59.4%)と「空き家・空き地が多い」(50.0%)が「全市」より30ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」と「40～49歳」は「公共交通機関」(18～29歳：37.6%、40～49歳：37.7%)が、「30～39歳」は「医療機関や福祉施設が少ない」(25.2%)が、「60～69歳」は「地域活動などの担い手不足」(36.9%)が「全市」より5ポイント以上高い。

表6 どのような地域課題があると思うか

(単位：%)

項目	公共交通機関	地域活動などの担い手不足	買物が不便	医療機関や福祉施設が少ない	空き家・空き地が多い	地域の文化の衰退、継承問題	活気がない	環境の整備・保全(農地、自然、川など)	防犯・防災意識が低い	ごみの分別、収集	近隣などコミュニケーションの悪化	その他	特に課題はないと思う	分からない	無回答
全市 (n=1089)	32.6	30.7	26.2	17.2	16.4	13.9	13.8	11.9	7.2	6.9	6.3	7.2	11.2	6.1	1.7
地域別															
廿日市地域 (n=412)	27.4	28.4	18.9	9.7	7.5	15.3	13.6	12.6	8.3	6.1	5.3	8.3	16.0	6.6	1.7
佐伯地域 (n=261)	47.5	34.9	29.1	28.4	31.8	11.9	17.6	15.7	6.5	3.1	7.3	5.4	3.1	4.2	2.3
吉和地域 (n=32)	18.8	53.1	59.4	9.4	50.0	15.6	12.5	12.5	-	-	3.1	3.1	6.3	-	6.3
大野地域 (n=352)	27.8	28.7	27.6	17.6	10.2	13.4	11.1	8.2	7.7	11.4	7.4	7.7	12.8	7.4	0.6
宮島地域 (n=25)	44.0	32.0	56.0	24.0	44.0	12.0	12.0	12.0	-	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
年代別															
18～29歳 (n=93)	37.6	17.2	29.0	15.1	14.0	12.9	14.0	7.5	7.5	9.7	2.2	5.4	12.9	6.5	-
30～39歳 (n=131)	36.6	28.2	26.0	25.2	13.7	14.5	9.2	8.4	4.6	6.1	4.6	13.7	8.4	6.1	0.8
40～49歳 (n=167)	37.7	31.1	16.8	13.2	14.4	13.2	12.0	12.0	8.4	6.0	4.8	13.8	13.2	7.2	-
50～59歳 (n=165)	30.3	29.7	23.0	19.4	20.6	13.9	12.7	12.7	5.5	3.0	4.8	6.1	10.9	9.7	0.6
60～69歳 (n=255)	34.1	36.9	28.6	16.1	19.2	16.5	14.9	14.9	6.7	9.8	7.5	3.1	9.8	4.3	0.4
70歳以上 (n=275)	25.5	31.3	30.5	16.4	14.9	11.6	16.7	12.0	9.1	6.5	9.5	4.7	12.4	4.7	5.5

※全市+10ポイント以上に網掛け

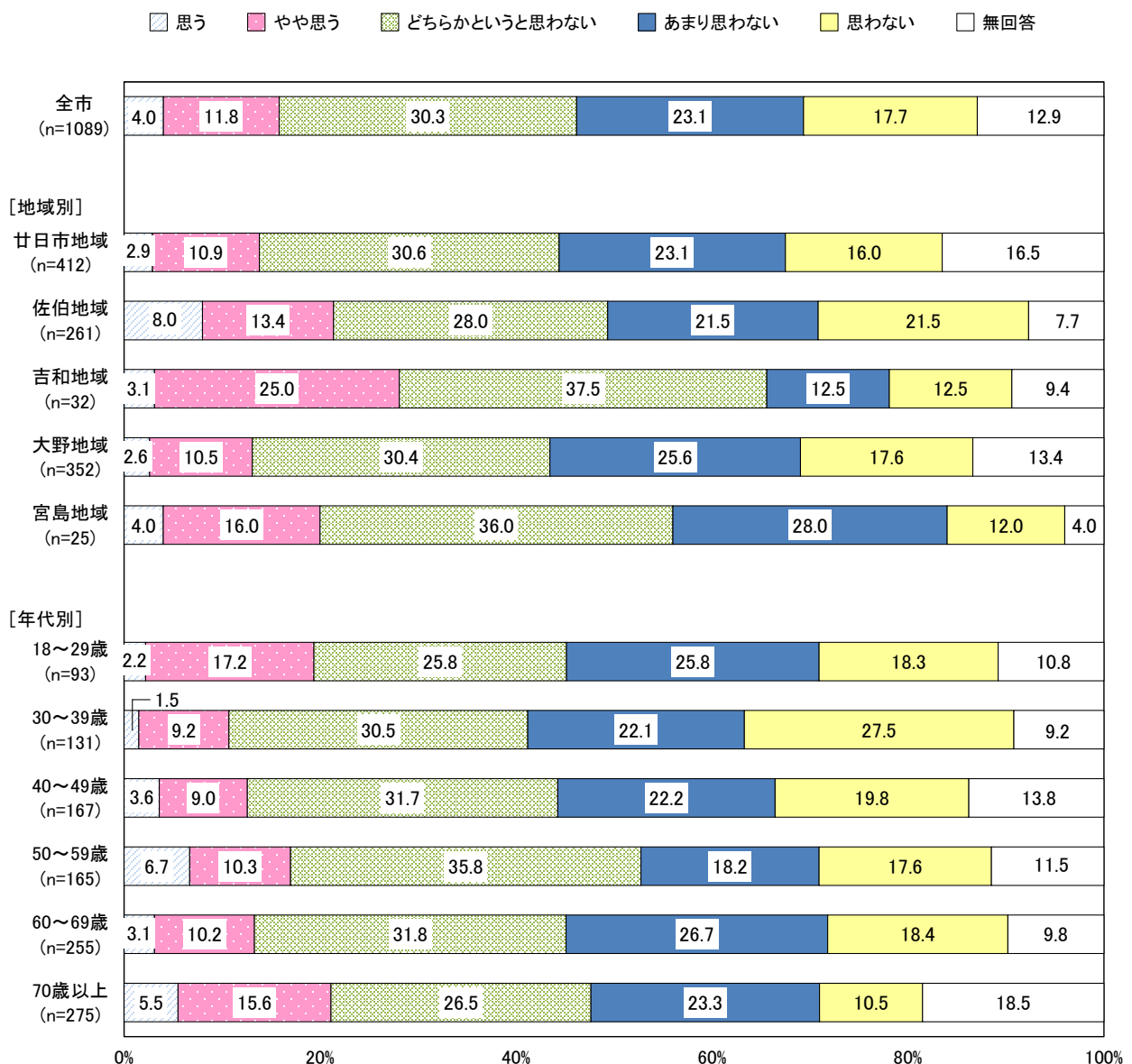
問 5 (2) あなたは、地域の課題を地域の住民で、解決に向けて取り組んでいると思いますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 地域の課題を地域で主体的に解決できていると感じるかどうかについては、「思う」(4.0%)と「やや思う」(11.8%)を合わせると1割台(15.8%)を占める。

〔地域別〕 「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(28.1%)が最も高く、以下、「佐伯地域」(21.4%)、「宮島地域」(20.0%)、「廿日市地域」(13.8%)、「大野地域」(13.1%)と続く。

〔年代別〕 「思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「70 歳以上」(21.1%)が最も高く、以下、「18～29 歳」(19.4%)、「50～59 歳」(17.0%)、「60～69 歳」(13.3%)、「40～49 歳」(12.6%)、「30～39 歳」(10.7%)と続く。

図 23 地域課題の解決に向けて取り組んでいると思うか



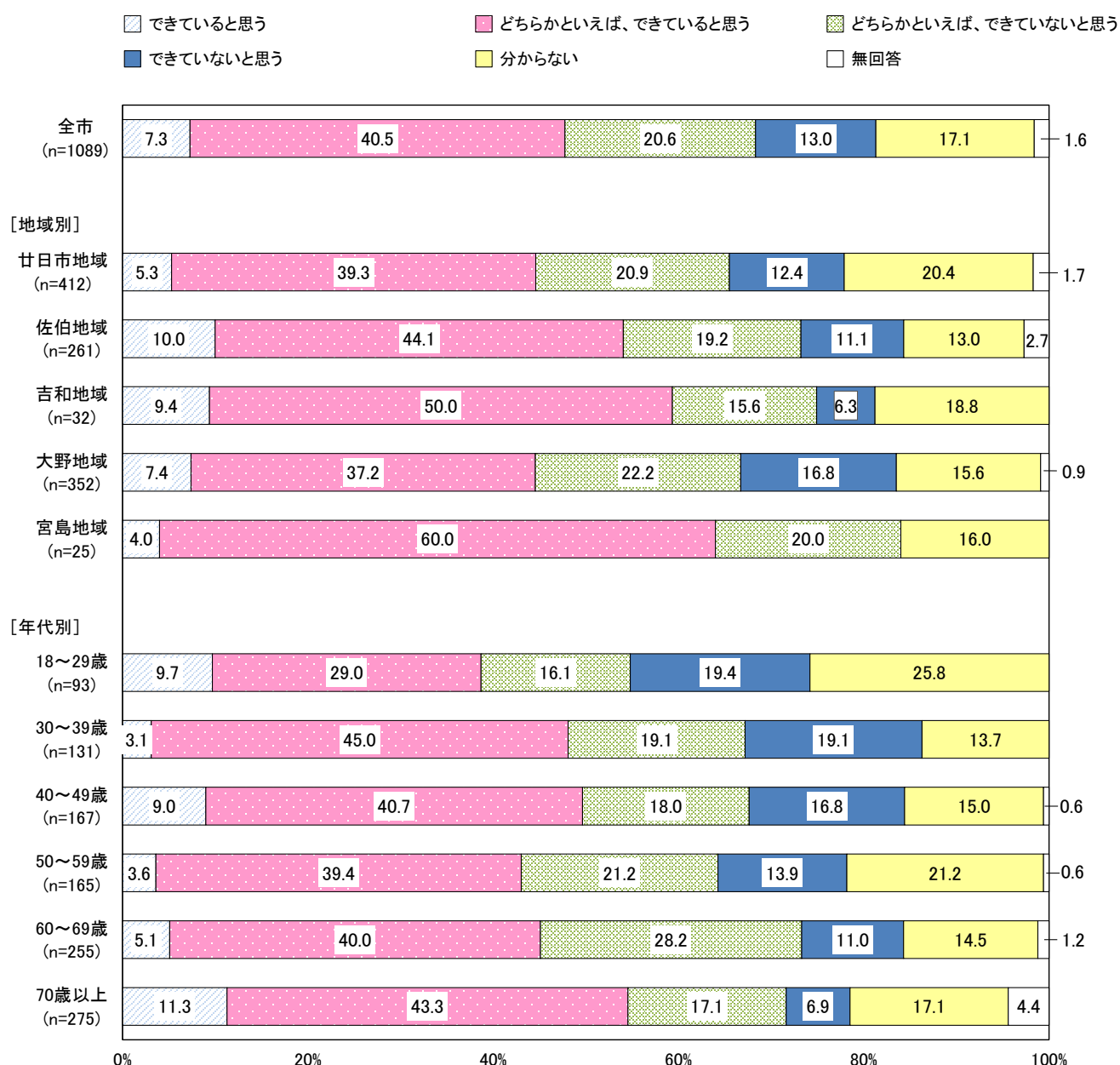
問 6 (1) あなたは、普段の生活で地域の助け合いができていますか。[〇は1つ]

【全体】 普段の生活の中で地域の助け合いができていますかどうかについては、「できていると思う」(7.3%)と「どちらかといえば、できていると思う」(40.5%)を合わせると4割台(47.8%)を占める。

【地域別】 「できていると思う」と「どちらかといえば、できていると思う」を合わせた割合は、「宮島地域」(64.0%)が最も高く、以下、「吉和地域」(59.4%)、「佐伯地域」(54.1%)、「大野地域」(44.6%)、「廿日市地域」(44.6%)と続く。

【年代別】 「できていると思う」と「どちらかといえば、できていると思う」を合わせた割合は、「70 歳以上」(54.6%)が最も高く、以下、「40～49 歳」(49.7%)、「30～39 歳」(48.1%)、「60～69 歳」(45.1%)、「50～59 歳」(43.0%)、「18～29 歳」(38.7%)と続く。

図 24 地域の助け合いができていますか



【「できていると思う」または「どちらかといえば、できていると思う」を選んだ方】

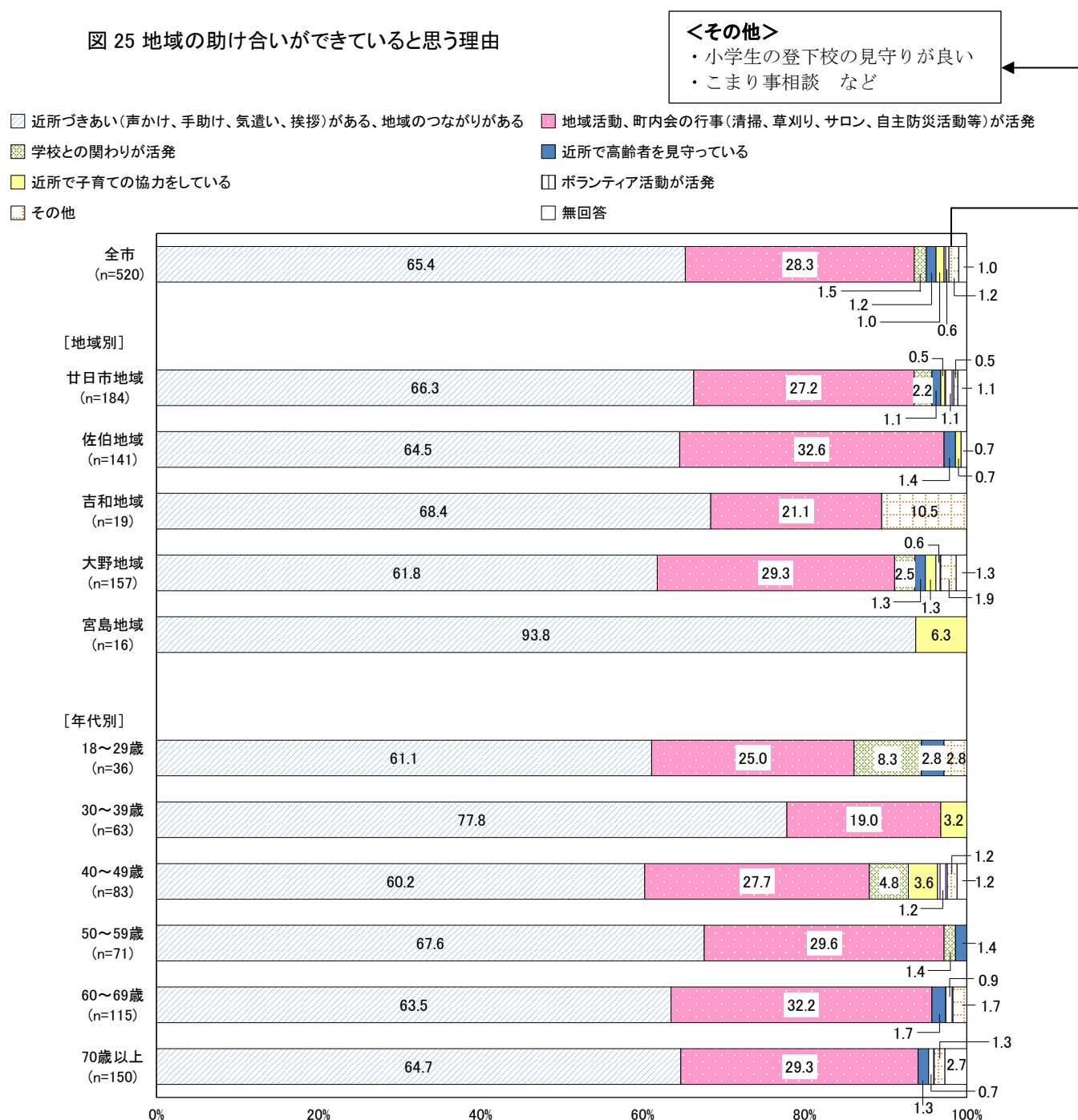
■「できていると思う」または「どちらかといえば、できていると思う」を選んだ理由【○は1つ】

【全体】 普段の生活の中で地域の助け合いが「できていると思う」または「どちらかといえば、できていると思う」を選んだ理由については、「近所づきあい（声かけ、手助け、気遣い、挨拶）がある、地域のつながりがある」（65.4%）が最も多く、「地域活動、町内会の行事（清掃、草刈り、サロン、自主防災活動等）が活発」（28.3%）がそれに次ぐ。

【地域別】 「宮島地域」は「近所づきあい（声かけ、手助け、気遣い、挨拶）がある、地域のつながりがある」（93.8%）が「全市」より 20 ポイント以上高い。

【年代別】 「30～39 歳」は「近所づきあい（声かけ、手助け、気遣い、挨拶）がある、地域のつながりがある」（77.8%）が「全市」より 10 ポイント以上高い。

図 25 地域の助け合いができていると思う理由



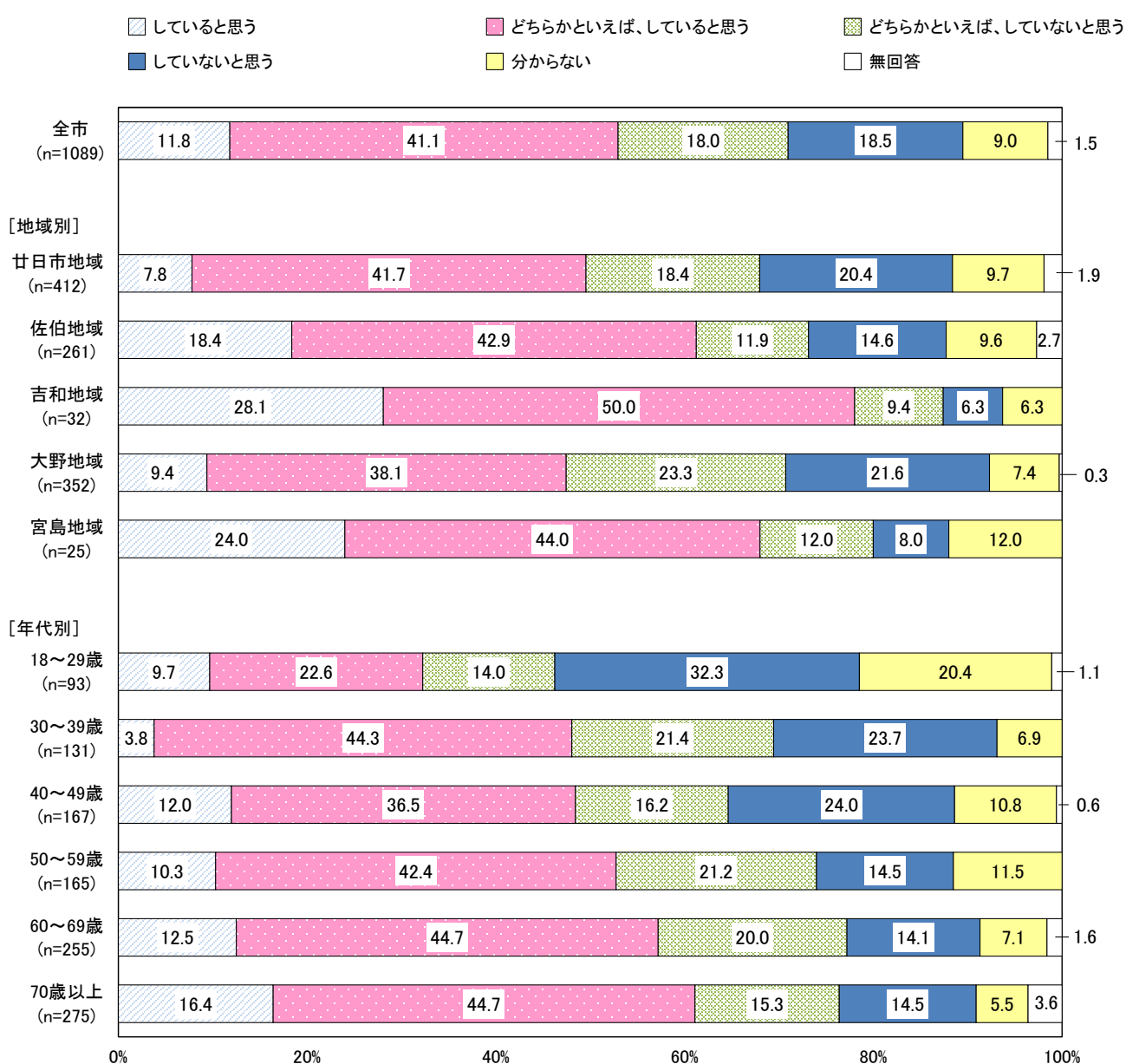
問 6 (2) あなたは、普段の生活で近所の人と困ったときに助け合うような付き合いをしていますか。[〇は1つ]

[全体] 普段の生活の中で困った時に助け合うような付き合いをしているかどうかについては、「していると思う」(11.8%)と「どちらかといえば、していると思う」(41.1%)を合わせると5割台(52.9%)を占める。

[地域別] 「していると思う」と「どちらかといえば、していると思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(78.1%)が最も高く、以下、「宮島地域」(68.0%)、「佐伯地域」(61.3%)、「廿日市地域」(49.5%)、「大野地域」(47.5%)と続く。

[年代別] 「していると思う」と「どちらかといえば、していると思う」を合わせた割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られる。

図 26 困った時に助け合うような付き合い



【「どちらかといえば、していないと思う」または「していないと思う」を選んだ方】

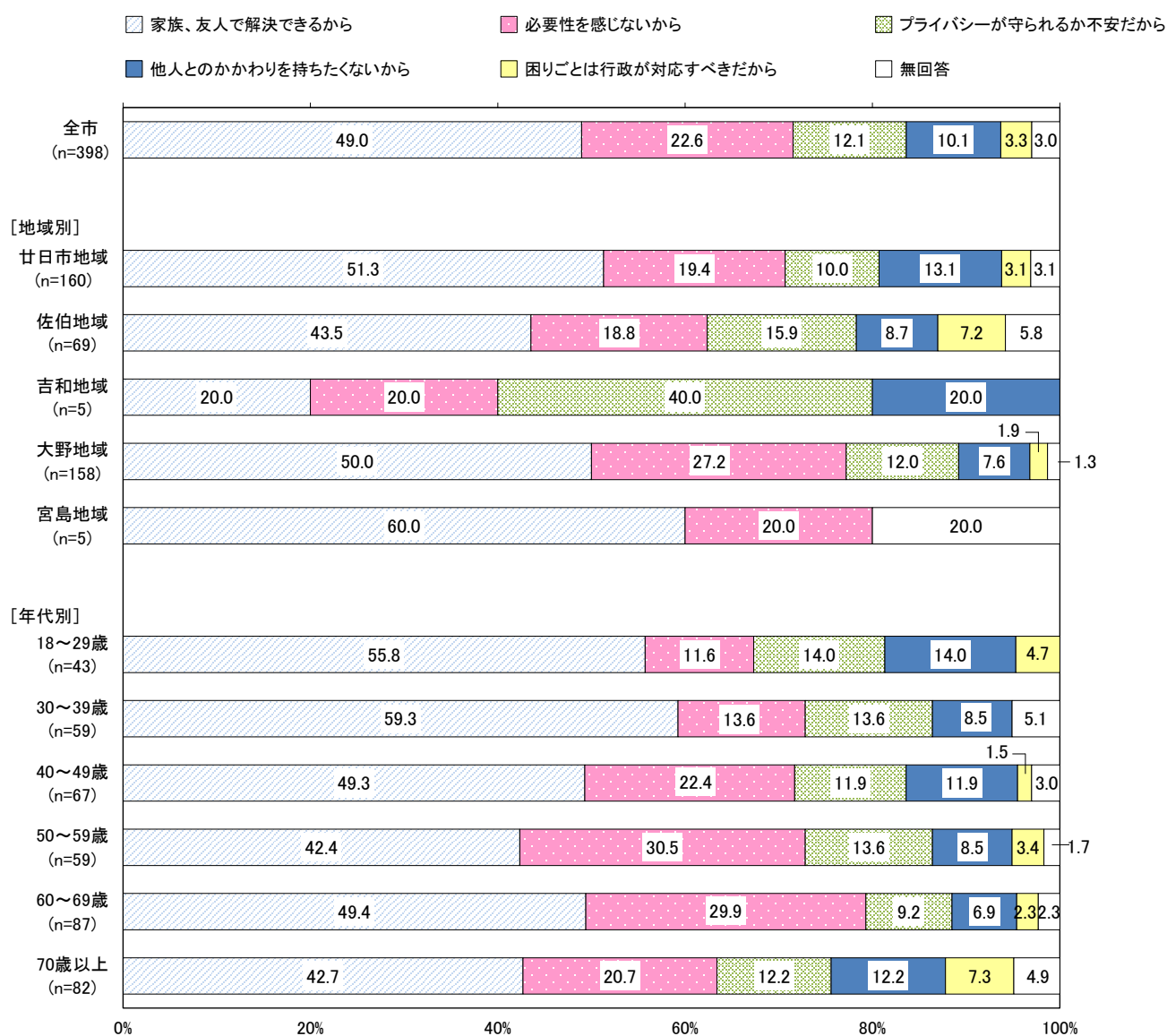
■「どちらかといえば、していないと思う」または「していないと思う」を選んだ理由【○は1つ】

【全体】 普段の生活の中で困った時に助け合うような付き合いをしていないと思う理由については、「家族、友人で解決できるから」(49.0%)が最も多く、「必要性を感じないから」(22.6%)がそれに次ぐ。

【地域別】 「佐伯地域」は「家族、友人で解決できるから」(43.5%)が「全市」より5ポイント以上低い。

【年代別】 「18～29歳」は「必要性を感じないから」(11.6%)が「全市」より10ポイント以上低い。

図 27 助け合うような付き合いをしていないと思う理由



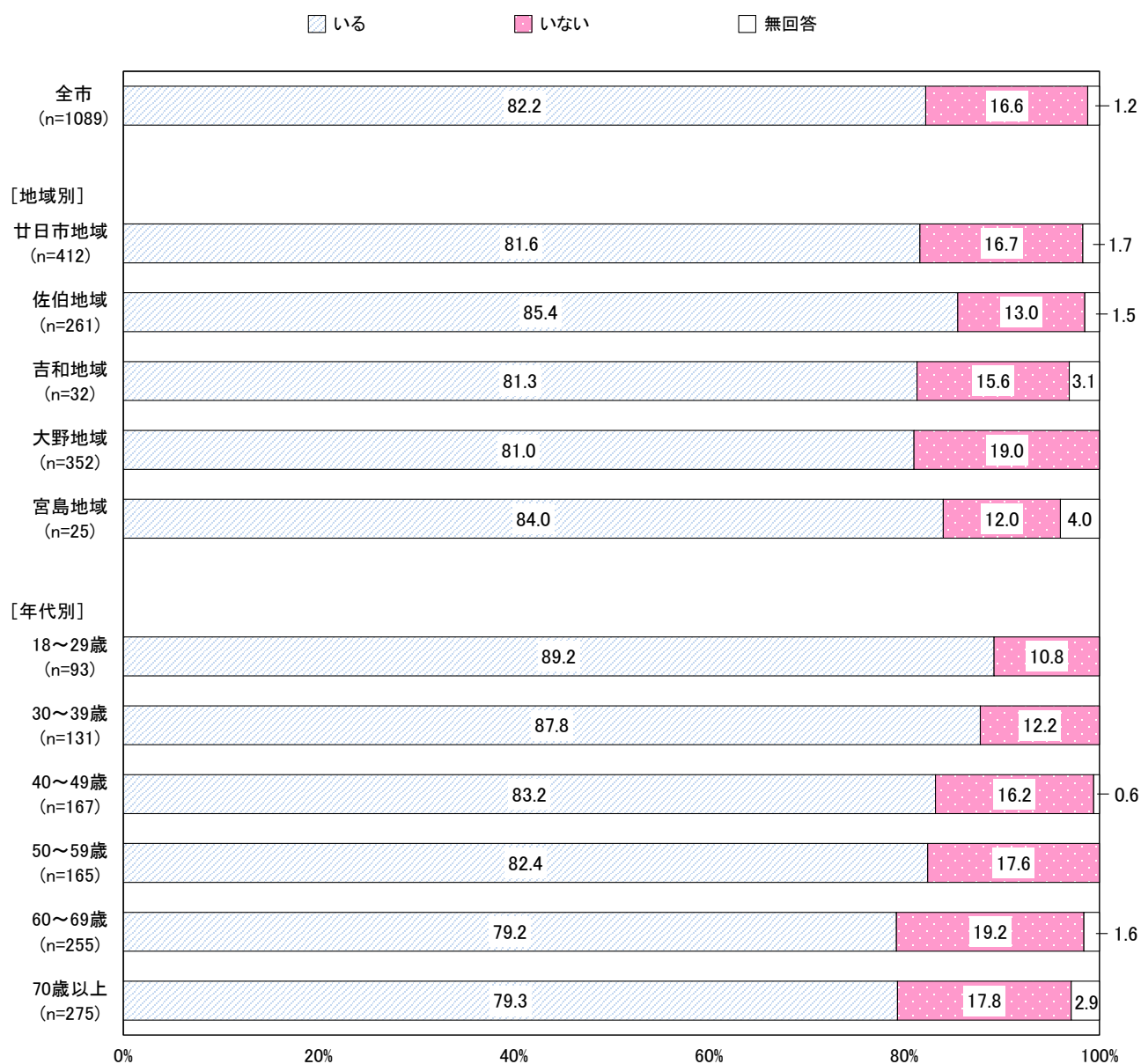
問 6 (3) あなたは、普段の生活の中で困りごとを相談したり、助けてもらったりする人がいますか。[○は1つ]

[全体] 普段の生活の中で困ったときに助けてもらえる人がいるかどうかについては、「いる」(82.2%)が8割台を占める。

[地域別] 地域による顕著な差異は見られない。

[年代別] 年齢が上がるほど「いない」の割合が高くなる傾向が見られる。

図 28 困ったときに助けてくれる人の有無

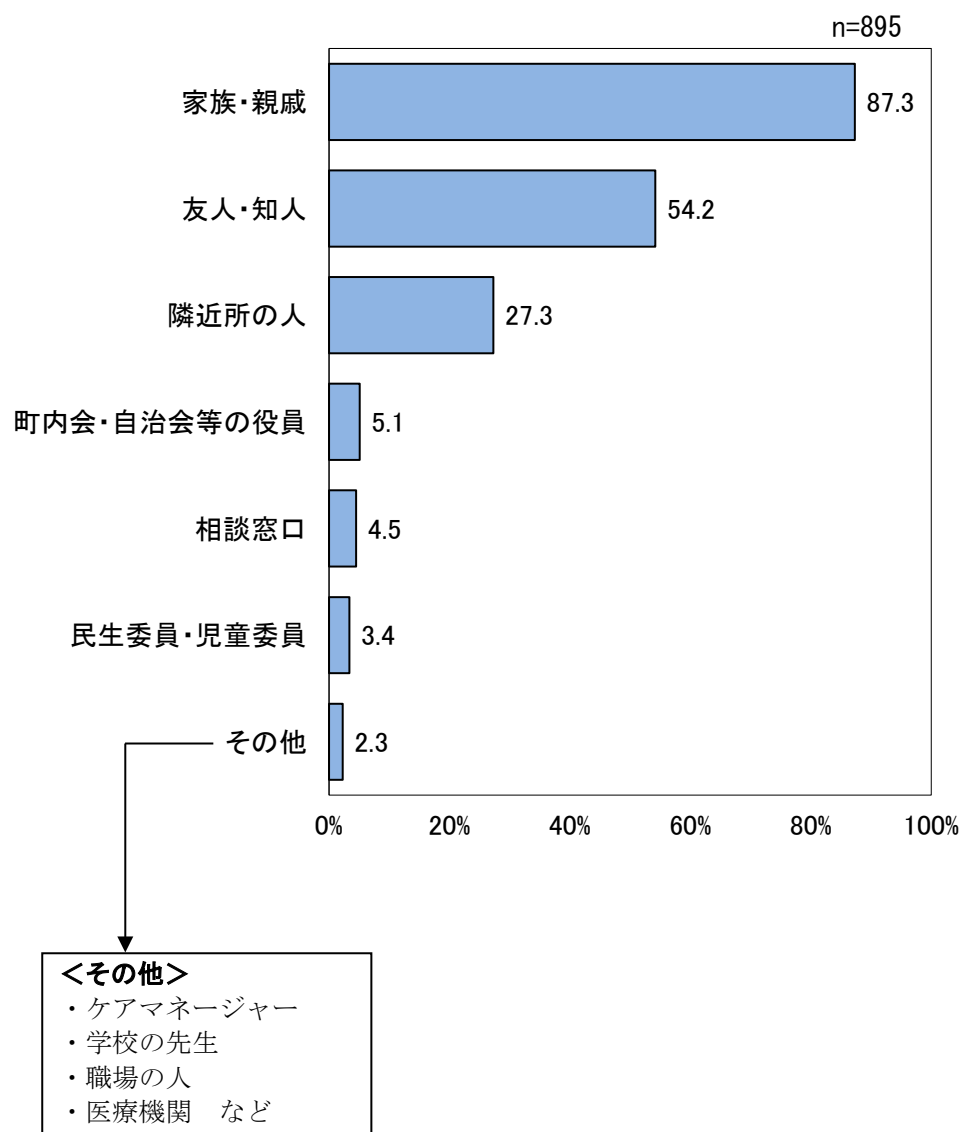


【「いる」を選んだ方】

■「いる」を選んだ方は、それは誰ですか。【あてはまる全てに○】

【全体】 普段の生活の中で困ったときに助けてもらえる人が誰かについては、「家族・親戚」(87.3%)が最も多く 8 割台を占め、以下、「友人・知人」(54.2%)、「隣近所の人」(27.3%)と続く。

図 29 困ったときに助けてくれる人は誰か



[地域別] 「吉和地域」は「隣近所の人」(42.3%)と「相談窓口」(19.2%)が「全市」より 10 ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「隣近所の人」(6.0%)が、「70歳以上」は「友人・知人」(40.8%)が「全市」より 10 ポイント以上低い。

表7 困ったときに助けてくれる人は誰か

(単位: %)

項目		家族・親戚	友人・知人	隣近所の人	町内会・自治会等の役員	相談窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
全市 (n=895)		87.3	54.2	27.3	5.1	4.5	3.4	2.3	-
地域別	廿日市地域 (n=336)	89.0	58.0	26.2	4.5	4.8	1.8	1.8	-
	佐伯地域 (n=223)	85.2	50.2	28.3	6.3	4.5	3.6	1.3	-
	吉和地域 (n=26)	88.5	57.7	42.3	3.8	19.2	11.5	3.8	-
	大野地域 (n=285)	87.4	52.6	26.7	4.9	2.5	4.2	3.2	-
	宮島地域 (n=21)	81.0	57.1	23.8	4.8	9.5	4.8	9.5	-
年代別	18～29歳 (n=83)	90.4	62.7	6.0	-	2.4	1.2	3.6	-
	30～39歳 (n=115)	95.7	63.5	26.1	2.6	2.6	0.9	-	-
	40～49歳 (n=139)	91.4	59.7	25.2	4.3	6.5	1.4	2.2	-
	50～59歳 (n=136)	87.5	55.9	30.1	8.8	6.6	0.7	2.2	-
	60～69歳 (n=202)	85.1	55.0	30.7	5.9	4.0	4.5	3.0	-
	70歳以上 (n=218)	80.7	40.8	32.6	5.5	4.1	7.3	2.8	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問7 あなたは、自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするための取組に参加したいと思いますか。〔〇は1つ〕

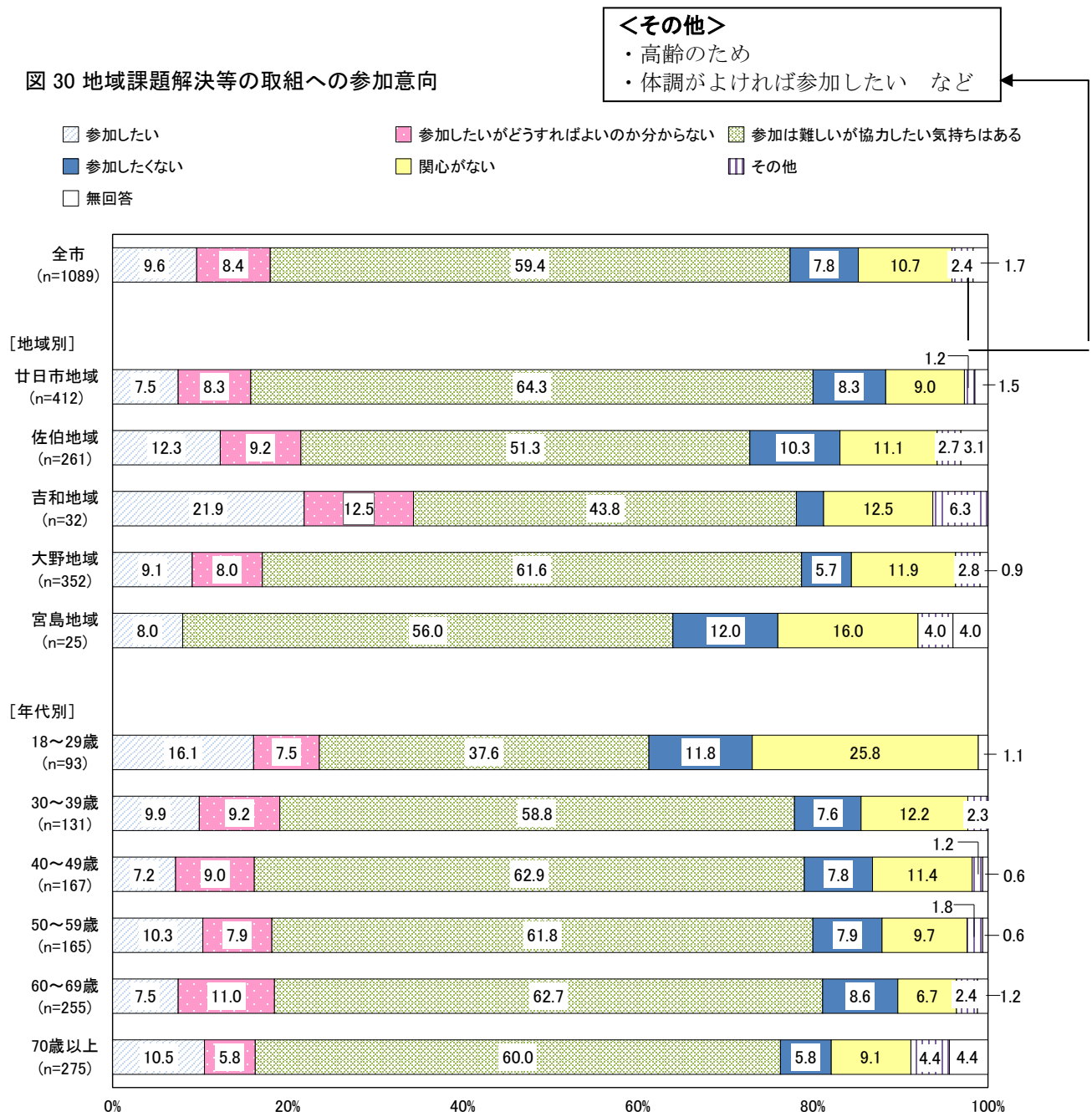
〔全体〕 自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするための取組に参加したいかどうかについては、「参加したい」(9.6%)と「参加したいがどうすればいいのかわからない」(8.4%)を合わせた18.0%が参加の意向を持っている。

また、「参加は難しいが協力したい気持ちはある」(59.4%)が約6割を占める。

〔地域別〕 「参加したい」と「参加したいがどうすればいいのかわからない」を合わせた割合が最も高いのは「吉和地域」(34.4%)で、以下、「佐伯地域」(21.5%)、「大野地域」(17.1%)、「廿日市地域」(15.8%)、「宮島地域」(8.0%)と続く。

〔年代別〕 「参加したい」と「参加したいがどうすればいいのかわからない」を合わせた割合が最も高いのは「18～29歳」(23.6%)で、以下、「30～39歳」(19.1%)、「60～69歳」(18.5%)、「50～59歳」(18.2%)、「70歳以上」(16.3%)、「40～49歳」(16.2%)と続く。

図30 地域課題解決等の取組への参加意向



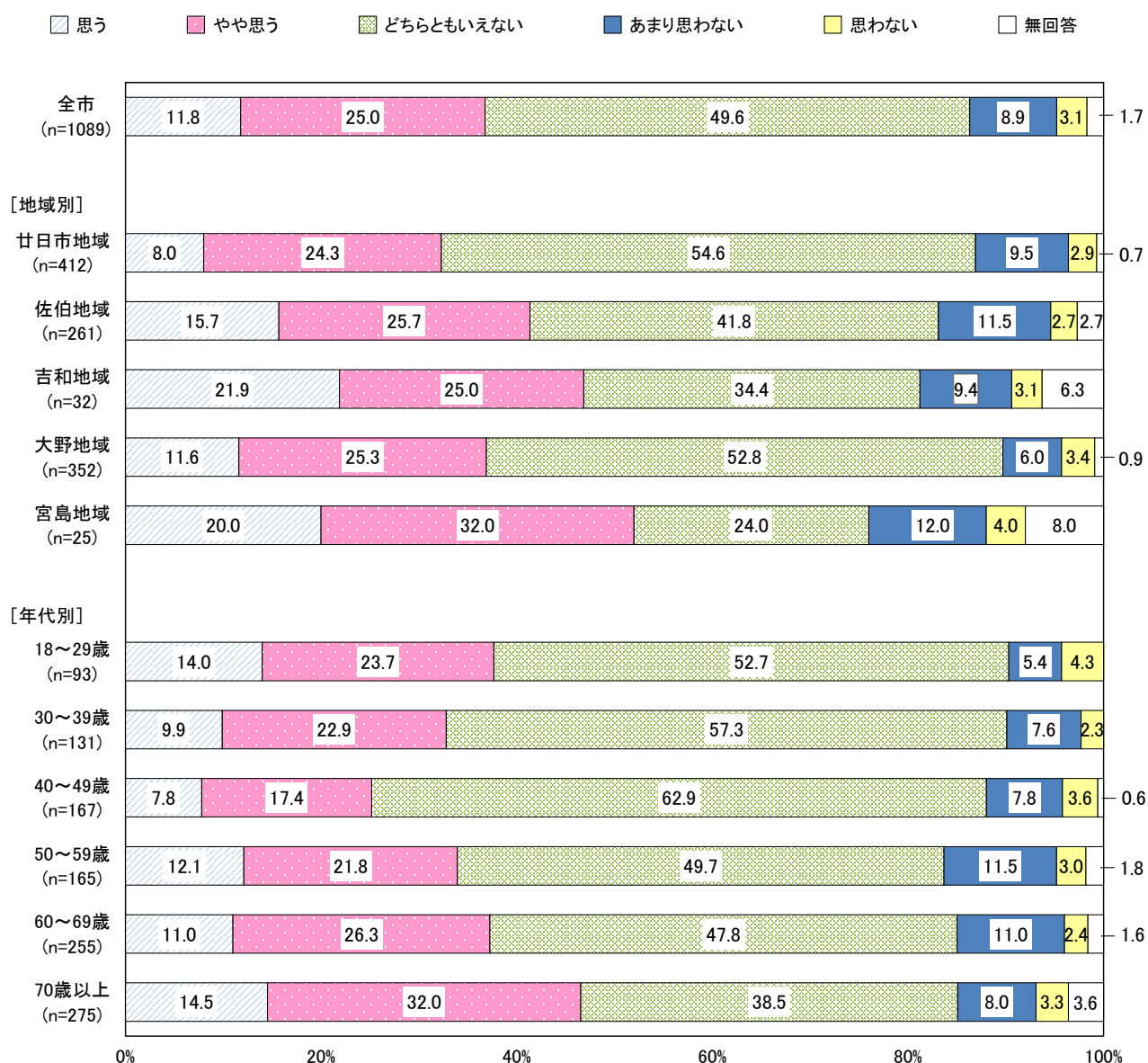
問 8 あなたは、福祉・介護に関するサービス（高齢者や障がい者に関するサービス）が適正に提供されていると思いますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 福祉・介護に関するサービスが適正に提供されているかどうかについては、「どちらともいえない」（49.6%）が最も多い。「思う」（11.8%）と「やや思う」（25.0%）を合わせると3割台（36.8%）を占める。

〔地域別〕 「吉和地域」と「宮島地域」は、「思う」と「やや思う」を合わせた割合（吉和地域：46.9%、宮島地域：52.0%）が、「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「思う」と「やや思う」を合わせた割合が、「40～49歳」（25.2%）は「全市」より10ポイント以上低い。

図 31 福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思うか



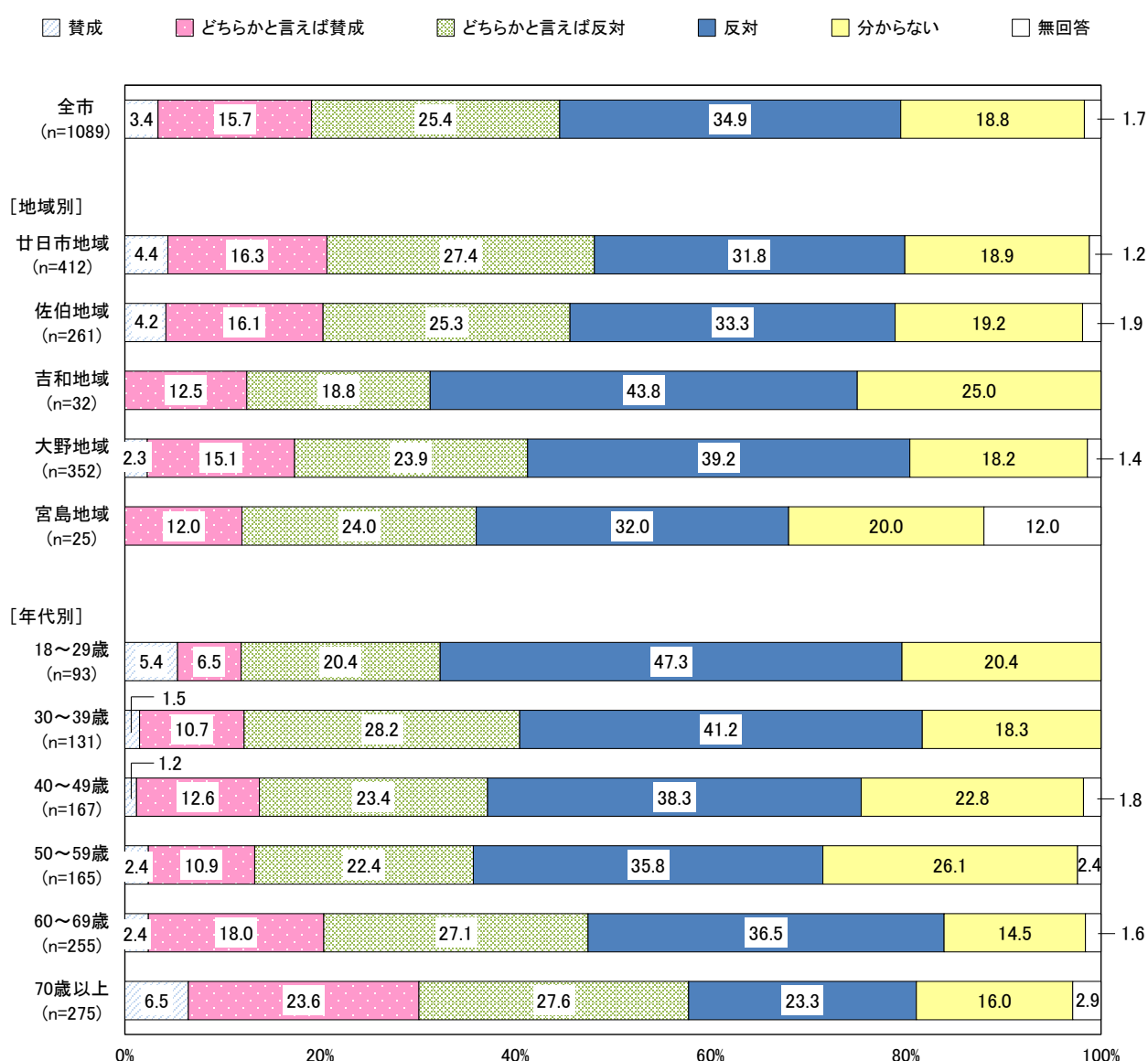
問9 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対してどう思いますか。[〇は1つ]

[全体] 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「反対」(34.9%)と「どちらかと言えば反対」(25.4%)を合わせると6割台(60.3%)を占め、「賛成」(3.4%)と「どちらかと言えば賛成」(15.7%)を合わせた割合は、約2割(19.1%)に留まっている。

[地域別] 「吉和地域」は「反対」(43.8%)が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 「70歳以上」は「賛成」(6.5%)と「どちらかと言えば賛成」(23.6%)を合わせた割合(30.1%)が、「全市」より10ポイント以上高い。

図32 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への賛否



3. 保健・医療について

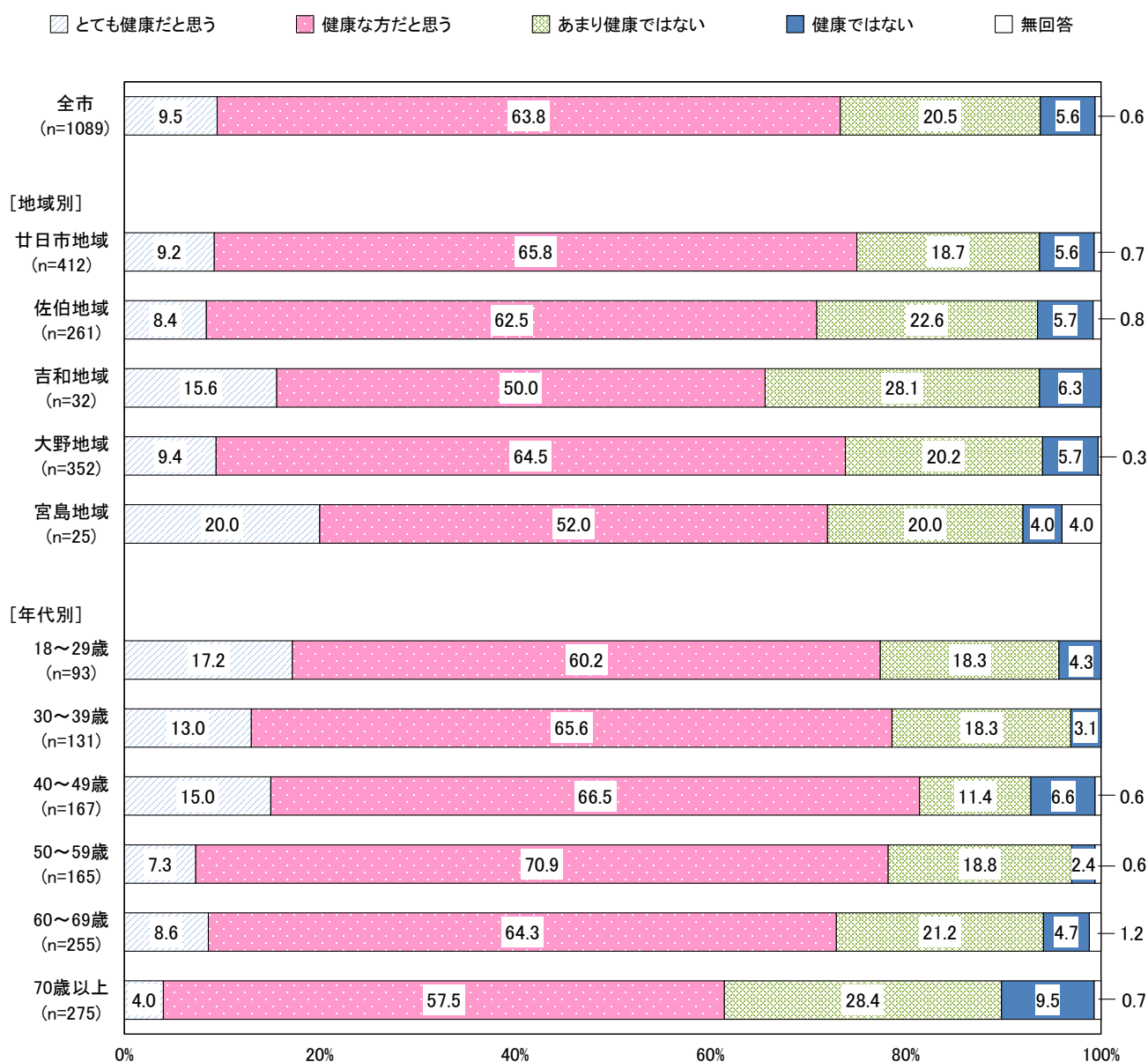
問 10 あなたは、普段、心身ともに健康だと思いますか。[〇は1つ]

【全体】 普段、心身ともに健康だと感じているかどうかについては、「とても健康だと思う」(9.5%)と「健康な方だと思う」(63.8%)を合わせると7割台(73.3%)を占める。

【地域別】 「とても健康だと思う」と「健康な方だと思う」を合わせた割合が最も高いのは「廿日市地域」(75.0%)で、以下、「大野地域」(73.9%)、「宮島地域」(72.0%)、「佐伯地域」(70.9%)、「吉和地域」(65.6%)と続く。

【年代別】 「とても健康だと思う」と「健康な方だと思う」を合わせた割合が最も高いのは「40～49歳」(81.5%)で、以下、「30～39歳」(78.6%)、「50～59歳」(78.2%)、「18～29歳」(77.4%)、「60～69歳」(72.9%)、「70歳以上」(61.5%)と続く。

図 33 心身ともに健康だと思うか

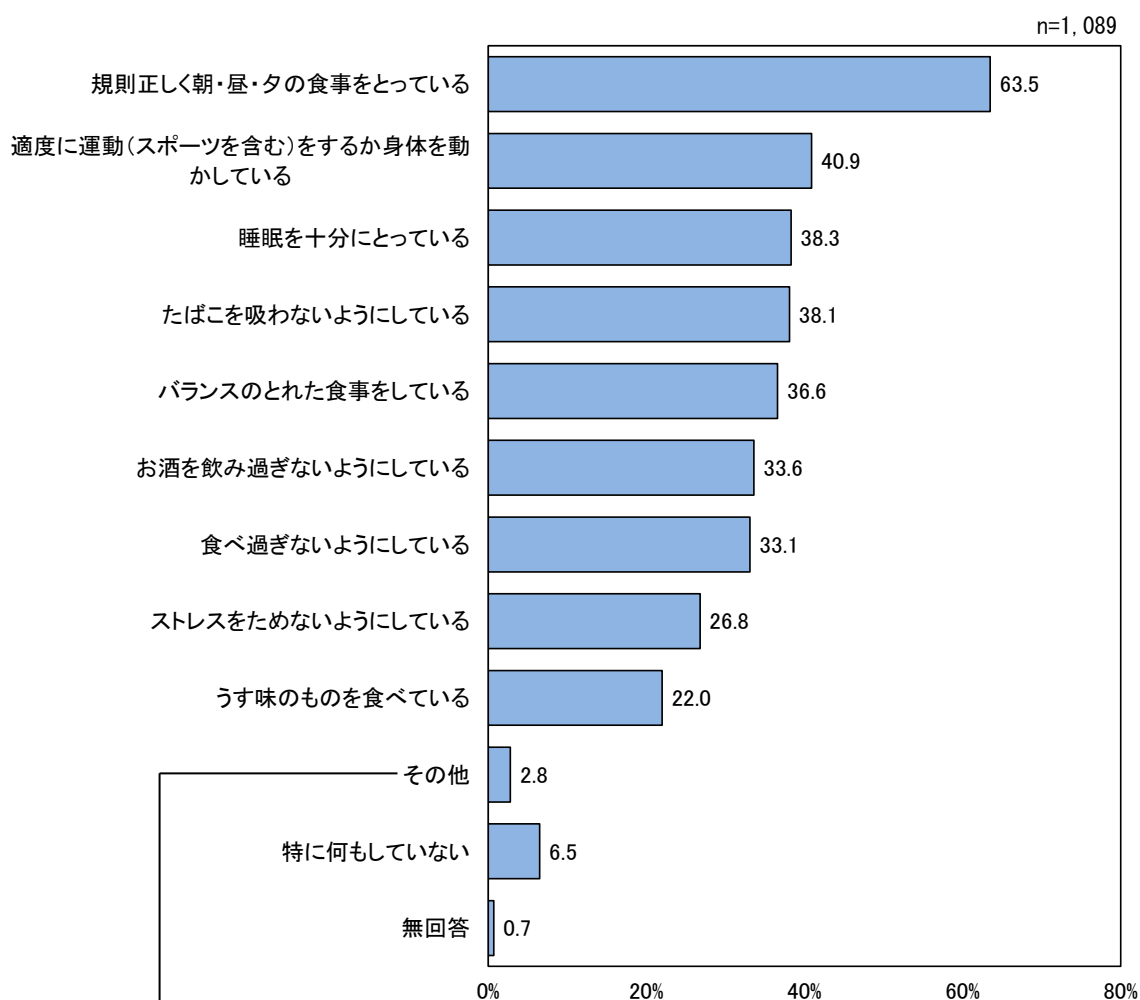


問 11 あなたは日頃、健康のために次のような事柄を実行していますか。

〔当てはまる全てに○〕

〔全体〕 日頃、健康のために実行している事柄については、「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」(63.5%)が最も多く、以下、「適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている」(40.9%)、「睡眠を十分にとっている」(38.3%)と続く。

図 34 健康のために実行している事



＜その他＞

- ・趣味を楽しむ
- ・スポーツジムに通っている
- ・人とよく会話している
- ・野菜多めの食事をしている など

[地域別] 「吉和地域」は「睡眠を十分にとっている」(56.3%)が、「宮島地域」は「バランスのとれた食事をしている」(48.0%)、「お酒を飲み過ぎないようにしている」(44.0%)、「ストレスをためないようにしている」(44.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～39歳」は「たばこを吸わないようにしている」(18～29歳：48.4%、30～39歳：51.1%)が、「70歳以上」は「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」(77.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表8 健康のために実行している事

(単位: %)

項目		規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている	適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている	睡眠を十分にとっている	たばこを吸わないようにしている	バランスのとれた食事をしている	お酒を飲み過ぎないようにしている	食べ過ぎないようにしている	ストレスをためないようにしている	うす味のもの食べている	その他	特に何もしていない	無回答
全市 (n=1089)		63.5	40.9	38.3	38.1	36.6	33.6	33.1	26.8	22.0	2.8	6.5	0.7
地域別	廿日市地域 (n=412)	65.3	43.0	37.1	41.7	42.0	37.9	37.1	28.6	21.8	1.9	5.1	0.5
	佐伯地域 (n=261)	64.0	42.1	37.9	31.4	27.6	28.7	29.1	23.8	21.8	1.5	8.8	1.5
	吉和地域 (n=32)	65.6	37.5	56.3	25.0	34.4	15.6	28.1	34.4	31.3	-	6.3	3.1
	大野地域 (n=352)	60.8	37.5	38.6	41.2	36.6	33.5	32.1	25.3	22.7	4.5	6.5	-
	宮島地域 (n=25)	68.0	44.0	36.0	32.0	48.0	44.0	36.0	44.0	12.0	8.0	4.0	4.0
年代別	18～29歳 (n=93)	38.7	34.4	31.2	48.4	29.0	40.9	30.1	17.2	10.8	2.2	7.5	-
	30～39歳 (n=131)	56.5	31.3	35.9	51.1	30.5	42.7	29.0	27.5	10.7	4.6	7.6	-
	40～49歳 (n=167)	53.9	30.5	35.3	46.1	31.7	35.9	22.2	23.4	16.8	2.4	11.4	0.6
	50～59歳 (n=165)	63.6	37.0	32.7	36.4	37.0	33.3	32.1	27.3	18.2	1.2	7.3	-
	60～69歳 (n=255)	67.8	47.1	40.4	34.5	42.7	31.4	40.0	30.6	27.5	2.4	4.7	0.8
	70歳以上 (n=275)	77.1	50.2	45.1	28.4	38.9	27.6	36.7	28.4	31.6	3.6	4.0	1.8

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 12 あなたは、かかりつけ医（すぐに相談できる一番身近な医師）がいますか。

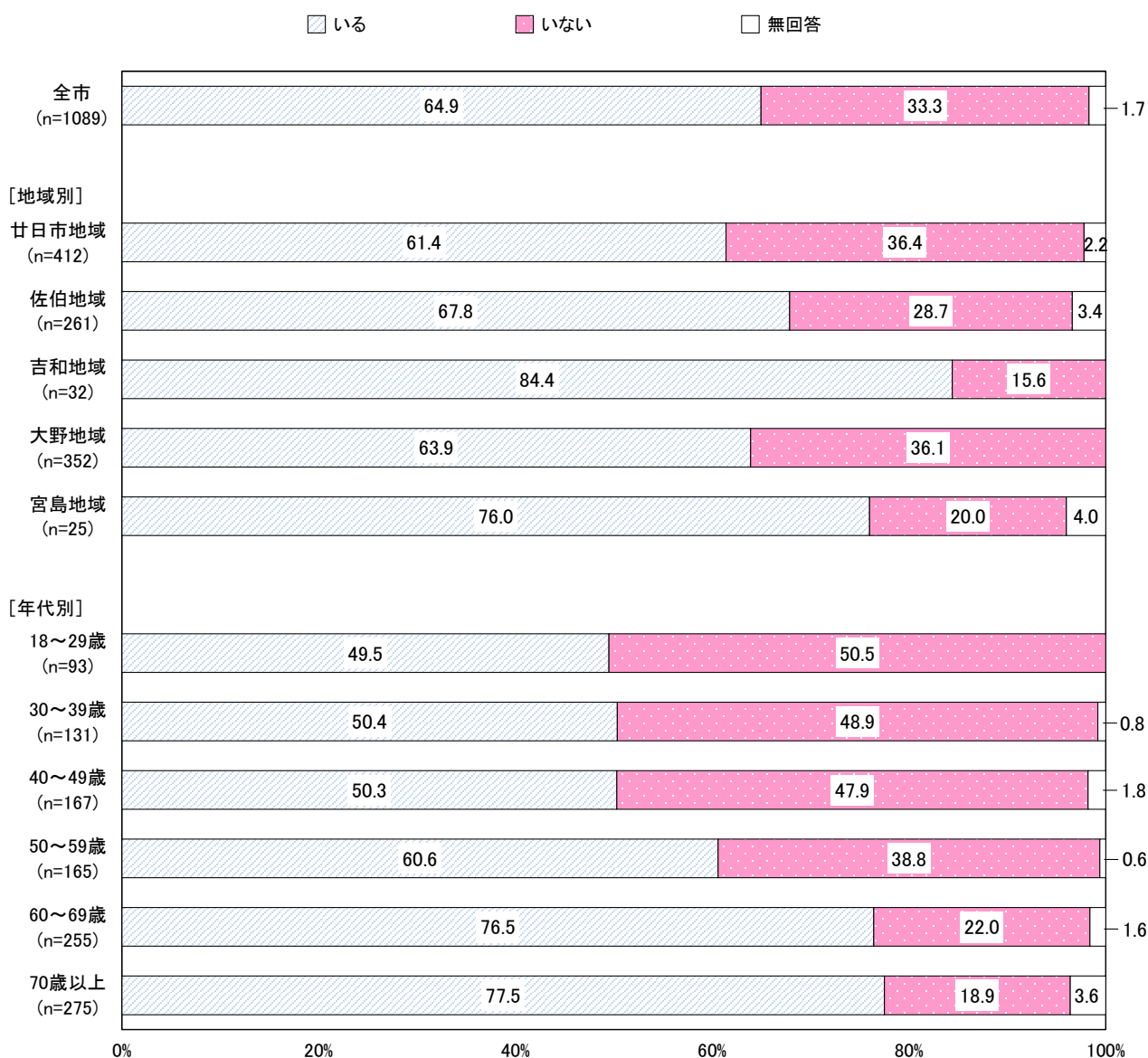
〔〇は1つ〕

〔全体〕 かかりつけ医がいるかどうかについては、「いる」（64.9%）が6割台を占める。

〔地域別〕 「吉和地域」と「宮島地域」は「いる」（吉和地域：84.4%、宮島地域：76.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 年齢が上がるほど「いる」の割合が高くなる傾向が見られる。

図 35 かかりつけ医の有無



問 13 あなたは、人生会議（ACP）※について知っていますか。〔〇は1つ〕

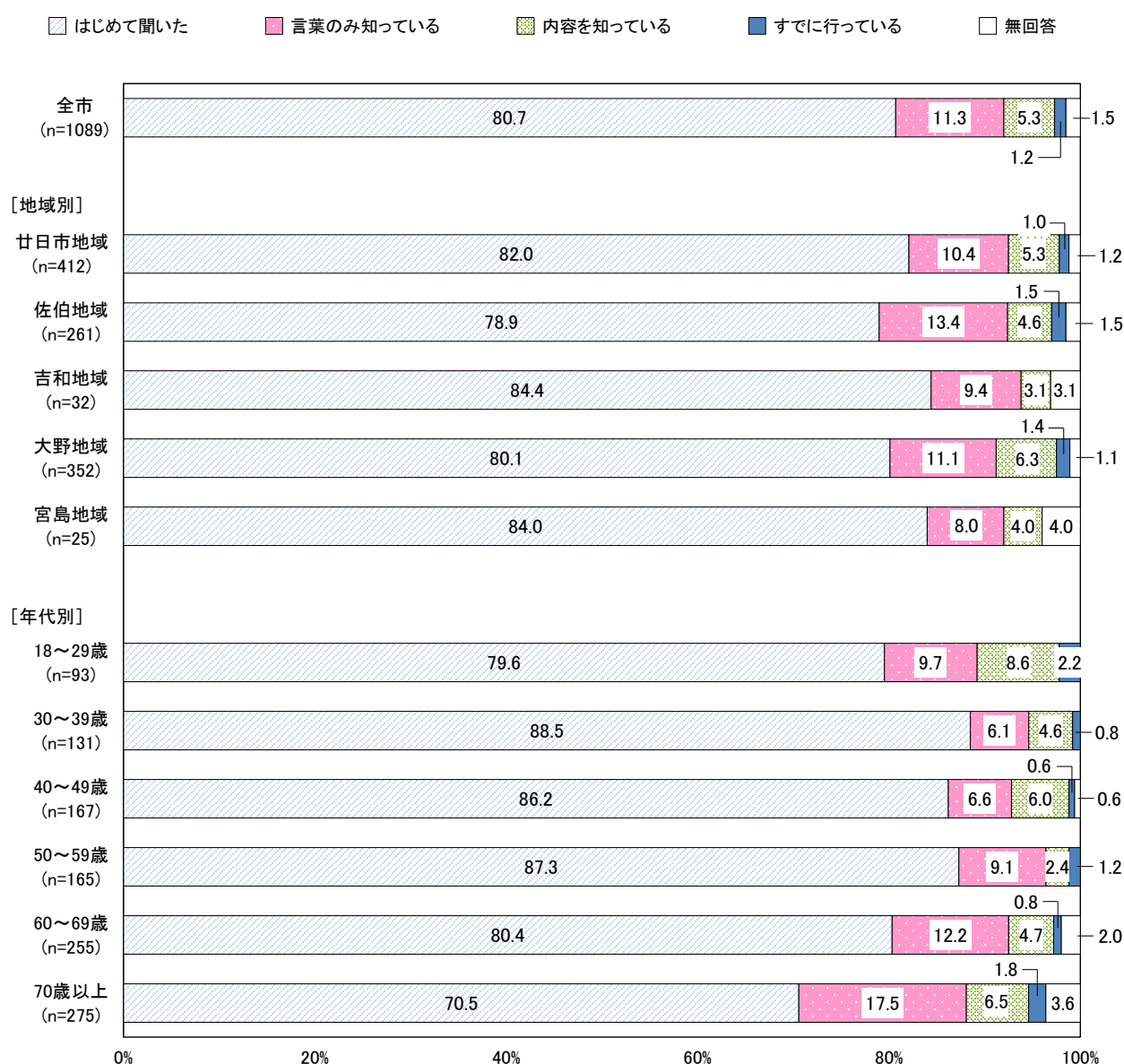
※人生会議（ACP）とは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有する取組です。

〔全体〕 人生会議（ACP）について知っているかどうかについては、「はじめて聞いた」（80.7%）が8割台を占める。「内容を知っている」（5.3%）と「すでに行っている」（1.2%）を合わせた割合（6.5%）は1割に満たない。

〔地域別〕 全ての地域で「はじめて聞いた」が約8割を占める。

〔年代別〕 「70 歳以上」は「はじめて聞いた」（70.5%）が「全市」よりも 10 ポイント以上低い。

図 36 人生会議の認知度



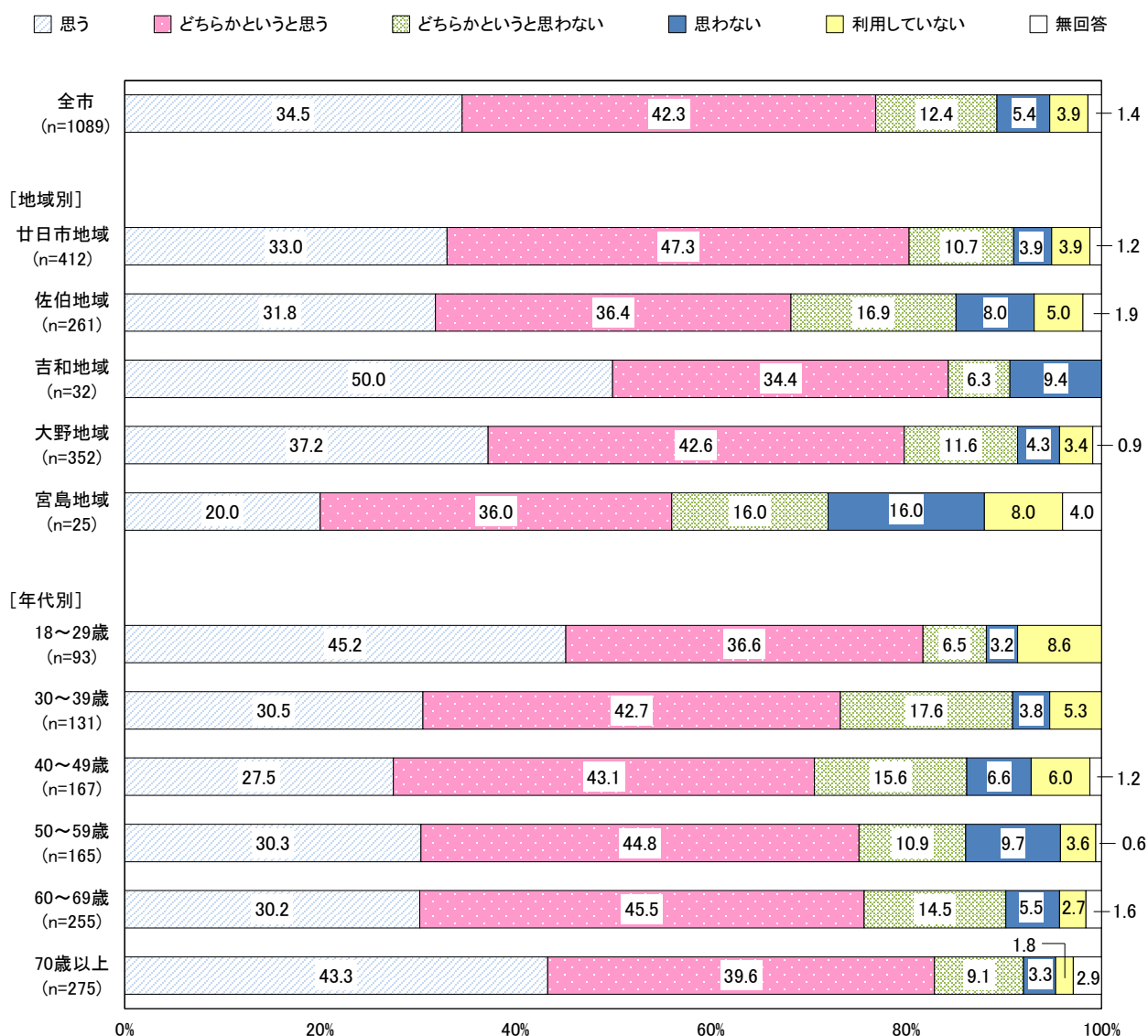
問 14 あなたは適切に医療機関を利用できる（必要なときに、適切に医療サービスの提供を受ける環境だ）と思いますか。[〇は1つ]

[全体] 適切に医療機関を利用できると感じているかどうかについては、「思う」(34.5%)と「どちらかというと思う」(42.3%)を合わせると7割台(76.8%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「思う」(50.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「思う」(45.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 37 適切に医療機関を利用できるか



【「どちらかというと思わない」または「思わない」を選んだ方】

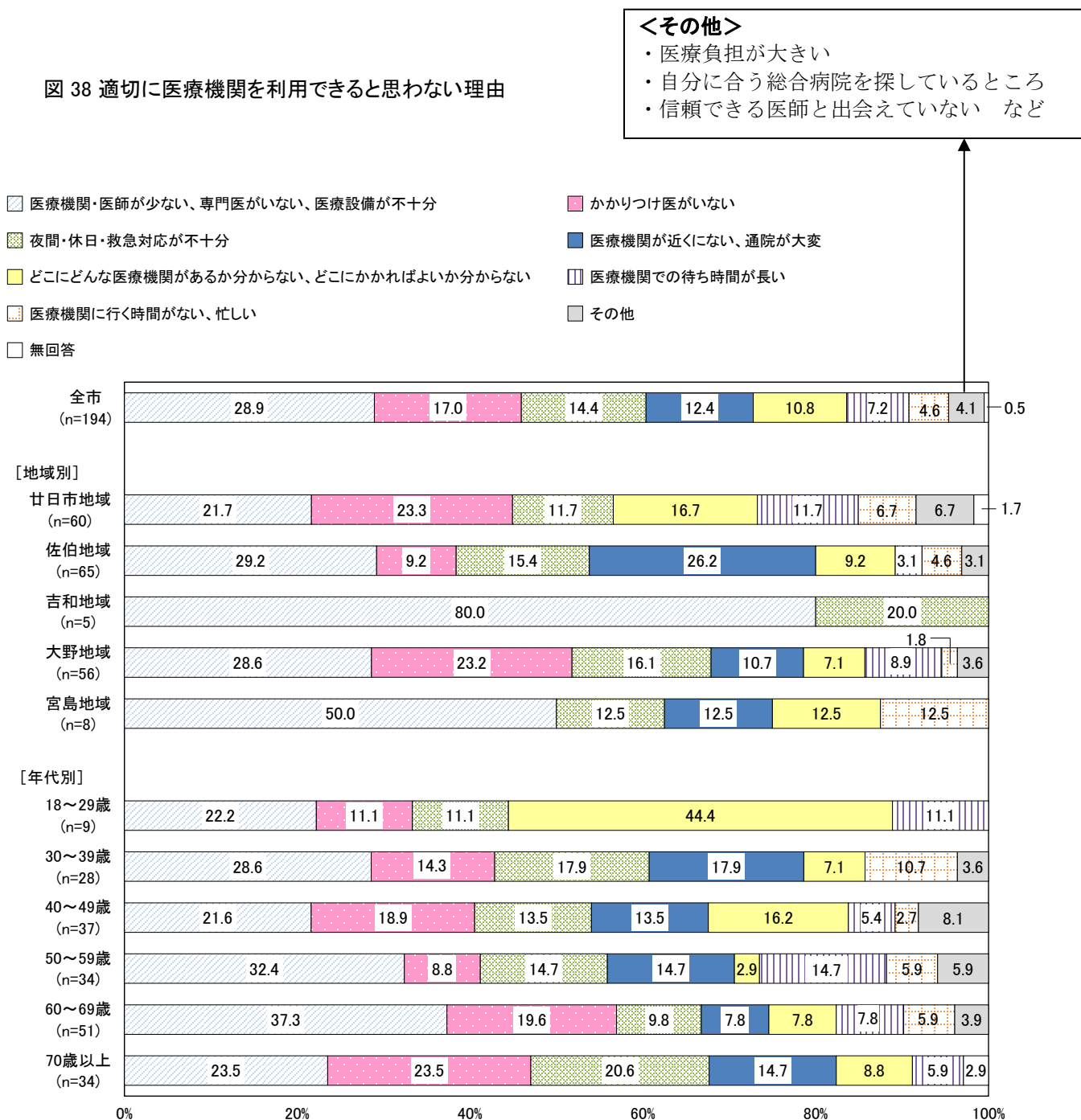
■「どちらかというと思わない」または「思わない」を選んだ理由【〇は1つ】

【全体】 「どちらかというと思わない」または「思わない」を選んだ理由（適切に医療機関を利用できると思わない理由）については、「医療機関・医師が少ない、専門医がいない、医療設備が不十分」（28.9%）が最も多く、「かかりつけ医がいない」（17.0%）がそれに次ぐ。

【地域別】 「佐伯地域」は「医療機関が近くにない、通院が大変」（26.2%）が「全市」より 10 ポイント以上高い。

【年代別】 年齢による顕著な差異は見られない。

図 38 適切に医療機関を利用できると思わない理由



4. 生活環境について

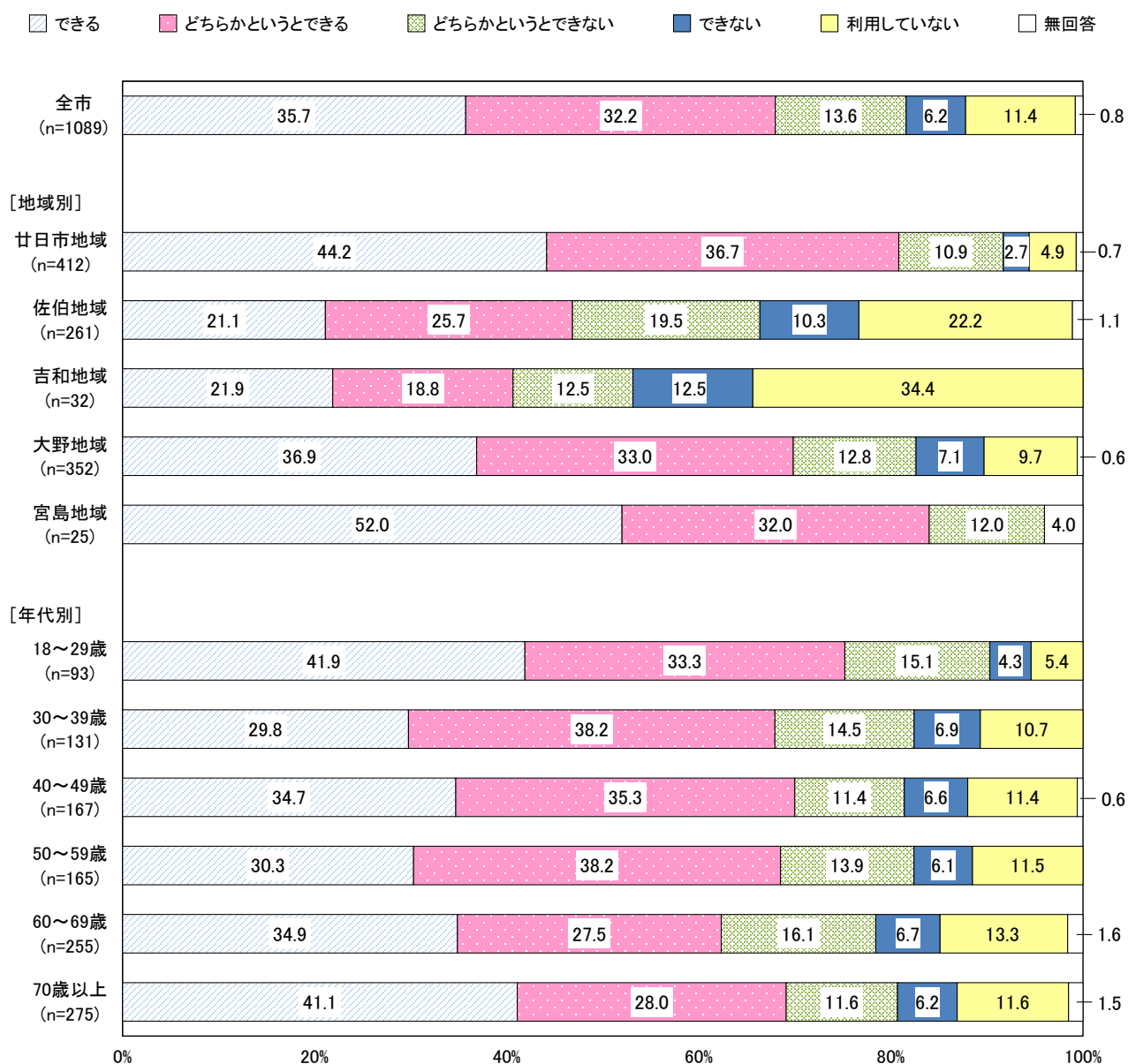
問 15 あなたは、廿日市市内の公共交通機関（ＪＲ、広電、バス、航路、タクシー）で安全、快適、円滑に目的地まで移動できますか。〔〇は１つ〕

〔全体〕 廿日市市内の公共交通機関（ＪＲ、広電、バス、航路、タクシー）で安全、快適、円滑に目的地まで移動できるかどうかについては、「できる」(35.7%)と「どちらかというとできる」(32.2%)を合わせると６割台(67.9%)を占める。

〔地域別〕 「佐伯地域」と「吉和地域」は「利用していない」（佐伯地域：22.2%、吉和地域34.4%）が、「宮島地域」は「できる」(52.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「できる」と「どちらかというとできる」を合わせた割合が最も高いのは「18～29歳」（75.2%）で、以下、「40～49歳」（70.0%）、「70歳以上」（69.1%）、「50～59歳」（68.5%）、「30～39歳」（68.0%）、「60～69歳」（62.4%）と続く。

図 39 市内公共交通機関による移動

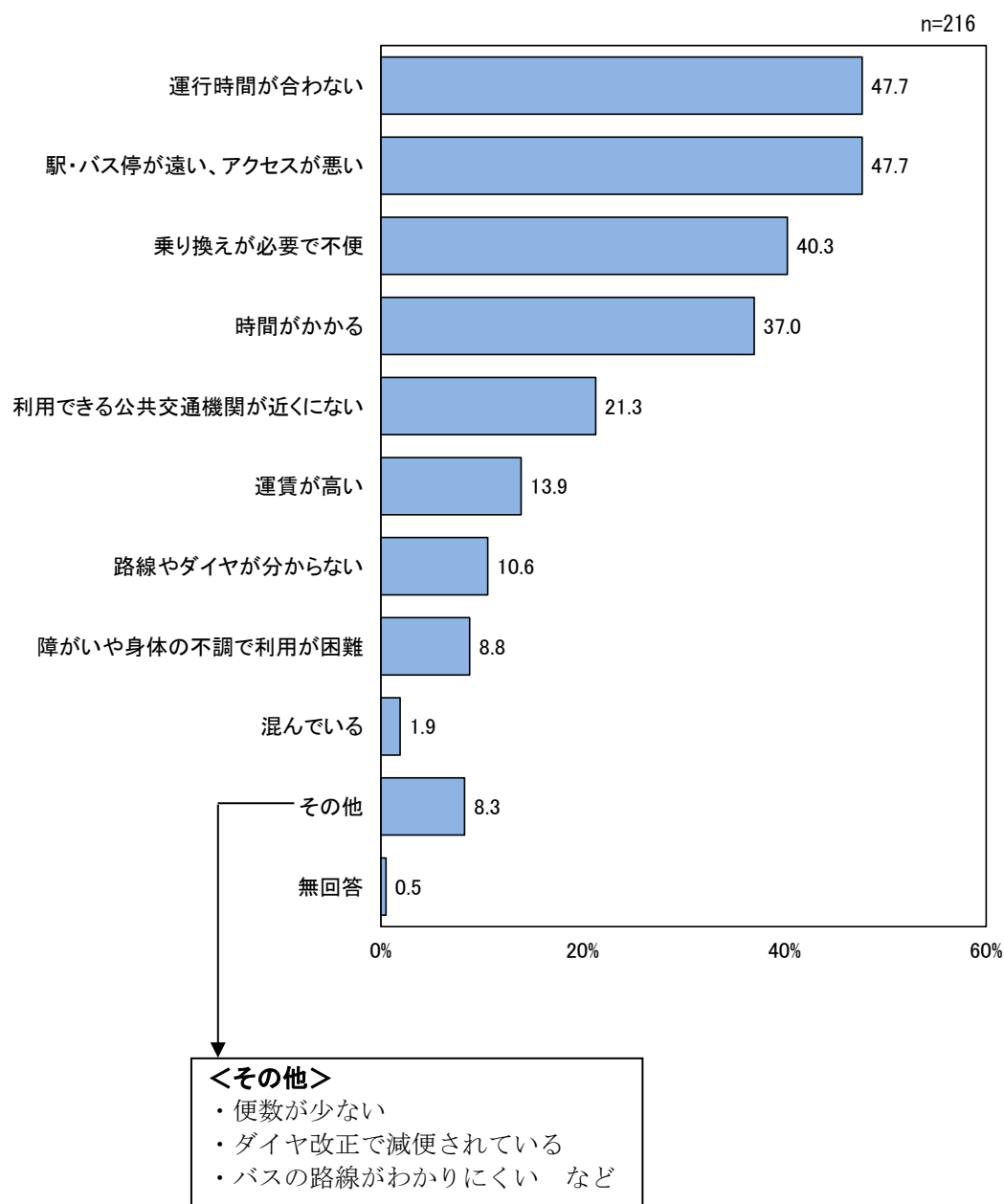


【「できない」または「どちらかというといけない」を選んだ方】

■「どちらかというといけない」または「できない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「できない」または「どちらかというといけない」を選んだ理由（市内の公共交通機関で安全、快適、円滑に目的地まで移動できない理由）については、「運行時間が合わない」（47.7%）と「駅・バス停が遠い、アクセスが悪い」（47.7%）が最も多く、以下、「乗り換えが必要で不便」（40.3%）、「時間がかかる」（37.0%）と続く。

図 40 市内公共交通機関で安全、快適、円滑に目的地まで移動できない理由



【地域別】 「廿日市地域」は「運行時間が合わない」(62.5%)が、「佐伯地域」は「時間がかかる」(50.0%)、「運賃が高い」(32.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は「運行時間が合わない」(72.2%)が、「70歳以上」は「障がいや身体の不調で利用が困難」(30.6%)が「全市」より20ポイント以上高い。

表9 市内公共交通機関で安全、快適、円滑に目的地まで移動できない理由

(単位: %)

項目		運行時間が合わない	駅・バス停が遠い、アクセスが悪い	乗り換えが必要で不便	時間がかかる	利用できる公共交通機関が近くにない	運賃が高い	路線やダイヤが分からない	障がいや身体の不調で利用が困難	混んでいる	その他	無回答
全市 (n=216)		47.7	47.7	40.3	37.0	21.3	13.9	10.6	8.8	1.9	8.3	0.5
地域別	廿日市地域 (n=56)	62.5	44.6	48.2	35.7	7.1	7.1	7.1	7.1	3.6	12.5	-
	佐伯地域 (n=78)	41.0	50.0	35.9	50.0	25.6	32.1	6.4	7.7	1.3	3.8	1.3
	吉和地域 (n=8)	50.0	25.0	50.0	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-
	大野地域 (n=70)	45.7	50.0	37.1	24.3	27.1	-	15.7	11.4	1.4	8.6	-
	宮島地域 (n=3)	-	66.7	66.7	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-	-
年代別	18～29歳 (n=18)	72.2	50.0	33.3	44.4	5.6	22.2	5.6	-	-	11.1	-
	30～39歳 (n=28)	60.7	64.3	32.1	35.7	10.7	14.3	3.6	3.6	-	-	-
	40～49歳 (n=30)	50.0	36.7	36.7	43.3	23.3	10.0	10.0	-	3.3	20.0	-
	50～59歳 (n=33)	36.4	48.5	30.3	33.3	27.3	21.2	9.1	-	3.0	21.2	-
	60～69歳 (n=58)	48.3	50.0	51.7	34.5	24.1	13.8	8.6	5.2	3.4	1.7	1.7
	70歳以上 (n=49)	36.7	40.8	42.9	36.7	24.5	8.2	20.4	30.6	-	4.1	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

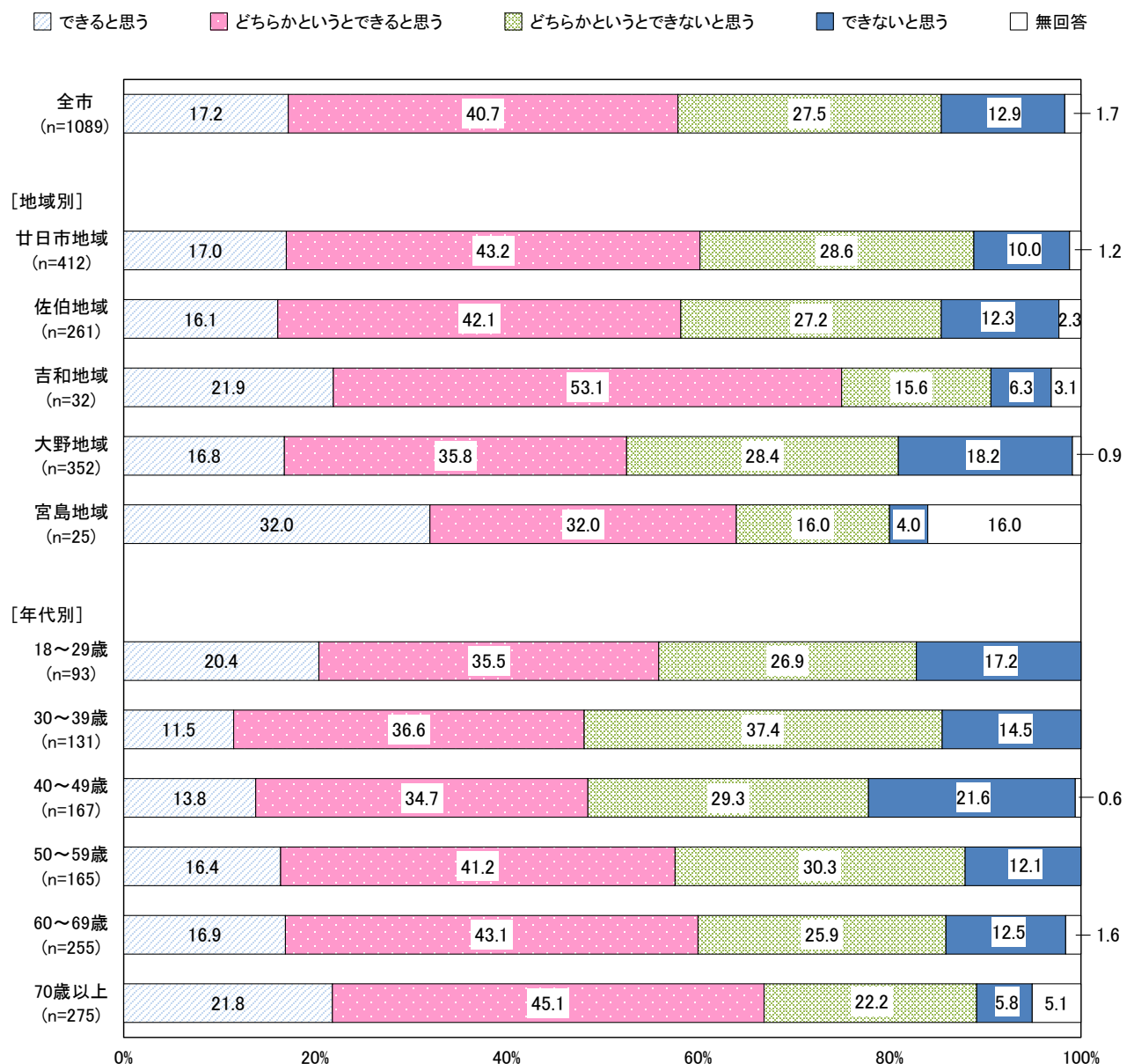
問 16 あなたは、都市間（広島市や大竹市と廿日市市）の移動が、自動車やバスで、渋滞なく円滑にできると思いますか。〔〇は1つ〕

【全体】 都市間の移動が自動車やバスで渋滞なく円滑にできると思うかどうかについては、「できると思う」(17.2%)と「どちらかというとき」と「できると思う」(40.7%)を合わせると5割台(57.9%)を占める。

【地域別】 「吉和地域」は「どちらかというとき」と「できると思う」(53.1%)が、「宮島地域」は「できると思う」(32.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「30～39 歳」は「どちらかというとき」と「できないと思う」(37.4%)が、「40～49 歳」は「できないと思う」(21.6%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 41 都市間移動

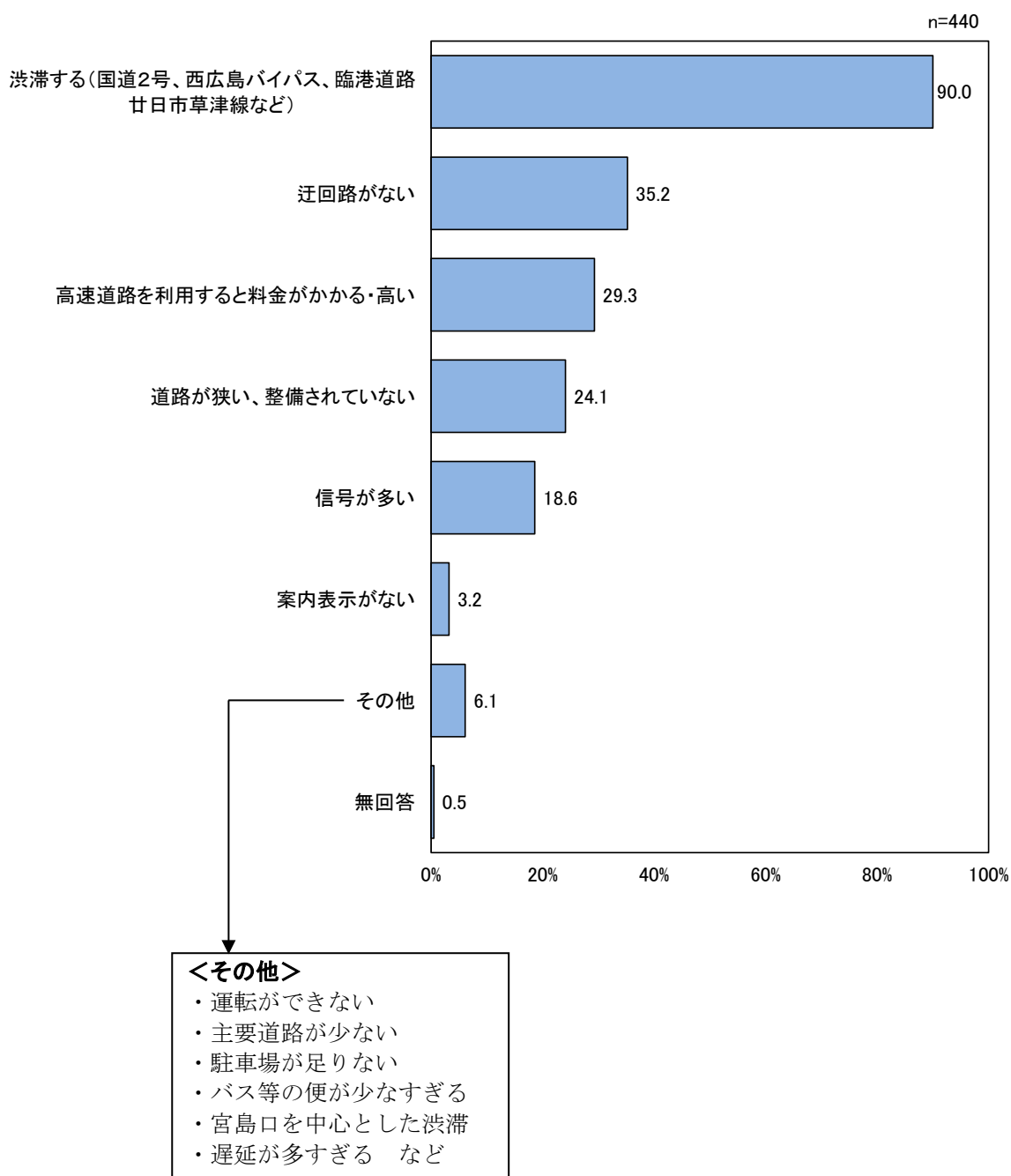


【「どちらかというといけないと思う」または「できないと思う」を選んだ方】

■「どちらかというといけないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかというといけないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由（都市間の移動が自動車やバスで渋滞なく円滑にできないと思う理由）については、「渋滞する（国道2号、西広島バイパス、臨港道路廿日市草津線など）」（90.0%）が最も多く、以下、「迂回路がない」（35.2%）、「高速道路を利用すると料金がかかる・高い」（29.3%）と続く。

図 42 都市間移動が円滑にできないと思う理由



【地域別】 「佐伯地域」は「迂回路がない」(60.2%)が「全市」より20ポイント以上高い。

【年代別】 「40～49 歳」は「渋滞する(国道2号、西広島バイパス、臨港道路廿日市草津線など)」(97.6%)と「高速道路を利用すると料金がかかる・高い」(36.5%)が、「70 歳以上」は「道路が狭い、整備されていない」(33.8%)が「全市」より5ポイント以上高い。

表 10 都市間移動が円滑にできないと思う理由

(単位: %)

項目		渋滞する(国道2号、西広島バイパス、臨港道路廿日市草津線など)	迂回路がない	高速道路を利用すると料金がかかる・高い	道路が狭い、整備されていない	信号が多い	案内表示がない	その他	無回答
全市 (n=440)		90.0	35.2	29.3	24.1	18.6	3.2	6.1	0.5
地域別	廿日市地域 (n=159)	95.6	20.8	34.0	20.8	18.9	3.8	5.0	0.6
	佐伯地域 (n=103)	70.9	60.2	8.7	34.0	12.6	3.9	7.8	1.0
	吉和地域 (n=7)	85.7	71.4	42.9	14.3	14.3	14.3	—	—
	大野地域 (n=164)	98.2	32.9	36.6	22.6	22.6	1.8	5.5	—
	宮島地域 (n=5)	60.0	20.0	60.0	—	20.0	—	20.0	—
年代別	18～29歳 (n=41)	87.8	17.1	29.3	19.5	12.2	—	12.2	—
	30～39歳 (n=68)	91.2	36.8	29.4	22.1	14.7	2.9	7.4	—
	40～49歳 (n=85)	97.6	37.6	36.5	22.4	22.4	—	5.9	—
	50～59歳 (n=70)	88.6	40.0	18.6	18.6	20.0	2.9	7.1	—
	60～69歳 (n=98)	88.8	39.8	33.7	25.5	19.4	5.1	2.0	1.0
	70歳以上 (n=77)	84.4	31.2	26.0	33.8	19.5	6.5	6.5	1.3

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 17 あなたは、地域間（「地域」とは、廿日市、佐伯、吉和、大野、宮島の各地域のことです）の移動が、自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできると思いますか。

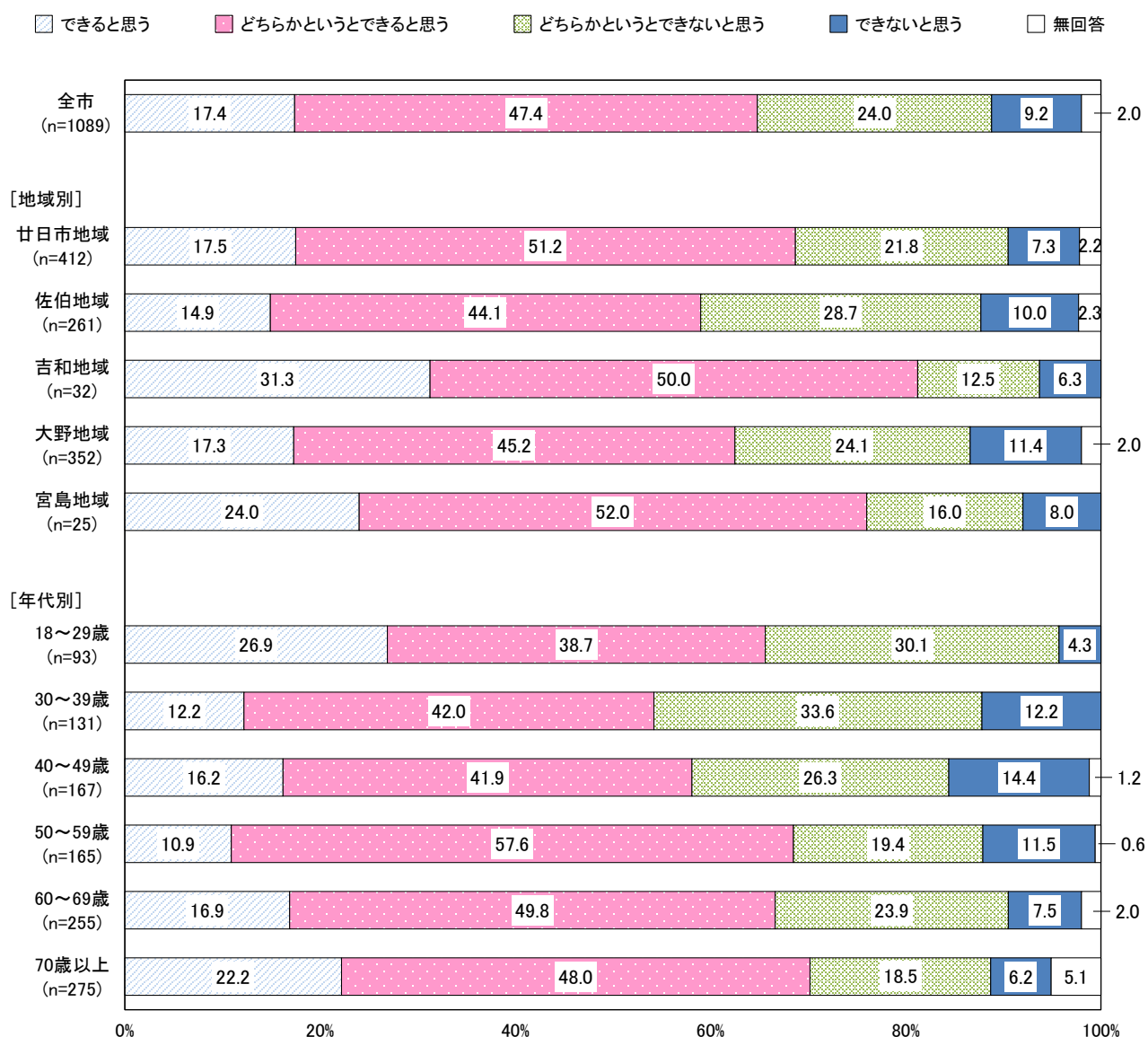
〔〇は1つ〕

〔全体〕 地域間の移動が自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできるかどうかについては、「できると思う」（17.4％）と「どちらかというときできると思う」（47.4％）を合わせると6割台（64.8％）を占める。

〔地域別〕 「吉和地域」は「できると思う」（31.3％）が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「50～59歳」は「どちらかというときできると思う」（57.6％）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 43 地域間の移動

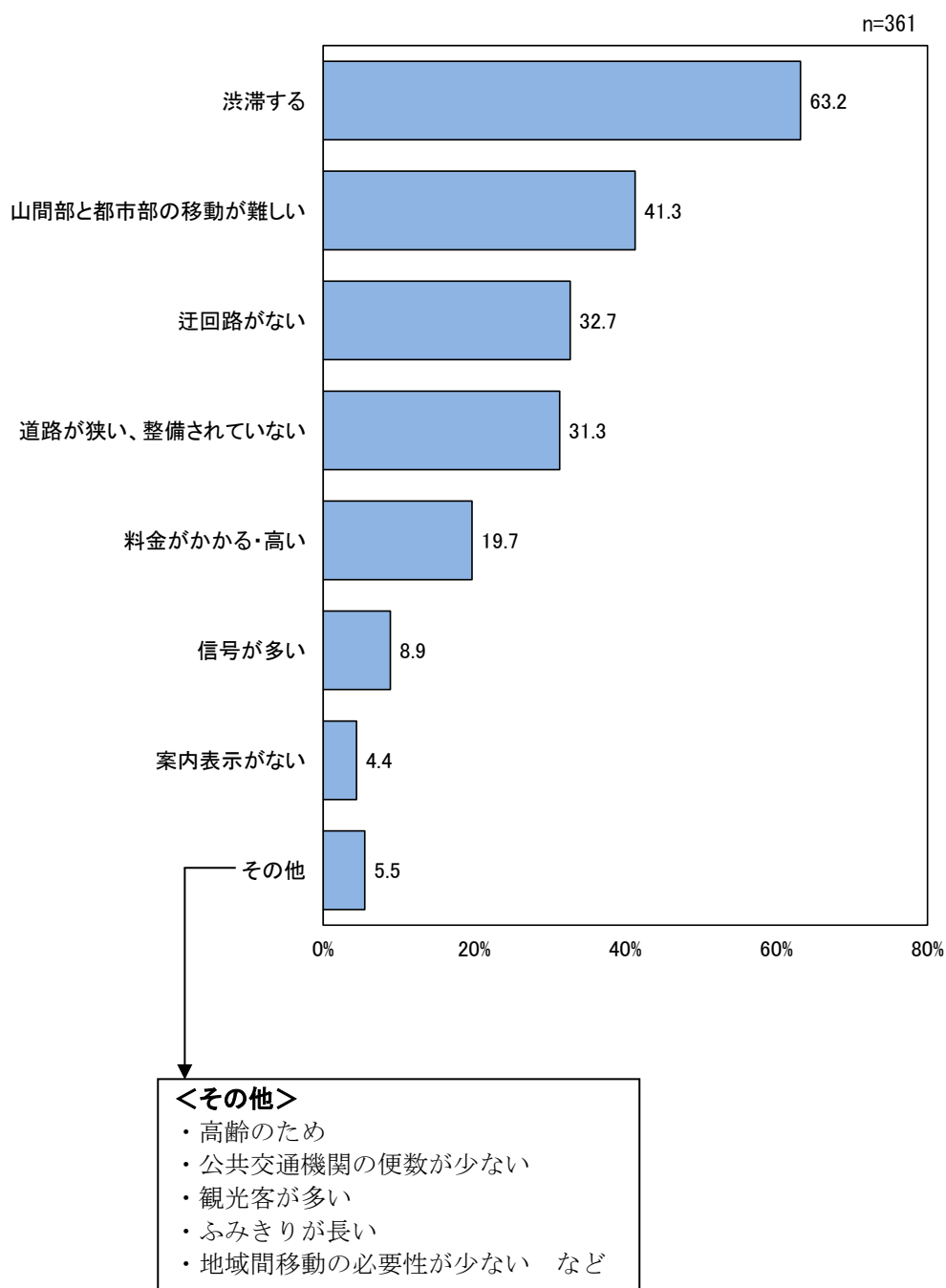


[「どちらかというといけないと思う」または「できないと思う」を選んだ方]

■「どちらかというといけないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由[○は3つまで]

[全体] 「どちらかというといけないと思う」または「できないと思う」を選んだ理由（地域間の移動が自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできないと思う理由）については、「渋滞する」（63.2%）が最も多く、以下、「山間部と都市部の移動が難しい」（41.3%）、「迂回路がない」（32.7%）と続く。

図 44 地域間の移動が渋滞なく円滑にできないと思う理由



〔地域別〕 「廿日市地域」は「渋滞する」(75.8%)が、「佐伯地域」は「山間部と都市部の移動が難しい」(59.4%)と「迂回路がない」(47.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～29歳」は「渋滞する」(75.0%)が、「60～69歳」は「料金がかかる・高い」(36.3%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 11 地域間の移動が渋滞なく円滑にできないと思う理由

(単位: %)

項目		渋滞する	山間部と都市部の移動が難しい	迂回路がない	道路が狭い、整備されていない	料金がかかる・高い	信号が多い	案内表示がない	その他	無回答
全市 (n=361)		63.2	41.3	32.7	31.3	19.7	8.9	4.4	5.5	－
地域別	廿日市地域 (n=120)	75.8	34.2	25.0	30.0	20.8	10.0	3.3	5.0	－
	佐伯地域 (n=101)	39.6	59.4	47.5	34.7	20.8	3.0	6.9	5.0	－
	吉和地域 (n=6)	16.7	83.3	33.3	50.0	－	－	16.7	－	－
	大野地域 (n=125)	72.8	33.6	28.8	29.6	17.6	12.8	3.2	5.6	－
	宮島地域 (n=6)	66.7	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	－	16.7	－
年代別	18～29歳 (n=32)	75.0	28.1	12.5	15.6	21.9	9.4	3.1	6.3	－
	30～39歳 (n=60)	66.7	36.7	40.0	35.0	8.3	6.7	1.7	3.3	－
	40～49歳 (n=68)	63.2	42.6	25.0	27.9	17.6	13.2	2.9	5.9	－
	50～59歳 (n=51)	62.7	39.2	39.2	31.4	13.7	5.9	3.9	11.8	－
	60～69歳 (n=80)	67.5	45.0	35.0	30.0	36.3	8.8	3.8	1.3	－
	70歳以上 (n=68)	51.5	47.1	35.3	39.7	16.2	8.8	8.8	7.4	－

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

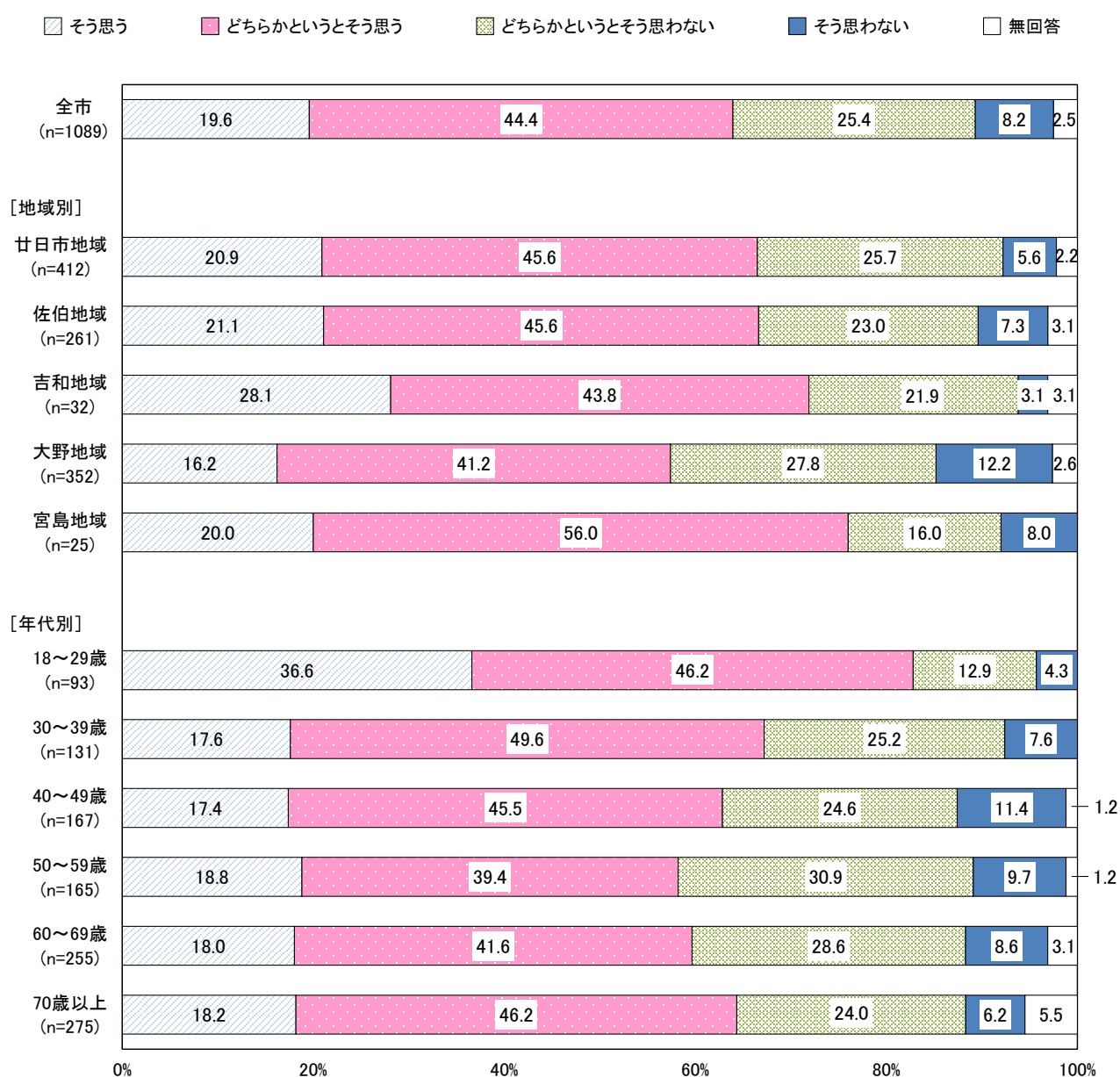
問 18 あなたは、ＪＲ廿日市駅からＪＡ広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思いますか。〔〇は１つ〕

〔全体〕 ＪＲ廿日市駅からＪＡ広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思うかどうかについては、「そう思う」（19.6%）と「どちらかというと思う」（44.4%）を合わせると６割台（64.0%）を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合（76.0%）が、「全市」より 10 ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～29 歳」は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合（82.8%）が、「全市」より 10 ポイント以上高い。

図 45 JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が市の中心地としてふさわしいと思うか

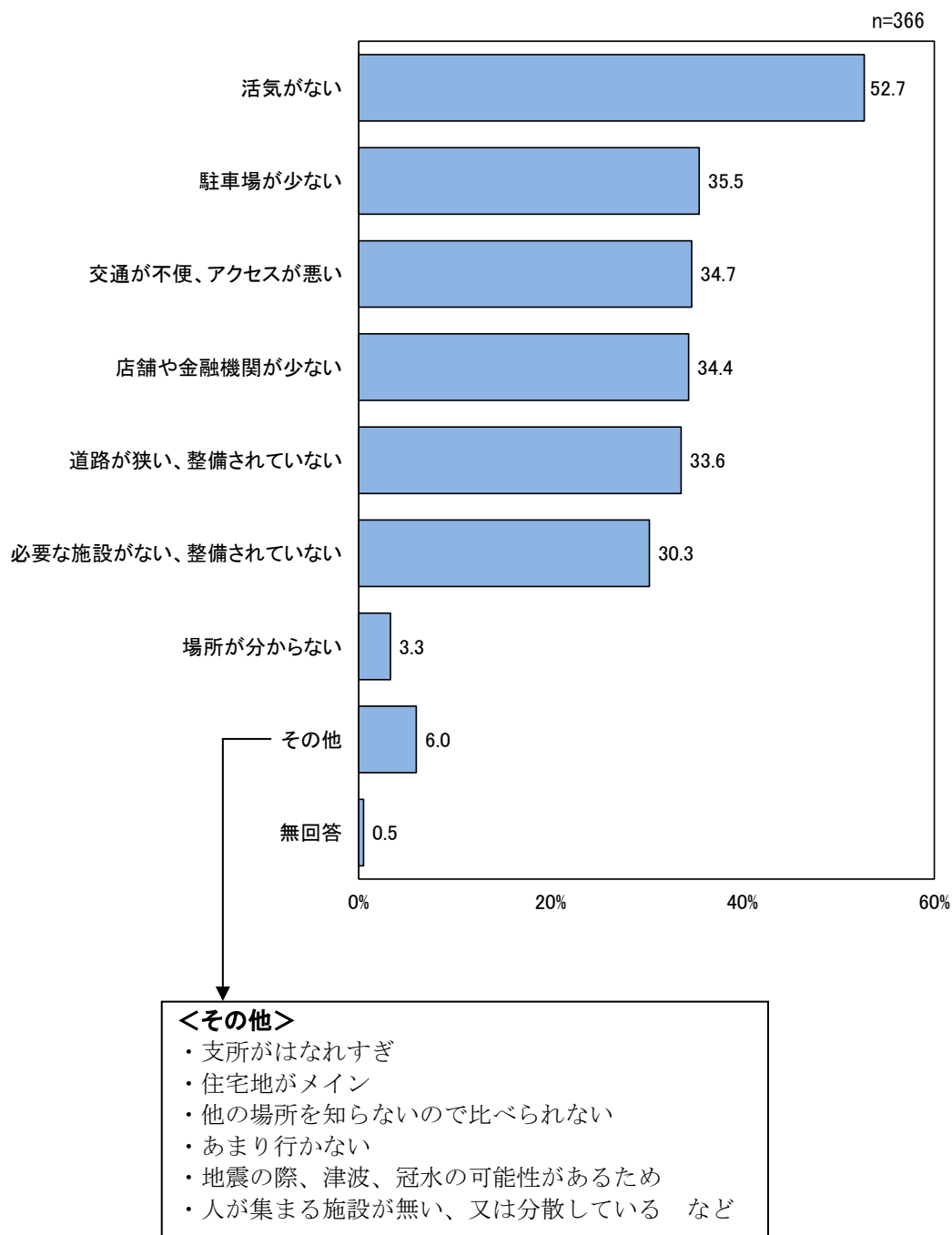


【「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【○は3つまで】

【全体】 「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（ＪＲ廿日市駅からＪＡ広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思わない理由）については、「活気がない」（52.7%）が最も多く、以下、「駐車場が少ない」（35.5%）、「交通が不便、アクセスが悪い」（34.7%）、「店舗や金融機関が少ない」（34.4%）と続く。

図 46 JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が市の中心地としてふさわしいと思わない理由



[地域別] 「廿日市地域」は「店舗や金融機関が少ない」(42.6%)と「必要な施設がない、整備されていない」(37.2%)が、「佐伯地域」は「駐車場が少ない」(40.5%)と「交通が不便、アクセスが悪い」(41.8%)が「全市」より5ポイント以上高い。

[年代別] 「30～39歳」は「活気がない」(62.8%)と「必要な施設がない、整備されていない」(41.9%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 12 JR廿日市駅からJA広島総合病院周辺の一帯が市の中心地としてふさわしいと思わない理由

(単位: %)

項目		活 気 が な い	駐 車 場 が 少 な い	交 通 が 不 便、 ア ク セ ス が 悪 い	店 舗 や 金 融 機 関 が 少 な い	道 路 が 狭 い、 整 備 さ れ て い な い	い 必 要 な 施 設 が な い、 整 備 さ れ て い な い	場 所 が 分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
全市 (n=366)		52.7	35.5	34.7	34.4	33.6	30.3	3.3	6.0	0.5
地域別	廿日市地域 (n=129)	52.7	30.2	31.0	42.6	35.7	37.2	3.9	4.7	-
	佐伯地域 (n=79)	50.6	40.5	41.8	25.3	32.9	21.5	2.5	6.3	1.3
	吉和地域 (n=8)	50.0	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-
	大野地域 (n=141)	52.5	37.6	34.0	33.3	34.8	30.5	2.8	6.4	0.7
	宮島地域 (n=6)	100.0	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-
年代別	18～29歳 (n=16)	50.0	31.3	37.5	25.0	6.3	18.8	6.3	12.5	6.3
	30～39歳 (n=43)	62.8	34.9	37.2	37.2	30.2	41.9	2.3	2.3	2.3
	40～49歳 (n=60)	51.7	31.7	26.7	41.7	36.7	35.0	-	5.0	-
	50～59歳 (n=67)	58.2	26.9	25.4	40.3	28.4	32.8	9.0	11.9	-
	60～69歳 (n=95)	54.7	45.3	36.8	31.6	41.1	25.3	-	3.2	-
	70歳以上 (n=83)	42.2	36.1	42.2	27.7	34.9	27.7	4.8	6.0	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

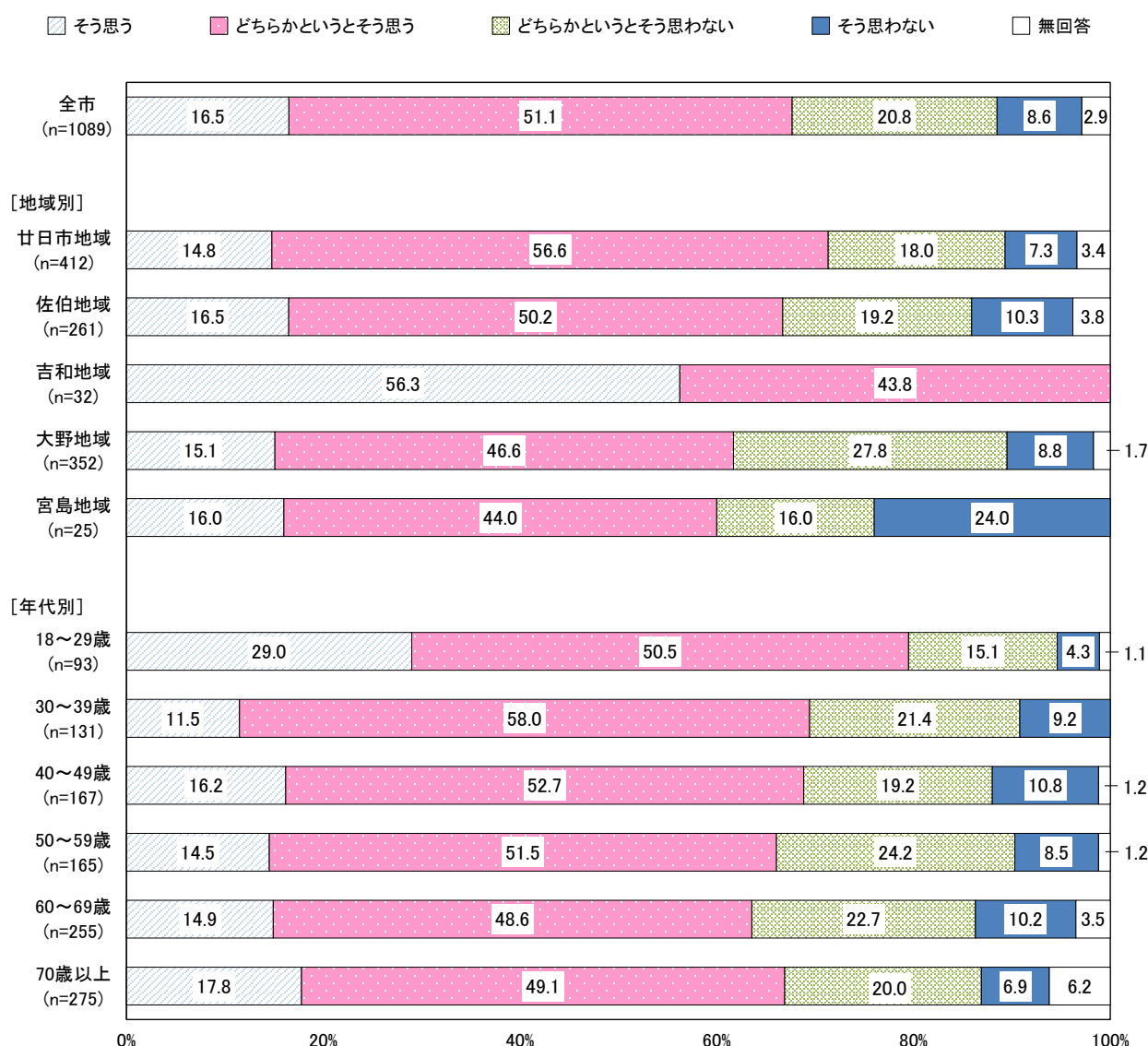
問 19 あなたは、支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思いますか。

【全体】 支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思うかどうかについては、「そう思う」(16.5%)と「どちらかというと思う」(51.1%)を合わせると 6 割台(67.6%)を占める。

【地域別】 「吉和地域」は「そう思う」(56.3%)が「全市」より 30 ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29 歳」は「そう思う」(29.0%)が「全市」より 10 ポイント以上高い。

図 47 支所周辺が地域の中心としてふさわしいと思うか

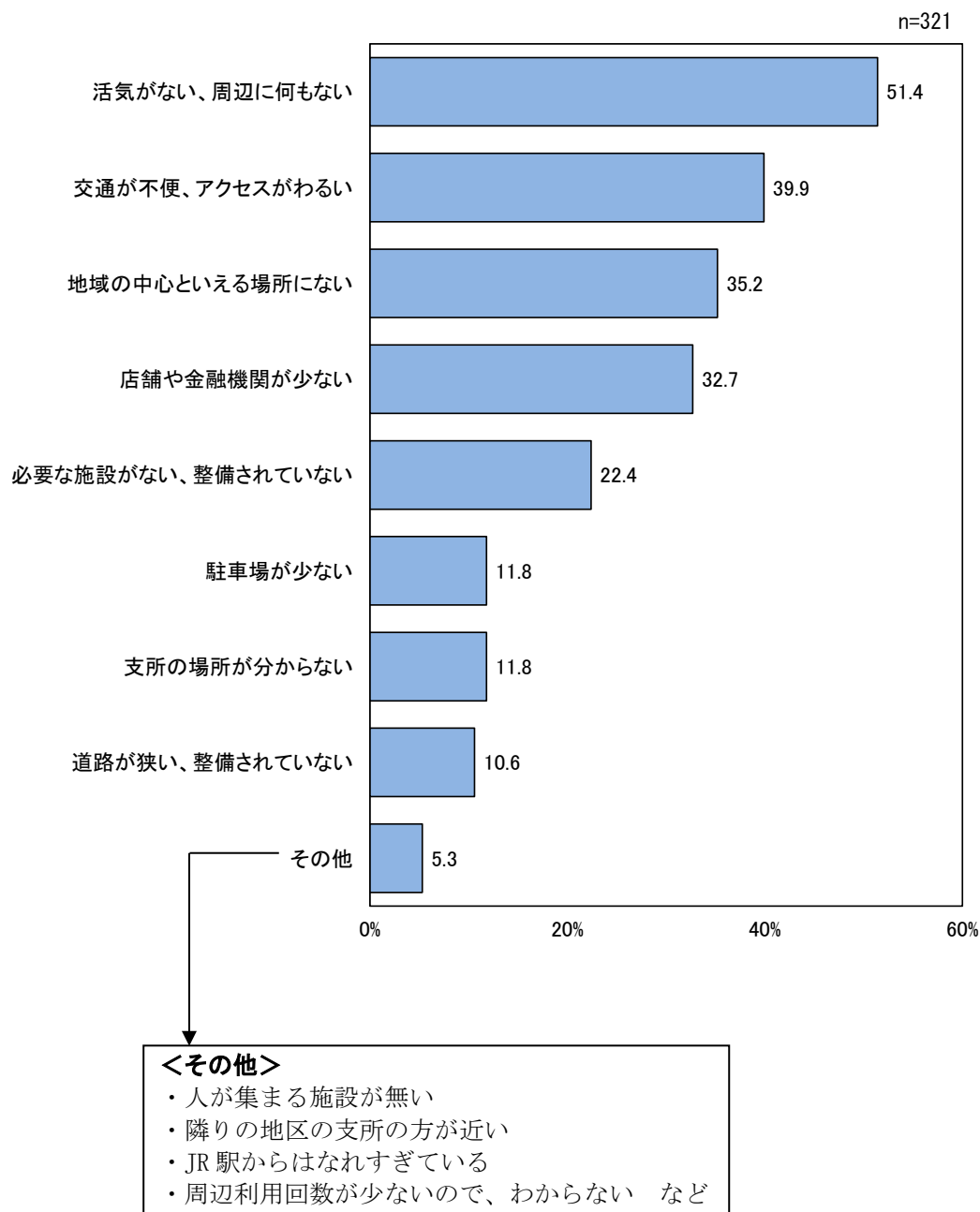


【「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【○は3つまで】

【全体】 「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思わない理由）については、「活気がない、周辺に何も無い」（51.4%）が最も多く、以下、「交通が不便、アクセスがわるい」（39.9%）、
「地域の中心といえる場所がない」（35.2%）と続く。

図 48 支所周辺が地域の中心としてふさわしいと思わない理由



[地域別] 「廿日市地域」は「支所の場所が分からない」(28.8%)が、「佐伯地域」は「活気がない、周辺に何も無い」(63.6%)と「店舗や金融機関が少ない」(49.4%)が、「大野地域」は「交通が不便、アクセスがわるい」(51.2%)が、「宮島地域」は「地域の中心といえる場所がない」(50.0%)と「駐車場が少ない」(30.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 年齢による顕著な差異は見られない。

表 13 支所周辺が地域の中心としてふさわしいと思わない理由

(単位: %)

項目		活気がない、 周辺に何も無い	交通が不便、 アクセスがわるい	地域の中心といえる場所 がない	店舗や金融機関が 少ない	必要な施設がない、 整備されていない	駐車場が 少ない	支所の場所が 分からない	道路が狭い、 整備されていない	その他	無回答
全市 (n=321)		51.4	39.9	35.2	32.7	22.4	11.8	11.8	10.6	5.3	-
地域別	廿日市地域 (n=104)	40.4	33.7	26.9	21.2	23.1	16.3	28.8	19.2	2.9	-
	佐伯地域 (n=77)	63.6	32.5	35.1	49.4	24.7	10.4	1.3	10.4	5.2	-
	吉和地域 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大野地域 (n=129)	51.9	51.2	41.1	34.1	22.5	7.8	4.7	3.1	7.8	-
	宮島地域 (n=10)	60.0	20.0	50.0	10.0	-	30.0	10.0	20.0	-	-
年代別	18～29歳 (n=18)	61.1	44.4	33.3	27.8	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	-
	30～39歳 (n=40)	52.5	35.0	27.5	20.0	27.5	5.0	20.0	7.5	7.5	-
	40～49歳 (n=50)	58.0	42.0	34.0	32.0	18.0	16.0	6.0	12.0	-	-
	50～59歳 (n=54)	50.0	29.6	29.6	25.9	29.6	14.8	14.8	11.1	11.1	-
	60～69歳 (n=84)	45.2	41.7	35.7	35.7	23.8	9.5	10.7	13.1	4.8	-
	70歳以上 (n=74)	51.4	45.9	44.6	41.9	17.6	13.5	9.5	9.5	4.1	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

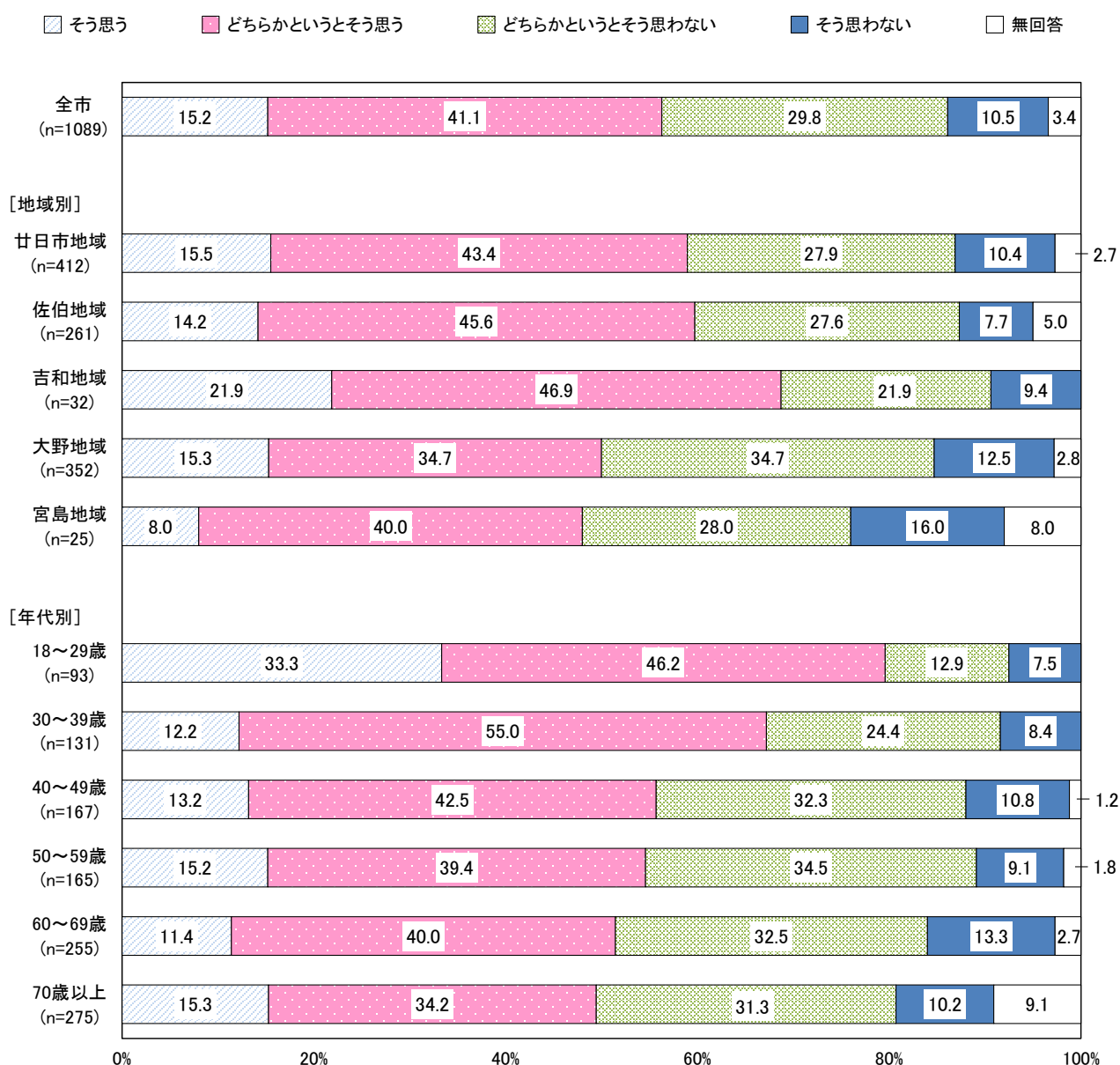
問 20 あなたは、廿日市市内の各ＪＲ駅周辺が、日常生活の利便性が高い地区だと思いますか。〔〇は１つ〕

〔全体〕 廿日市市内の各ＪＲ駅周辺が、日常生活の利便性が高い地区だと思うかどうかについては、「そう思う」（15.2%）と「どちらかというと思う」（41.1%）を合わせると５割台（56.3%）を占める。

〔地域別〕 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合は、「吉和地域」（68.8%）が最も高く、以下、「佐伯地域」（59.8%）、「廿日市地域」（58.9%）、「大野地域」（50.0%）、「宮島地域」（48.0%）と続く。

〔年代別〕 「18～29 歳」は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合（79.5%）が、「全市」より 20 ポイント以上高い。

図 49 市内各ＪＲ駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思うか

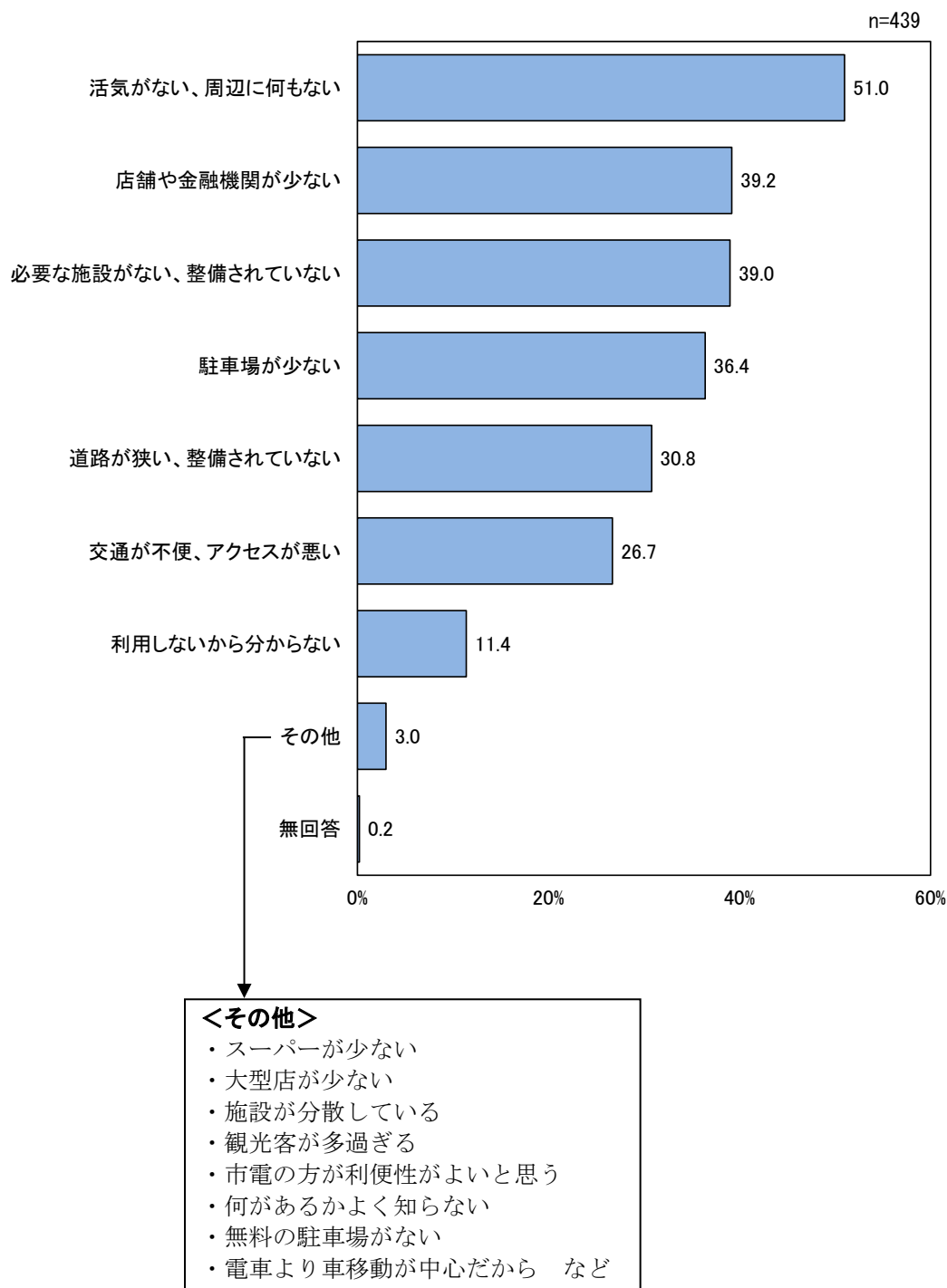


【「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ方】

■「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ理由【〇は3つまで】

【全体】 「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（廿日市市内の各ＪＲ駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思わない理由）については、「活気がない、周辺に何も無い」（51.0％）が最も多く、以下、「店舗や金融機関が少ない」（39.2％）、「必要な施設がない、整備されていない」（39.0％）と続く。

図 50 市内各ＪＲ駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思わない理由



[地域別] 「佐伯地域」は「道路が狭い、整備されていない」(43.5%)が、「吉和地域」は「利用しないから分からない」(30.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「30～39歳」は「活気がない、周辺に何も無い」(65.1%)が、「60～69歳」は「駐車場が少ない」(47.9%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 14 市内各JR駅周辺が日常生活の利便性が高い地区だと思わない理由

(単位: %)

項目		活気がない、 周辺に何も ない	店舗や金融 機関が少な い	必要な施設 がない、整 備されてい ない	駐 車 場 が 少 な い	道 路 が 狭 い、 整 備 さ れ て い な い	交 通 が 不 便、 ア ク セ ス が 悪 い	利 用 し な い か ら 分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
全市 (n=439)		51.0	39.2	39.0	36.4	30.8	26.7	11.4	3.0	0.2
地域別	廿日市地域 (n=158)	52.5	45.6	44.3	39.2	27.8	17.7	7.6	2.5	－
	佐伯地域 (n=92)	35.9	26.1	23.9	35.9	43.5	35.9	19.6	3.3	－
	吉和地域 (n=10)	30.0	20.0	40.0	30.0	40.0	20.0	30.0	－	－
	大野地域 (n=166)	59.0	42.2	42.8	34.9	25.9	30.7	9.0	3.6	0.6
	宮島地域 (n=11)	54.5	27.3	36.4	27.3	36.4	27.3	18.2	－	－
年代別	18～29歳 (n=19)	47.4	31.6	31.6	21.1	15.8	21.1	10.5	5.3	5.3
	30～39歳 (n=43)	65.1	23.3	46.5	30.2	34.9	25.6	4.7	2.3	－
	40～49歳 (n=72)	48.6	37.5	38.9	30.6	38.9	16.7	9.7	2.8	－
	50～59歳 (n=72)	45.8	37.5	44.4	29.2	30.6	20.8	13.9	8.3	－
	60～69歳 (n=117)	53.8	42.7	36.8	47.9	30.8	30.8	7.7	0.9	－
	70歳以上 (n=114)	48.2	43.9	36.8	37.7	27.2	33.3	17.5	1.8	－

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

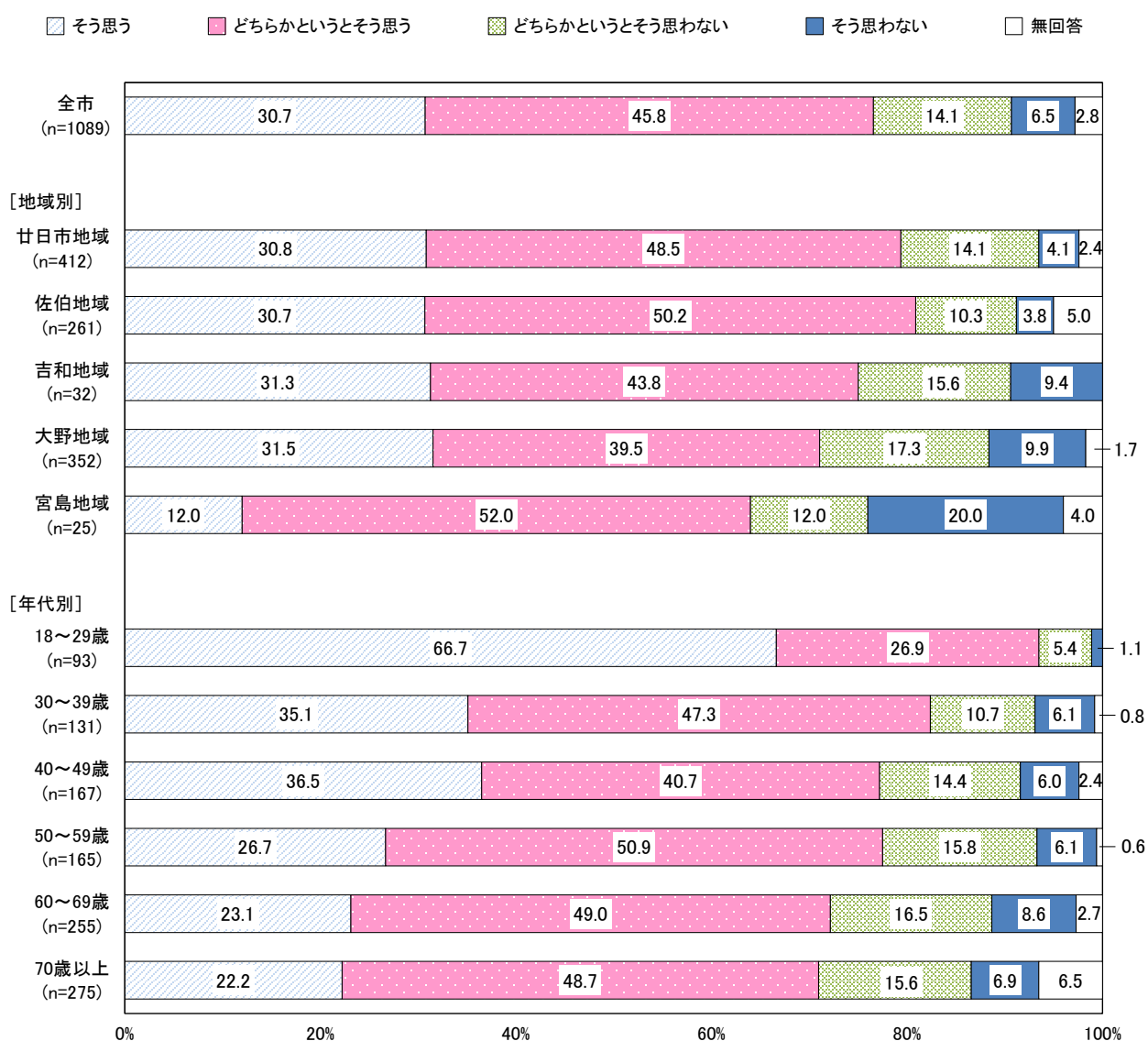
問 21 あなたは、宮島口地区が、国際的な観光交流拠点としてふさわしい景観であると思いますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 宮島口地区が国際的な観光交流拠点としてふさわしい景観であるかどうかについては、「そう思う」（30.7％）と「どちらかというと思う」（45.8％）を合わせると7割台（76.5％）を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は「そう思わない」（20.0％）が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～29 歳」は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合（93.6％）が、「全市」より10ポイント以上高い。

図 51 宮島口地区の景観は国際的な観光交流拠点にふさわしいか



問 22 あなたは、日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できていますか。

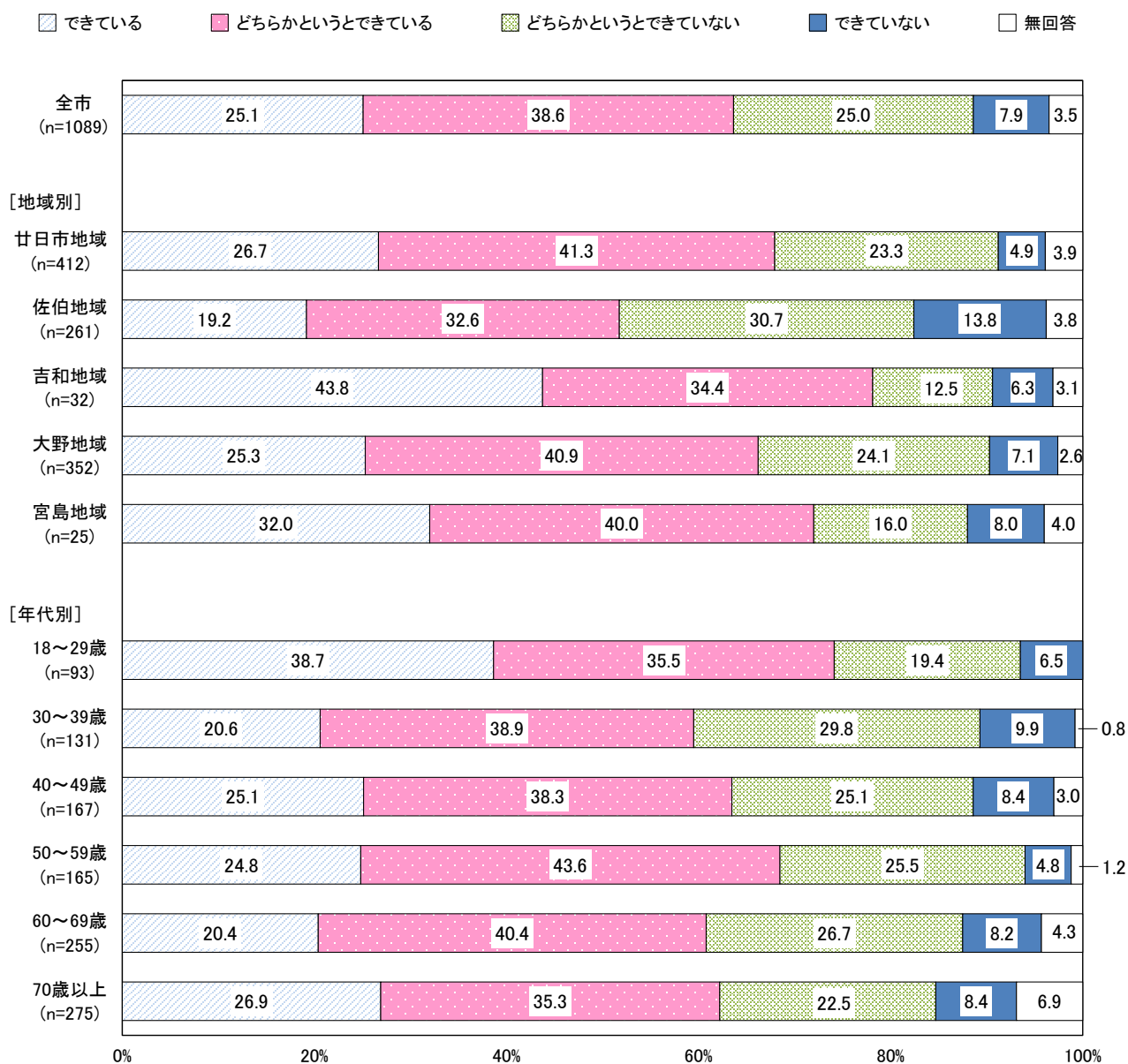
[○は1つ]

[全体] 日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できているかどうかについては、「できている」(25.1%)と「どちらかというとできている」(38.6%)を合わせると6割台(63.7%)を占める。

[地域別] 「吉和地域」は、「できている」と「どちらかというとできている」を合わせた割合(78.2%)が、「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は、「できている」と「どちらかというとできている」を合わせた割合(74.2%)が、「全市」より10ポイント以上高い。

図 52 生活道路を安心して歩行・通行できているか

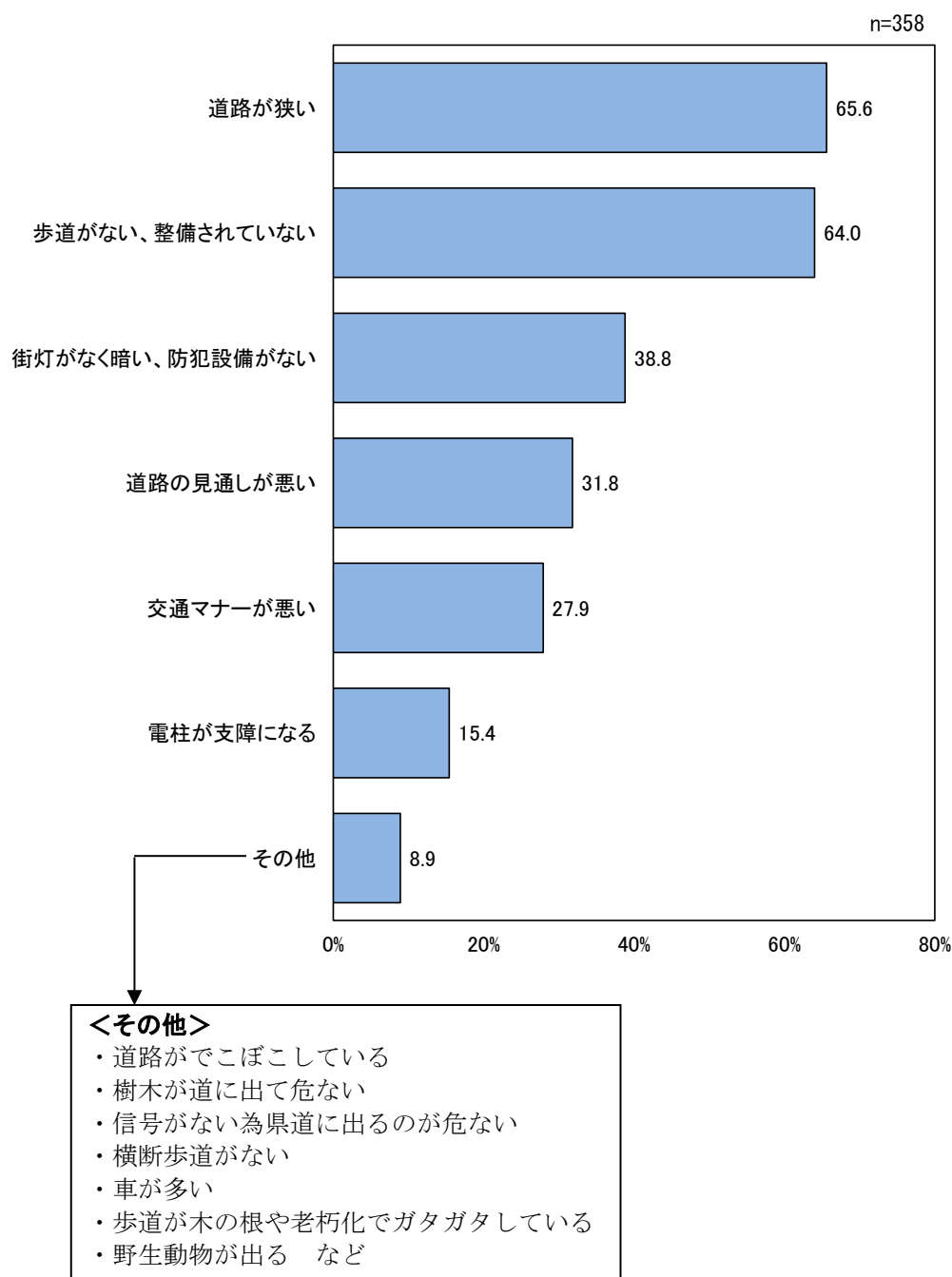


【「どちらかというとできていない」または「できていない」を選んだ方】

■「どちらかというとできていない」または「できていない」を選んだ理由【○は3つまで】

【全体】 「どちらかというとできていない」または「できていない」を選んだ理由（日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できていない理由）については、「道路が狭い」（65.6%）が最も多く、以下、「歩道がない、整備されていない」（64.0%）、「街灯がなく暗い、防犯設備がない」（38.8%）と続く。

図 53 生活道路を安心して歩行・通行できていない理由



〔地域別〕 「佐伯地域」は「歩道がない、整備されていない」(78.4%)が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 年齢による顕著な差異は見られない。

表 15 生活道路を安心して歩行・通行できていない理由

(単位: %)

項目		道路が狭い	歩道がない、整備されていない	街灯がなく暗い、防犯設備がない	道路の見通しが悪い	交通マナーが悪い	電柱が支障になる	その他
全市 (n=358)		65.6	64.0	38.8	31.8	27.9	15.4	8.9
地域別	廿日市地域 (n=116)	56.9	57.8	36.2	30.2	36.2	21.6	10.3
	佐伯地域 (n=116)	70.7	78.4	44.8	33.6	16.4	4.3	6.9
	吉和地域 (n=6)	16.7	66.7	50.0	16.7	16.7	—	16.7
	大野地域 (n=110)	70.0	56.4	34.5	32.7	32.7	22.7	9.1
	宮島地域 (n=6)	83.3	66.7	50.0	33.3	33.3	—	—
年代別	18～29歳 (n=24)	45.8	50.0	45.8	20.8	29.2	8.3	8.3
	30～39歳 (n=52)	67.3	55.8	38.5	32.7	30.8	17.3	9.6
	40～49歳 (n=56)	60.7	53.6	46.4	33.9	23.2	7.1	14.3
	50～59歳 (n=50)	64.0	66.0	36.0	30.0	24.0	24.0	4.0
	60～69歳 (n=89)	67.4	70.8	39.3	33.7	29.2	21.3	9.0
	70歳以上 (n=85)	71.8	71.8	32.9	32.9	30.6	10.6	8.2

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

問 23 あなたの住んでいる地域は、地震・風水害などの対策がされていると思いますか。

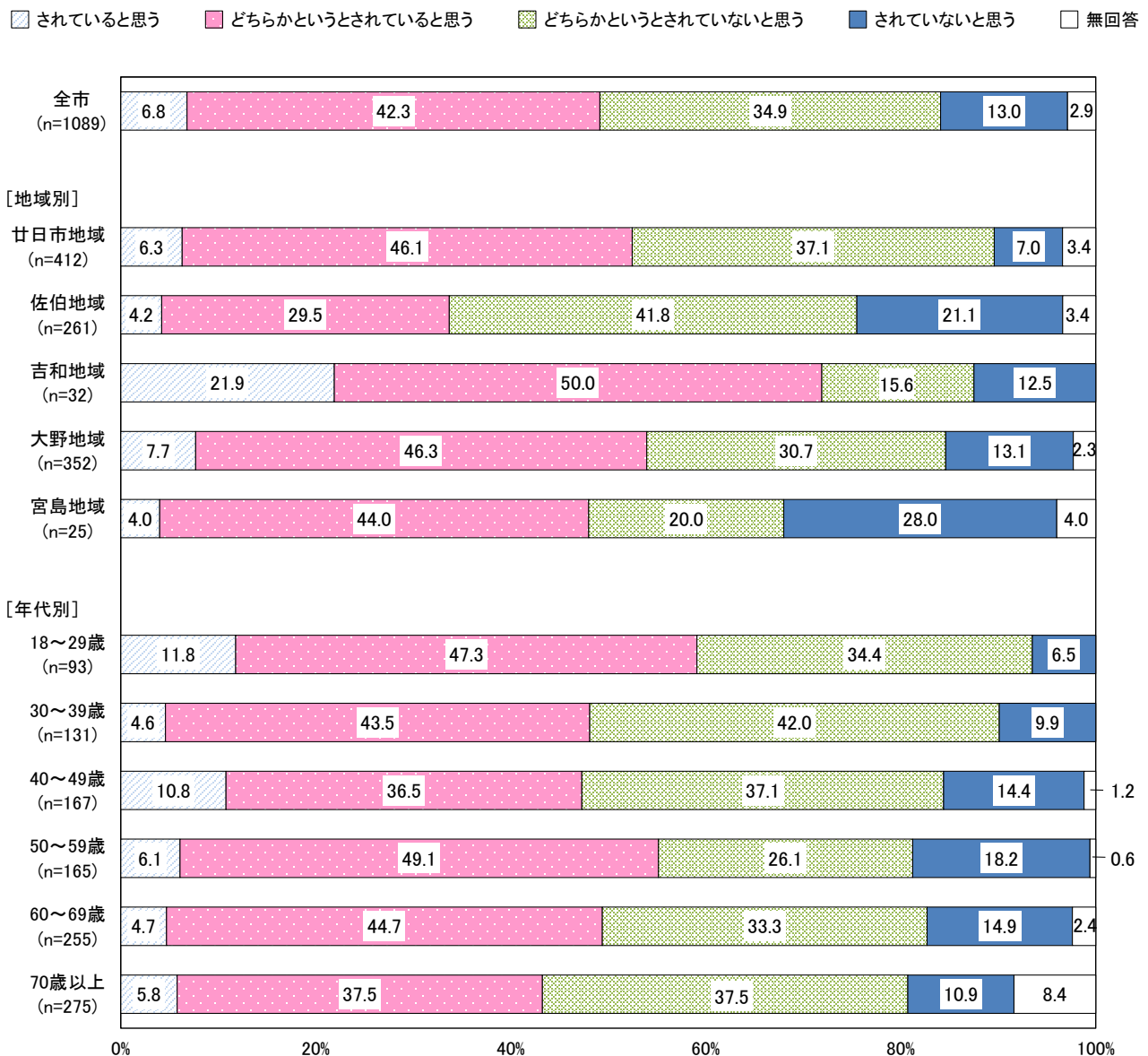
〔〇は1つ〕

〔全体〕 住んでいる地域は、地震・風水害などの対策がされていると思うかどうかについては、「されていると思う」(6.8%)と「どちらかというと思っていると思う」(42.3%)を合わせると約5割(49.1%)を占める。

〔地域別〕 「吉和地域」は、「されていると思う」と「どちらかというと思っていると思う」を合わせた割合(71.9%)が、「全市」より20ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～29歳」は、「されていると思う」と「どちらかというと思っていると思う」を合わせた割合(59.1%)が、「全市」より10ポイント高い。

図 54 地震・風水害などの対策

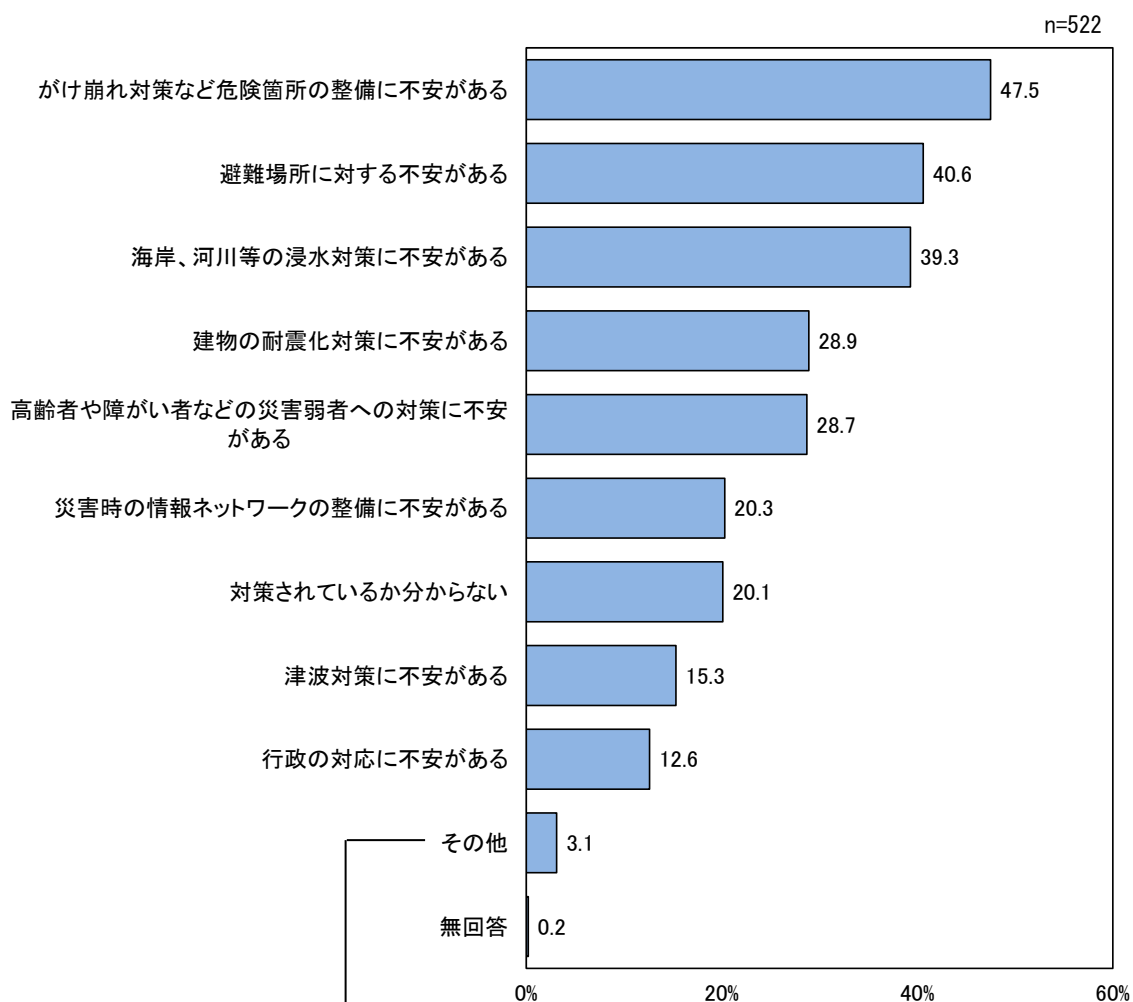


【「どちらかというとなされていないと思う」または「なされていないと思う」を選んだ方】

■「どちらかというとなされていないと思う」または「なされていないと思う」を選んだ理由
【○は3つまで】

【全体】 「どちらかというとなされていないと思う」または「なされていないと思う」を選んだ理由（地震・風水害などの対策がなされていないと思う理由）については、「がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある」（47.5%）が最も多く、以下、「避難場所に対する不安がある」（40.6%）、「海岸、河川等の浸水対策に不安がある」（39.3%）と続く。

図 55 地震・風水害などの対策がなされていないと思う理由



＜その他＞

- ・大雨の時等は水路から水があふれる
- ・避難場所までの道のりも土砂の危険があるから
- ・最近の大きな災害では今までの対策では難しいと思う
- ・地元公園があるが、災害時、ふだんでもトイレがないので困る など

〔地域別〕 「佐伯地域」は「がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある」(66.5%)が、「宮島地域」は「がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある」(58.3%)と「建物の耐震化対策に不安がある」(75.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「70歳以上」は「高齢者や障がい者などの災害弱者への対策に不安がある」(40.6%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 16 地震・風水害などの対策がされていないと思う理由

(単位: %)

項目		がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある	避難場所に対する不安がある	海岸、河川等の浸水対策に不安がある	建物の耐震化対策に不安がある	高齢者や障がい者などの災害弱者への対策に不安がある	災害時の情報ネットワークの整備に不安がある	対策されているか分からない	津波対策に不安がある	行政の対応に不安がある	その他	無回答
全市 (n=522)		47.5	40.6	39.3	28.9	28.7	20.3	20.1	15.3	12.6	3.1	0.2
地域別	廿日市地域 (n=182)	36.3	40.7	40.7	28.6	25.3	21.4	22.5	23.1	10.4	1.6	-
	佐伯地域 (n=164)	66.5	36.6	36.6	32.3	32.9	13.4	18.3	-	16.5	4.3	0.6
	吉和地域 (n=9)	66.7	44.4	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	-	33.3	11.1	-
	大野地域 (n=154)	39.0	44.8	41.6	22.1	27.9	26.6	20.1	23.4	9.7	3.2	-
	宮島地域 (n=12)	58.3	41.7	33.3	75.0	33.3	8.3	8.3	16.7	8.3	-	-
年代別	18～29歳 (n=38)	44.7	39.5	39.5	18.4	18.4	10.5	26.3	18.4	-	2.6	-
	30～39歳 (n=68)	36.8	36.8	35.3	32.4	25.0	25.0	20.6	19.1	8.8	7.4	-
	40～49歳 (n=86)	44.2	34.9	44.2	29.1	19.8	14.0	19.8	16.3	14.0	3.5	-
	50～59歳 (n=73)	49.3	30.1	32.9	30.1	23.3	26.0	17.8	12.3	20.5	8.2	1.4
	60～69歳 (n=123)	52.0	50.4	43.1	30.9	30.1	21.1	17.1	20.3	9.8	-	-
	70歳以上 (n=133)	51.1	43.6	38.3	27.8	40.6	20.3	22.6	9.0	15.0	0.8	-

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

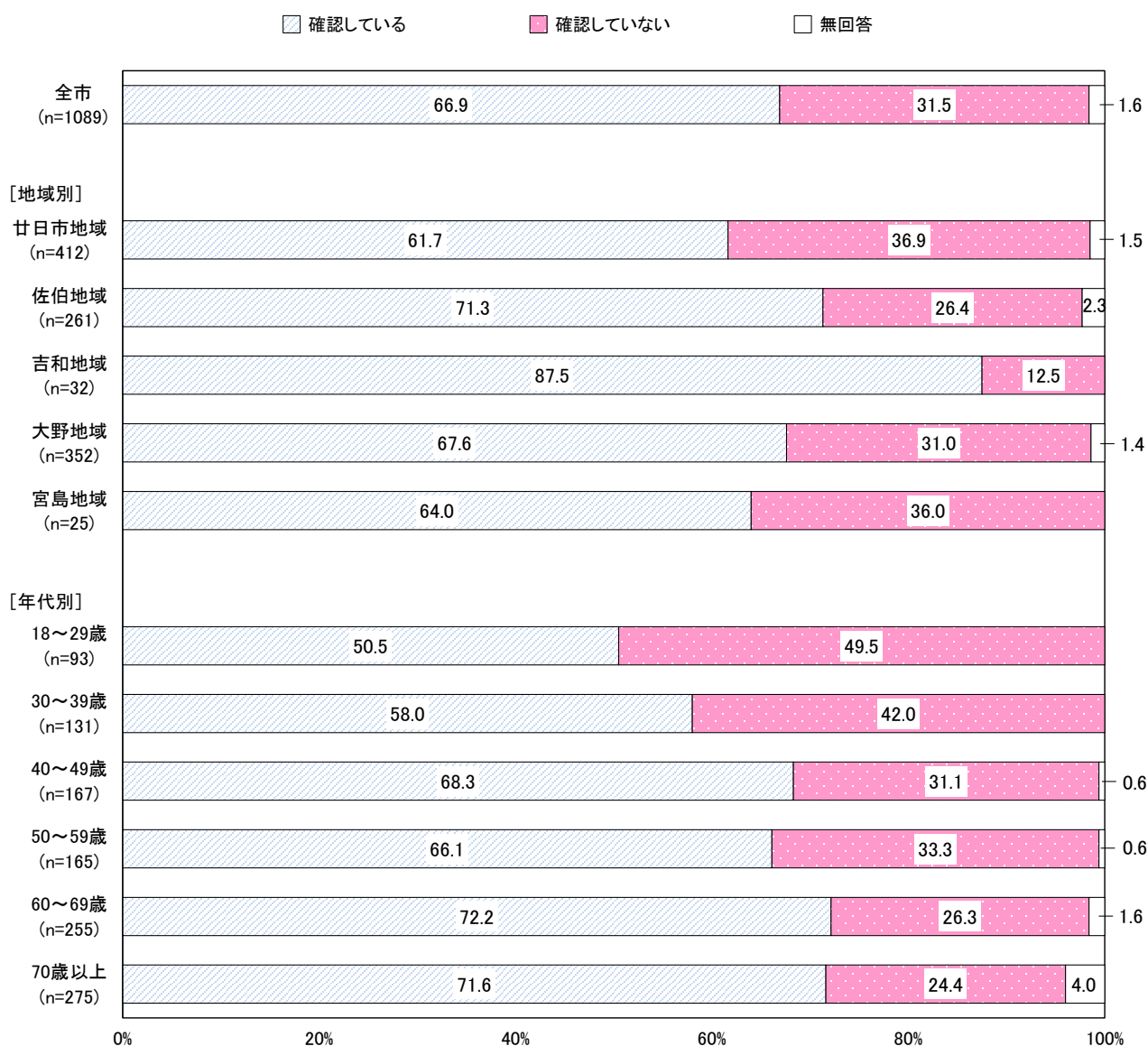
問 24 あなたは、災害の種別（地震、風水害など）ごとに、避難場所や避難経路を確認していますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 災害の種別（地震、風水害など）ごとに、避難場所や避難経路を確認しているかどうかについては、「確認している」（66.9%）が6割台を占める。

〔地域別〕 「吉和地域」は「確認している」（87.5%）が「全市」より20ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～39歳」は「確認していない」（18～29歳：49.5%、30～39歳：42.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 56 避難場所や避難経路の確認



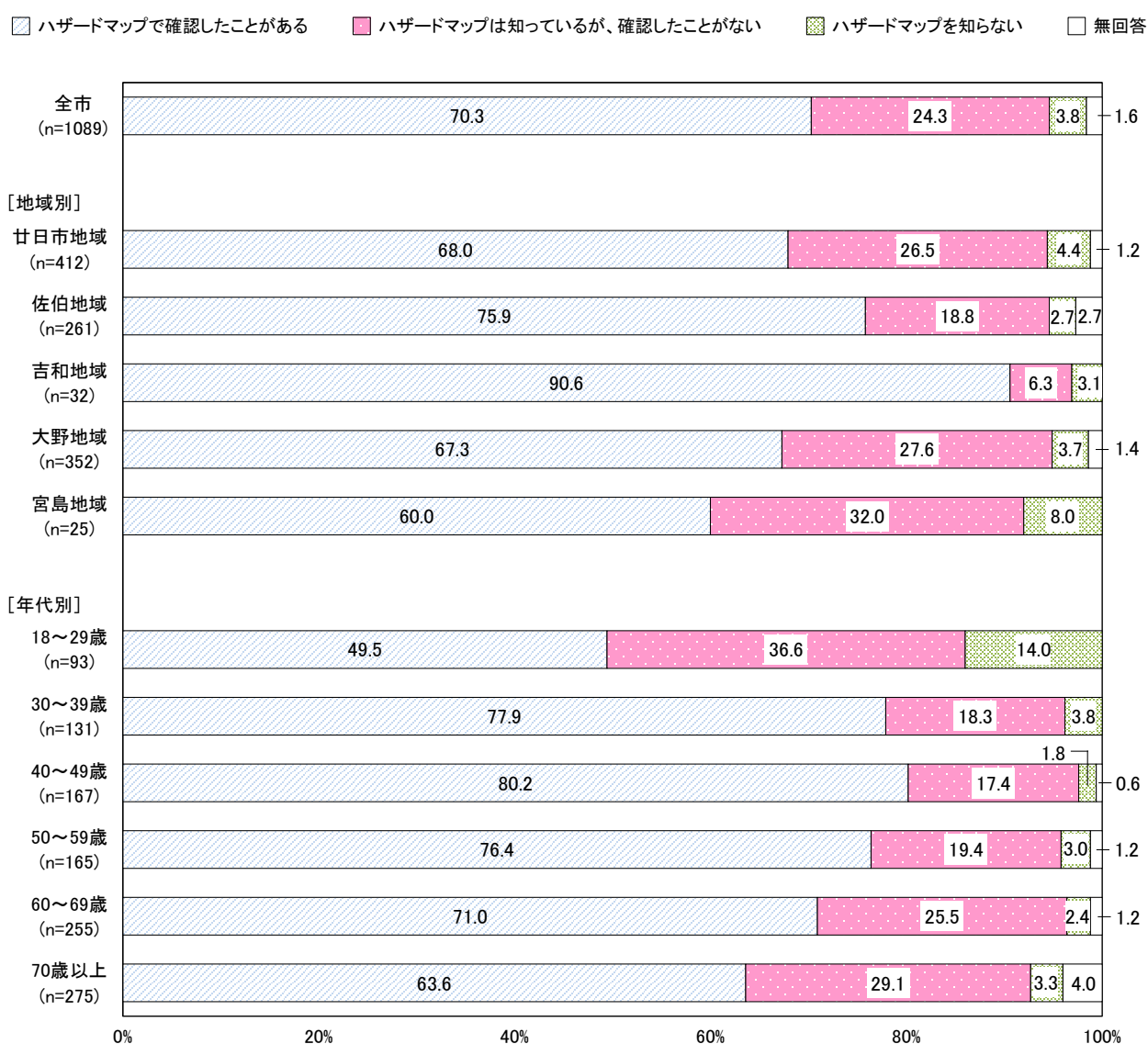
問 25 あなたの住んでいる場所の災害時の危険性について、土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等により確認したことがありますか。[〇は1つ]

[全体] 住んでいる場所の災害時の危険性について、土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等により確認したことがあるかどうかについては、「ハザードマップで確認したことがある」(70.3%)が7割台を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「ハザードマップで確認したことがある」(90.6%)が「全市」より20ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」は「ハザードマップで確認したことがある」(49.5%)が「全市」より20ポイント以上低い。

図 57 土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等による確認



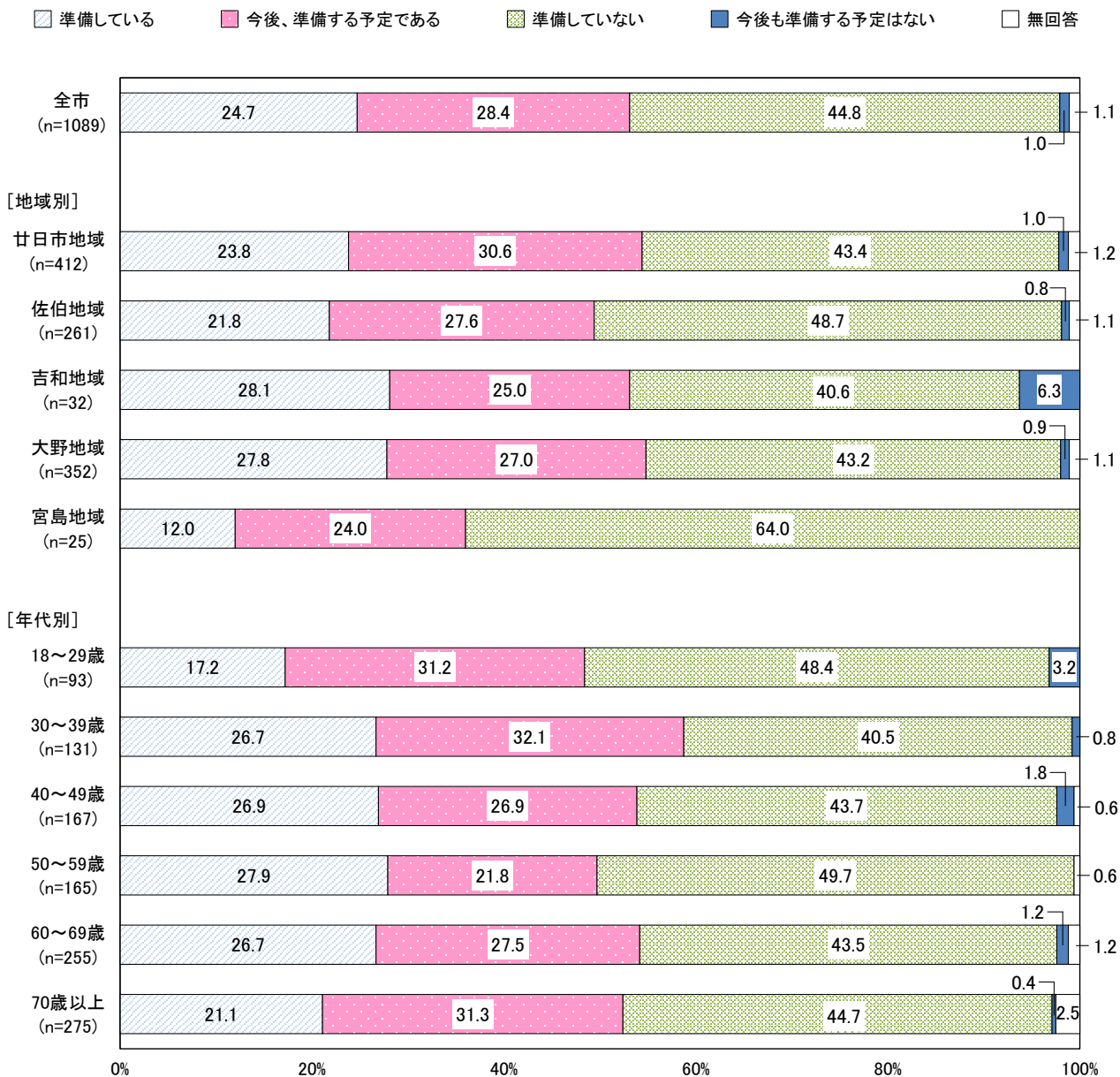
問 26 あなたは、災害時の非常持ち出し品の準備をしていますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 災害時の非常持ち出し品の準備をしているかどうかについては、「準備していない」(44.8%)が最も多く4割台を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は「準備していない」(64.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 年齢による顕著な差異は見られない。

図 58 非常持ち出し品の準備

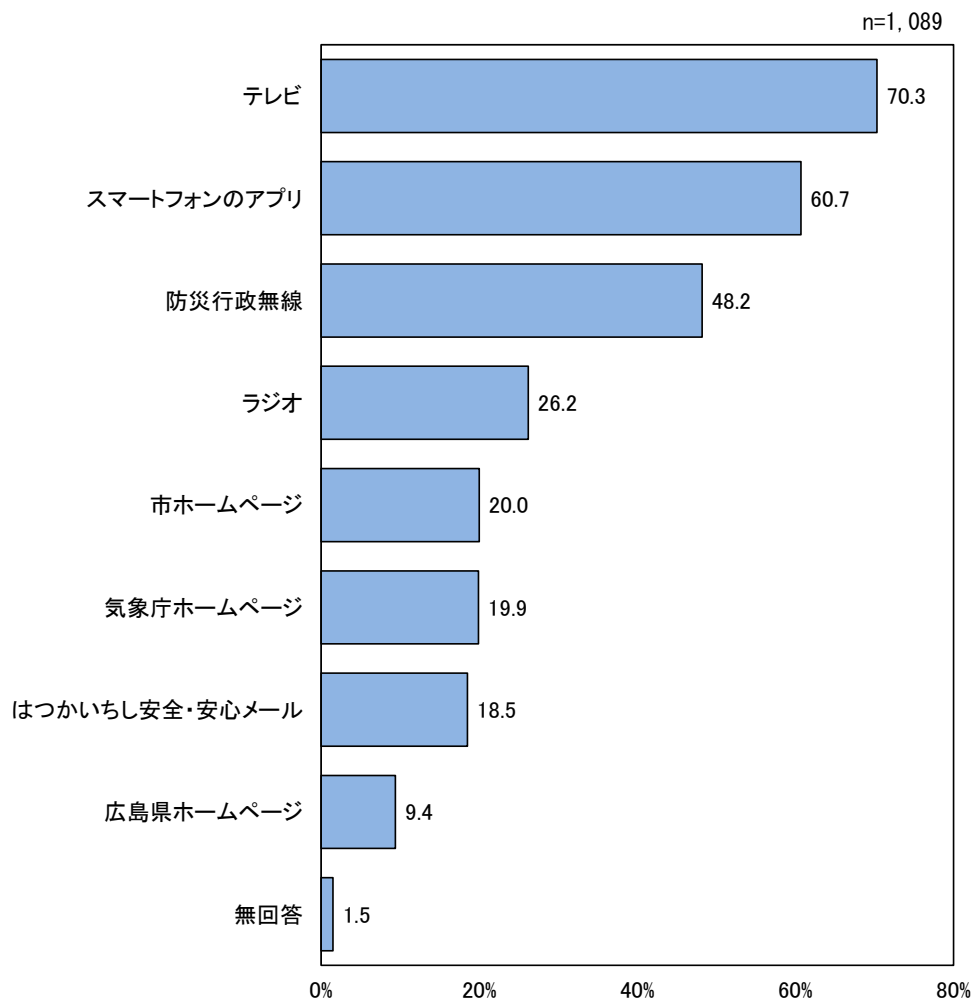


問 27 あなたは、避難するための情報や災害時の情報をどのような手段で収集しますか。

〔当てはまる全てに○〕

〔全体〕 避難するための情報や災害時の情報をどのような手段で収集しているかについては、「テレビ」(70.3%)が最も多く、以下、「スマートフォンのアプリ」(60.7%)、「防災行政無線」(48.2%)と続く。

図 59 避難するための情報や災害時の情報収集手段



【地域別】 「佐伯地域」、「吉和地域」、「宮島地域」は「防災行政無線」（佐伯地域：64.4%、吉和地域：71.9%、宮島地域：68.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は「スマートフォンのアプリ」（71.0%）と「気象庁ホームページ」（31.2%）が、「60歳以上」は「防災行政無線」（60～69歳：58.4%、70歳以上：58.5%）が「全市」より10ポイント以上高い。

表 17 避難するための情報や災害時の情報収集手段

（単位：％）

項目		テレビ	スマートフォンのアプリ	防災行政無線	ラジオ	市ホームページ	気象庁ホームページ	はつかいちし安全・安心メール	広島県ホームページ	無回答
全市 (n=1089)		70.3	60.7	48.2	26.2	20.0	19.9	18.5	9.4	1.5
地域別	廿日市地域 (n=412)	76.2	62.4	37.4	27.2	23.8	21.6	20.9	10.2	1.5
	佐伯地域 (n=261)	64.8	54.0	64.4	28.4	14.9	18.4	14.9	7.3	1.5
	吉和地域 (n=32)	59.4	68.8	71.9	15.6	6.3	18.8	21.9	3.1	3.1
	大野地域 (n=352)	69.3	63.4	45.7	24.7	21.9	20.5	18.5	10.8	0.9
	宮島地域 (n=25)	68.0	48.0	68.0	24.0	8.0	4.0	16.0	8.0	4.0
年代別	18～29歳 (n=93)	68.8	71.0	30.1	14.0	23.7	31.2	3.2	11.8	－
	30～39歳 (n=131)	74.8	70.2	29.0	22.9	29.8	22.9	19.8	16.8	0.8
	40～49歳 (n=167)	61.1	67.7	38.9	22.8	28.1	19.8	24.6	13.2	－
	50～59歳 (n=165)	68.5	63.6	50.3	27.9	25.5	26.7	20.0	12.1	0.6
	60～69歳 (n=255)	74.1	66.7	58.4	27.8	17.6	22.0	21.2	7.5	0.4
	70歳以上 (n=275)	72.0	41.1	58.5	31.3	8.0	9.1	16.4	2.9	4.7

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

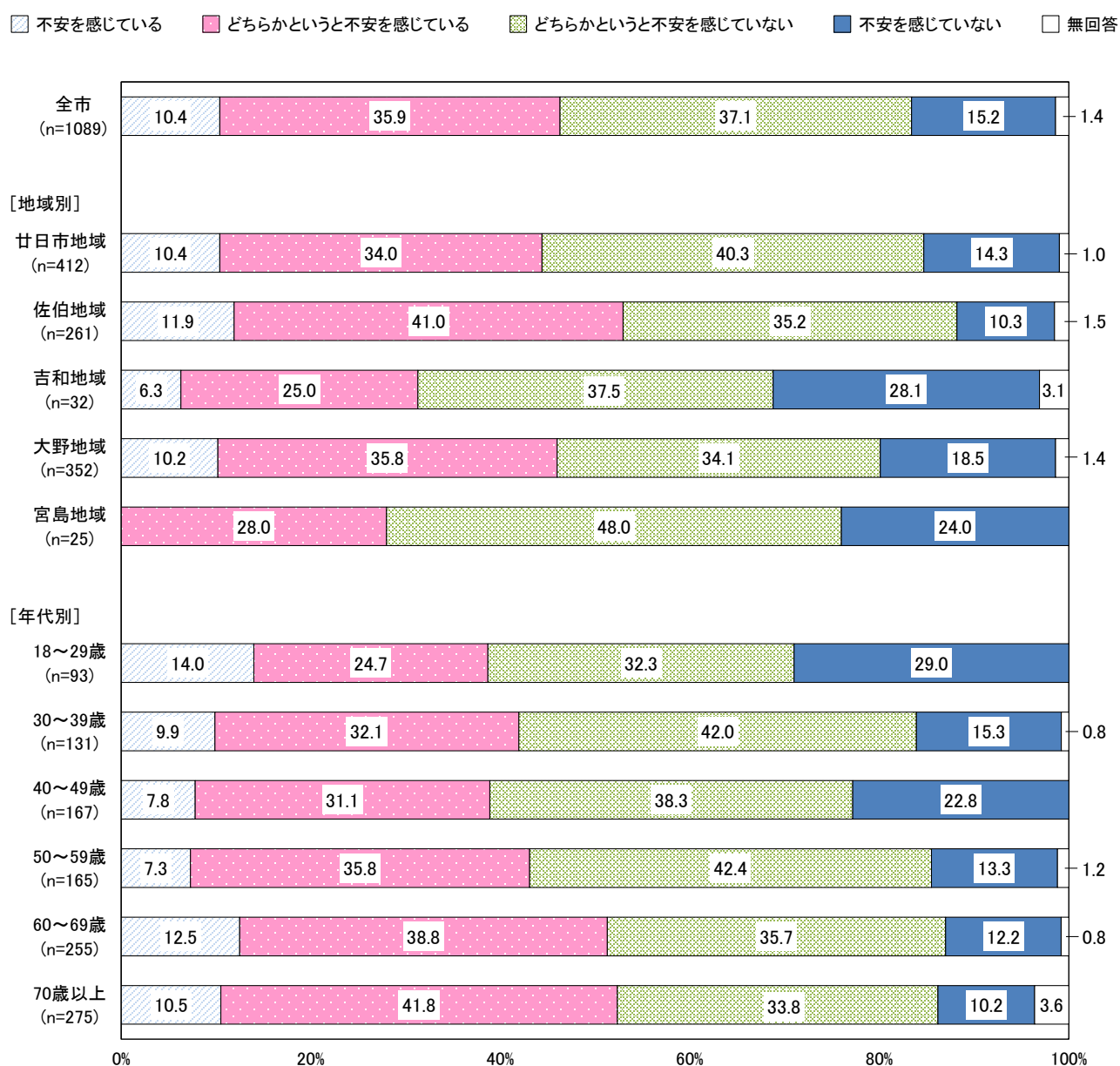
問 28 あなたは、身近なところで犯罪（窃盗、傷害、特殊詐欺など）に遭う不安を感じていますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 身近なところで犯罪（窃盗、傷害、特殊詐欺など）に遭う不安を感じているかどうかについては、「不安を感じている」（10.4%）と「どちらかという不安を感じている」（35.9%）を合わせると4割台（46.3%）になる。

〔地域別〕 「吉和地域」は「不安を感じていない」（28.1%）が、「宮島地域」は「どちらかという不安を感じていない」（48.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～29歳」は「不安を感じていない」（29.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 60 犯罪に遭う不安



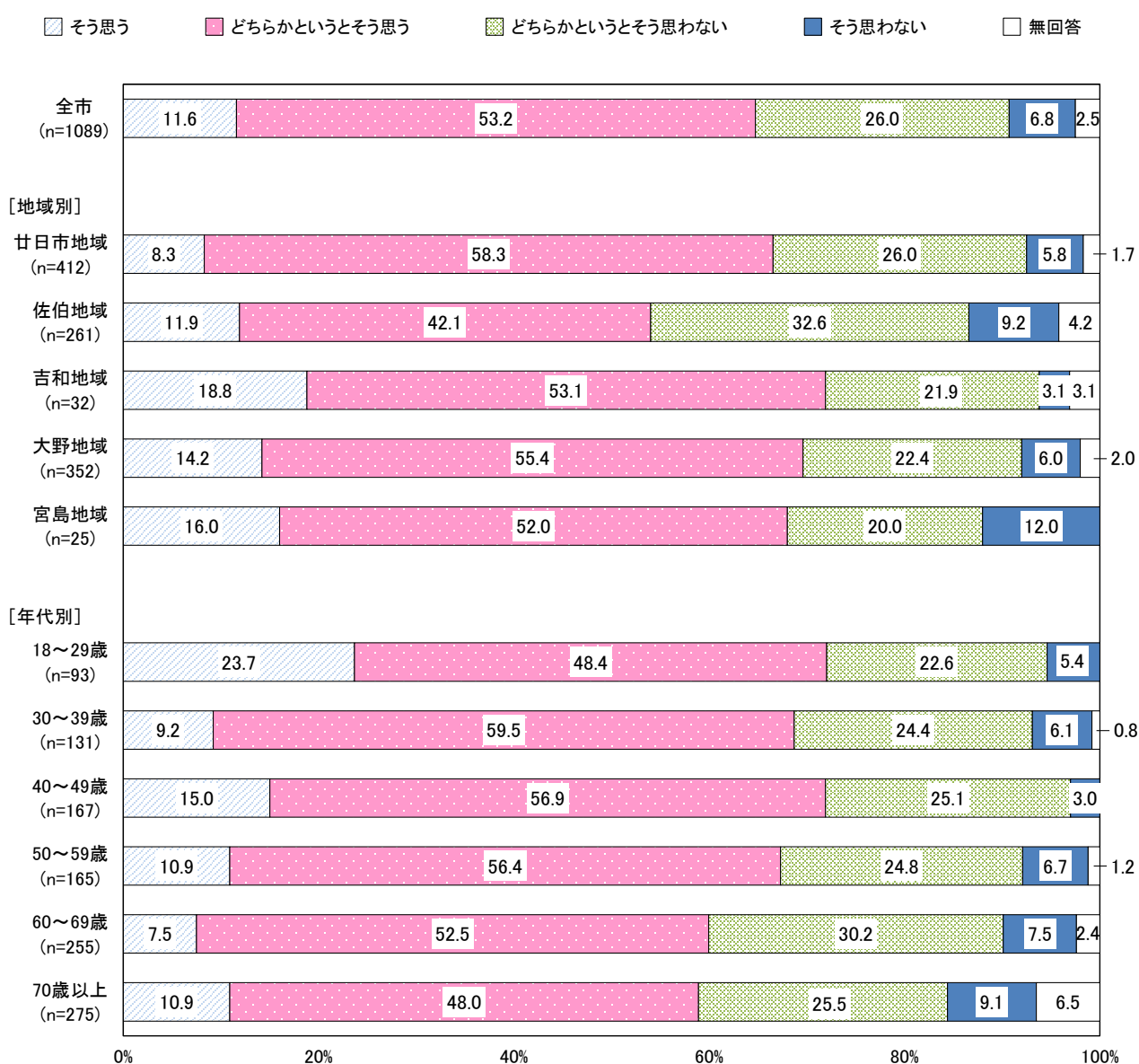
問 29 あなたは、廿日市市の自然環境（海、山、川、大気、動植物など）が守られていると思いますか。[〇は1つ]

[全体] 廿日市市の自然環境が守られていると思うかどうかについては、「そう思う」(11.6%)と「どちらかというと思う」(53.2%)を合わせると6割台(64.8%)を占める。

[地域別] 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合は、「吉和地域」(71.9%)が最も高く、以下、「大野地域」(69.6%)、「宮島地域」(68.0%)、「廿日市地域」(66.6%)、「佐伯地域」(54.0%)と続く。

[年代別] 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合は、年齢が上がるほど低くなる傾向が見られる。

図 61 自然環境の保全

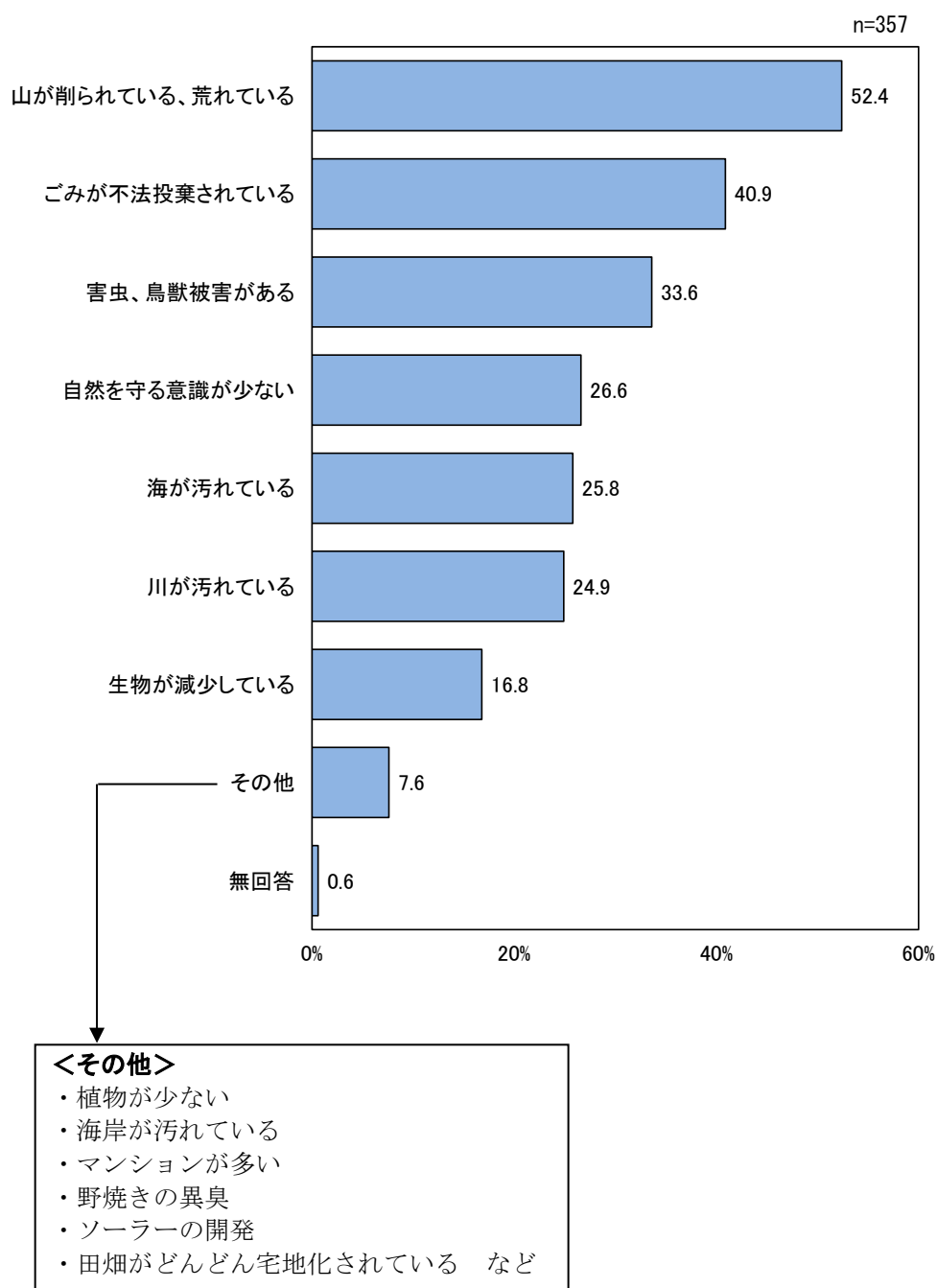


[「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ方]

■「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ理由[当てはまる全てに○]

[全体] 「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選んだ理由（廿日市市の自然環境が守られていると思わない理由）については、「山が削られている、荒れている」（52.4%）が最も多く、以下、「ごみが不法投棄されている」（40.9%）、「害虫、鳥獣被害がある」（33.6%）と続く。

図 62 自然環境が守られていると思わない理由



[地域別] 「佐伯地域」は「害虫、鳥獣被害がある」(55.0%)が、「大野地域」は「ごみが不法投棄されている」(55.0%)と「海が汚れている」(43.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～29歳」と「50～59歳」は、「生物が減少している」(18～29歳：26.9%、50～59歳：30.8%)が、「40～49歳」は「海が汚れている」(40.4%)が「全市」より10ポイント以上高い。

表 18 自然環境が守られていると思わない理由

(単位: %)

項目		山が削られている、荒れている	ごみが不法投棄されている	害虫、鳥獣被害がある	自然を守る意識が少ない	海が汚れている	川が汚れている	生物が減少している	その他	無回答
全市 (n=357)		52.4	40.9	33.6	26.6	25.8	24.9	16.8	7.6	0.6
地域別	廿日市地域 (n=131)	59.5	31.3	32.1	26.7	26.7	19.8	15.3	5.3	0.8
	佐伯地域 (n=109)	54.1	41.3	55.0	21.1	5.5	31.2	13.8	5.5	0.9
	吉和地域 (n=8)	50.0	37.5	25.0	50.0	12.5	—	25.0	12.5	—
	大野地域 (n=100)	43.0	55.0	14.0	29.0	43.0	25.0	22.0	11.0	—
	宮島地域 (n=8)	37.5	25.0	25.0	50.0	87.5	50.0	12.5	12.5	—
年代別	18～29歳 (n=26)	46.2	30.8	26.9	26.9	19.2	11.5	26.9	3.8	—
	30～39歳 (n=40)	45.0	30.0	25.0	35.0	35.0	27.5	20.0	7.5	—
	40～49歳 (n=47)	61.7	46.8	23.4	14.9	40.4	25.5	6.4	8.5	—
	50～59歳 (n=52)	51.9	42.3	25.0	30.8	19.2	19.2	30.8	9.6	—
	60～69歳 (n=96)	55.2	37.5	41.7	28.1	21.9	28.1	14.6	7.3	1.0
	70歳以上 (n=95)	50.5	47.4	40.0	25.3	23.2	27.4	12.6	7.4	1.1

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

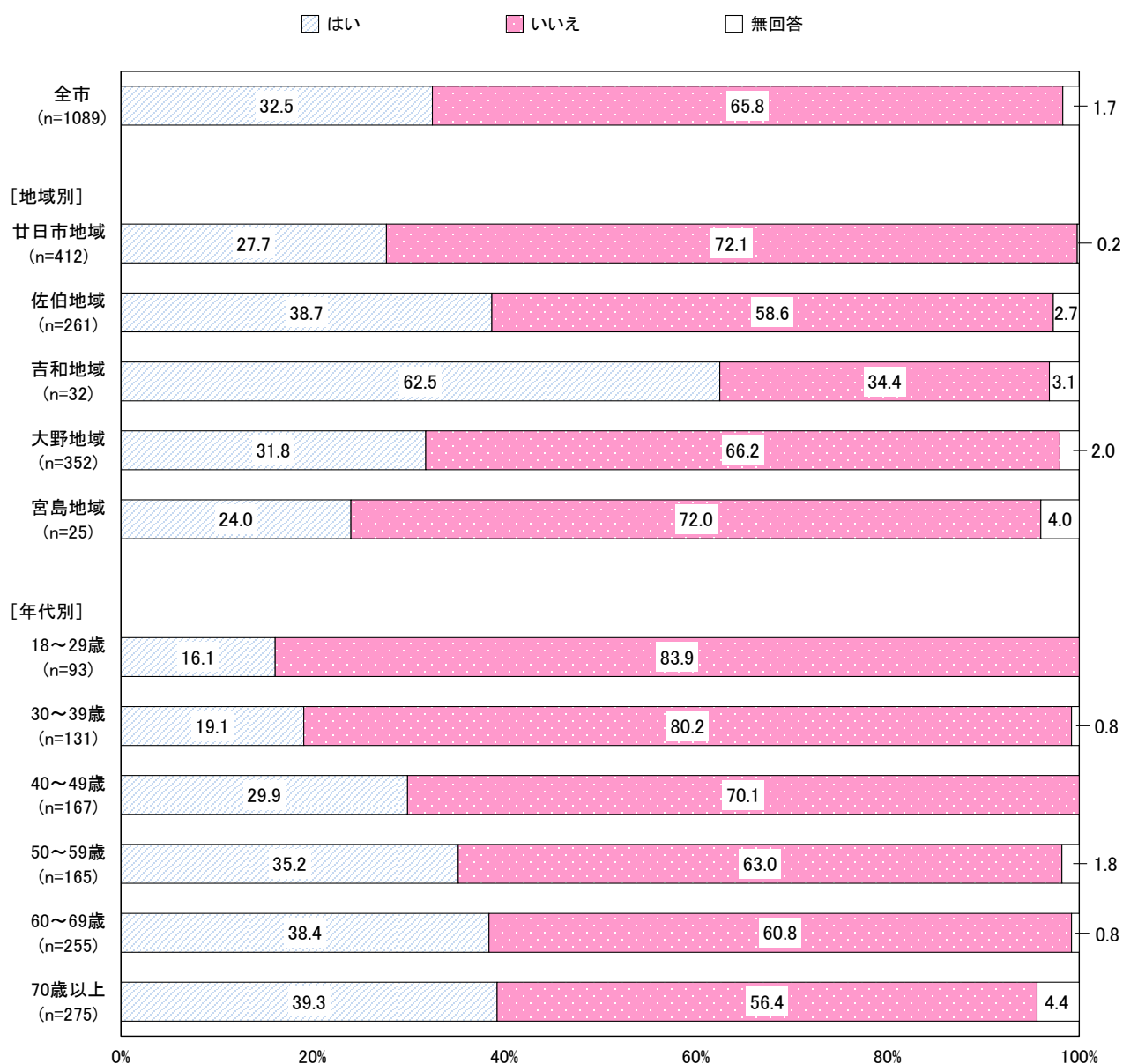
問 30 あなたは、環境保護活動（海岸のゴミ拾いや草刈りなどを含む）に取り組んでいますか。[○は1つ]

[全体] 環境保護活動に取り組んでいるかどうかについては、「いいえ」(65.8%)が6割台を占める。

[地域別] 「吉和地域」は「はい」(62.5%)が「全市」より30ポイント高い。

[年代別] 「18～39歳」は「いいえ」(18～29歳：83.9%、30～39歳：80.2%)が「全市」より10ポイント以上高い。年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向が見られる。

図 63 環境保護活動に取り組んでいるか



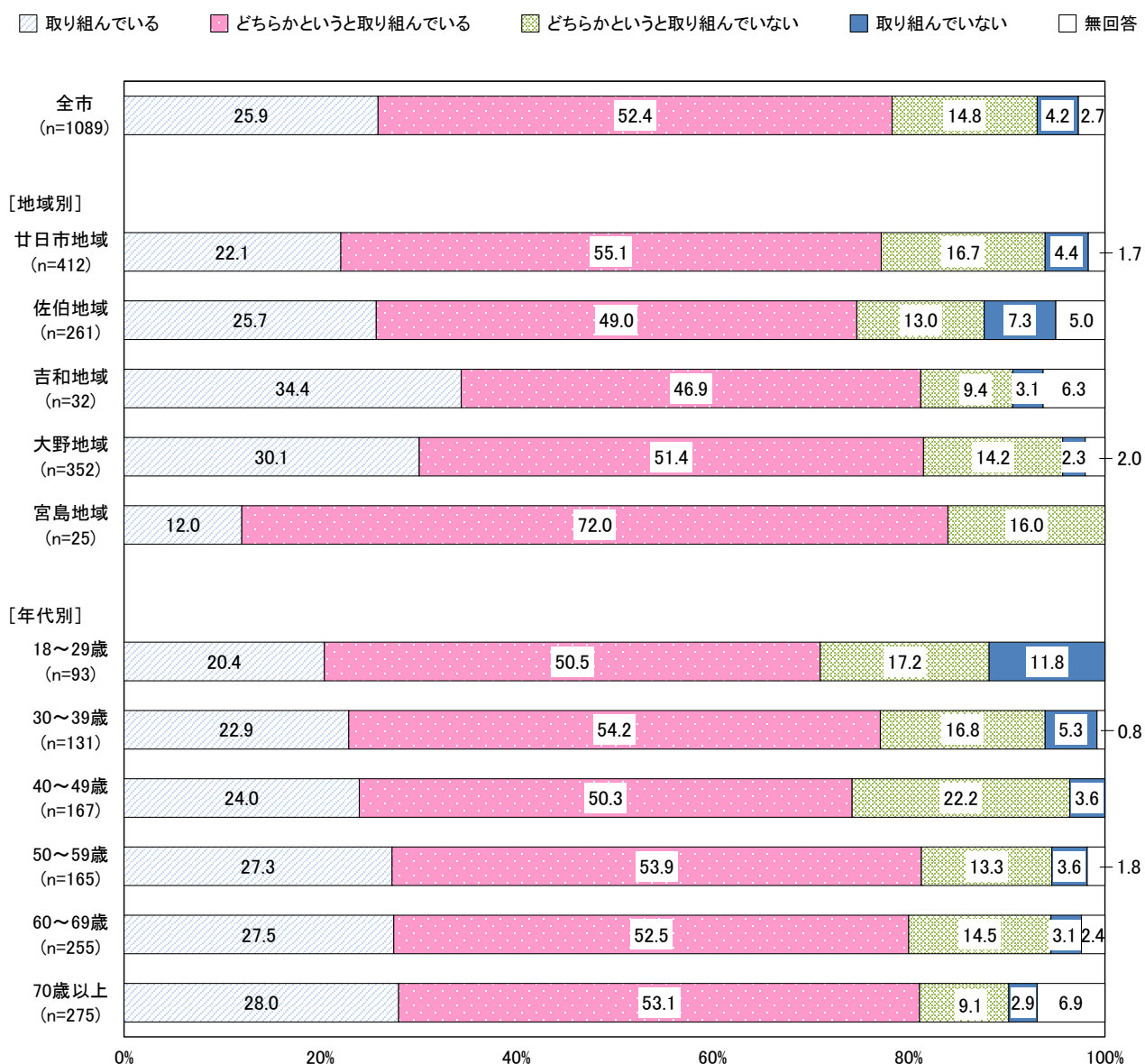
問 31 あなたは、家庭で省エネ・省資源に取り組んでいますか。[〇は1つ]

【全体】 家庭で省エネ・省資源に取り組んでいるかどうかについては、「取り組んでいる」(25.9%)と「どちらかというに取り組んでいる」(52.4%)を合わせると7割台(78.3%)を占める。

【地域別】 「宮島地域」は「どちらかというに取り組んでいる」(72.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29歳」は、「どちらかというに取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせた割合(29.0%)が、「全市」より10ポイント高い。

図 64 家庭での省エネ・省資源に取り組んでいるか

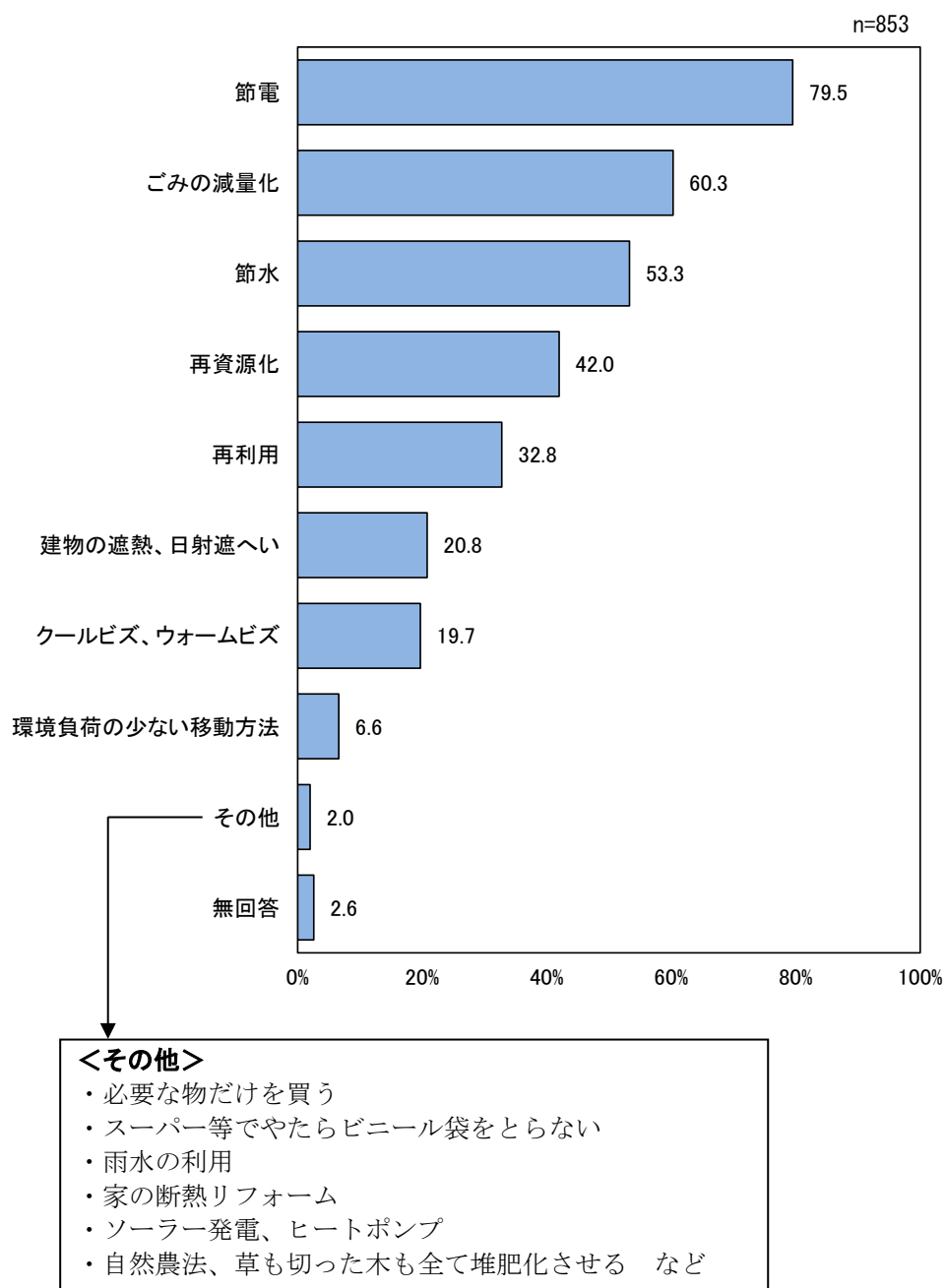


[「取り組んでいる」または「どちらかというに取り組んでいる」を選んだ方]

■どんな内容に取り組んでいますか。[当てはまる全てに○]

[全体] 家庭での省エネ・省資源の取組については、「節電」(79.5%)が最も多く、以下、「ごみの減量化」(60.3%)、「節水」(53.3%)と続く。

図 65 家庭での省エネ・省資源の取組



【地域別】 「宮島地域」は「節電」(90.5%)が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「30～39歳」は「再資源化」(47.5%)と「再利用」(42.6%)が、「60～69歳」は「ごみの減量化」(65.7%)と「クールビズ、ウォームビズ」(25.0%)が、「70歳以上」は「ごみの減量化」(66.4%)が「全市」より5ポイント以上高い。

表 19 家庭での省エネ・省資源の取組

(単位: %)

項目		節電	ごみの減量化	節水	再資源化	再利用	建物の遮熱、日射遮へい	クールビズ、ウォームビズ	環境負荷の少ない移動方法	その他	無回答
全市 (n=853)		79.5	60.3	53.3	42.0	32.8	20.8	19.7	6.6	2.0	2.6
地域別	廿日市地域 (n=318)	77.0	60.4	53.5	46.2	35.5	22.3	22.3	7.2	1.9	2.5
	佐伯地域 (n=195)	81.5	63.6	47.2	39.0	35.4	16.4	16.4	5.6	2.1	2.6
	吉和地域 (n=26)	88.5	65.4	61.5	30.8	30.8	11.5	23.1	11.5	-	-
	大野地域 (n=287)	79.1	59.9	56.1	42.5	30.0	24.4	18.5	6.6	2.4	2.8
	宮島地域 (n=21)	90.5	38.1	61.9	19.0	14.3	4.8	19.0	-	-	-
年代別	18～29歳 (n=66)	75.8	39.4	56.1	25.8	31.8	12.1	19.7	7.6	-	1.5
	30～39歳 (n=101)	76.2	56.4	52.5	47.5	42.6	24.8	23.8	5.9	2.0	1.0
	40～49歳 (n=124)	79.8	55.6	48.4	39.5	35.5	20.2	22.6	6.5	1.6	0.8
	50～59歳 (n=134)	84.3	59.7	54.5	45.5	32.8	22.4	22.4	6.0	3.7	0.7
	60～69歳 (n=204)	81.4	65.7	54.4	45.1	32.8	21.1	25.0	6.9	2.0	2.0
	70歳以上 (n=223)	77.1	66.4	53.8	40.4	27.4	20.6	9.9	6.7	1.8	6.3

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

5. 産業について

問 32 あなたは、普段の買い物で、意識して廿日市産の農産物を購入していますか。

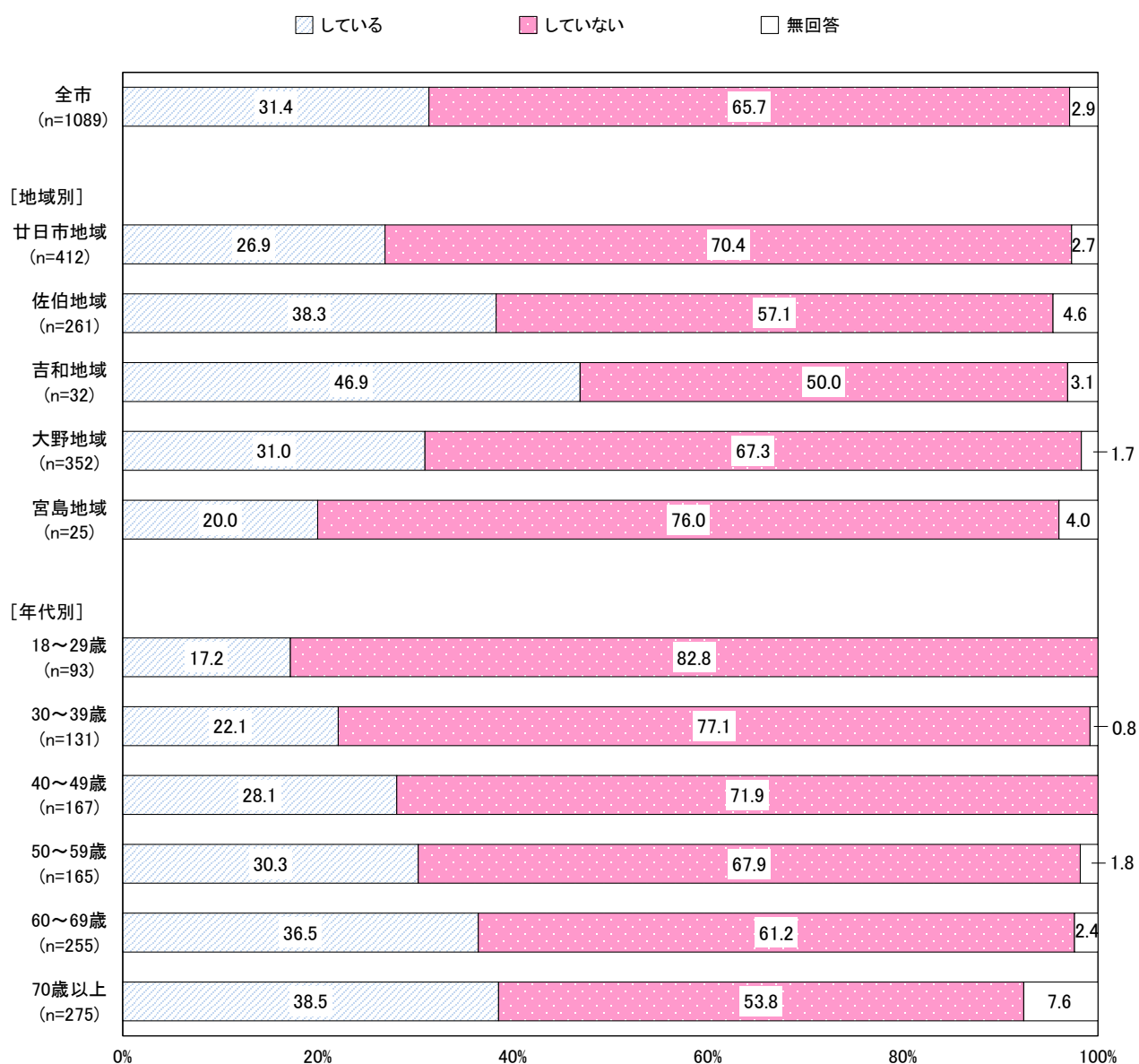
[○は1つ]

[全体] 普段の買い物で、意識して廿日市産の農産物を購入しているかどうかについては、「していない」(65.7%)が6割台を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「していない」(76.0%)が「全市」より10ポイント以上高い。

[年代別] 「18～39歳」は「していない」(18～29歳：82.8%、30～39歳：77.1%)が「全市」より10ポイント以上高い。

図 66 廿日市産の農産物の購入

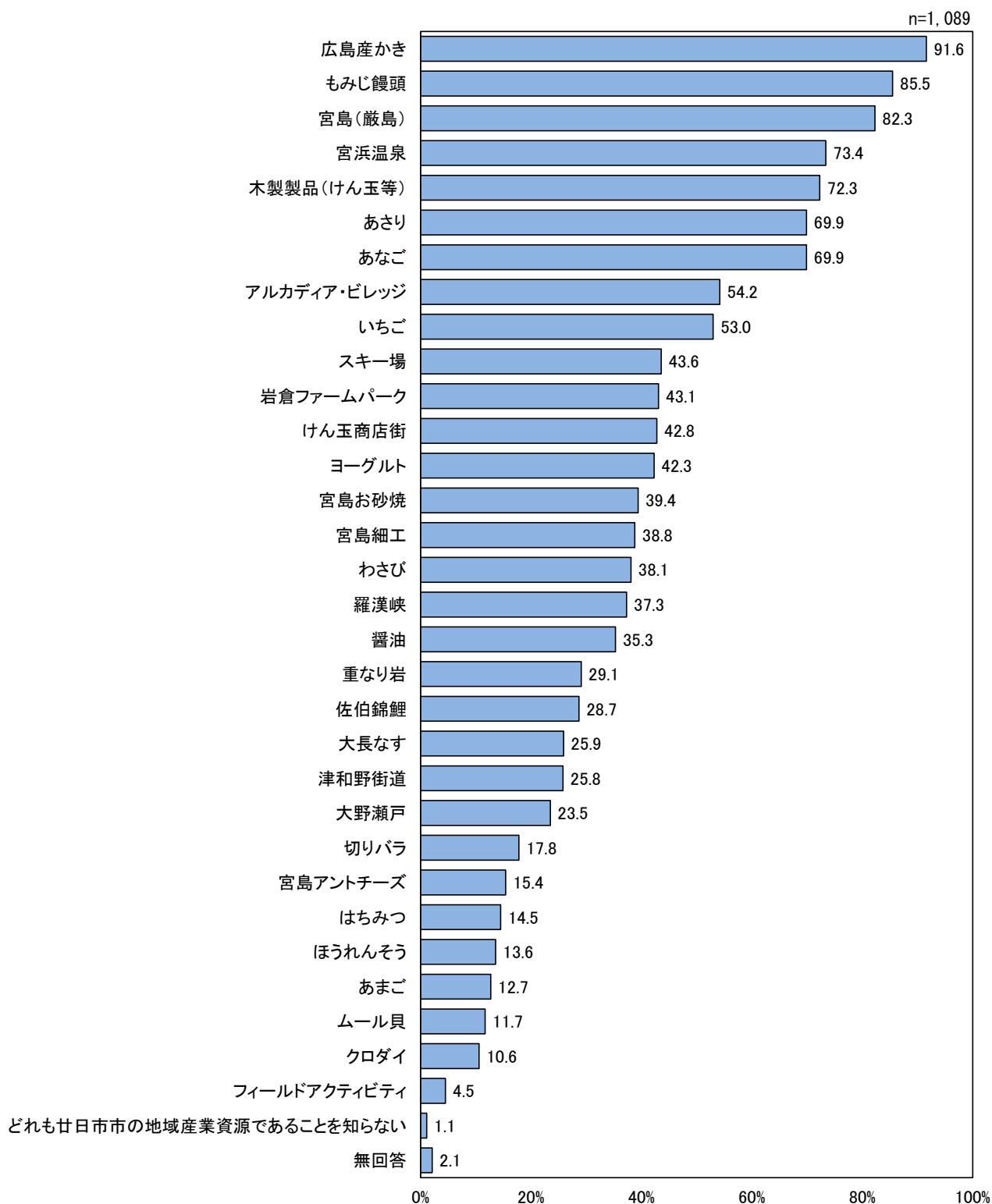


問 33 あなたは、廿日市市の地域産業資源について知っていますか。

〔あてはまる全てに○〕

〔全体〕 知っている廿日市市の地域産業資源については、「広島産かき」(91.6%)が最も多く 9 割台を占め、以下、「もみじ饅頭」(85.5%)、「宮島(厳島)」(82.3%)、「宮浜温泉」(73.4%)、「木製製品(けん玉等)」(72.3%)と続く。

図 67 地域産業資源の認知状況



[認知度 1 位～16 位]

[地域別] 「吉和地域」は「スキー場」(90.6%)と「わさび」(87.5%)が、「宮島地域」は「宮島細工」(72.0%)が「全市」より 30 ポイント以上高い。

[年代別] 「60～69 歳」は「アルカディア・ビレッジ」(65.5%)と「いちご」(66.3%)が全市より 10 ポイント以上高い。

表 20 地域産業資源の認知状況(1～16 位)

(単位: %)

項目		広島産かき	もみじ饅頭	宮島(厳島)	宮浜温泉	木製製品(けん玉等)	あさり	あなご	アルカディア・ビレッジ	いちご	スキー場	岩倉ファームパーク	けん玉商店街	ヨーグルト	宮島お砂焼	宮島細工	わさび
全市 (n=1089)		91.6	85.5	82.3	73.4	72.3	69.9	69.9	54.2	53.0	43.6	43.1	42.8	42.3	39.4	38.8	38.1
地域別	廿日市地域 (n=412)	93.2	87.6	84.0	73.3	77.2	59.0	69.7	59.7	55.3	38.8	40.0	53.9	42.0	34.2	40.8	33.7
	佐伯地域 (n=261)	85.1	81.2	77.4	65.5	67.0	62.5	63.6	52.9	69.3	59.4	65.1	34.9	34.9	24.5	32.6	57.1
	吉和地域 (n=32)	87.5	87.5	78.1	62.5	78.1	59.4	65.6	56.3	65.6	90.6	59.4	43.8	34.4	18.8	46.9	87.5
	大野地域 (n=352)	96.0	86.4	84.4	81.8	71.0	88.4	74.7	50.3	38.1	34.9	31.5	35.2	50.6	56.5	38.4	25.3
	宮島地域 (n=25)	88.0	84.0	80.0	52.0	64.0	84.0	80.0	32.0	32.0	20.0	12.0	44.0	24.0	64.0	72.0	32.0
	18～29歳 (n=93)	90.3	83.9	87.1	63.4	59.1	39.8	60.2	34.4	36.6	29.0	31.2	39.8	32.3	32.3	32.3	18.3
年代別	30～39歳 (n=131)	92.4	87.0	83.2	73.3	78.6	55.7	63.4	51.1	41.2	38.9	38.9	45.8	33.6	26.0	26.7	25.2
	40～49歳 (n=167)	95.2	90.4	80.8	74.3	74.9	73.1	73.1	56.3	50.9	39.5	46.7	43.1	44.9	37.7	33.5	28.1
	50～59歳 (n=165)	92.7	84.8	81.2	69.1	73.3	73.3	71.5	59.4	56.4	50.9	46.7	42.4	49.7	38.2	32.1	44.8
	60～69歳 (n=255)	93.3	86.7	86.7	82.0	78.0	77.6	77.3	65.5	66.3	50.2	50.2	49.8	50.2	47.1	46.7	47.8
	70歳以上 (n=275)	87.3	81.5	77.5	70.5	65.8	75.3	66.5	47.6	50.5	42.5	38.2	35.6	36.0	42.2	46.5	43.3

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

[認知度 17 位～31 位]

[地域別] 「佐伯地域」は「大長なす」(66.3%)が、「吉和地域」は「ほうれんそう」(62.5%)と「あまご」(68.8%)が「全市」より 40 ポイント以上高い。

[年代別] 年齢による顕著な差異は見られない。

表 21 地域産業資源の認知状況(17～31 位)

(単位: %)

項目		羅漢峡	醤油	重なり岩	佐伯錦鯉	大長なす	津和野街道	大野瀬戸	切りバラ	宮島アントチーズ	はちみつ	ほうれんそう	あまご	ムール貝	クロダイ	フィールドアクティビティ
全市 (n=1089)		37.3	35.3	29.1	28.7	25.9	25.8	23.5	17.8	15.4	14.5	13.6	12.7	11.7	10.6	4.5
地域別	廿日市地域 (n=412)	37.6	27.4	18.4	17.7	13.6	22.6	15.3	19.4	16.7	12.6	9.0	5.6	8.3	8.5	3.9
	佐伯地域 (n=261)	48.3	68.2	64.4	62.1	66.3	52.1	13.4	24.5	11.9	11.9	26.8	25.7	8.4	8.8	4.6
	吉和地域 (n=32)	37.5	53.1	65.6	46.9	50.0	46.9	9.4	15.6	6.3	9.4	62.5	68.8	12.5	9.4	25.0
	大野地域 (n=352)	30.4	19.3	14.5	16.8	9.9	9.7	42.9	12.2	17.6	18.2	5.7	7.4	17.9	14.5	3.7
	宮島地域 (n=25)	16.0	20.0	－	4.0	4.0	4.0	8.0	8.0	16.0	28.0	－	－	16.0	12.0	－
年代別	18～29歳 (n=93)	26.9	33.3	25.8	16.1	22.6	17.2	18.3	7.5	7.5	9.7	8.6	5.4	6.5	4.3	3.2
	30～39歳 (n=131)	29.8	30.5	22.1	26.0	19.1	13.0	10.7	11.5	14.5	14.5	7.6	6.9	9.2	6.9	4.6
	40～49歳 (n=167)	35.9	26.9	27.5	21.0	16.2	18.0	20.4	12.6	19.8	13.2	9.0	7.8	6.0	9.0	4.8
	50～59歳 (n=165)	40.6	34.5	32.7	36.4	27.3	26.1	22.4	19.4	23.6	16.4	15.8	13.3	13.3	7.9	5.5
	60～69歳 (n=255)	43.9	42.7	31.4	33.7	28.2	33.3	29.0	25.9	21.6	18.0	14.5	19.2	17.3	12.5	6.3
	70歳以上 (n=275)	36.7	36.4	30.2	29.1	33.1	32.0	28.7	18.9	5.5	12.0	18.2	14.5	11.6	14.9	2.2

※「全市」+10ポイント以上に網掛け

6. 教育・文化について

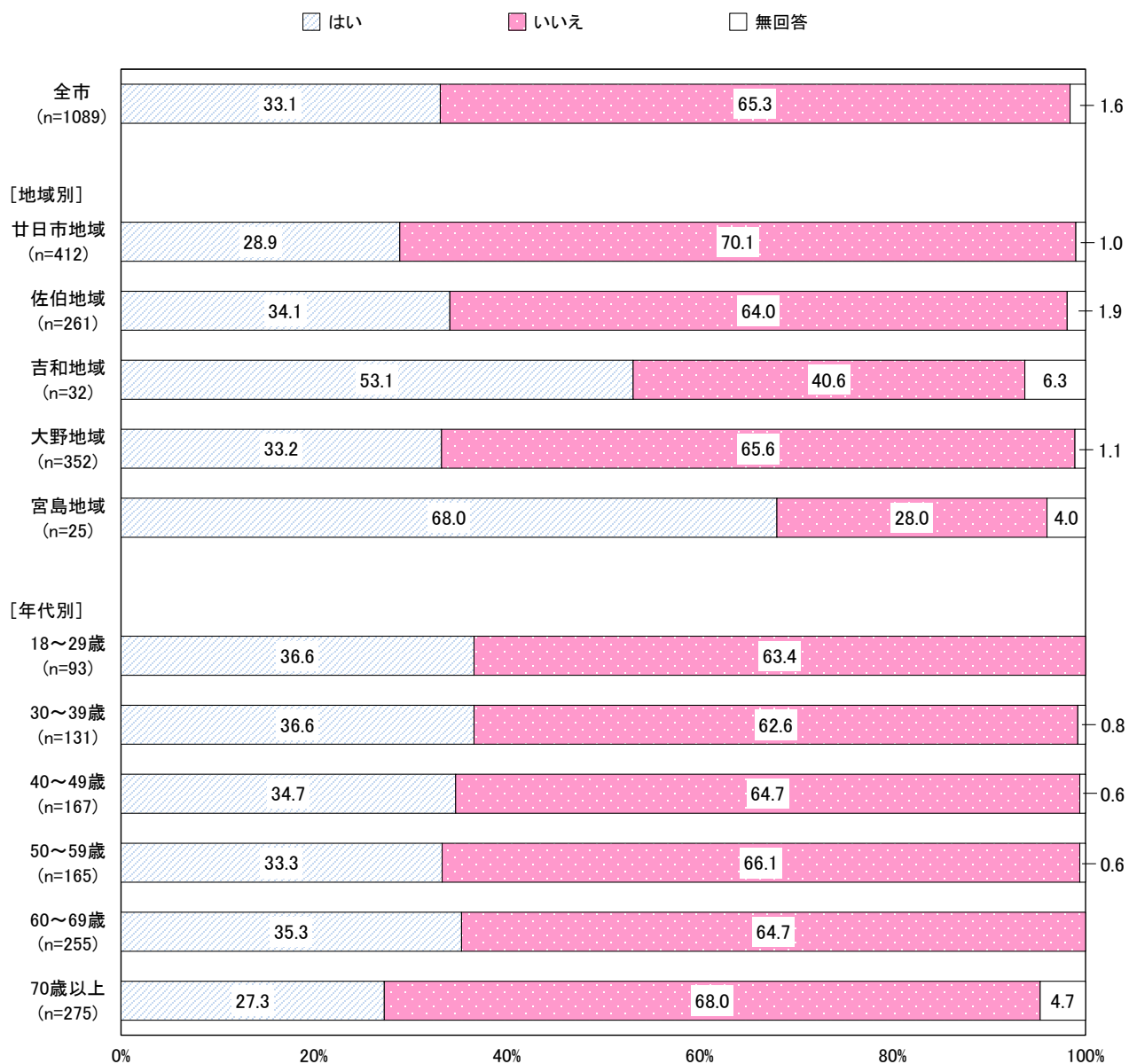
問 34 あなたは、過去 1 年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたり、無形・有形民俗文化（人形芝居・神楽・踊等）を観たりしましたか。[〇は 1 つ]

[全体] 過去 1 年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたり、無形・有形民俗文化を見た
りしたかどうかについては、「いいえ」(65.3%)が 6 割台を占める。

[地域別] 「宮島地域」は「はい」(68.0%)が「全市」より 30 ポイント以上高い。

[年代別] 「70 歳以上」は「はい」(27.3%)が「全市」より 5 ポイント以上低い。

図 68 歴史探訪・文化鑑賞



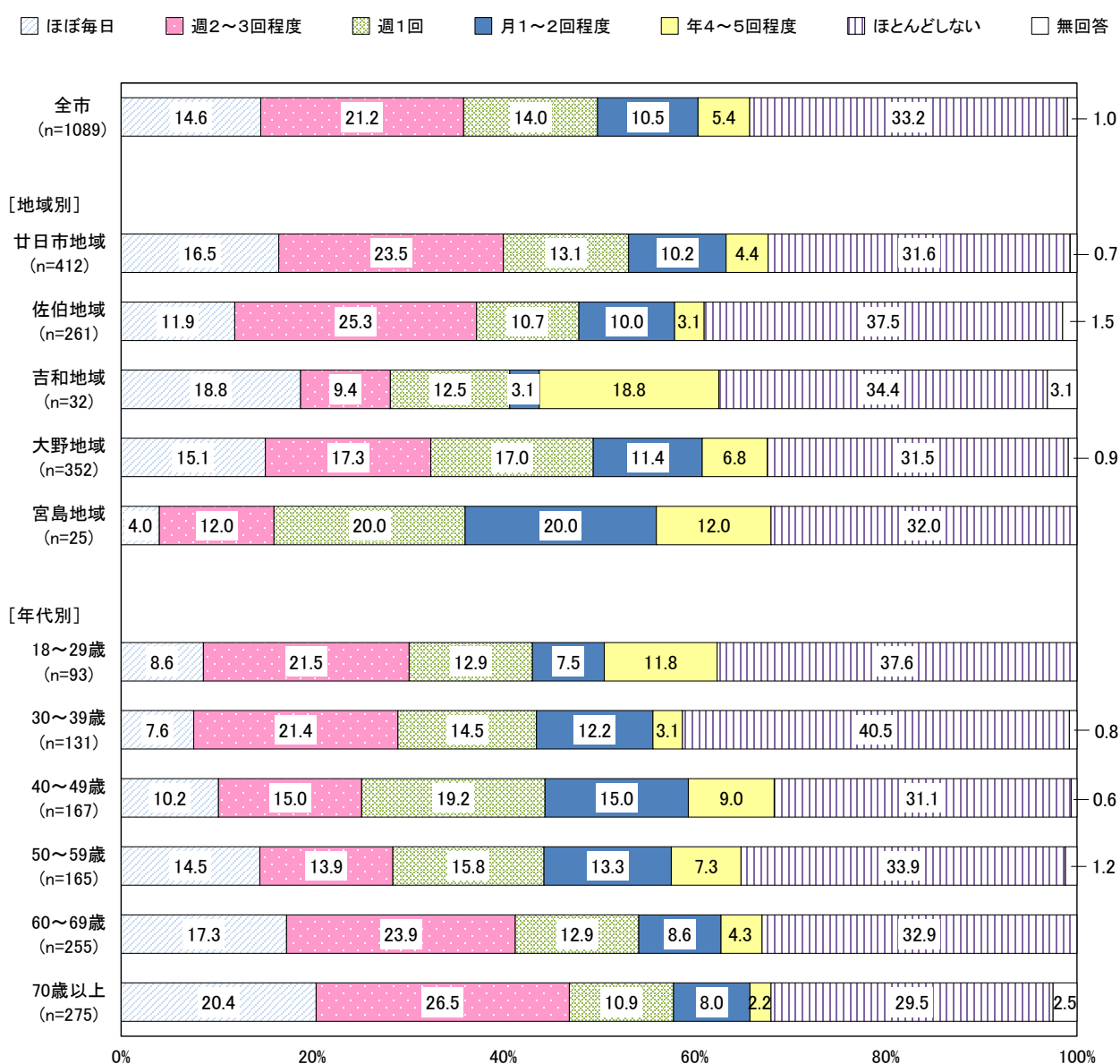
問 35 あなたは、この１年間にスポーツや運動（ウォーキングや健康づくりのための体操などの軽スポーツを含む）をどの程度しましたか。〔〇は１つ〕

〔全体〕 この１年間にスポーツや運動をどの程度したかについては、「ほとんどしない」(33.2%)が最も多く、「週２～３回程度」(21.2%)がそれに次ぐ。

〔地域別〕 「吉和地域」は「年４～５回」(18.8%)が「全市」より１０ポイント以上高い。

〔年代別〕 「１８～２９歳」は「年４～５回」(11.8%)が、「３０～３９歳」は「ほとんどしない」(40.5%)が、「４０～４９歳」は「週１回」(19.2%)が、「７０歳以上」は「ほぼ毎日」(20.4%)と「週２～３回程度」(26.5%)が「全市」より５ポイント以上高い。

図 69 スポーツや運動



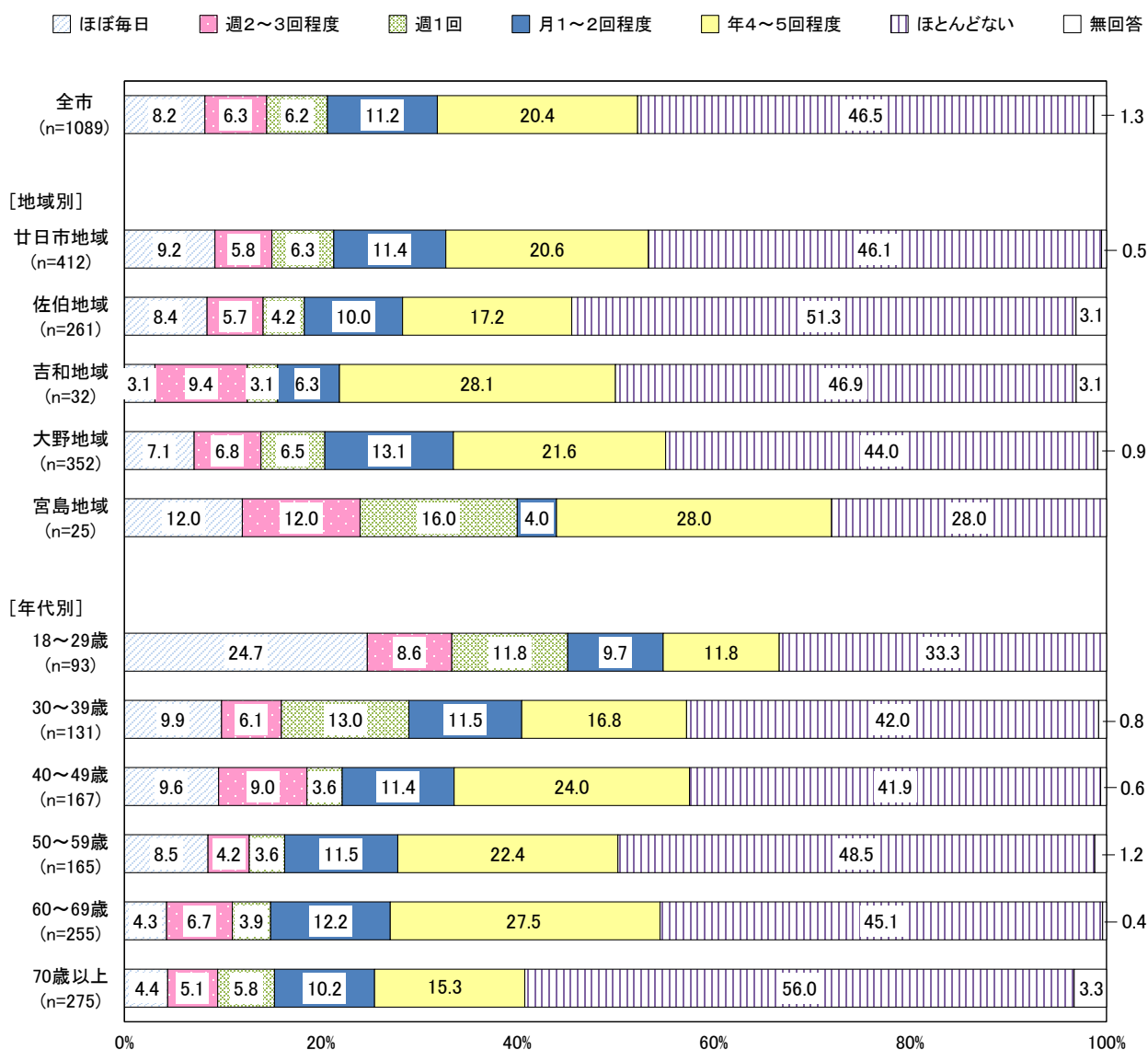
問 36 あなたは、日頃から文化芸術活動（音楽、演劇、舞踏、美術、伝統芸能、文学、映画など）に親しむことがありますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 日頃から文化芸術活動に親しむことがあるかどうかについては、「ほとんどない」（46.5%）が4割台を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は「ほとんどない」（28.0%）が「全市」より10ポイント以上低い。

〔年代別〕 「18～29歳」は「ほぼ毎日」（24.7%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 70 文化芸術活動



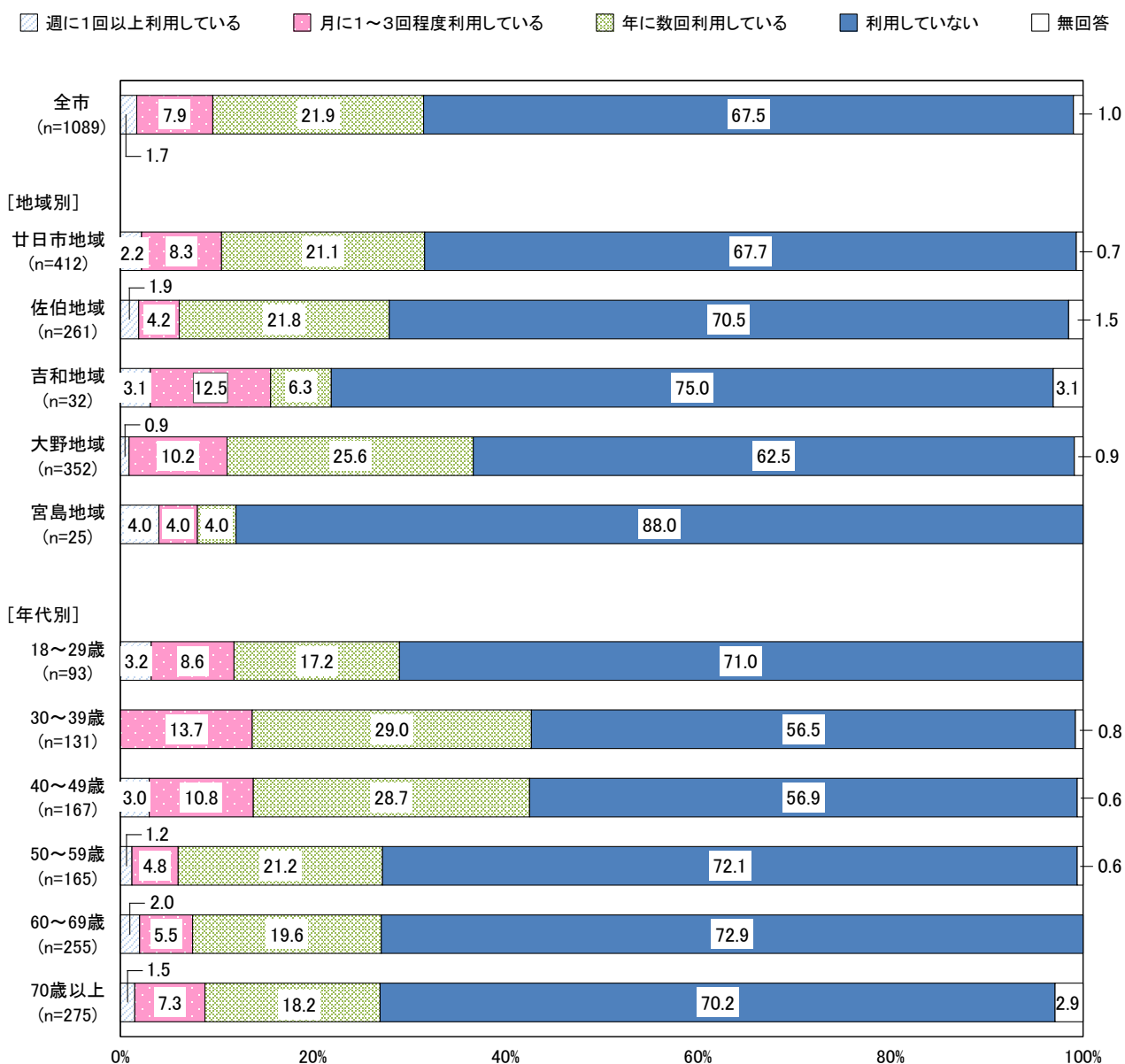
問 37 あなたは、図書館を利用していますか。[〇は1つ]

【全体】 図書館を利用しているかどうかについては、「利用していない」(67.5%)が6割台を占める。

【地域別】 「宮島地域」は「利用していない」(88.0%)が「全市」より20ポイント以上高い。

【年代別】 「30～39歳」は「月に1～3回程度利用している」(13.7%)と「年に数回利用している」(29.0%)が、「40～49歳」は「年に数回利用している」(28.7%)が、「60～69歳」は「利用していない」(72.9%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 71 図書館の利用



7. 行政サービス・まちづくり全般について

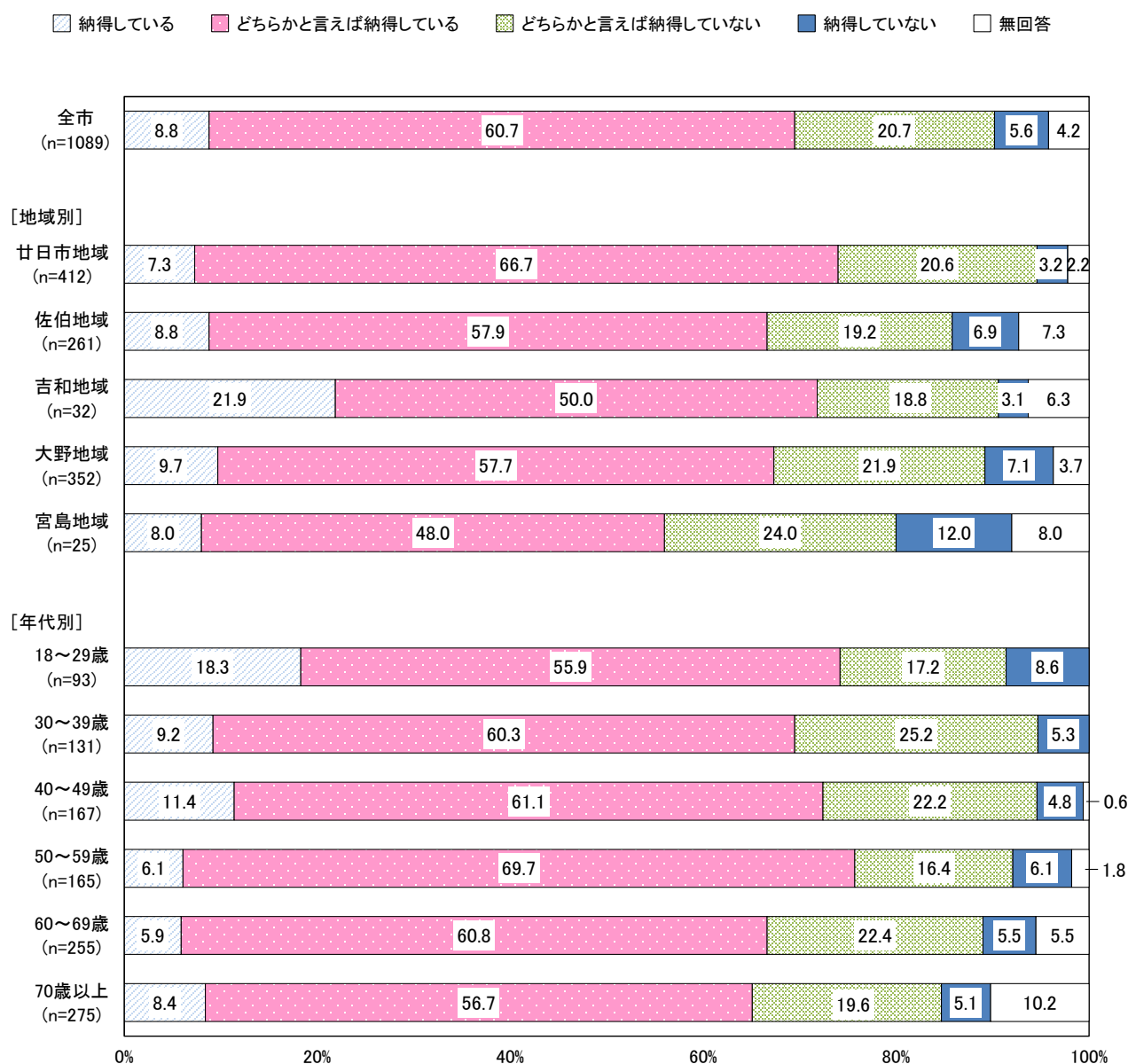
問 38 あなたは、廿日市市の行政サービスに納得していますか。〔〇は1つ〕

〔全体〕 廿日市市の行政サービスに納得しているかどうかについては、「納得している」(8.8%)と「どちらかと言えば納得している」(60.7%)を合わせると約7割(69.5%)を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は、「納得している」と「どちらかと言えば納得している」を合わせた割合(56.0%)が、「全市」より10ポイント以上低い。

〔年代別〕 「18～29歳」は「納得している」(18.3%)が、「50～59歳」は「どちらかと言えば納得している」(69.7%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 72 行政サービスの納得性



問 39 あなたは、廿日市市の行政サービスが効果的・効率的に行われていると思いますか。

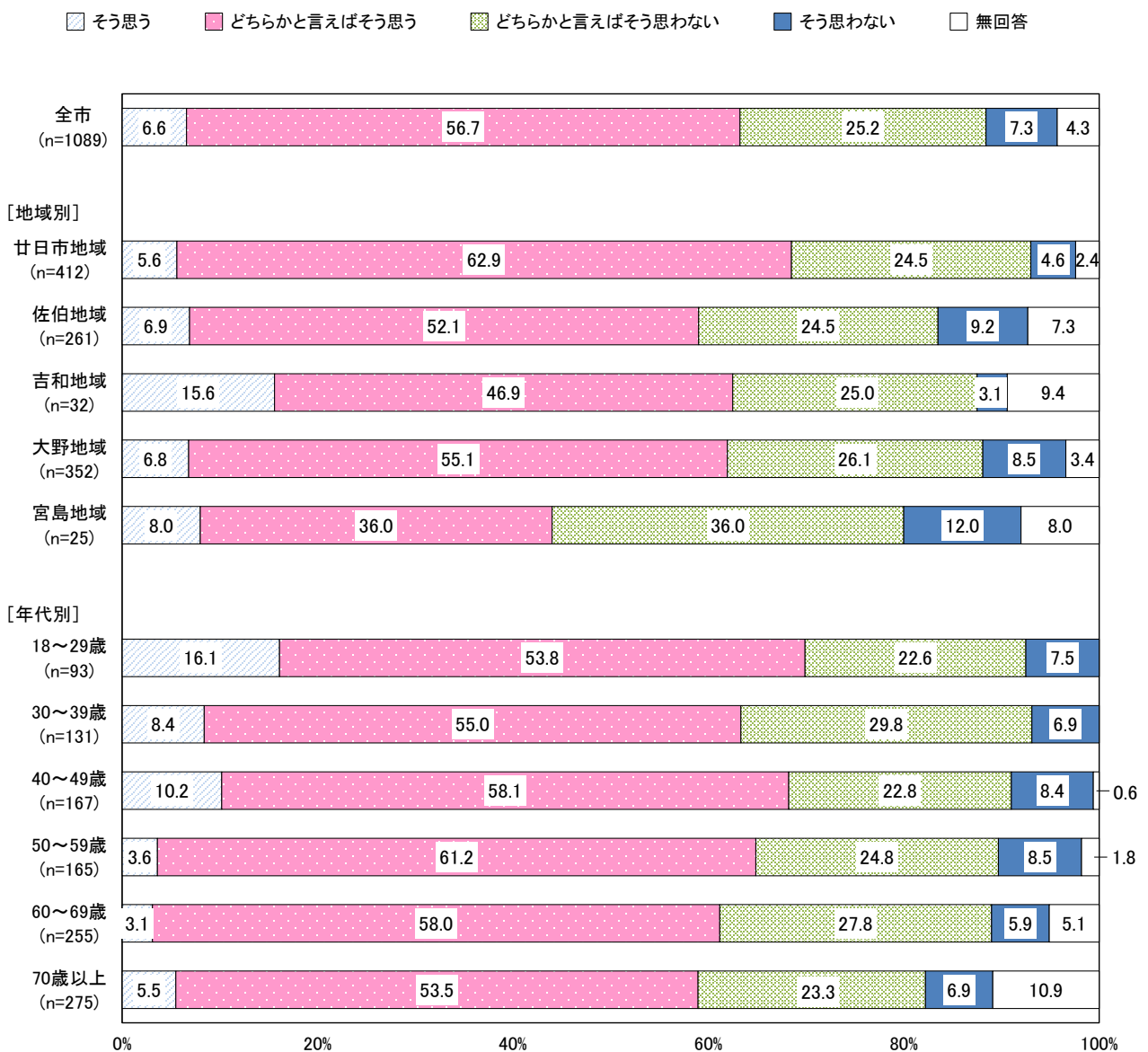
〔〇は1つ〕

〔全体〕 廿日市市の行政サービスが効果的・効率的に行われていると思うかどうかについては、「そう思う」(6.6%)と「どちらかと言えばそう思う」(56.7%)を合わせると6割台(63.3%)を占める。

〔地域別〕 「宮島地域」は、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合(44.0%)が、「全市」より10ポイント以上低い。

〔年代別〕 「18～29歳」は「そう思う」(16.1%)が「全市」より5ポイント以上高い。

図 73 行政サービスは効果的・効率的か



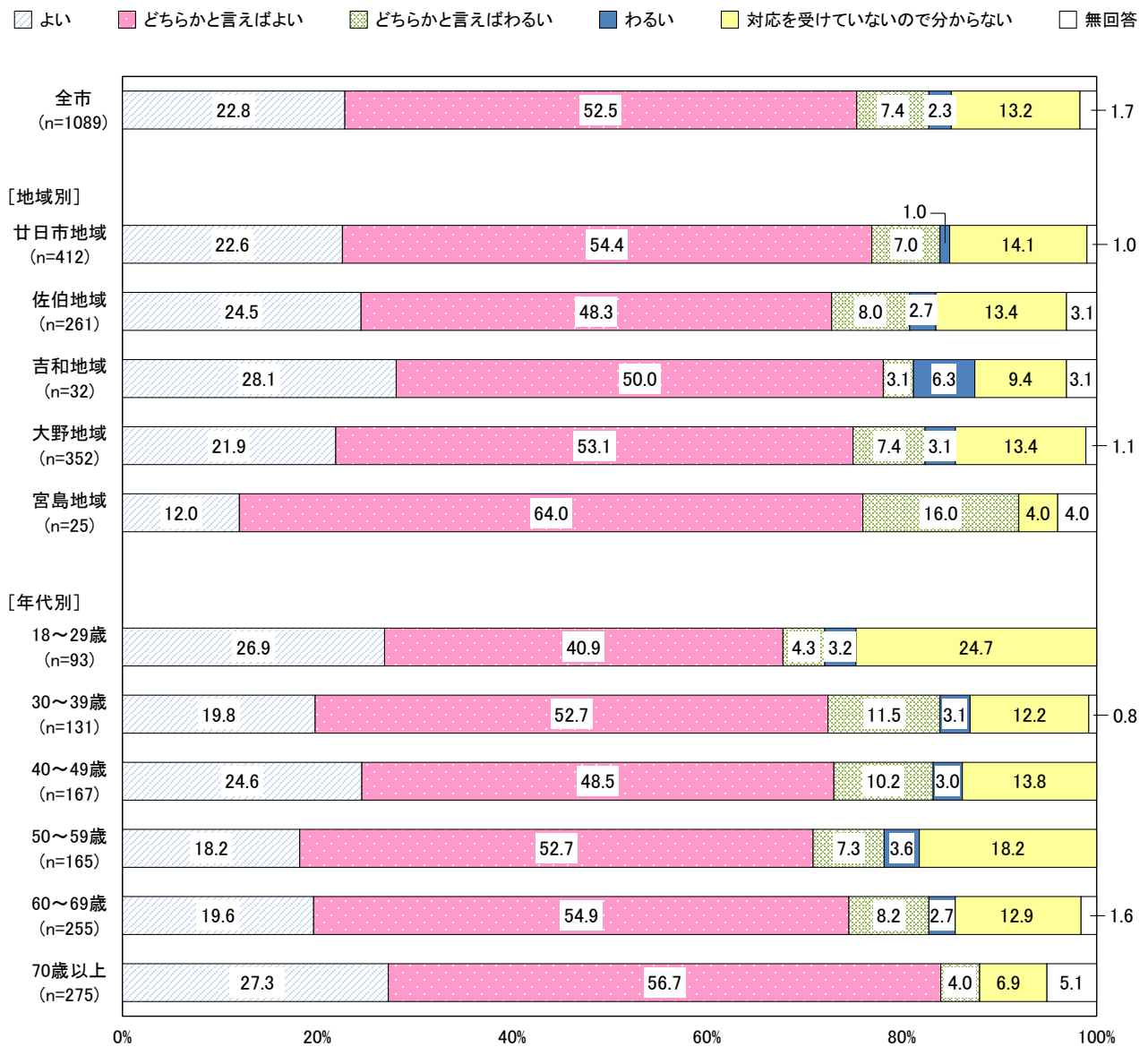
問 40 あなたは、市役所の窓口（電話対応を含む）や、地域での職員の対応はよいと思いますか。〔〇は1つ〕

【全体】 市役所の窓口や、地域での職員の対応については、「よい」（22.8%）と「どちらかと言えばよい」（52.5%）を合わせると7割台（75.3%）を占める。

【地域別】 「宮島地域」は「どちらかと言えばよい」（64.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

【年代別】 「18～29 歳」は「対応を受けていないので分からない」（24.7%）が「全市」より10ポイント以上高い。

図 74 市役所窓口や地域での職員の対応はよいと思うか

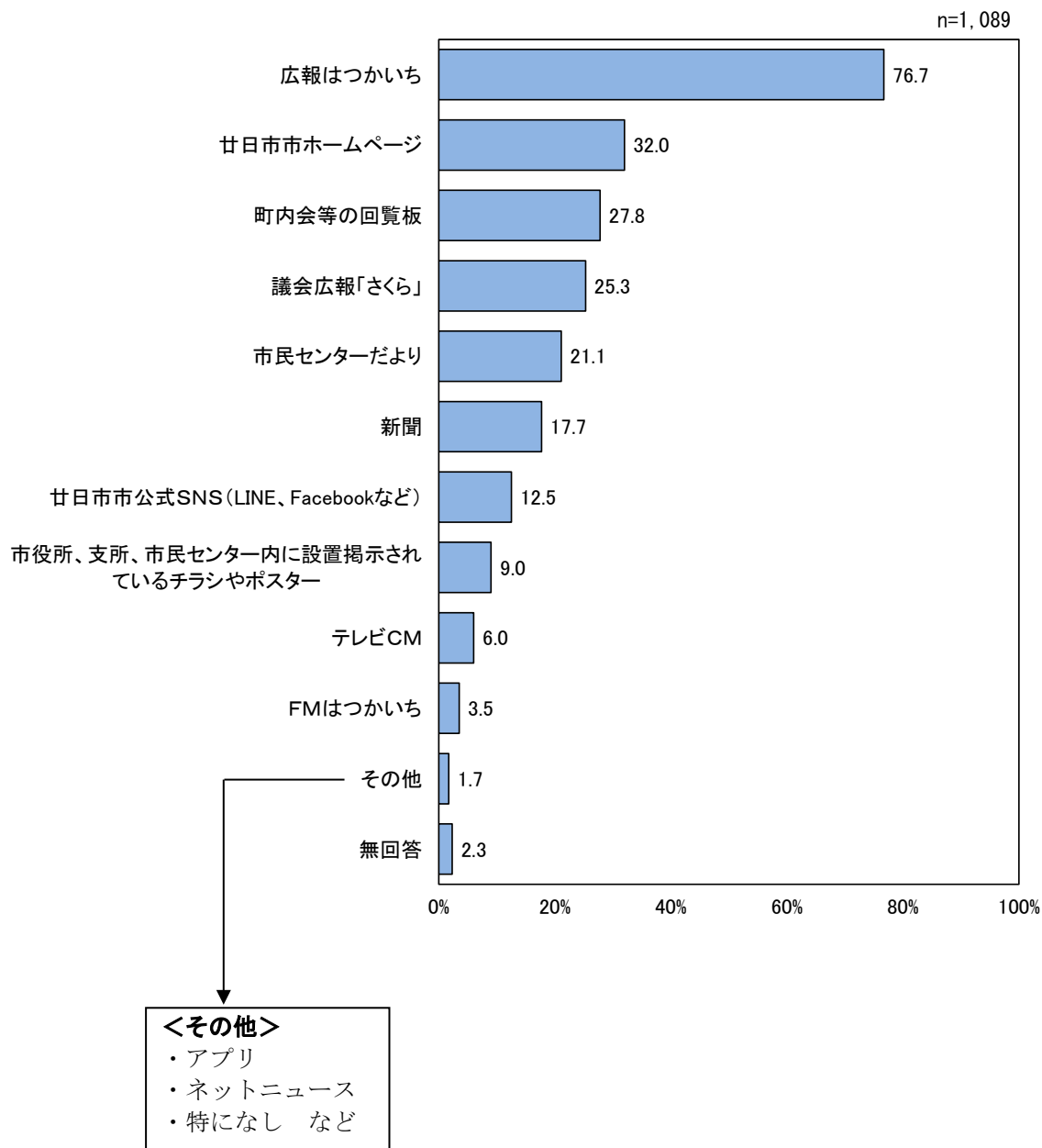


問 41 あなたは、市政やまちづくりに関して、重要な情報源としているものは何ですか。

[〇は3つまで]

[全体] 市政やまちづくりに関して、重要な情報源としているものについては、「広報はつかいち」(76.7%)が最も多く、以下、「廿日市市ホームページ」(32.0%)、「町内会等の回覧板」(27.8%)と続く。

図 75 市政やまちづくりに関する重要な情報源



〔地域別〕 「吉和地域」と「宮島地域」は「広報はつかいち」（吉和地域：87.5%、宮島地域：88.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

〔年代別〕 「18～39歳」と「50～59歳」は「廿日市市ホームページ」（18～29歳：43.0%、30～39歳：48.9%、50～59歳：43.0%）が、「60～69歳」は「広報はつかいち」（86.7%）が、「70歳以上」は「新聞」（28.0%）が「全市」より10ポイント以上高い。

表 22 市政やまちづくりに関する重要な情報源

（単位：%）

項目		広報はつかいち	廿日市市ホームページ	町内会等の回覧板	議会広報「さくら」	市民センターだより	新聞	廿日市市公式SNS（LINE、Facebookなど）	市役所、支所、市民センター内に設置 掲示されているチラシやポスター	テレビCM	FMはつかいち	その他	無回答
全市 (n=1089)		76.7	32.0	27.8	25.3	21.1	17.7	12.5	9.0	6.0	3.5	1.7	2.3
地域別	廿日市地域 (n=412)	76.7	34.7	32.8	24.8	23.5	19.4	14.1	7.0	5.6	4.9	0.7	0.7
	佐伯地域 (n=261)	70.9	29.5	12.6	26.8	26.1	21.1	11.9	11.5	7.7	2.7	2.3	4.2
	吉和地域 (n=32)	87.5	25.0	—	21.9	6.3	9.4	9.4	18.8	3.1	3.1	—	6.3
	大野地域 (n=352)	79.3	31.8	36.9	25.9	15.3	13.1	12.2	8.2	5.4	2.6	2.6	2.3
	宮島地域 (n=25)	88.0	28.0	12.0	12.0	24.0	20.0	4.0	16.0	8.0	4.0	—	4.0
	18～29歳 (n=93)	54.8	43.0	10.8	10.8	14.0	12.9	17.2	9.7	14.0	4.3	2.2	3.2
年代別	30～39歳 (n=131)	67.2	48.9	19.8	22.9	16.8	5.3	19.8	4.6	6.1	3.1	0.8	—
	40～49歳 (n=167)	73.1	38.3	25.1	22.2	15.6	9.6	19.8	9.6	4.8	4.2	2.4	2.4
	50～59歳 (n=165)	75.2	43.0	26.7	20.0	17.0	16.4	13.9	4.8	4.8	4.2	2.4	—
	60～69歳 (n=255)	86.7	29.4	30.6	27.1	22.7	20.4	10.2	10.2	5.1	3.5	1.6	1.6
	70歳以上 (n=275)	82.2	12.4	36.7	34.5	29.8	28.0	4.4	12.0	5.5	2.5	1.1	5.1
※「全市」+10ポイント以上に網掛け													

8. 廿日市市のまちづくりについて

問 42 廿日市市が行っている施策の満足度と重要度についてお伺いします。

○廿日市市の施策の満足度と重要度について、下記の算式により数値化した値でみると、満足度の平均は 3.01、最大値は 3.36、最小値は 2.39、重要度の平均は 4.13、最大値は 4.56、最小値は 3.52 であった。

<算式>

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times 5 + (\text{どちらかといえば満足}) \times 4 + (\text{普通}) \times 3 + (\text{どちらかといえば不満}) \times 2 + (\text{不満}) \times 1}{(\text{有効回答数} - (\text{わからない} + \text{無回答}))}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times 5 + (\text{やや重要}) \times 4 + (\text{どちらともいえない}) \times 3 + (\text{あまり重要ではない}) \times 2 + (\text{重要ではない}) \times 1}{(\text{有効回答数} - (\text{わからない} + \text{無回答}))}$$

■満足度

[上位 5 項目]

- ・ 「19 消防・救急体制の充実」(3.36)
- ・ 「51 窓口での内容に応じた適切な職員の対応」(3.35)
- ・ 「35 安全で良質な水を供給する上水道の整備」(3.35)
- ・ 「28 市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実」(3.30)
- ・ 「30 おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興」(3.20)

[下位 5 項目]

- ・ 「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(2.74)
- ・ 「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(2.59)
- ・ 「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(2.54)
- ・ 「45 ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備」(2.51)
- ・ 「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.39)

■重要度

[上位 5 項目]

- ・ 「20 地震・風水害などの災害対策」(4.56)
- ・ 「19 消防・救急体制の充実」(4.56)
- ・ 「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(4.54)
- ・ 「13 保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり」(4.51)
- ・ 「35 安全で良質な水を供給する上水道の整備」(4.48)

[下位 5 項目]

- ・ 「3 地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり」(3.78)
- ・ 「47 NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり」(3.76)
- ・ 「48 地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援」(3.73)
- ・ 「45 ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備」(3.61)
- ・ 「37 市営墓地の整備」(3.52)

○重要度と満足度の差を「ニーズ度」として数値化した値でみると、最もニーズ度が高いのは「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.94)であった。

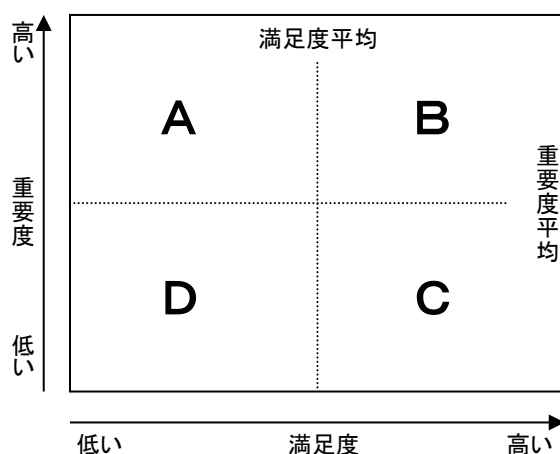
<算式> ニーズ度＝ 重要度－満足度
--

■ニーズ度

[上位5項目]

- ・ 「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.94)
- ・ 「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.73)
- ・ 「20 地震・風水害などの災害対策」(1.62)
- ・ 「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.59)
- ・ 「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.48)

○縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図で各施策の位置づけを分類したところ、53 項目中、A（重点化・見直し領域）が14項目、B（現状維持領域）が16項目、C（現状維持・見直し領域）が15項目、D（改善・見直し領域）が8項目であった。



<施策の位置づけ>

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

重要度は高いが満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

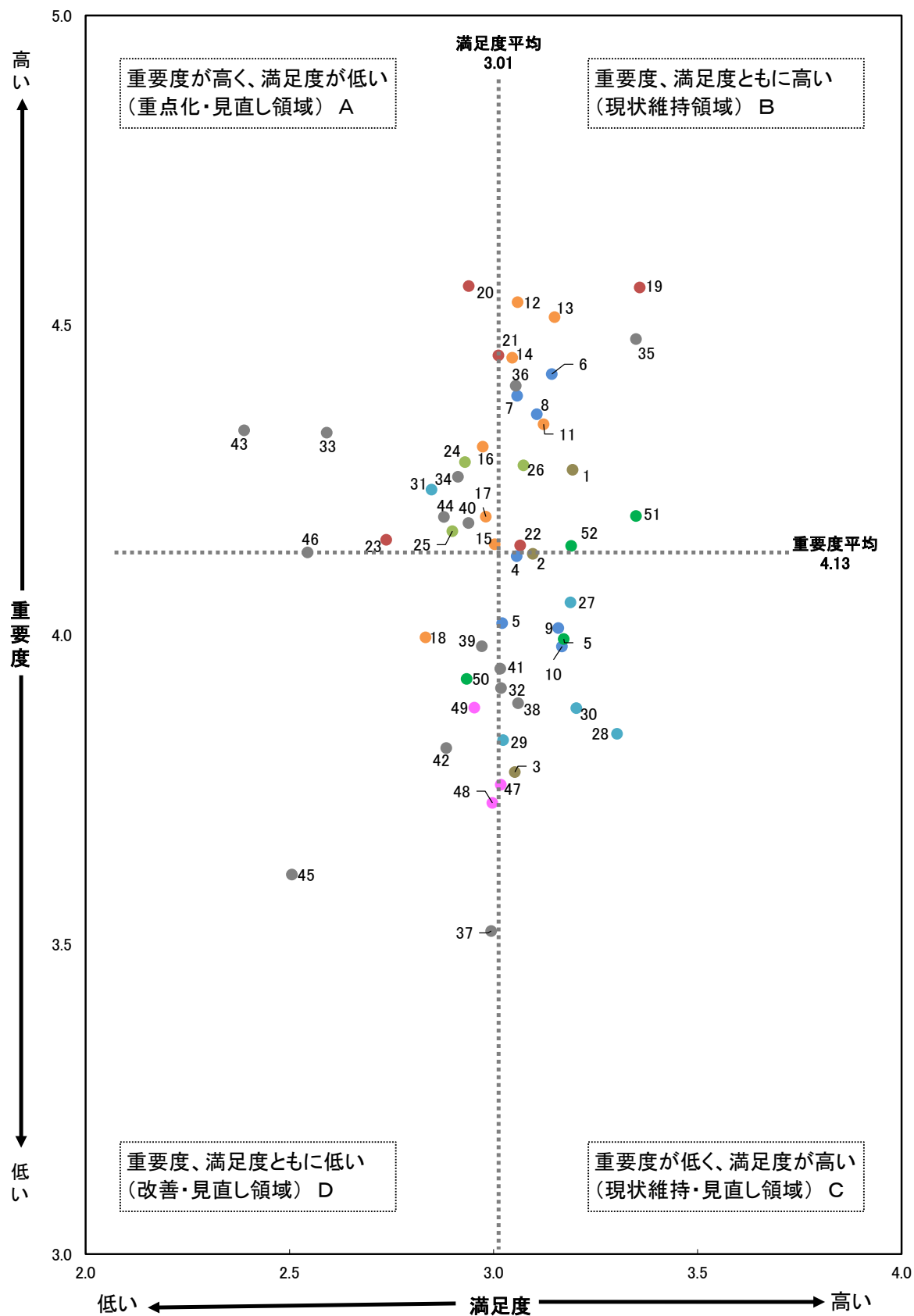
重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

表 23 満足度・重要度・ニーズ度(全市)

順位	凡例	NO	全市	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.39	53位	4.33	13位	1.94	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.59	50位	4.33	14位	1.73	A
3位		20	地震・風水害などの災害対策	2.94	39位	4.56	1位	1.62	A
4位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.54	51位	4.13	30位	1.59	A
5位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.06	20位	4.54	3位	1.48	B
6位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.01	31位	4.45	6位	1.44	B
7位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.74	49位	4.15	26位	1.42	A
8位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.05	25位	4.45	7位	1.40	B
9位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.85	47位	4.23	20位	1.39	A
10位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.15	12位	4.51	4位	1.36	B
11位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.93	42位	4.28	16位	1.35	A
12位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.05	23位	4.40	9位	1.35	B
13位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.91	43位	4.26	19位	1.34	A
14位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.97	36位	4.30	15位	1.33	A
15位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.06	21位	4.39	10位	1.33	B
16位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.88	46位	4.19	23位	1.31	A
17位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.14	13位	4.42	8位	1.28	B
18位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.90	44位	4.17	25位	1.27	A
19位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.11	15位	4.36	11位	1.25	B
20位		40	安全で快適な市街地の整備	2.94	40位	4.18	24位	1.24	A
21位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.12	14位	4.34	12位	1.22	B
22位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.98	35位	4.19	22位	1.21	A
23位		19	消防・救急体制の充実	3.36	1位	4.56	2位	1.20	B
24位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.07	17位	4.27	17位	1.20	B
25位		18	低所得者への支援	2.83	48位	4.00	36位	1.16	D
26位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.00	32位	4.15	27位	1.14	A
27位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.35	3位	4.48	5位	1.13	B
28位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.51	52位	3.61	52位	1.11	D
29位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.07	18位	4.14	28位	1.08	B
30位		1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	3.19	6位	4.27	18位	1.07	B
31位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.06	22位	4.13	32位	1.07	C
32位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.10	16位	4.13	31位	1.03	C
33位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.97	37位	3.98	38位	1.01	D
34位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.02	27位	4.02	34位	1.00	C
35位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.93	41位	3.93	41位	0.99	D
36位		52	支所機能の充実	3.19	7位	4.14	29位	0.95	B
37位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.88	45位	3.82	48位	0.93	D
38位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.95	38位	3.88	44位	0.93	D
39位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.02	30位	3.95	40位	0.93	C
40位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.02	28位	3.91	42位	0.90	C
41位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.19	8位	4.05	33位	0.86	C
42位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.16	11位	4.01	35位	0.85	C
43位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.35	2位	4.19	21位	0.84	B
44位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.06	19位	3.89	43位	0.83	C
45位		53	市民センター機能の充実	3.17	9位	3.99	37位	0.82	C
46位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.17	10位	3.98	39位	0.81	C
47位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.02	26位	3.83	47位	0.81	C
48位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.02	29位	3.76	50位	0.74	C
49位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.00	33位	3.73	51位	0.73	D
50位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.05	24位	3.78	49位	0.73	C
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.20	5位	3.88	45位	0.68	C
52位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.30	4位	3.84	46位	0.54	C
53位		37	市営墓地の整備	2.99	34位	3.52	53位	0.53	D
平均				3.01		4.13		1.12	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 76 満足度・重要度の相関図(全市)



<施策分野>

- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

【地域別】

○廿日市地域

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 3.02 で「全市」(3.01)より 0.01 ポイント高い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.15 で「全市」(4.13)より 0.02 ポイント高い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.86)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.68)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.63)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.51)、「14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援」(1.49)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 14 項目、B（現状維持領域）が 13 項目、C（現状維持・見直し領域）が 13 項目、D（改善・見直し領域）が 13 項目であった。
- ・「廿日市地域」のみA（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「7 確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実」
「8 障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実」

○佐伯地域

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 2.94 で「全市」(3.01)より 0.07 ポイント低い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.10 で「全市」(4.13)より 0.03 ポイント低い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.96)が最も高く、以下、「43 渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.89)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.75)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.73)「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(1.66)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 12 項目、B（現状維持領域）が 16 項目、C（現状維持・見直し領域）が 14 項目、D（改善・見直し領域）が 11 項目であった。
- ・「佐伯地域」のみA（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「18 低所得者への支援」
「36 快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備」

○吉和地域

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 3.05 で「全市」(3.01)より 0.04 ポイント高い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.26 で「全市」(4.13)より 0.13 ポイント高い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「31 まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況」(2.40)が最も高く、以下、「16 障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり」(2.14)、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.97)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.84)、「13 保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり」(1.81)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 14 項目、B（現状維持領域）が 17 項目、C（現状維持・見直し領域）が 12 項目、D（改善・見直し領域）が 10 項目であった。
- ・「吉和地域」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
 - 「4 青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供」
 - 「15 地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり」
 - 「27 特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組」

○大野地域

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 3.05 で「全市」(3.01)より 0.04 ポイント高い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.12 で「全市」(4.13)より 0.01 ポイント低い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.10)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.64)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.55)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.54)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.44)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 12 項目、B（現状維持領域）が 17 項目、C（現状維持・見直し領域）が 14 項目、D（改善・見直し領域）が 10 項目であった。

○宮島地域

[満足度の平均]

- ・満足度の平均は 2.94 で「全市」(3.01)より 0.07 ポイント低い。

[重要度の平均]

- ・重要度の平均は 4.25 で「全市」(4.13)より 0.12 ポイント高い。

[ニーズ度]

- ・ニーズ度については、「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(1.92)が最も高く、以下、「34 安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備」(1.90)、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.79)、「14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援」(1.76)、「32 公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策」(1.69)と続く。

[施策の位置づけ]

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 17 項目、B（現状維持領域）が 15 項目、C（現状維持・見直し領域）が 14 項目、D（改善・見直し領域）が 7 項目であった。
- ・「宮島地域」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
 - 「9 スポーツ施設の整備及び活動の支援」
 - 「32 公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策」
 - 「39 適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり」
 - 「41 市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり」
 - 「52 支所機能の充実」

表 24 地域別施策の位置づけ

項目		全市	廿日市地域	佐伯地域	吉和地域	大野地域	宮島地域
1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	B	B	B	B	B	C
2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	C	B	C	B	D	C
3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	C	C	C	C	C	C
4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	C	D	C	A	B	B
5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	C	D	C	B	C	C
6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	B	B	B	B	B	B
7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	B	A	B	B	B	B
8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	B	A	B	B	B	B
9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	C	C	C	D	C	A
10	文化施設の整備及び活動の支援	C	C	C	C	C	C
11	市民が健康に生活できるための支援	B	B	B	B	B	C
12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	B	B	A	B	B	A
13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	B	B	B	A	B	A
14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	B	A	B	A	B	A
15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	A	D	B	A	C	B
16	障がい者の自立支援や福祉サービスなど障がい者が地域で安心して暮らすための環境づくり	A	A	B	A	A	B
17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	A	A	B	A	B	A
18	低所得者への支援	D	D	A	D	D	D
19	消防・救急体制の充実	B	B	B	B	B	B
20	地震・風水害などの災害対策	A	A	A	A	A	B
21	防犯や交通安全に向けた取組	B	B	A	B	A	B
22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	B	B	B	C	B	B
23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	A	D	A	D	A	A
24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	A	A	A	B	A	A
25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	A	A	A	A	A	A
26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	B	B	B	B	B	D
27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	C	C	C	A	C	C
28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	C	C	C	C	C	D
29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	C	C	D	D	C	C
30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	C	C	C	D	C	C
31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	A	A	A	A	A	A
32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	C	C	C	C	D	A
33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	A	A	A	A	A	A
34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	A	A	D	D	A	A
35	安全で良質な水を供給する上下道の整備	B	B	B	B	B	B
36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	B	B	A	B	B	B
37	市営墓地の整備	D	C	D	D	C	D
38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	C	C	C	D	C	C
39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	D	D	D	C	D	A
40	安全で快適な市街地の整備	A	A	D	B	A	C
41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	C	C	D	C	D	A
42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	D	D	D	C	D	D
43	渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	A	A	A	A	A	A
44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	A	A	D	A	A	B
45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	D	D	D	D	D	D
46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	A	D	A	A	D	A
47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	C	D	D	C	C	C
48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	D	D	D	C	C	C
49	市民と行政の協働のまちづくり	D	D	C	D	D	C
50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	D	D	C	C	D	D
51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	B	B	B	B	B	B
52	支所機能の充実	B	C	B	B	B	A
53	市民センター機能の充実	C	C	C	C	C	B

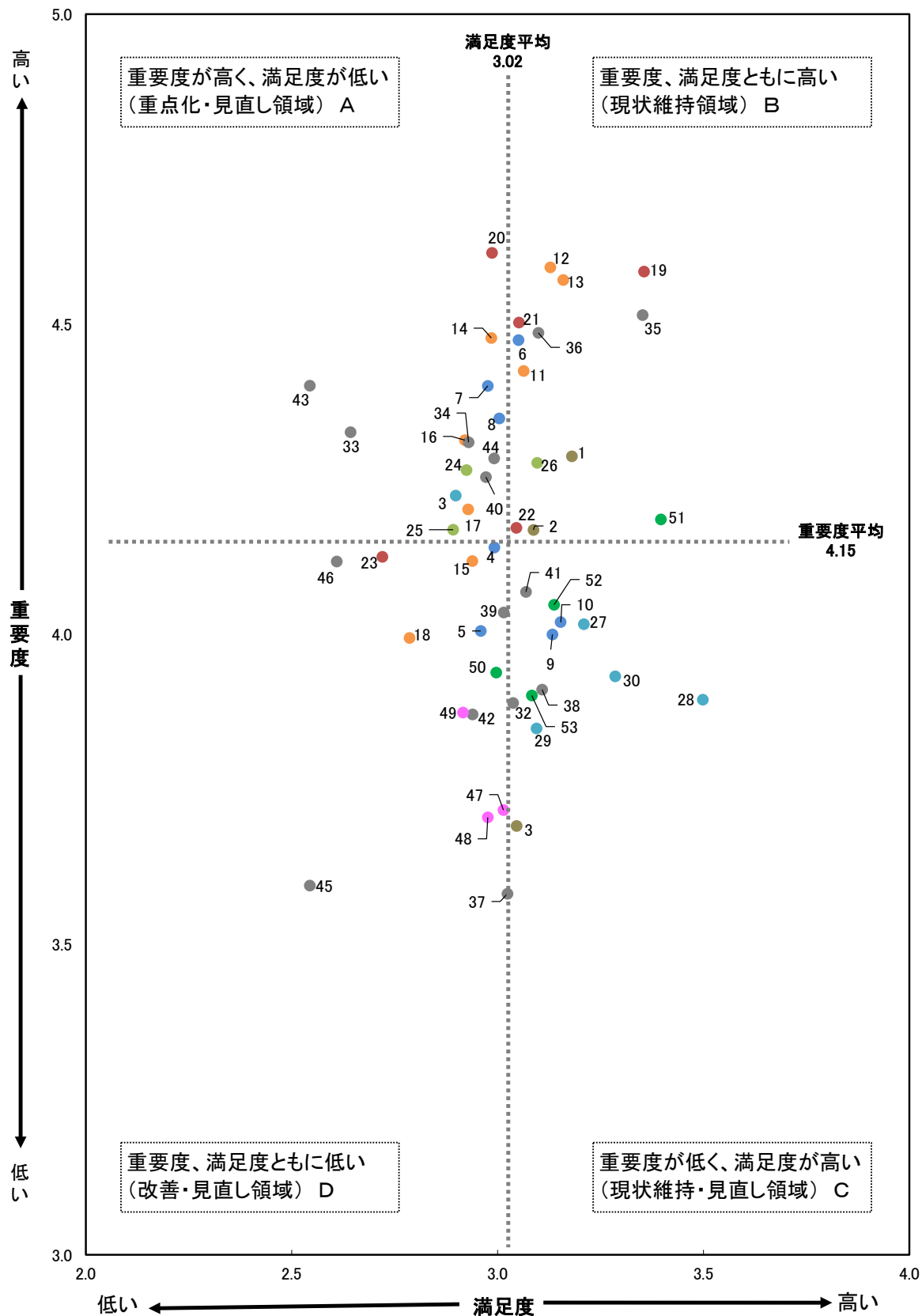
※A 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)に網掛け

表 25 満足度・重要度・ニーズ度(廿日市地域)

順位	凡例	NO	廿日市地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.54	52位	4.40	11位	1.86	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.64	50位	4.33	14位	1.68	A
3位		20	地震・風水害などの災害対策	2.99	33位	4.62	1位	1.63	A
4位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.61	51位	4.12	31位	1.51	D
5位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.98	34位	4.48	8位	1.49	A
6位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.13	12位	4.59	2位	1.46	B
7位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.05	21位	4.50	6位	1.45	B
8位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.05	22位	4.47	9位	1.42	B
9位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.98	35位	4.40	12位	1.42	A
10位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.16	8位	4.57	4位	1.41	B
11位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.72	49位	4.13	29位	1.40	D
12位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.92	44位	4.31	15位	1.39	A
13位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.10	14位	4.49	7位	1.39	B
14位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.93	41位	4.31	16位	1.38	A
15位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.06	20位	4.42	10位	1.36	B
16位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.00	29位	4.35	13位	1.34	A
17位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.92	43位	4.27	20位	1.34	A
18位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.90	46位	4.22	22位	1.33	A
19位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.99	32位	4.28	18位	1.29	A
20位		40	安全で快適な市街地の整備	2.97	37位	4.25	21位	1.28	A
21位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.89	47位	4.17	26位	1.28	A
22位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.93	42位	4.20	23位	1.27	A
23位		19	消防・救急体制の充実	3.36	3位	4.58	3位	1.23	B
24位		18	低所得者への支援	2.79	48位	3.99	39位	1.21	D
25位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.10	15位	4.28	19位	1.18	B
26位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.94	40位	4.12	30位	1.18	D
27位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.35	4位	4.51	5位	1.16	B
28位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	2.99	31位	4.14	28位	1.15	D
29位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.05	24位	4.17	25位	1.13	B
30位		1	一人ひとりを大切にすること人権が保障された社会づくり	3.18	7位	4.29	17位	1.11	B
31位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.09	17位	4.17	27位	1.08	B
32位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.54	53位	3.60	52位	1.05	D
33位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.96	38位	4.01	37位	1.05	D
34位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.01	27位	4.04	34位	1.02	D
35位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.07	19位	4.07	32位	1.00	C
36位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.92	45位	3.87	46位	0.96	D
37位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.00	30位	3.94	40位	0.94	D
38位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.94	39位	3.87	47位	0.93	D
39位		52	支所機能の充実	3.14	10位	4.05	33位	0.91	C
40位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.13	11位	4.00	38位	0.87	C
41位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.15	9位	4.02	35位	0.87	C
42位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.04	25位	3.89	45位	0.85	C
43位		53	市民センター機能の充実	3.08	18位	3.90	43位	0.82	C
44位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.21	6位	4.02	36位	0.81	C
45位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.11	13位	3.91	42位	0.80	C
46位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.40	2位	4.19	24位	0.79	B
47位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.09	16位	3.85	48位	0.75	C
48位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.98	36位	3.71	50位	0.73	D
49位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.01	28位	3.72	49位	0.70	D
50位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.29	5位	3.93	41位	0.65	C
51位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.05	23位	3.69	51位	0.64	C
52位		37	市営墓地の整備	3.02	26位	3.58	53位	0.56	C
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.50	1位	3.90	44位	0.40	C
平均				3.02		4.15		1.13	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 77 満足度・重要度の相関図(廿日市地域)



<施策分野>

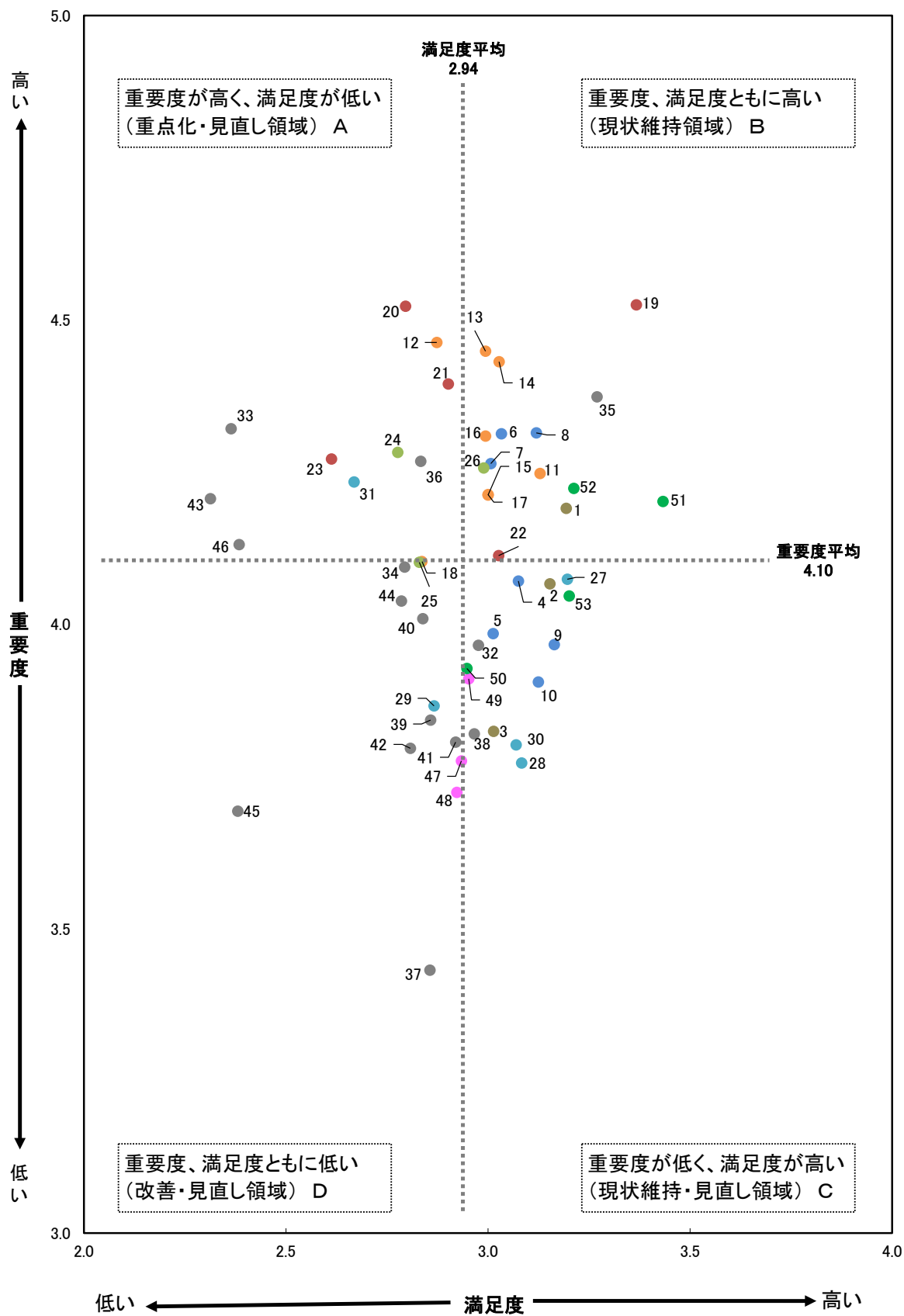
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 26 満足度・重要度・ニーズ度(佐伯地域)

順位	凡例	NO	佐伯地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.36	52位	4.32	8位	1.96	A
2位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.31	53位	4.21	22位	1.89	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.38	50位	4.13	25位	1.75	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	2.80	44位	4.52	2位	1.73	A
5位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.61	49位	4.27	13位	1.66	A
6位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	2.87	35位	4.46	3位	1.59	A
7位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.67	48位	4.23	18位	1.57	A
8位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.78	47位	4.28	12位	1.51	A
9位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.90	34位	4.39	6位	1.49	A
10位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	2.99	24位	4.45	4位	1.46	B
11位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.83	41位	4.27	14位	1.43	A
12位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.03	17位	4.43	5位	1.40	B
13位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.99	25位	4.31	11位	1.32	B
14位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.38	51位	3.69	52位	1.31	D
15位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.79	45位	4.09	29位	1.30	D
16位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.03	16位	4.31	10位	1.28	B
17位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.83	42位	4.10	28位	1.27	A
18位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	2.99	26位	4.26	16位	1.27	B
19位		18	低所得者への支援	2.84	40位	4.10	27位	1.27	A
20位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.01	21位	4.26	15位	1.26	B
21位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.79	46位	4.04	34位	1.25	D
22位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.00	22位	4.21	20位	1.21	B
23位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.00	22位	4.21	21位	1.21	B
24位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.12	12位	4.31	9位	1.20	B
25位		40	安全で快適な市街地の整備	2.84	39位	4.01	35位	1.17	D
26位		19	消防・救急体制の充実	3.37	2位	4.52	1位	1.16	B
27位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.13	10位	4.25	17位	1.12	B
28位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.27	3位	4.37	7位	1.10	B
29位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.03	18位	4.11	26位	1.09	B
30位		52	支所機能の充実	3.21	4位	4.22	19位	1.01	B
31位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.87	36位	3.87	42位	1.00	D
32位		1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	3.19	7位	4.19	24位	1.00	B
33位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.08	14位	4.07	31位	1.00	C
34位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.98	27位	3.97	38位	0.99	C
35位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.81	43位	3.80	48位	0.99	D
36位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.86	37位	3.84	43位	0.98	D
37位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.95	30位	3.93	39位	0.98	C
38位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.01	20位	3.98	36位	0.97	C
39位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.95	29位	3.91	40位	0.96	C
40位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.15	9位	4.07	32位	0.91	C
41位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.92	33位	3.81	46位	0.89	D
42位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.20	6位	4.07	30位	0.88	C
43位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.97	28位	3.82	45位	0.85	C
44位		53	市民センター機能の充実	3.20	5位	4.05	33位	0.85	C
45位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.93	31位	3.78	49位	0.84	D
46位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.01	19位	3.82	44位	0.81	C
47位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.16	8位	3.97	37位	0.80	C
48位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.92	32位	3.72	51位	0.80	D
49位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.13	11位	3.91	41位	0.78	C
50位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.43	1位	4.20	23位	0.77	B
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.07	15位	3.80	47位	0.73	C
52位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.08	13位	3.77	50位	0.69	C
53位		37	市営墓地の整備	2.86	38位	3.43	53位	0.58	D
平均				2.94		4.10		1.16	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 78 満足度・重要度の相関図(佐伯地域)



<施策分野>

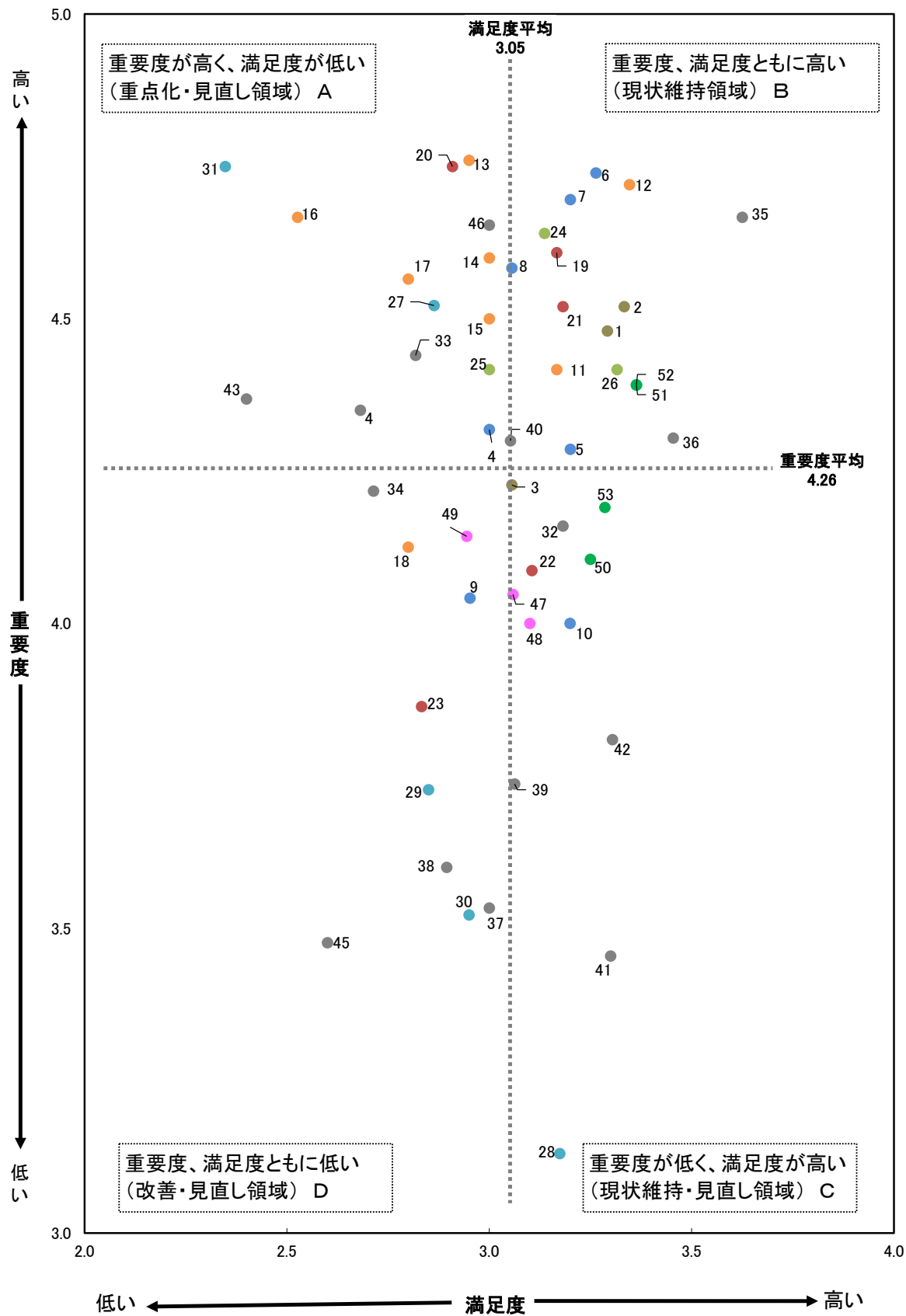
- | | | | | |
|--------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| ■ 1-3 : 人権 | ■ 4-10 : 教育 | ■ 11-18 : 子育て・福祉 | ■ 19-23 : 安全安心 | ■ 24-26 : 環境保全 |
| ■ 27-31 : 産業 | ■ 32-46 : 都市基盤 | ■ 47-49 : 協働 | ■ 50-53 : 行政 | |

表 27 満足度・重要度・ニーズ度(吉和地域)

順位	凡例	NO	吉和地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.35	53位	4.75	2位	2.40	A
2位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.53	51位	4.67	7位	2.14	A
3位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.40	52位	4.37	26位	1.97	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	2.91	40位	4.75	2位	1.84	A
5位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	2.95	37位	4.76	1位	1.81	A
6位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.80	46位	4.57	14位	1.77	A
7位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.68	49位	4.35	27位	1.67	A
8位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	2.86	42位	4.52	15位	1.66	A
9位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	3.00	30位	4.65	9位	1.65	A
10位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.82	45位	4.44	20位	1.62	A
11位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.00	30位	4.60	12位	1.60	A
12位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.06	27位	4.58	13位	1.53	B
13位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	3.14	22位	4.64	10位	1.50	B
14位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.71	48位	4.22	33位	1.50	D
15位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.00	30位	4.50	18位	1.50	A
16位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.20	14位	4.70	6位	1.50	B
17位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.26	12位	4.74	4位	1.48	B
18位		19	消防・救急体制の充実	3.17	20位	4.61	11位	1.44	B
19位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	3.00	30位	4.42	21位	1.42	A
20位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.35	5位	4.72	5位	1.37	B
21位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.18	17位	4.52	16位	1.34	B
22位		18	低所得者への支援	2.80	46位	4.13	37位	1.33	D
23位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.00	30位	4.32	28位	1.32	A
24位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.17	20位	4.42	21位	1.25	B
25位		40	安全で快適な市街地の整備	3.05	29位	4.30	30位	1.25	B
26位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.94	39位	4.14	36位	1.20	D
27位		1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	3.29	10位	4.48	19位	1.19	B
28位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.33	6位	4.52	16位	1.19	B
29位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.06	27位	4.23	32位	1.17	C
30位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.32	7位	4.42	21位	1.10	B
31位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	2.95	36位	4.04	41位	1.09	D
32位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.20	14位	4.29	31位	1.09	B
33位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.63	1位	4.67	7位	1.04	B
34位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.83	44位	3.86	44位	1.03	D
35位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.36	3位	4.39	24位	1.03	B
35位		52	支所機能の充実	3.36	3位	4.39	24位	1.03	B
37位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.06	26位	4.05	40位	0.99	C
38位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.11	23位	4.09	39位	0.98	C
39位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.18	17位	4.16	35位	0.98	C
40位		53	市民センター機能の充実	3.29	11位	4.19	34位	0.90	C
41位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.10	24位	4.00	42位	0.90	C
42位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.85	43位	3.73	47位	0.88	D
43位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.60	50位	3.48	51位	0.88	D
44位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.25	13位	4.11	38位	0.86	C
45位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.45	2位	4.30	29位	0.85	B
46位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.20	14位	4.00	42位	0.80	C
47位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.89	41位	3.60	48位	0.71	D
48位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.06	25位	3.74	46位	0.67	C
49位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	2.95	37位	3.52	50位	0.57	D
50位		37	市営墓地の整備	3.00	30位	3.53	49位	0.53	D
51位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	3.30	8位	3.81	45位	0.51	C
52位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.30	9位	3.45	52位	0.15	C
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.17	19位	3.13	53位	-0.04	C
平均				3.05		4.26		1.21	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 79 満足度・重要度の相関図(吉和地域)



<施策分野>

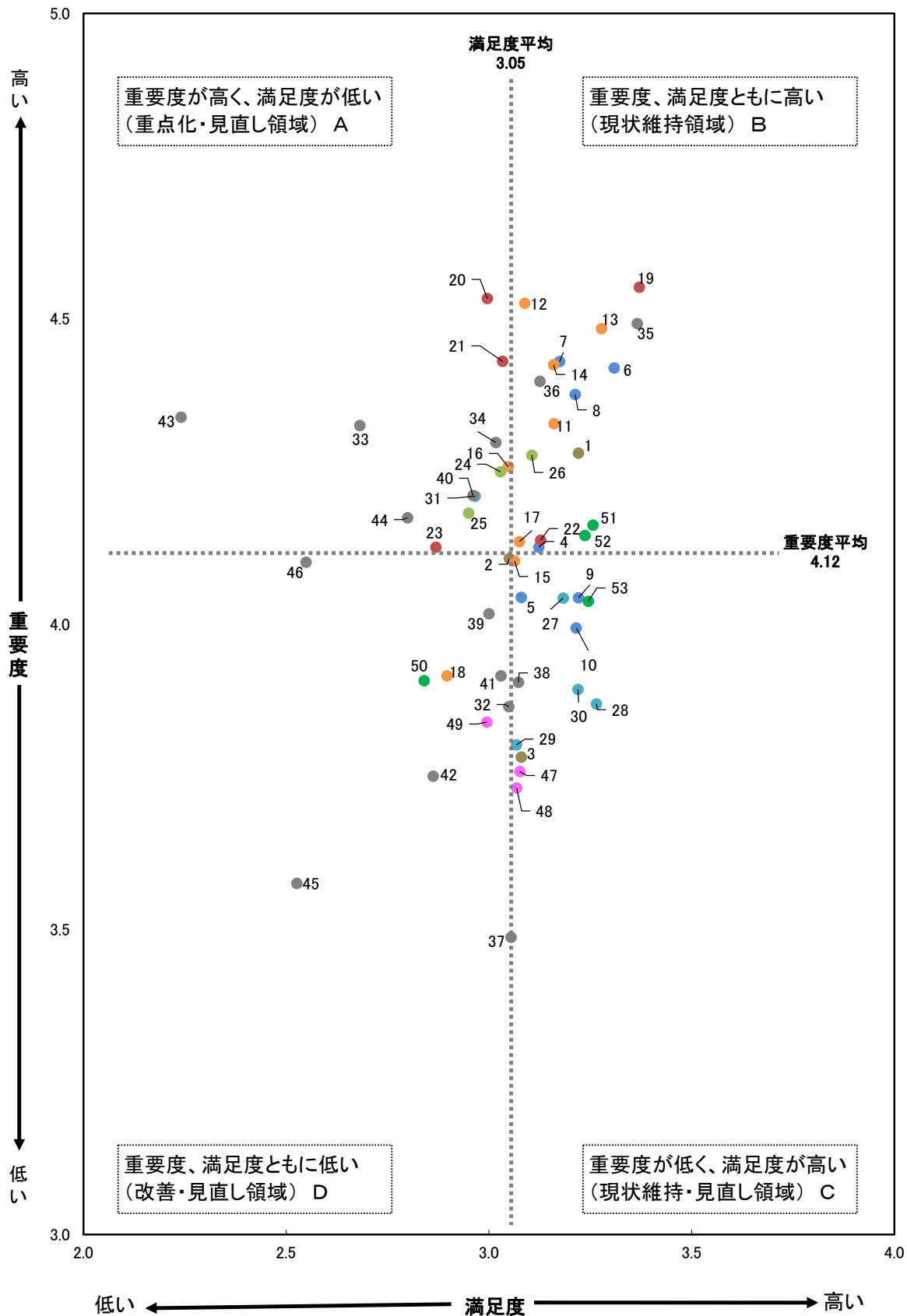
1-3 : 人権 4-10 : 教育 11-18 : 子育て・福祉 19-23 : 安全安心 24-26 : 環境保全
 27-31 : 産業 32-46 : 都市基盤 47-49 : 協働 50-53 : 行政

表 28 満足度・重要度・ニーズ度(大野地域)

順位	凡例	NO	大野地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.24	53位	4.34	12位	2.10	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.68	50位	4.32	14位	1.64	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.55	51位	4.10	32位	1.55	D
4位		20	地震・風水害などの災害対策	3.00	40位	4.53	2位	1.54	A
5位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.09	22位	4.53	3位	1.44	B
6位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.03	35位	4.43	6位	1.40	A
7位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.80	49位	4.17	23位	1.37	A
8位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	3.02	38位	4.30	15位	1.28	A
9位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.13	19位	4.40	10位	1.27	B
10位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.16	17位	4.42	8位	1.26	B
11位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.17	15位	4.43	7位	1.26	B
12位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.87	46位	4.13	29位	1.26	A
13位		40	安全で快適な市街地の整備	2.96	43位	4.21	20位	1.25	A
14位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.97	42位	4.21	21位	1.24	A
15位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.95	44位	4.18	22位	1.23	A
16位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	3.03	37位	4.25	19位	1.22	A
17位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.05	34位	4.26	18位	1.21	A
18位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.28	4位	4.48	5位	1.21	B
19位		19	消防・救急体制の充実	3.37	1位	4.55	1位	1.18	B
20位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.11	21位	4.28	17位	1.17	B
21位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.16	16位	4.33	13位	1.17	B
22位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.21	13位	4.38	11位	1.16	B
23位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.37	2位	4.49	4位	1.13	B
24位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.31	3位	4.42	9位	1.11	B
25位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.84	48位	3.91	41位	1.07	D
26位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.08	26位	4.13	27位	1.06	B
27位		1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	3.22	9位	4.28	16位	1.06	B
28位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.05	32位	4.11	30位	1.06	D
29位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.53	52位	3.57	52位	1.05	D
30位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.06	30位	4.10	31位	1.04	C
31位		18	低所得者への支援	2.90	45位	3.91	40位	1.02	D
32位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.00	39位	4.02	37位	1.02	D
33位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.13	18位	4.14	26位	1.01	B
34位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.12	20位	4.13	28位	1.00	B
35位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.08	24位	4.04	33位	0.96	C
36位		52	支所機能の充実	3.24	8位	4.14	25位	0.91	B
37位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.26	6位	4.16	24位	0.90	B
38位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.86	47位	3.75	50位	0.89	D
39位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.03	36位	3.92	39位	0.89	D
40位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.18	14位	4.04	35位	0.86	C
41位		49	市民と行政の協働のまちづくり	3.00	41位	3.84	46位	0.84	D
42位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.07	27位	3.90	42位	0.83	C
43位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.22	10位	4.04	34位	0.82	C
44位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.05	33位	3.86	45位	0.82	D
45位		53	市民センター機能の充実	3.25	7位	4.04	36位	0.79	C
46位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.22	12位	3.99	38位	0.78	C
47位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.07	29位	3.80	47位	0.73	C
48位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.08	23位	3.78	48位	0.70	C
49位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.08	25位	3.76	49位	0.68	C
50位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.22	11位	3.89	43位	0.67	C
51位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.07	28位	3.73	51位	0.66	C
52位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.27	5位	3.87	44位	0.60	C
53位		37	市営墓地の整備	3.05	31位	3.49	53位	0.43	C
平均				3.05		4.12		1.07	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 80 満足度・重要度の相関図(大野地域)



<施策分野>

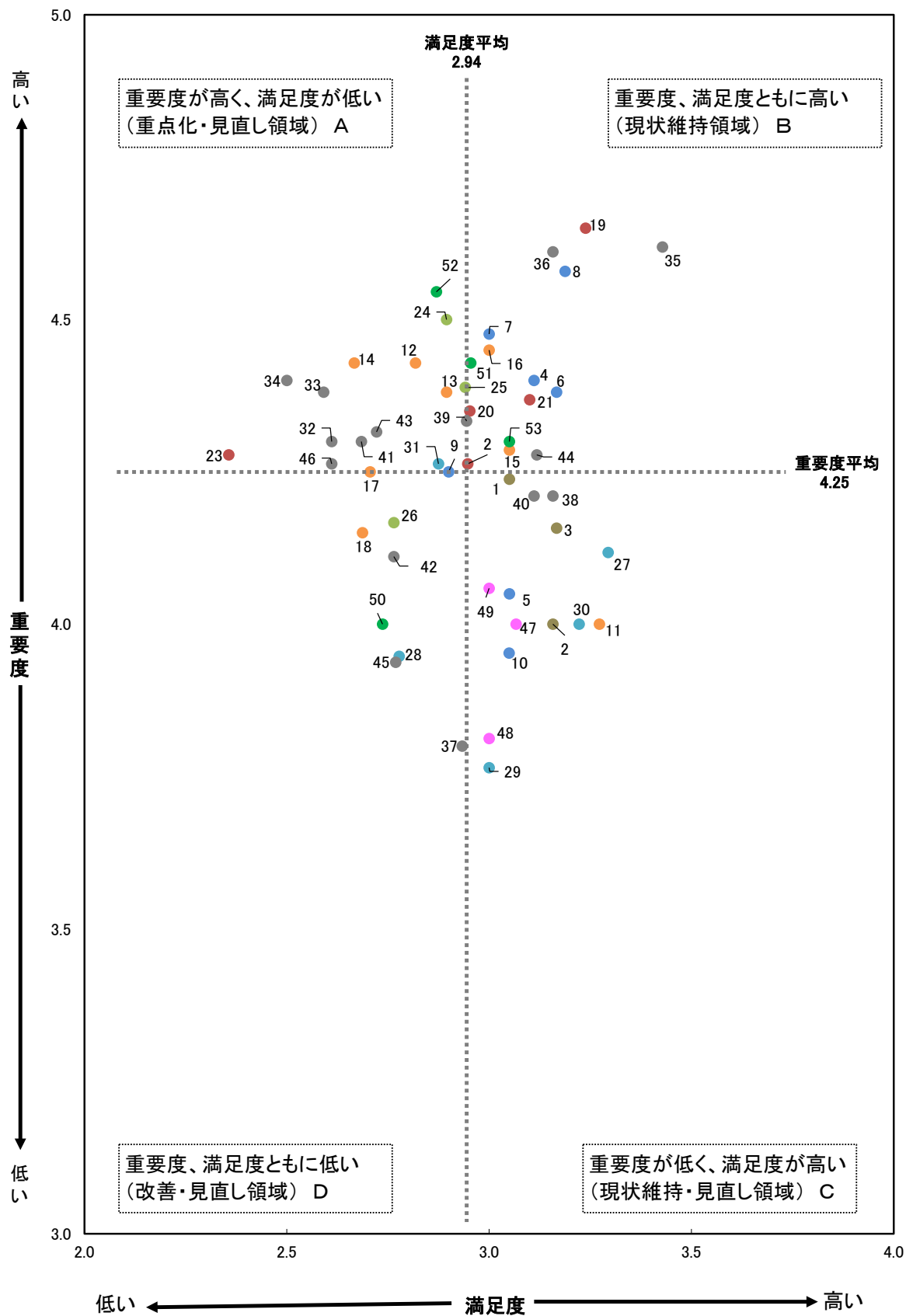
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 29 満足度・重要度・ニーズ度(宮島地域)

順位	凡例	NO	宮島地域	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.36	53位	4.28	26位	1.92	A
2位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.50	52位	4.40	12位	1.90	A
3位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.59	51位	4.38	15位	1.79	A
4位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.67	48位	4.43	9位	1.76	A
5位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.61	49位	4.30	22位	1.69	A
6位		52	支所機能の充実	2.87	37位	4.55	5位	1.68	A
7位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.61	49位	4.26	28位	1.65	A
8位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.68	47位	4.30	22位	1.62	A
9位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	2.82	38位	4.43	9位	1.61	A
10位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.89	34位	4.50	6位	1.61	A
11位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.72	44位	4.32	21位	1.59	A
12位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.71	45位	4.25	31位	1.54	A
13位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	2.89	34位	4.38	15位	1.49	A
14位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.00	22位	4.48	7位	1.48	B
15位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	2.95	27位	4.43	9位	1.47	B
16位		18	低所得者への支援	2.69	46位	4.15	38位	1.46	D
17位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.16	9位	4.61	3位	1.45	B
18位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.00	22位	4.45	8位	1.45	B
19位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.94	31位	4.39	14位	1.45	A
20位		19	消防・救急体制の充実	3.24	4位	4.65	1位	1.41	B
21位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	2.76	41位	4.17	36位	1.40	D
22位		20	地震・風水害などの災害対策	2.95	28位	4.35	19位	1.40	B
23位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.19	6位	4.58	4位	1.39	B
24位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.94	30位	4.33	20位	1.39	A
25位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.88	36位	4.26	28位	1.39	A
26位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	2.90	33位	4.25	31位	1.35	A
27位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.76	41位	4.11	40位	1.35	D
28位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.95	29位	4.26	28位	1.32	B
29位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.11	13位	4.40	12位	1.29	B
30位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.10	15位	4.37	18位	1.27	B
31位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.74	43位	4.00	43位	1.26	D
32位		53	市民センター機能の充実	3.05	17位	4.30	22位	1.25	B
33位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.05	17位	4.29	25位	1.24	B
34位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.17	7位	4.38	15位	1.21	B
35位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.43	1位	4.62	2位	1.19	B
36位		1	一人ひとりを大切にすることや人権が保障された社会づくり	3.05	17位	4.24	33位	1.19	C
37位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	2.78	39位	3.95	49位	1.17	D
38位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.77	40位	3.94	50位	1.17	D
39位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.12	12位	4.28	26位	1.16	B
40位		40	安全で快適な市街地の整備	3.11	13位	4.21	34位	1.10	C
41位		49	市民と行政の協働のまちづくり	3.00	22位	4.06	41位	1.06	C
42位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.16	9位	4.21	34位	1.05	C
43位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.05	17位	4.05	42位	1.00	C
44位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.17	7位	4.16	37位	0.99	C
45位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.07	16位	4.00	43位	0.93	C
46位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.05	17位	3.95	48位	0.90	C
47位		37	市営墓地の整備	2.93	32位	3.80	52位	0.87	D
48位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.16	9位	4.00	43位	0.84	C
49位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.29	2位	4.12	39位	0.82	C
50位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.00	22位	3.81	51位	0.81	C
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.22	5位	4.00	43位	0.78	C
52位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.00	22位	3.76	53位	0.76	C
53位		11	市民が健康に生活するための支援	3.27	3位	4.00	43位	0.73	C
平均				2.94		4.25		1.30	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 81 満足度・重要度の相関図(宮島地域)



<施策分野>

- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

【年代別】

○18～29 歳

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 3.44 で「全市」(3.01)より 0.43 ポイント高い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.23 で「全市」(4.13)より 0.10 ポイント高い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.82)が最も高く、以下、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.43)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.28)、「34 安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備」(1.16)、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.09)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 10 項目、B（現状維持領域）が 15 項目、C（現状維持・見直し領域）が 16 項目、D（改善・見直し領域）が 12 項目であった。
- ・「18～29 歳」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「50 市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ」

○30～39 歳

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 3.04 で「全市」(3.01)より 0.03 ポイント高い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.12 で「全市」(4.13)より 0.01 ポイント低い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.02)が最も多く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.80)、「21 防犯や交通安全に向けた取組」(1.76)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.68)、「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(1.58)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 10 項目、B（現状維持領域）が 16 項目、C（現状維持・見直し領域）が 14 項目、D（改善・見直し領域）が 13 項目であった。
- ・「30～39 歳」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」

○40～49 歳

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 3.05 で「全市」(3.01)より 0.04 ポイント高い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.03 で「全市」(4.13)より 0.10 ポイント低い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.88)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.61)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.43)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.42)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.40)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 12 項目、B（現状維持領域）が 15 項目、C（現状維持・見直し領域）が 12 項目、D（改善・見直し領域）が 14 項目であった。
- ・「40～49 歳」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「36 快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備」

○50～59 歳

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 2.97 で「全市」(3.01)より 0.04 ポイント低い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.10 で「全市」(4.13)より 0.03 ポイント低い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.03)が最も高く、以下、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.71)、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.66)、「14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援」(1.59)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.57)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 14 項目、B（現状維持領域）が 13 項目、C（現状維持・見直し領域）が 16 項目、D（改善・見直し領域）が 10 項目であった。
- ・「50～59 歳」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「14 介護保険サービスなど高齢者や家族への支援」

○60～69 歳

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 2.88 で「全市」(3.01)より 0.13 ポイント低い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.16 で「全市」(4.13)より 0.03 ポイント高い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(2.04)が最も高く、以下、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.93)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.74)、「12 医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり」(1.72)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.72)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 14 項目、B（現状維持領域）が 15 項目、C（現状維持・見直し領域）が 17 項目、D（改善・見直し領域）が 7 項目であった。

○70 歳以上

【満足度の平均】

- ・満足度の平均は 2.95 で「全市」(3.01)より 0.06 ポイント低い。

【重要度の平均】

- ・重要度の平均は 4.16 で「全市」(4.13)より 0.03 ポイント高い。

【ニーズ度】

- ・ニーズ度については、「33 安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）」(1.88)が最も高く、以下、「43 渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備」(1.81)、「46 市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」(1.73)、「20 地震・風水害などの災害対策」(1.71)、「23 木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組」(1.66)と続く。

【施策の位置づけ】

- ・施策の位置づけについては、A（重点化・見直し領域）が 14 項目、B（現状維持領域）が 17 項目、C（現状維持・見直し領域）が 11 項目、D（改善・見直し領域）が 11 項目であった。
- ・「70 歳以上」のみ A（重点化・見直し領域）の項目は以下の通り。
「18 低所得者への支援」

表 30 年代別施策の位置づけ

順位	凡例	項目	全市	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
35位	1	一人ひとりを大切にすること人権が保障された社会づくり	B	B	B	B	B	B	B
37位	2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	C	B	D	C	C	B	B
52位	3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	C	C	C	C	C	C	D
36位	4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	C	C	C	D	C	B	B
26位	5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	C	D	C	D	C	C	C
25位	6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	B	B	B	B	B	B	B
27位	7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	B	B	B	B	B	A	A
28位	8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	B	B	B	B	B	B	B
43位	9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	C	C	C	C	C	C	C
51位	10	文化施設の整備及び活動の支援	C	C	C	C	C	C	C
10位	11	市民が健康に生活できるための支援	B	B	B	B	B	B	B
6位	12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	B	B	A	B	B	B	B
18位	13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	B	B	B	B	B	B	B
12位	14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	B	B	B	B	A	B	B
30位	15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	A	C	C	C	A	A	A
15位	16	障がい者の自立支援や福祉サービスなど障がい者が地域で安心して暮らすための環境づくり	A	A	B	B	A	A	A
7位	17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	A	A	B	C	B	A	A
14位	18	低所得者への支援	D	D	D	D	D	D	A
19位	19	消防・救急体制の充実	B	B	B	B	B	B	B
3位	20	地震・風水害などの災害対策	A	A	A	A	A	A	A
16位	21	防犯や交通安全に向けた取組	B	B	A	A	A	B	B
34位	22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	B	C	D	B	C	B	B
9位	23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	A	D	A	D	A	A	A
20位	24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	A	A	A	A	A	A	A
22位	25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	A	D	D	A	A	A	A
29位	26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	B	D	B	B	B	B	B
48位	27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	C	C	C	C	B	C	C
42位	28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	C	C	C	C	C	C	C
46位	29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	C	C	D	D	C	C	C
40位	30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	C	C	C	C	C	C	C
8位	31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	A	A	A	A	A	A	A
32位	32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	C	C	D	D	C	C	C
5位	33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	A	A	A	A	A	A	A
4位	34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	A	A	A	A	A	A	A
23位	35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	B	B	B	B	B	B	B
13位	36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	B	B	B	A	B	B	B
53位	37	市営墓地の整備	D	D	C	D	D	C	D
50位	38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	C	C	C	C	D	C	C
33位	39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	D	C	C	D	C	D	D
21位	40	安全で快適な市街地の整備	A	B	B	A	A	D	D
49位	41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	C	C	D	C	D	D	D
38位	42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	D	D	D	D	D	D	D
1位	43	渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	A	A	A	A	A	A	A
11位	44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	A	A	A	A	A	A	C
24位	45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	D	D	D	D	D	D	D
2位	46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	A	D	D	A	D	A	A
44位	47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	C	D	C	D	C	C	D
45位	48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	D	D	D	D	D	C	D
39位	49	市民と行政の協働のまちづくり	D	D	D	D	D	D	D
17位	50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	D	A	D	D	D	C	D
41位	51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	B	B	B	B	C	C	B
31位	52	支所機能の充実	B	C	B	B	C	C	B
47位	53	市民センター機能の充実	C	C	C	C	C	C	C

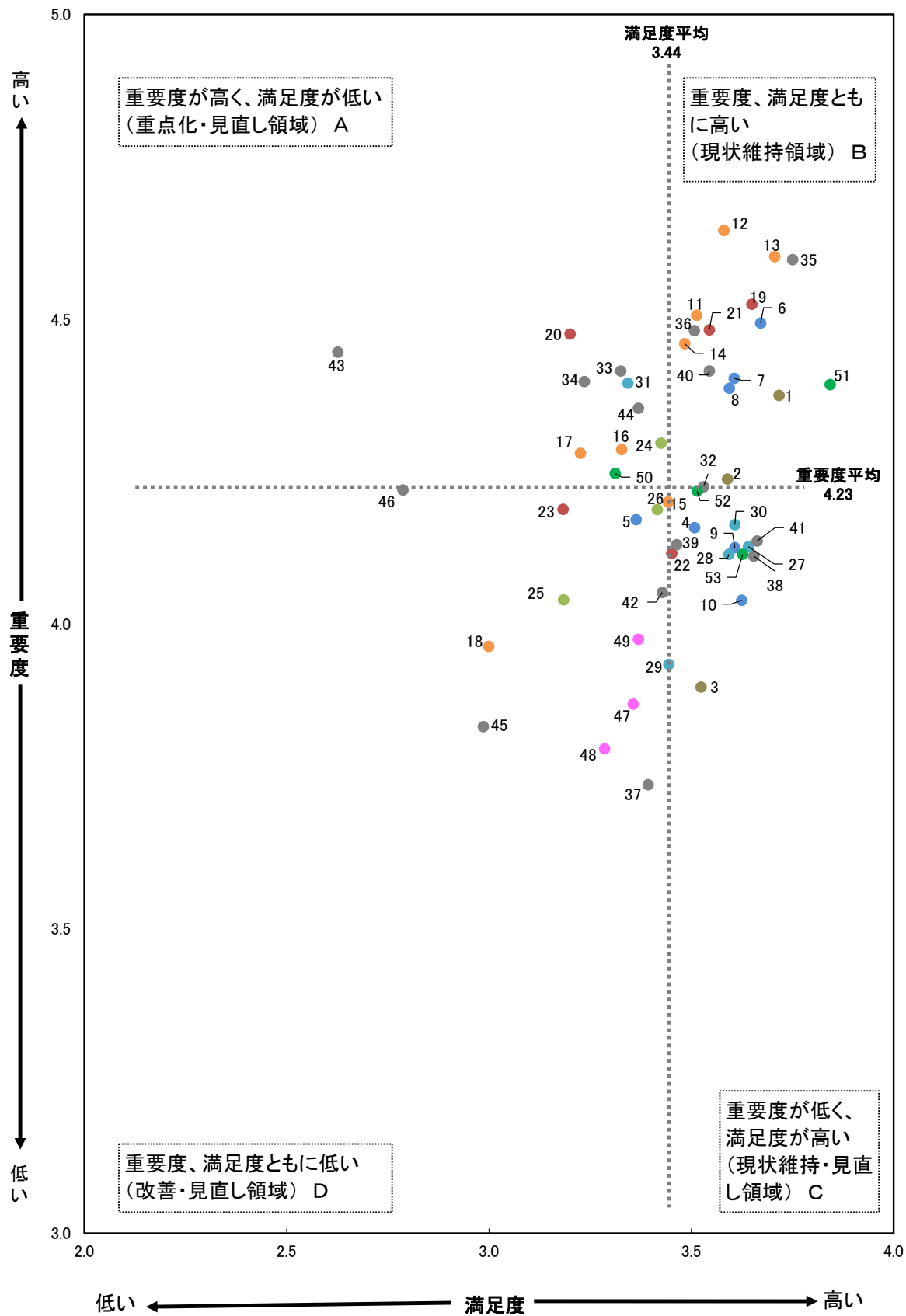
※A 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)に網掛け

表 31 満足度・重要度・ニーズ度(18～29 歳)

順位	凡例	NO	18～29歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.63	53位	4.45	11位	1.82	A
2位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.79	52位	4.22	27位	1.43	D
3位		20	地震・風水害などの災害対策	3.20	47位	4.48	9位	1.28	A
4位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	3.24	45位	4.40	15位	1.16	A
5位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	3.33	42位	4.41	12位	1.09	A
6位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.58	18位	4.65	1位	1.07	B
7位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.23	46位	4.28	23位	1.05	A
8位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	3.34	40位	4.39	16位	1.05	A
9位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	3.18	49位	4.19	30位	1.00	D
10位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.51	24位	4.51	5位	0.99	B
11位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.37	37位	4.35	20位	0.98	A
12位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.48	27位	4.46	10位	0.98	B
13位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.51	26位	4.48	8位	0.97	B
14位		18	低所得者への支援	3.00	50位	3.96	47位	0.96	D
15位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.33	41位	4.29	22位	0.96	A
16位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.54	19位	4.48	7位	0.94	B
17位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.31	43位	4.25	24位	0.94	A
18位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.71	4位	4.60	2位	0.90	B
19位		19	消防・救急体制の充実	3.65	8位	4.52	4位	0.88	B
20位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	3.42	33位	4.30	21位	0.87	A
21位		40	安全で快適な市街地の整備	3.54	19位	4.41	12位	0.87	B
22位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	3.18	48位	4.04	44位	0.85	D
23位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.75	2位	4.60	3位	0.85	B
24位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.99	51位	3.83	51位	0.85	D
25位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.67	5位	4.49	6位	0.82	B
26位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.36	38位	4.17	32位	0.81	D
27位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.61	14位	4.40	14位	0.80	B
28位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.59	15位	4.39	18位	0.79	B
29位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.42	34位	4.19	30位	0.77	D
30位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.44	31位	4.20	29位	0.76	C
31位		52	支所機能の充実	3.51	23位	4.22	28位	0.70	C
32位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.53	21位	4.23	26位	0.69	C
33位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.46	28位	4.13	36位	0.67	C
34位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.45	29位	4.12	39位	0.66	C
35位		1	一人ひとりを大切にすることや人権が保障された社会づくり	3.72	3位	4.38	19位	0.66	B
36位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.51	25位	4.16	34位	0.65	C
37位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.59	17位	4.24	25位	0.65	B
38位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	3.43	32位	4.05	43位	0.62	D
39位		49	市民と行政の協働のまちづくり	3.37	36位	3.97	46位	0.61	D
40位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.61	12位	4.16	33位	0.55	C
41位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.84	1位	4.39	17位	0.55	B
42位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.59	16位	4.11	40位	0.52	C
43位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.61	12位	4.13	38位	0.52	C
44位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.36	39位	3.87	50位	0.51	D
45位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.29	44位	3.79	52位	0.51	D
46位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.44	30位	3.93	48位	0.49	C
47位		53	市民センター機能の充実	3.63	10位	4.11	40位	0.49	C
48位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.64	9位	4.13	37位	0.49	C
49位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.66	6位	4.14	35位	0.47	C
50位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.65	7位	4.11	42位	0.46	C
51位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.63	11位	4.04	45位	0.41	C
52位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.52	22位	3.90	49位	0.37	C
53位		37	市営墓地の整備	3.39	35位	3.74	53位	0.34	D
平均				3.44		4.23		0.79	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 82 満足度・重要度の相関図(18～29 歳)



<施策分野>

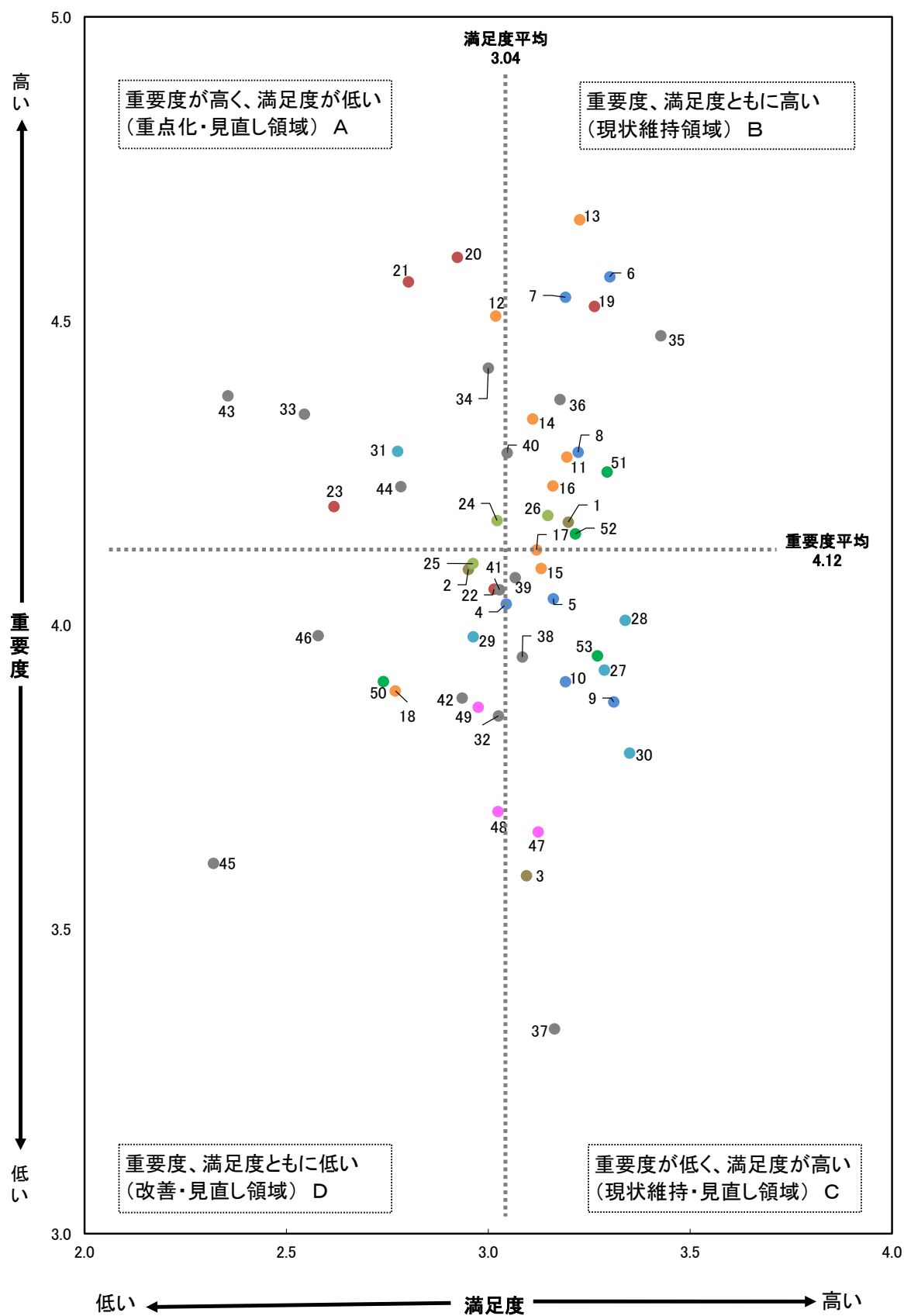
1-3 : 人権 4-10 : 教育 11-18 : 子育て・福祉 19-23 : 安全安心 24-26 : 環境保全
 27-31 : 産業 32-46 : 都市基盤 47-49 : 協働 50-53 : 行政

表 32 満足度・重要度・ニーズ度（30～39 歳）

順位	凡例	NO	30～39歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.36	52位	4.38	10位	2.02	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	2.54	51位	4.35	12位	1.80	A
3位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.80	44位	4.56	4位	1.76	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	2.92	43位	4.60	2位	1.68	A
5位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.62	49位	4.19	21位	1.58	A
6位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.78	46位	4.29	14位	1.51	A
7位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.02	35位	4.51	7位	1.49	A
8位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.78	45位	4.23	20位	1.44	A
9位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.23	10位	4.67	1位	1.44	B
10位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	3.00	37位	4.42	9位	1.42	A
11位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.58	50位	3.98	36位	1.40	D
12位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.19	16位	4.54	5位	1.35	B
13位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.32	53位	3.61	51位	1.29	D
14位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.30	5位	4.57	3位	1.27	B
15位		19	消防・救急体制の充実	3.26	9位	4.52	6位	1.26	B
16位		40	安全で快適な市街地の整備	3.05	29位	4.28	16位	1.24	B
17位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.11	25位	4.34	13位	1.23	B
18位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.18	17位	4.37	11位	1.19	B
19位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.74	48位	3.91	41位	1.17	D
20位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	3.02	34位	4.17	23位	1.15	A
21位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	2.95	41位	4.09	29位	1.14	D
22位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.96	40位	4.10	27位	1.14	D
23位		18	低所得者への支援	2.77	47位	3.89	43位	1.12	D
24位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.19	14位	4.28	17位	1.08	B
25位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.16	20位	4.23	19位	1.07	B
26位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.22	11位	4.28	15位	1.06	B
27位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.43	1位	4.48	8位	1.05	B
28位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.01	36位	4.06	31位	1.05	D
29位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.15	21位	4.18	22位	1.03	B
30位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.03	31位	4.06	32位	1.03	D
31位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.96	39位	3.98	37位	1.02	D
32位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.07	28位	4.08	30位	1.01	C
33位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.12	24位	4.12	26位	1.00	B
34位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.04	30位	4.03	34位	0.99	C
35位		1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	3.20	13位	4.17	24位	0.97	B
36位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.13	22位	4.09	28位	0.96	C
37位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.29	6位	4.25	18位	0.96	B
38位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.94	42位	3.88	44位	0.95	D
39位		52	支所機能の充実	3.22	12位	4.15	25位	0.93	B
40位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.98	38位	3.87	46位	0.89	D
41位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.16	19位	4.04	33位	0.88	C
42位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.08	27位	3.95	39位	0.86	C
43位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.03	32位	3.85	47位	0.83	D
44位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.19	15位	3.91	42位	0.72	C
45位		53	市民センター機能の充実	3.27	8位	3.95	38位	0.68	C
46位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.02	33位	3.69	49位	0.67	D
47位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.34	3位	4.01	35位	0.67	C
48位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.29	7位	3.93	40位	0.64	C
49位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.31	4位	3.87	45位	0.56	C
50位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.12	23位	3.66	50位	0.54	C
51位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.09	26位	3.59	52位	0.49	C
52位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.35	2位	3.79	48位	0.44	C
53位		37	市営墓地の整備	3.16	18位	3.34	53位	0.17	C
平均				3.04		4.12		1.08	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 83 満足度・重要度の相関図(30～39 歳)



<施策分野>

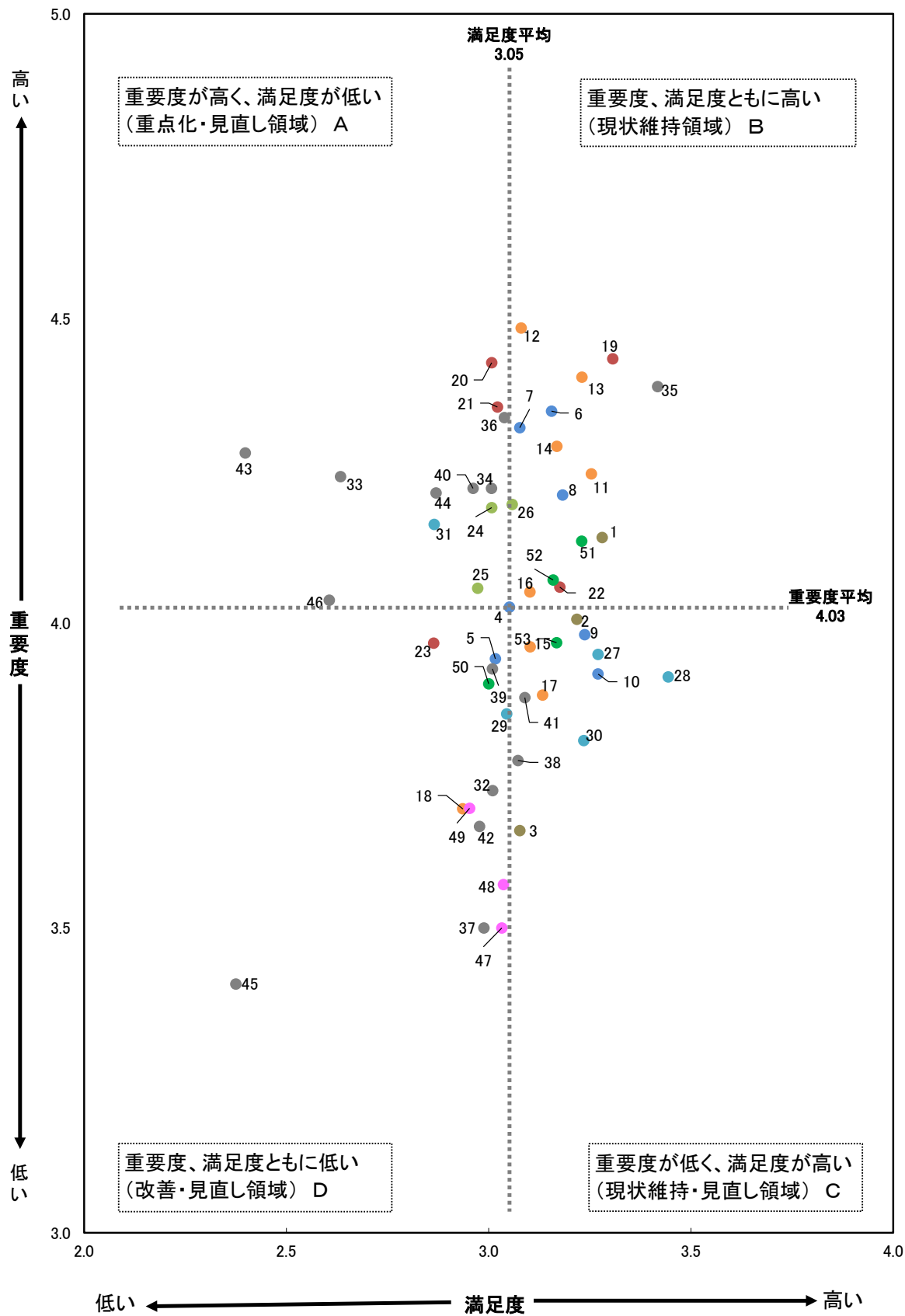
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 33 満足度・重要度・ニーズ度(40～49 歳)

順位	凡例	NO	40～49歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.40	52位	4.28	11位	1.88	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.63	50位	4.24	13位	1.61	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.61	51位	4.04	27位	1.43	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	3.01	38位	4.43	3位	1.42	A
5位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.08	23位	4.48	1位	1.40	B
6位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.87	47位	4.21	16位	1.34	A
7位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.02	33位	4.35	6位	1.33	A
8位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.04	30位	4.34	8位	1.30	A
9位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.87	48位	4.16	20位	1.30	A
10位		40	安全で快適な市街地の整備	2.96	44位	4.22	14位	1.26	A
11位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.08	24位	4.32	9位	1.24	B
12位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	3.01	39位	4.22	14位	1.21	A
13位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.16	18位	4.35	7位	1.19	B
14位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	3.01	37位	4.19	19位	1.18	A
15位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.23	10位	4.40	4位	1.17	B
16位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.06	27位	4.19	18位	1.14	B
17位		19	消防・救急体制の充実	3.31	3位	4.43	2位	1.13	B
18位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.17	15位	4.29	10位	1.12	B
19位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.86	49位	3.97	32位	1.10	D
20位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.97	43位	4.06	25位	1.08	A
21位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.38	53位	3.41	53位	1.03	D
22位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.18	13位	4.21	17位	1.03	B
23位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.25	7位	4.25	12位	0.99	B
24位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.05	28位	4.03	28位	0.98	D
25位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.42	2位	4.39	5位	0.97	B
26位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	3.10	21位	4.05	26位	0.95	B
27位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	3.02	34位	3.94	35位	0.93	D
28位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	3.01	36位	3.93	36位	0.92	D
29位		52	支所機能の充実	3.16	17位	4.07	23位	0.91	B
30位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.23	11位	4.13	22位	0.90	B
31位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	3.00	40位	3.90	39位	0.90	D
32位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.18	14位	4.06	24位	0.88	B
33位		1	一人ひとりを大切にすると人権が保障された社会づくり	3.28	4位	4.14	21位	0.86	B
34位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	3.10	20位	3.96	33位	0.86	C
35位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.04	29位	3.85	42位	0.81	D
36位		53	市民センター機能の充実	3.17	16位	3.97	31位	0.80	C
37位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.22	12位	4.01	29位	0.79	C
38位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	3.09	22位	3.88	41位	0.79	C
39位		18	低所得者への支援	2.94	46位	3.70	47位	0.76	D
40位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.13	19位	3.88	40位	0.75	C
41位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.24	8位	3.98	30位	0.74	C
42位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.95	45位	3.70	46位	0.74	D
43位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	3.01	35位	3.73	45位	0.72	D
44位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	3.07	26位	3.77	44位	0.70	C
45位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.98	42位	3.67	48位	0.69	D
46位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.27	6位	3.95	34位	0.68	C
47位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.27	5位	3.92	37位	0.65	C
48位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.08	24位	3.66	49位	0.58	C
49位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.23	9位	3.81	43位	0.57	C
50位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	3.04	31位	3.57	50位	0.53	D
51位		37	市営墓地の整備	2.99	41位	3.50	51位	0.51	D
52位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.44	1位	3.91	38位	0.47	C
53位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.03	32位	3.50	51位	0.47	D
平均				3.05		4.03		0.98	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 84 満足度・重要度の相関図(40～49 歳)



<施策分野>

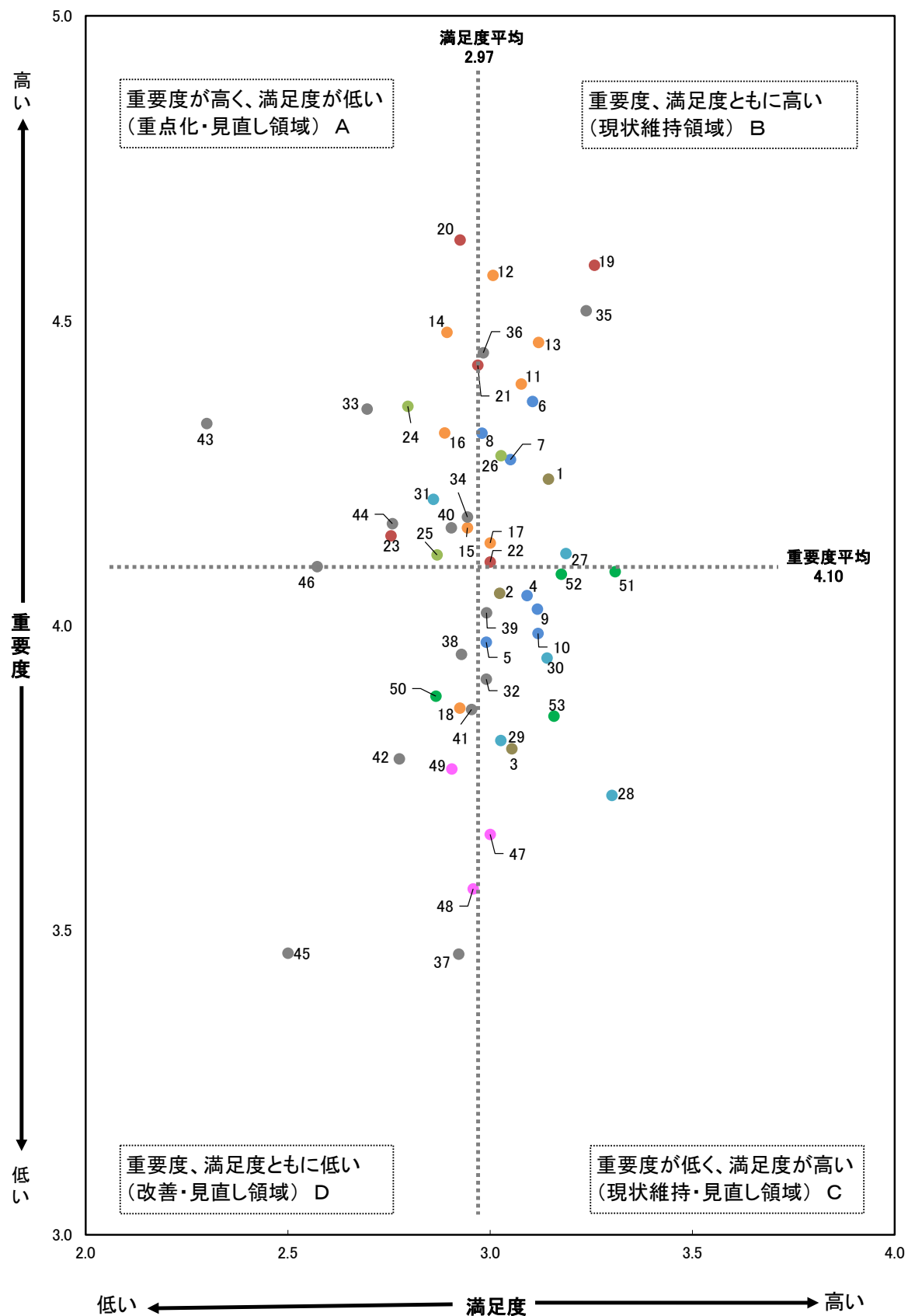
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 34 満足度・重要度・ニーズ度(50～59 歳)

順位	凡例	NO	50～59歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.30	53位	4.33	13位	2.03	A
2位		20	地震・風水害などの災害対策	2.93	37位	4.63	1位	1.71	A
3位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.70	50位	4.35	12位	1.66	A
4位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.89	41位	4.48	5位	1.59	A
5位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.01	21位	4.57	3位	1.57	B
6位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.80	46位	4.36	11位	1.56	A
7位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.57	51位	4.10	29位	1.52	D
8位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.98	28位	4.45	7位	1.46	B
9位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.97	30位	4.43	8位	1.46	A
10位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.89	42位	4.32	14位	1.43	A
11位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.76	48位	4.17	21位	1.41	A
12位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.76	49位	4.15	24位	1.39	A
13位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.86	45位	4.21	19位	1.35	A
14位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	3.12	10位	4.46	6位	1.34	B
15位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	2.98	29位	4.32	15位	1.34	B
16位		19	消防・救急体制の充実	3.26	3位	4.59	2位	1.33	B
17位		11	市民が健康に生活するための支援	3.08	15位	4.40	9位	1.32	B
18位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.24	4位	4.52	4位	1.28	B
19位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.10	13位	4.37	10位	1.26	B
20位		40	安全で快適な市街地の整備	2.90	40位	4.16	22位	1.26	A
21位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.03	18位	4.28	16位	1.25	B
22位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.87	43位	4.12	27位	1.25	A
23位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.94	34位	4.18	20位	1.23	A
24位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	3.05	17位	4.27	17位	1.22	B
25位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.94	33位	4.16	22位	1.22	A
26位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	3.00	22位	4.14	25位	1.14	B
27位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.00	22位	4.10	28位	1.10	C
28位		1	一人ひとりを大切にすると人権が保障された社会づくり	3.14	8位	4.24	18位	1.10	B
29位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.99	25位	4.02	35位	1.03	C
30位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.02	20位	4.05	32位	1.03	C
31位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.93	35位	3.95	38位	1.02	D
32位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.87	44位	3.88	41位	1.02	D
33位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.78	47位	3.78	47位	1.01	D
34位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.99	26位	3.97	37位	0.98	C
35位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.50	52位	3.46	52位	0.96	D
36位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.09	14位	4.05	33位	0.96	C
37位		18	低所得者への支援	2.93	36位	3.86	42位	0.94	D
38位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.19	5位	4.12	26位	0.93	B
39位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.99	27位	3.91	40位	0.92	C
40位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.12	12位	4.03	34位	0.91	C
41位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.95	32位	3.86	43位	0.91	D
42位		52	支所機能の充実	3.18	6位	4.08	31位	0.91	C
43位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.12	11位	3.99	36位	0.87	C
44位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.91	39位	3.76	48位	0.86	D
45位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.14	9位	3.95	39位	0.81	C
46位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.03	19位	3.81	45位	0.78	C
47位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.31	1位	4.09	30位	0.78	C
48位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	3.05	16位	3.80	46位	0.74	C
49位		53	市民センター機能の充実	3.16	7位	3.85	44位	0.69	C
50位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	3.00	22位	3.66	50位	0.66	C
51位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.96	31位	3.57	51位	0.61	D
52位		37	市営墓地の整備	2.92	38位	3.46	53位	0.54	D
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.30	2位	3.72	49位	0.42	C
平均				2.97		4.10		1.13	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 85 満足度・重要度の相関図(50～59 歳)



<施策分野>

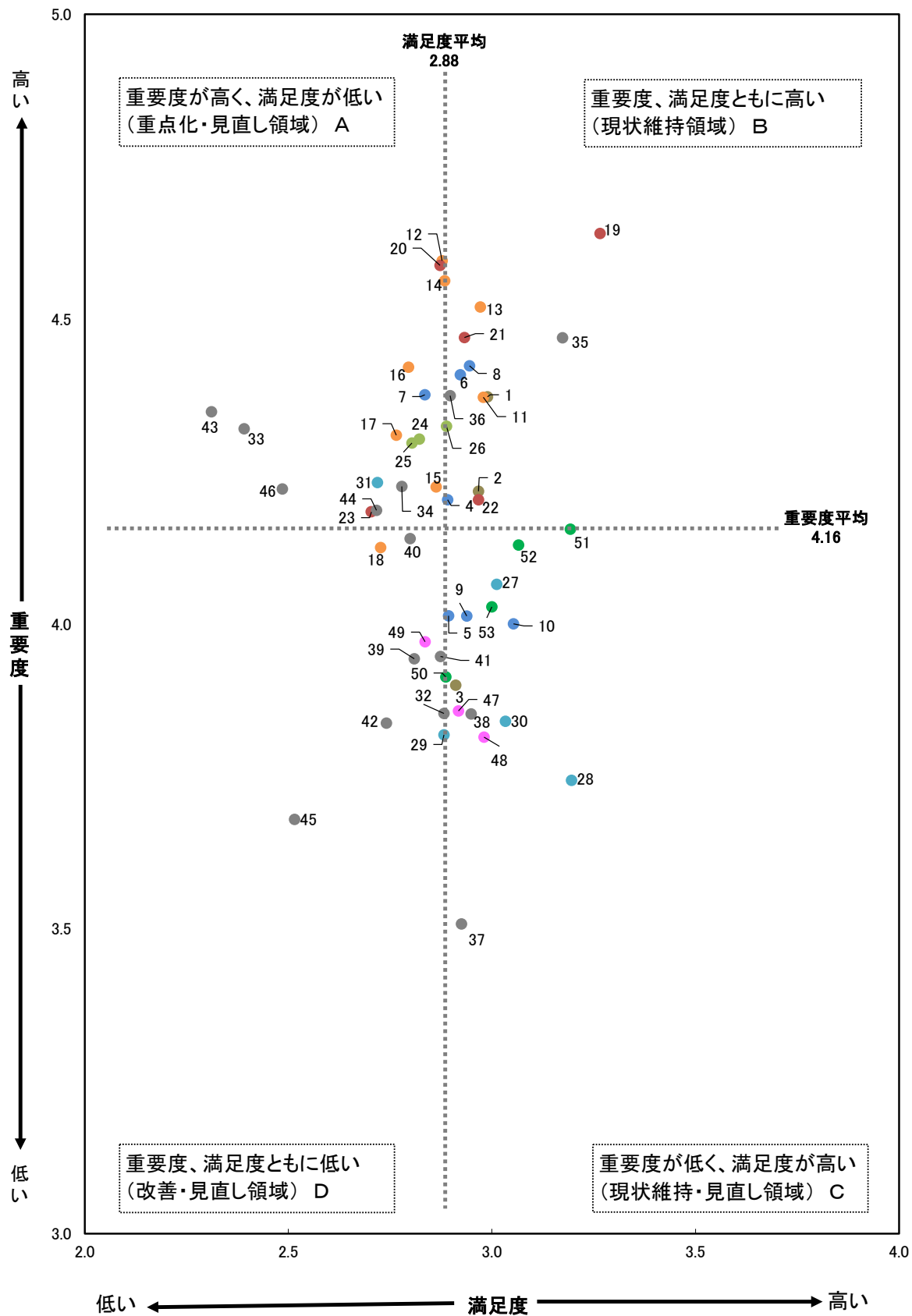
- | | | | | |
|--------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| ■ 1-3 : 人権 | ■ 4-10 : 教育 | ■ 11-18 : 子育て・福祉 | ■ 19-23 : 安全安心 | ■ 24-26 : 環境保全 |
| ■ 27-31 : 産業 | ■ 32-46 : 都市基盤 | ■ 47-49 : 協働 | ■ 50-53 : 行政 | |

表 35 満足度・重要度・ニーズ度(60～69 歳)

順位	凡例	NO	60～69歳	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.31	53位	4.35	15位	2.04	A
2位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.39	52位	4.32	17位	1.93	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.49	51位	4.22	24位	1.74	A
4位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	2.88	32位	4.60	2位	1.72	B
5位		20	地震・風水害などの災害対策	2.87	34位	4.59	3位	1.72	A
6位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	2.88	29位	4.56	4位	1.68	B
7位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.80	42位	4.42	9位	1.63	A
8位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	2.97	13位	4.52	5位	1.55	B
9位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.77	44位	4.31	18位	1.54	A
10位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.84	37位	4.38	11位	1.54	A
11位		21	防犯や交通安全に向けた取組	2.93	19位	4.47	6位	1.54	B
12位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.72	47位	4.23	21位	1.51	A
13位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.80	40位	4.30	20位	1.49	A
14位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	2.92	21位	4.41	10位	1.49	B
15位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.82	38位	4.30	19位	1.48	A
16位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.70	49位	4.18	29位	1.48	A
17位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	2.94	17位	4.42	8位	1.48	B
18位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	2.90	24位	4.37	12位	1.48	B
19位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	2.72	48位	4.19	28位	1.47	A
20位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.78	43位	4.23	22位	1.45	A
21位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	2.89	27位	4.32	16位	1.44	B
22位		18	低所得者への支援	2.73	46位	4.13	33位	1.40	D
23位		11	市民が健康に生活できるための支援	2.98	12位	4.37	14位	1.39	B
24位		1	一人ひとりを大切にすることによる人権が保障された社会づくり	2.99	10位	4.37	13位	1.38	B
25位		19	消防・救急体制の充実	3.27	1位	4.64	1位	1.37	B
26位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.86	35位	4.22	23位	1.36	A
27位		40	安全で快適な市街地の整備	2.80	41位	4.14	31位	1.34	D
28位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	2.89	26位	4.20	26位	1.31	B
29位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.17	4位	4.47	7位	1.30	B
30位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	2.97	15位	4.22	25位	1.25	B
31位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	2.97	14位	4.20	26位	1.24	B
32位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.51	50位	3.68	52位	1.16	D
33位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.84	36位	3.97	39位	1.14	D
34位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.81	39位	3.94	41位	1.13	D
35位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.89	25位	4.01	36位	1.12	C
36位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.74	45位	3.84	48位	1.10	D
37位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	2.94	18位	4.01	37位	1.07	C
38位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.87	33位	3.95	40位	1.07	D
39位		52	支所機能の充実	3.07	5位	4.13	32位	1.06	C
40位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.01	8位	4.07	34位	1.05	C
41位		53	市民センター機能の充実	3.00	9位	4.03	35位	1.03	C
42位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.89	28位	3.91	42位	1.03	C
43位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	2.91	23位	3.90	43位	0.99	C
44位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.88	30位	3.85	45位	0.97	C
45位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.19	3位	4.16	30位	0.96	C
46位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.05	6位	4.00	38位	0.95	C
47位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.92	22位	3.86	44位	0.94	C
48位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	2.88	31位	3.82	49位	0.94	C
49位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.95	16位	3.85	46位	0.90	C
50位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.98	11位	3.81	50位	0.83	C
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.03	7位	3.84	47位	0.81	C
52位		37	市営墓地の整備	2.92	20位	3.51	53位	0.58	C
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.20	2位	3.74	51位	0.55	C
平均				2.88		4.16		1.29	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 86 満足度・重要度の相関図(60～69 歳)



<施策分野>

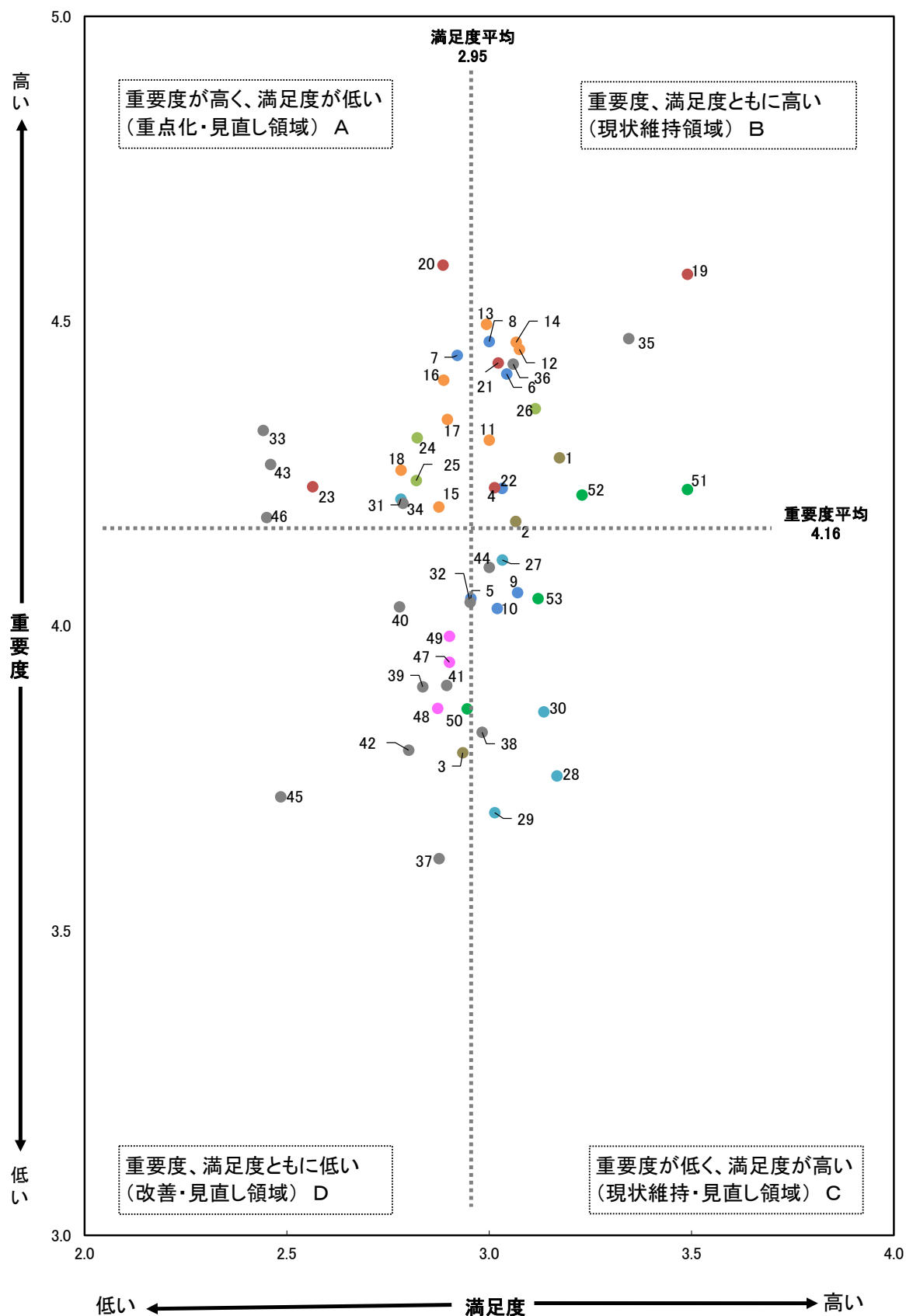
- 1-3 : 人権 ■ 4-10 : 教育 ■ 11-18 : 子育て・福祉 ■ 19-23 : 安全安心 ■ 24-26 : 環境保全
- 27-31 : 産業 ■ 32-46 : 都市基盤 ■ 47-49 : 協働 ■ 50-53 : 行政

表 36 満足度・重要度・ニーズ度(70 歳以上)

順位	凡例	NO	70歳以上	満足度		重要度		ニーズ度	分類
1位		33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備(バリアフリーの状況)	2.44	53位	4.32	15位	1.88	A
2位		43	渋滞が起こりにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	2.46	51位	4.26	19位	1.81	A
3位		46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	2.45	52位	4.18	30位	1.73	A
4位		20	地震・風水害などの災害対策	2.89	37位	4.59	1位	1.71	A
5位		23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	2.56	49位	4.23	22位	1.66	A
6位		7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	2.92	31位	4.44	8位	1.52	A
7位		16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	2.89	36位	4.40	12位	1.52	A
8位		13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	2.99	25位	4.49	3位	1.50	B
9位		24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	2.82	42位	4.31	16位	1.49	A
10位		18	低所得者への支援	2.78	46位	4.26	20位	1.47	A
11位		8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	3.00	22位	4.47	5位	1.47	B
12位		17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	2.90	34位	4.34	14位	1.44	A
13位		31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	2.78	47位	4.21	27位	1.43	A
14位		25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	2.82	43位	4.24	21位	1.42	A
15位		34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	2.79	45位	4.20	28位	1.41	A
16位		21	防犯や交通安全に向けた取組	3.02	18位	4.43	9位	1.41	B
17位		14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	3.07	12位	4.47	6位	1.40	B
18位		12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	3.07	10位	4.45	7位	1.38	B
19位		6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	3.04	15位	4.41	11位	1.37	B
20位		36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	3.06	14位	4.43	10位	1.37	B
21位		15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	2.88	39位	4.19	29位	1.32	A
22位		11	市民が健康に生活できるための支援	3.00	22位	4.30	17位	1.30	B
23位		40	安全で快適な市街地の整備	2.78	48位	4.03	38位	1.25	D
24位		26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	3.11	9位	4.36	13位	1.24	B
25位		45	ノーカーデー、パークアンドライドが実践できる環境整備	2.48	50位	3.72	51位	1.23	D
26位		22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	3.01	21位	4.23	23位	1.21	B
27位		4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	3.03	17位	4.23	24位	1.19	B
28位		35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	3.34	3位	4.47	4位	1.13	B
29位		2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	3.07	13位	4.17	31位	1.11	B
30位		1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	3.17	5位	4.28	18位	1.10	B
31位		44	駅前広場やアクセス道路の整備などJR駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	3.00	22位	4.10	33位	1.10	C
32位		5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	2.95	27位	4.05	35位	1.09	C
33位		19	消防・救急体制の充実	3.49	2位	4.58	2位	1.09	B
34位		32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	2.95	28位	4.04	37位	1.09	C
35位		49	市民と行政の協働のまちづくり	2.90	33位	3.98	40位	1.08	D
36位		27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	3.03	16位	4.11	32位	1.08	C
37位		39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	2.84	41位	3.90	43位	1.06	D
38位		47	NPO・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	2.90	32位	3.94	41位	1.04	D
39位		10	文化施設の整備及び活動の支援	3.02	19位	4.03	39位	1.01	C
40位		41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	2.89	35位	3.90	42位	1.01	D
41位		42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	2.80	44位	3.80	48位	0.99	D
42位		48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動の支援	2.87	40位	3.86	44位	0.99	D
43位		52	支所機能の充実	3.23	4位	4.21	26位	0.99	B
44位		9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	3.07	11位	4.05	34位	0.98	C
45位		53	市民センター機能の充実	3.12	8位	4.04	36位	0.92	C
46位		50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	2.95	29位	3.86	45位	0.92	D
47位		3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	2.93	30位	3.79	49位	0.86	D
48位		38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	2.98	26位	3.83	47位	0.84	C
49位		37	市営墓地の整備	2.88	38位	3.62	53位	0.74	D
50位		51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	3.49	1位	4.22	25位	0.73	B
51位		30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	3.13	7位	3.86	46位	0.72	C
52位		29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	3.01	20位	3.69	52位	0.68	C
53位		28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	3.17	6位	3.75	50位	0.59	C
平均				2.95		4.16		1.21	

注) ニーズ度は、四捨五入の関係で、算式(重要度－満足度)と合致しない場合があります。

図 87 満足度・重要度の相関図(70 歳以上)



<施策分野>

- | | | | | |
|--------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| ■ 1-3 : 人権 | ■ 4-10 : 教育 | ■ 11-18 : 子育て・福祉 | ■ 19-23 : 安全安心 | ■ 24-26 : 環境保全 |
| ■ 27-31 : 産業 | ■ 32-46 : 都市基盤 | ■ 47-49 : 協働 | ■ 50-53 : 行政 | |

【ご協力をお願い】

市民の皆さまには、日頃から市政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、総合的なまちづくりの指針として、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とする「第6次廿日市市総合計画」を策定し、各種施策・事業に取り組んでいます。このアンケート調査は、市民の皆さまの現状や意向を把握することにより、総合計画に基づく取組の進行管理に役立てるとともに、各種施策・事業をより良いものとするための基礎データとして活用させていただくものです。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年1月

廿日市市長 松本 太郎

■アンケート調査の対象について

令和6年1月1日現在の住民基本台帳をもとに、18歳以上の方の中から無作為に抽出した3,000人の方を対象に実施します。

■調査回答書類の取り扱いについて

- ・調査は無記名で、集計は統計的に処理します。
- ・ご記入いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用しません。
- ・調査結果は、報告書として市ホームページなどで公表します。

【お願い】

- 1 この調査票は「封筒のあて名の方」が記入してください。（ご事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が記入してください。）
- 2 各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつけてください。設問によっては複数の回答が必要な場合がありますので、ご注意ください。また、「その他」などの項目を選択された場合は、後の（ ）内に具体的事項のご記入もお願いします。

◆調査票の回収

ご記入いただいた調査票は、1月31日（水）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。

インターネットでも回答ができます

<https://enquete.cc/q/r5hatsukaichi>

ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、上記のアドレスをすべて半角の英字小文字で入力し、キーボードの「Enter」キーを押してください。

スマートフォンで回答される場合は、右記の二次元コードを読み取り、回答ページにアクセスして回答いただけます。



◆お問い合わせ先

廿日市市経営企画部経営政策課企画調整係

TEL（0829） 30-9120（直通）

FAX（0829） 32-1059

I あなたご自身のことについて

(1)～(6)の項目について、あてはまる内容を1つ選んで番号に○印をつけてください。

(1) 性別 (自己認識による)	1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
(2) 年齢	1 18～19 歳 5 50～59 歳	2 20～29 歳 6 60～69 歳	3 30～39 歳 7 70 歳以上	4 40～49 歳
(3) 家族構成 (同居の家族)	1 単身世帯 4 親・子・孫の三世代世帯 1 0～6 歳	2 夫婦のみの世帯 5 その他 () 2 7～12 歳	3 親と子の二世代世帯 () 3 13～15 歳	4 16～18 歳 5 19 歳以上
(4) 職業	1 農林水産業 3 会社員・公務員・団体職員 5 専業主婦 (主夫) 7 学生	2 自営業・家族従業員 4 パート・アルバイト・臨時雇いなど 6 無職 8 その他 ()		
(5) 居住年数 (合併前の旧市町村での年数も通算してください。)	1 5 年未満 4 20～29 年	2 5～9 年 5 30 年以上	3 10～19 年	
【廿日市市の居住状況を教えてください(合併前の旧市町村も廿日市市とみなします)。】 1 生まれたときから廿日市市に居住 2 他の市町村から転入(出身は廿日市市) 3 他の市町村から転入(出身は廿日市市以外) 【他の市町村から転入された方はどちらから転入されましたか。】 都道府県 1 広島県 2 広島県以外 (都・道・府・県) 市町村 (市・町・村) から転入した				
(6) 居住地 現在お住まいの地区の番号に○をしてください。	1 廿日市	佐方、佐方一丁目～四丁目、山陽園、城内一丁目～三丁目、平良山手、駅前、大東、可愛、佐方本町、桜尾一丁目～三丁目、桜尾本町、下平良一丁目～二丁目、須賀、住吉一丁目～二丁目、天神、廿日市一丁目～二丁目、本町、木材港北、木材港南		
	2 七尾	上平良、下平良、新宮一丁目～二丁目、平良一丁目～二丁目、宮内 73・76・94 番地、陽光台一丁目～五丁目、原、串戸一丁目～六丁目、地御前二丁目 22～29 番		
	3 四季が丘	宮園一丁目～九丁目、宮園上一丁目～五丁目、四季が丘一丁目～十一丁目、四季が丘上		
	4 野坂	峰高一丁目～二丁目、宮内 (73・76・94 番地を除く)、宮内一丁目～四丁目、六本松一丁目～二丁目、宮内工業団地、地御前 (1741～1788、1804～1911 番地を除く)、地御前一丁目、地御前二丁目 1～16 番、地御前三丁目～五丁目、地御前北一丁目～三丁目		
	5 阿品台	阿品一丁目～四丁目、阿品台一丁目～五丁目、阿品台北、阿品台東、阿品台西、阿品台山の手、地御前 1741～1788 番地、地御前 1804～1911 番地		
	6 佐伯	佐伯全域		
	7 吉和	吉和全域		
	8 大野東	大野第1区 大野第2区 大野第3区 大野第4区 大野 (四郎峠、中山、戸石川、十郎原、高見、鯛ノ原、水口、中別府、三鎗谷、土井、田屋、高畑、陣場 (1236 番地 1～1240 番地 30、1254 番地 1～1259 番地・1283 番地)、池田、棚田、知安、別府、下更地、上更地、柿之浦、赤崎、深江、熊ヶ浦、早時、賀撫津、屋田越、観音、福面、対巖山、尾中山、丸子、平岩、亀ヶ岡、前空、裏ヶ嶽)、対巖山一丁目～三丁目、福面一丁目～三丁目、宮島口一丁目～四丁目、宮島口上一丁目～二丁目、宮島口東一丁目～三丁目、宮島口西一丁目～三丁目、深江一丁目～三丁目、前空一丁目～六丁目、物見東一丁目～二丁目、物見西三丁目 (7 番)		

	9 大野	大野（沖筏津、筏津、大手、上之浜、住吉、水ノ越、小田ノ口、中津岡、滝ノ下、郷、古川、橋本、大国新開、三郎右エ門新開、新開、大新開、毛保、護安、小山、原、下原、塩屋、上桐、林ヶ原、丸石、向原、尾立、四拾八坂、垣ノ浦、下灘、鳴川、馬ノ峠、大石原、物見山、滝山、城山、尾那岡、清水峯、八坂、経小屋、奴メリ谷、横撫、鴉ヶ岡、嵐谷、猪ノウツ、広原山、四瀬、川平山、馬ノ口、高馬、上ヶ原、矢草、陣場（1236 番地 1～1240 番地 30、1254 番地 1～1259 番地・1283 番地を除く）、物見西一丁目～二丁目、物見西三丁目（7 番を除く）、上の浜一丁目～二丁目、下の浜、大野一丁目～二丁目、大野中央一丁目～五丁目、大野原一丁目～四丁目、梅原一丁目～二丁目、沖塩屋一丁目～四丁目、塩屋一丁目～二丁目、林が原一丁目～二丁目、丸石一丁目～五丁目、宮浜温泉一丁目～三丁目、八坂一丁目～二丁目
	10 宮島	宮島全域

Ⅱ お住まいの地域などについて ※「地域」とは、廿日市、佐伯、吉和、大野、宮島の各地域です。

問1 あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。

1、2、4、5を選んだ方は、選んだ理由もご記入ください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 どちらかといえば住みにくい | 5 住みにくい |

→■1または2を選んだ理由を次の中から3つまで選んで番号に○を付けてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 買い物の場所があり日常生活が便利 | 2 公共交通機関が便利 |
| 3 静か、閑静、のどか、穏やか | 4 自然が豊か、海・山がある |
| 5 医療機関や福祉施設が利用しやすい | 6 近隣やコミュニティの人間関係がよい |
| 7 まちがきれい、生活環境がよい | 8 通勤・通学が便利 |
| 9 働く場所が多い | 10 子育てがしやすい |
| 11 治安がよい | 12 広島市に近い、アクセスがよい |
| 13 都会でも田舎でもなくちょうどよい | 14 自然災害が少ない、災害に強い |
| 15 気候がよい | 16 景色がよい |
| 17 公園が充実している | 18 土地・住宅が安い |
| 19 不満がない・不便を感じない | 20 住み慣れている |
| 21 その他（ | ） |

→■4または5を選んだ理由を次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 買い物の場所がなく日常生活が不便 | 2 公共交通機関が不便 |
| 3 うるさい、騒音がある | 4 医療機関や福祉施設が利用しにくい |
| 5 近隣やコミュニティの人間関係が悪い | 6 まちが汚い、生活環境が悪い |
| 7 通勤・通学が不便 | 8 働く場所が少ない |
| 9 子育てがしにくい | 10 治安が悪い |
| 11 広島市までのアクセスが悪い | 12 発展していない、整備されていない |
| 13 自然災害への不安 | 14 気候が悪い |
| 15 景観が悪い | 16 公園が不足している |
| 17 土地・住宅が高い | 18 住み慣れていない |
| 19 その他（ | ） |

問2 (1) あなたは、将来も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 住み続けたい | 2 当分は住み続けたい |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 できれば引っ越したい | 5 引っ越したい (または予定) |

▶ (2) 問2 (1) で4または5と答えた方にお聞きします。

引っ越すことになった場合、どこに住みたいですか。

- | | | |
|--------------|---------|---------|
| 1 廿日市市内の別の場所 | 2 廿日市市外 | 3 わからない |
|--------------|---------|---------|

▶ (3) 問2 (2) で2と答えた方にお聞きします。廿日市市外に住みたい理由は何ですか。

次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 通勤・通学が不便 | 2 買い物する場所がなく日常生活が不便 |
| 3 福祉施策が充実していない | 4 医療機関が少ないまたは遠い |
| 5 働く場所が少ない | 6 近所づきあいの問題 |
| 7 周りの生活環境が良くない | 8 子どもの教育の問題 |
| 9 住宅の問題 (親や子との同居・近居など) | 10 仕事の都合 (転勤や転職など) |
| 11 その他 () | |

問3 あなたは、「廿日市市」に自分のまちとしての愛着がありますか。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 愛着がある | 2 やや愛着がある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり愛着を感じていない |
| 5 愛着を感じていない | |

問4 (1) あなたは、地域の運動会やとんど、秋祭りなどの行事に参加していますか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 積極的に参加している | 2 ときどき参加している |
| 3 ほとんど参加していない | 4 参加していない |

■ 3または4を選んだ理由を1つ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|---------|----------|---------|
| 1 忙しい | 2 興味がない | 3 体調がわるい | 4 情報がない |
| 5 参加したいがどうすればよいのか分からない | 6 その他 | | |

(2) あなたは、地域の高齢者のサロン、子どもや高齢者の見守り、地域・PTA・子ども会などの役員など、地域の支え手としての活動をしていますか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 積極的にしている | 2 ときどきしている |
| 3 ほとんどしていない | 4 していない |

■ 3または4を選んだ理由を1つ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|---------|----------|---------|
| 1 忙しい | 2 興味がない | 3 体調がわるい | 4 情報がない |
| 5 活動したいがどうすればよいのか分からない | 6 その他 | | |

(3) あなたは、まちづくり活動の拠点として、地域の市民センターが利用しやすいと思いますか。

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
5 利用していない

問5 (1) あなたは、自分が住んでいる地域にどのような課題があると思いますか。

次の中から3つまで選んで番号に○を付けてください。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 1 地域活動などの担い手不足 | 2 近隣などコミュニティの人間関係が悪い |
| 3 公共交通機関 | 4 買物が不便 |
| 5 空き家・空き地が多い | 6 環境の整備・保全（農地、自然、川など） |
| 7 医療機関や福祉施設が少ない | 8 ごみの分別、収集 |
| 9 活気がない | 10 防犯・防災意識が低い |
| 11 地域の文化の衰退、継承問題 | 12 その他（ ） |
| 13 特に課題はないと思う →問 6へ（問 5（2）の回答は不要です） | |
| 14 分からない | |

(2) あなたは、地域の課題を地域の住民で、解決に向けて取り組んでいると思いますか。

- 1 思う 2 やや思う
3 どちらともいえない 4 あまり思わない
5 思わない

問6 (1) あなたは、普段の生活で地域の助け合いができていますか。

- | | | | |
|---|--------------------|---|-------------------|
| 1 | できていると思う | 2 | どちらかといえば、できていると思う |
| 3 | どちらかといえば、できていないと思う | 4 | できていないと思う |
| 5 | 分からない | | |

■ 1 または 2 を選んだ理由を 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 近所づきあい（声かけ、手助け、気遣い、挨拶）がある、地域のつながりがある
2 地域活動、町内会の行事（清掃、草刈り、サロン、自主防災活動等）が活発
3 近所で子育ての協力をしている
4 近所で高齢者を見守っている
5 ボランティア活動が活発
6 学校との関わりが活発
7 その他

(2) あなたは、普段の生活で近所の人と困ったときに助け合うような付き合いをしていますか。

- | | | | |
|---|-------------------|---|------------------|
| 1 | していると思う | 2 | どちらかといえば、していると思う |
| 3 | どちらかといえば、していないと思う | 4 | していないと思う |
| 5 | 分からない | | |

■ 3または4を選んだ理由を1つ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 家族、友人で解決できるから | 2 困りごとは行政が対応すべきだから |
| 3 他人とのかかわりを持ちたくないから | 4 プライバシーが守られるか不安だから |
| 5 必要性を感じないから | |

(3) あなたは、普段の生活の中で困りごとを相談したり、助けてもらったりする人がいますか。

1 いる

2 いない

■1を選んだ方にお聞きします。それは誰ですか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○印をつけてください。

1 家族・親戚

2 友人・知人

3 隣近所の人

4 町内会・自治会等の役員

5 民生委員・児童委員

6 相談窓口

7 その他（

）

問7 あなたは、自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするための取組に参加したいと思いますか。

1 参加したい

2 参加したいがどうすればよいのか分からない

3 参加は難しいが協力したい気持ちはある

4 参加したくない

5 関 心 が な い

6 そ の 他

問8 あなたは、福祉・介護に関するサービス（高齢者や障がい者に関するサービス）が適正に提供されていると思いますか。

1 思う

2 やや思う

3 どちらともいえない

4 あまり思わない

5 思わない

問9 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対してどう思いますか。

1 賛成

2 どちらかと言えば賛成

3 どちらかと言えば反対

4 反対

5 分からない

Ⅲ 保健・医療について

問10 あなたは、普段、心身ともに健康だと思いますか。

1 とても健康だと思う

2 健康な方だと思う

3 あまり健康ではない

4 健康ではない

問11 あなたは日頃、健康のために次のような事柄を実行していますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○印をつけてください。

1 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている

2 バランスのとれた食事をしている

3 うす味のもの食べている

4 食べ過ぎないようにしている

5 適度に運動（スポーツを含む）をするか身体を動かしている

6 睡眠を十分にとっている

7 たばこを吸わないようにしている

8 お酒を飲み過ぎないようにしている

9 ストレスをためないようにしている

10 その他（

）

11 特に何もしていない

問12 あなたは、かかりつけ医（すぐに相談できる一番身近な医師）がいますか。

1 いる

2 いない

問13 あなたは、人生会議（ACP）※について知っていますか。

※ 人生会議（ACP）とは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有する取組です。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 はじめて聞いた | 2 言葉のみ知っている |
| 3 内容を知っている | 4 すでに行っている |

問14 あなたは、適切に医療機関を利用できる（必要なときに、適切に医療サービスの提供を受ける環境だ）と思いますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 思わない |
| 5 利用していない | |

■3または4を選んだ理由を1つ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1 どこにどんな医療機関があるか分からない、どこにかかればよいか分からない | |
| 2 医療機関・医師が少ない、専門医がいない、医療設備が不十分 | |
| 3 医療機関が近くにない、通院が大変 | 4 かかりつけ医がいない |
| 5 夜間・休日・救急対応が不十分 | 6 医療機関に行く時間がない、忙しい |
| 7 医療機関での待ち時間が長い | |
| 8 その他（ | ） |

IV 生活環境について

問15 あなたは、廿日市市内の公共交通機関（JR、広電、バス、航路、タクシー）で安全、快適、円滑に目的地まで移動できますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 できる | 2 どちらかというとできる |
| 3 どちらかというとできない | 4 できない |
| 5 利用していない | |

■3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 運行時間が合わない | 2 駅・バス停が遠い、アクセスが悪い |
| 3 時間がかかる | 4 障がいや身体の不調で利用が困難 |
| 5 利用できる公共交通機関が近くにない | 6 混んでいる |
| 7 乗り換えが必要で不便 | 8 路線やダイヤが分からない |
| 9 運賃が高い | 10 その他（ |
| ） | |

問16 あなたは、都市間（広島市や大竹市と廿日市市）の移動が、自動車やバスで、渋滞なく円滑にできると思いますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 できると思う | 2 どちらかというとできると思う |
| 3 どちらかというとできないと思う | 4 できないと思う |

■3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 渋滞する（国道2号、西広島バイパス、臨港道路廿日市草津線など） | |
| 2 道路が狭い、整備されていない | 3 信号が多い |
| 4 迂回路がない | 5 高速道路を利用すると料金がかかる・高い |
| 6 案内表示がない | 7 その他（ |
| ） | |

問１７ あなたは、地域間（「地域」とは、廿日市、佐伯、吉和、大野、宮島の各地域のことです）の移動が、自動車やバス、フェリーなどで渋滞なく円滑にできると思いますか。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 できると思う | 2 どちらかというときどきできると思う |
| 3 どちらかというときどきできないと思う | 4 できないと思う |

■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 渋滞する | 2 道路が狭い、整備されていない |
| 3 山間部と都市部の移動が難しい | 4 信号が多い |
| 5 迂回路がない | 6 料金がかかる・高い |
| 7 案内表示がない | 8 その他（ ） |

問１８ あなたは、ＪＲ廿日市駅からＪＡ広島総合病院周辺の一帯が、市の中心地としてふさわしいと思いますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというときどきそう思う |
| 3 どちらかというときどきそう思わない | 4 そう思わない |

■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 活気がない | 2 必要な施設がない、整備されていない |
| 3 道路が狭い、整備されていない | 4 店舗や金融機関が少ない |
| 5 交通が不便、アクセスが悪い | 6 駐車場が少ない |
| 7 場所が分からない | 8 その他（ ） |

問１９ あなたは、支所周辺が、それぞれの地域の中心としてふさわしいと思いますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというときどきそう思う |
| 3 どちらかというときどきそう思わない | 4 そう思わない |

■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 活気がない、周辺に何もない | 2 必要な施設がない、整備されていない |
| 3 道路が狭い、整備されていない | 4 店舗や金融機関が少ない |
| 5 交通が不便、アクセスが悪い | 6 駐車場が少ない |
| 7 支所の場所が分からない | 8 地域の中心といえる場所がない |
| 9 その他（ ） | |

問２０ あなたは、廿日市内の各ＪＲ駅周辺が、日常生活の利便性が高い地区だと思いますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというときどきそう思う |
| 3 どちらかというときどきそう思わない | 4 そう思わない |

■ 3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 活気がない、周辺に何もない | 2 必要な施設がない、整備されていない |
| 3 道路が狭い、整備されていない | 4 店舗や金融機関が少ない |
| 5 交通が不便、アクセスが悪い | 6 駐車場が少ない |
| 7 利用しないから分からない | 8 その他（ ） |

問21 あなたは、宮島口地区が、国際的な観光交流拠点としてふさわしい景観であると思いますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |

問22 あなたは、日頃利用している生活道路を安心して歩行・通行できていますか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 できている | 2 どちらかというできている |
| 3 どちらかというできていない | 4 できていない |

■3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 歩道がない、整備されていない | 2 道路が狭い |
| 3 道路の見通しが悪い | 4 交通マナーが悪い |
| 5 街灯がなく暗い、防犯設備がない | 6 電柱が支障になる |
| 7 その他（ ） | |

問23 あなたの住んでいる地域は、地震・風水害などの対策がされていると思いますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 されていると思う | 2 どちらかというされていると思う |
| 3 どちらかというされていないと思う | 4 されていないと思う |

■3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 海岸、河川等の浸水対策に不安がある | |
| 2 がけ崩れ対策など危険箇所の整備に不安がある | |
| 3 津波対策に不安がある | 4 建物の耐震化対策に不安がある |
| 5 災害時の情報ネットワークの整備に不安がある | 6 避難場所に対する不安がある |
| 7 高齢者や障がい者などの災害弱者への対策に不安がある | |
| 8 行政の対応に不安がある | 9 対策されているか分からない |
| 10 | その他 |

問24 あなたは、災害の種別（地震、風水害など）ごとに、避難場所や避難経路を確認していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問25 あなたの住んでいる場所の災害時の危険性について、土砂災害ハザードマップや浸水ハザードマップ等により確認したことがありますか。

- | |
|----------------------------|
| 1 ハザードマップで確認したことがある |
| 2 ハザードマップは知っているが、確認したことがない |
| 3 ハザードマップを知らない |

問26 あなたは、災害時の非常持ち出し品の準備をしていますか。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 準備している | 2 今後、準備する予定である |
| 3 準備していない | 4 今後も準備する予定はない |

問27 あなたは、避難するための情報や災害時の情報をどのような手段で収集しますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| 1 防災行政無線 | 2 はつかいちし安全・安心メール | |
| 3 スマートフォンのアプリ | 4 テレビ | 5 ラジオ |
| 6 市ホームページ | 7 広島県ホームページ | 8 気象庁ホームページ |

問28 あなたは、身近なところで犯罪（窃盗、傷害、特殊詐欺など）に遭う不安を感じていますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 不安を感じている | 2 どちらかという不安を感じている |
| 3 どちらかという不安を感じていない | 4 不安を感じていない |

問29 あなたは、廿日市市の自然環境（海、山、川、大気、動植物など）が守られていると思いますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |

→■3または4を選んだ理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 川が汚れている | 2 海が汚れている |
| 3 山が削られている、荒れている | 4 ごみが不法投棄されている |
| 5 害虫、鳥獣被害がある | 6 生物が減少している |
| 7 自然を守る意識が少ない | 8 その他（ ） |

問30 あなたは、環境保護活動（海岸のゴミ拾いや草刈りなどを含む）に取り組んでいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問31 あなたは、家庭で省エネ・省資源に取り組んでいますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 取り組んでいる | 2 どちらかというに取り組んでいる |
| 3 どちらかというに取り組んでいない | 4 取り組んでいない |

→■1または2を選んだ方にお聞きします。どんな内容に取り組んでいますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1 節電 | 2 節水 | 3 クールビズ、ウォームビズ |
| 4 建物の遮熱、日射遮へい | 5 環境負荷の少ない移動方法 | |
| 6 ごみの減量化※1 | 7 再利用※2 | 8 再資源化※3 |
| 9 その他（ ） | | |

※1 ごみの減量化（食べ残し削減、マイバッグ利用、詰替え品、簡易包装品の選択）

※2 再利用（修理して使う、おさがりやリサイクルショップの活用）

※3 再資源化（資源回収の推進、店舗回収の利用）

V 産業について

問32 あなたは、普段の買い物で、意識して廿日市産の農産物を購入していますか。

1 している

2 していない

問33 (1) あなたは、廿日市市の地域産業資源※について知っていますか。知っているもの全ての番号に○印をつけてください。

※地域産業資源とは、地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物・鉱工業品、または鉱工業品の生産に係る技術、文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として相当程度認識されているもので、広島県が指定したものです。

＜廿日市市の地域産業資源＞

- | | | | | |
|-----------------------------|-----------|-----------------|-------------|---------|
| 1 あさり | 2 あなご | 3 いちご | 4 クロダイ | 5 広島産かき |
| 6 わさび | 7 あまご | 8 大長なす | 9 ムール貝 | 10 切りバラ |
| 11 佐伯錦鯉 | 12 ほうれんそう | 13 はちみつ | 14 宮島お砂焼 | 15 宮島細工 |
| 16 木製品（けん玉等） | 17 もみじ饅頭 | 18 ヨーグルト | 19 宮島アントチーズ | 20 醤油 |
| 21 津和野街道 | 22 宮島（厳島） | 23 宮浜温泉 | 24 重なり岩 | |
| 25 アルカディア・ビレッジ | | 26 岩倉ファームパーク | 27 けん玉商店街 | 28 大野瀬戸 |
| 29 スキー場 | 30 羅漢峡 | 31 フィールドアクティビティ | | |
| 32 どれも廿日市市の地域産業資源であることを知らない | | | | |

VI 教育・文化について

問34 あなたは、過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたり、無形・有形民俗文化（人形芝居・神楽・踊等）を観たりしましたか。

1 はい

2 いいえ

問35 あなたは、この1年間にスポーツや運動（ウォーキングや健康づくりのための体操などの軽スポーツを含む）をどの程度しましたか。

1 ほぼ毎日

2 週2～3回程度

3 週1回

4 月1～2回程度

5 年4～5回程度

6 ほとんどしない

問36 あなたは、日頃から文化芸術活動（音楽、演劇、舞踏、美術、伝統芸能、文学、映画など）に親しむことがありますか。

1 ほぼ毎日

2 週2～3回程度

3 週1回

4 月1～2回程度

5 年4～5回程度

6 ほとんどない

問37 あなたは、図書館を利用していますか。

1 週に1回以上利用している

2 月に1～3回程度利用している

3 年に数回利用している

4 利用していない

VII 行政サービス・まちづくり全般について

問38 あなたは、廿日市市の行政サービスに納得していますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 納得している | 2 どちらかと言えば納得している |
| 3 どちらかと言えば納得していない | 4 納得していない |

問39 あなたは、廿日市市の行政サービスが効果的・効率的に行われていると思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかと言えばそう思う |
| 3 どちらかと言えばそう思わない | 4 そう思わない |

問40 あなたは、市役所の窓口（電話対応を含む）や、地域での職員の対応はよいと思いますか。

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 よい | 2 どちらかと言えばよい |
| 3 どちらかと言えばわるい | 4 わるい |
| 5 対応を受けていないので分からない | |

問41 あなたは、市政やまちづくりに関して、重要な情報源としているものは何ですか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1 広報はつかいち | 2 廿日市市ホームページ |
| 3 廿日市市公式SNS（LINE、Facebook など） | 4 議会広報「さくら」 |
| 5 市役所、支所、市民センター内に設置掲示されているチラシやポスター | |
| 6 FMはつかいち | 7 市民センターだより |
| 8 町内会等の回覧板 | 9 新聞 |
| 10 テレビCM | 11 その他（ ） |

VIII 廿日市市のまちづくりについて

問42 廿日市市が行っている施策の満足度と重要度についてお伺いします。それぞれの項目についての満足度と重要度をそれぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

項 目			あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度					
			満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
人権	1	一人ひとりを大切にする人権が保障された社会づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	2	家庭・地域・職場などあらゆる分野において男女が共同して参画する社会づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	3	地域・職場などあらゆる分野において外国人と共生する社会づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

項 目			あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度					
			満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
教育	4	青少年の健全育成に向けた活動の場や機会の提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	5	生涯学習への支援や学習機会の提供による市民がいつでも学べる環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	6	学校施設の整備による安心・安全な教育環境の確保	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	7	確かな学力とたくましく生きる力を育む学校教育体制・内容の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	8	障がいがある児童・生徒への特別支援教育の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	9	スポーツ施設の整備及び活動の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	10	文化施設の整備及び活動の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
子育て・福祉	11	市民が健康に生活できるための支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	12	医療機関や救急医療体制の充実など安心して生活できる体制づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	13	保育や子育ての支援など子どもが健やかに育つ環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	14	介護保険サービスなど高齢者や家族への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	15	地域福祉体制の確立など地域でお互いに支えあう体制づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	16	障がいのある人の自立支援や福祉サービスなど障がいのある人が地域で安心して暮らすための環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	17	生活の安定と自立を促進するひとり親家庭などへの支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
安全安心	18	低所得者への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	19	消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	20	地震・風水害などの災害対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	21	防犯や交通安全に向けた取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	22	相談窓口など消費者の支援体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	23	木造住宅の耐震化促進や空き家の解消など住宅の安全対策に向けた取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

項 目			あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度					
			満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
環境保全	24	海、川、山などの自然環境の保全状況とその取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	25	省資源・省エネルギーの促進など低炭素型社会の形成に向けた地球温暖化防止への取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	26	ごみの発生抑制・再利用・再資源化による循環型社会づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
産業	27	特色ある農水産物の生産支援や地産地消の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	28	市民の多様な購買ニーズに対応した大型店舗などの商業施設の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	29	立地基盤の整備や誘致活動など企業誘致の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	30	おもてなしの心を育むことや観光資源の魅力アップなど観光の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	31	まちの持続的な発展を支える安定した働く場所の状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
都市基盤	32	公営住宅の維持など誰もが安心して暮らせる住宅対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	33	安全で快適に利用できる身近な道路や歩道の整備（バリアフリーの状況）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	34	安全に子どもが遊べる環境や利用しやすい公園の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	35	安全で良質な水を供給する上水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	36	快適な環境を維持し、浸水被害を未然に防止する下水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	37	市営墓地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	38	地域の特色を生かした美しい景観づくりの状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	39	適正な規制や誘導に基づく計画的なまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	40	安全で快適な市街地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	41	市役所周辺における行政、医療、商業などの広域的な拠点を集積したまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	42	支所周辺での生活に身近な拠点を集積したまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	43	渋滞が起これにくく周辺地域や市内の移動をスムーズにする幹線道路の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	44	駅前広場やアクセス道路の整備などＪＲ駅・広電駅周辺整備による鉄道の利便性	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

項 目			あなたが感じる満足度						あなたが感じる重要度					
			満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
都市基盤	45	ノーカーデー、パークアンドライド※ ¹ が実践できる環境整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	46	市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
協働	47	NPO※ ² ・ボランティア活動の支援など市民が活動しやすい環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	48	地域がつながり、絆が深まる地域コミュニティ活動※ ³ の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	49	市民と行政の協働のまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
行政	50	市ホームページの使いやすさ・分かりやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	51	窓口での内容に応じた適切な職員の対応	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	52	支所機能の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	53	市民センター機能の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

※1 パークアンドライド：最寄駅などの近くの駐車場に駐車し、公共交通機関で移動する方法

※2 NPO：継続的、自発的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体の総称

※3 地域コミュニティ活動：町内会、自治会、区、コミュニティ団体などの地縁団体が行う活動

ご協力ありがとうございました。

令和5年度まちづくり市民アンケート
調査結果報告書

廿日市市 経営企画部 経営政策課

〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号